

令和7年度使用中学校用教科用図書

選 定 資 料

令和6年6月

広島県教育委員会

はじめに

広島県教育委員会は、令和7年度に義務教育諸学校で使用する教科用図書の「選定資料」について、広島県教科用図書選定審議会に対して諮問し、このたび答申されました。

この答申に基づき選定資料を作成しましたので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第10条の規定により、広島県教育委員会のホームページに掲載し、各採択権者に通知します。

教科用図書は、学校教育において、教科の主たる教材として使用される重要なものです。

そのため、教育基本法や学校教育法で示された教育の理念や目標及び学習指導要領における各教科の目標や内容等に則り、本県の児童生徒に最も適切な教科用図書を採択することが必要です。

各採択権者においては、この資料を活用して教科用図書の調査研究を十分に行い、適正かつ公正な採択を行ってください。

令和6年6月

広島県教育委員会

目 次

教科用図書選定資料について	1
国 語	2
書 写	20
社 会 (地理的分野)	37
社 会 (歴史的分野)	55
社 会 (公民的分野)	87
地 図	109
数 学	117
理 科	139
音 楽 (一般)	159
音 楽 (器楽合奏)	174
美 術	183
保 健 体 育	202
技 術 ・ 家 庭 (技術分野)	216
技 術 ・ 家 庭 (家庭分野)	228
英 語	239
道 徳	262

教科用図書選定資料について

1 観点及び視点の設定について

この選定資料は、文部科学省の「中学校用教科書目録（令和7年度使用）」に記載された教科用図書について、種目別に、次の五つの観点に基づいて調査研究を行い、特徴を一覧表にしたものです。

- | | |
|-----|-----------------|
| 観点1 | 知識及び技能の習得 |
| 観点2 | 思考力、判断力、表現力等の育成 |
| 観点3 | 主体的に学習に取り組む工夫 |
| 観点4 | 内容の構成・配列・分量 |
| 観点5 | 内容の表現・表記 |

現行の学習指導要領では、育成を目指す資質・能力の三つの柱として、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」が示され、全ての教科等の目標及び内容が三つの柱で整理されています。

各教科用図書においても、これらの資質・能力を育成するための創意工夫が図られていることから、観点1として「知識及び技能の習得」、観点2として「思考力、判断力、表現力等の育成」、観点3として「主体的に学習に取り組む工夫」を設定しています。

なお、それぞれの観点の下に、種目ごとに学習指導要領の目標に基づき視点を設定しています。

2 記載の順序

選定資料に記載している順序は、文部科学省の「中学校用教科書目録（令和7年度使用）」に登載されている発行者番号順とし、発行者名は次の略称で表しています。

番号	略称	発行者名	番号	略称	発行者名
2	東書	東京書籍株式会社	61	啓林館	株式会社新興出版社啓林館
4	大日本	大日本図書株式会社	81	山川	株式会社山川出版社
6	教図	教育図書株式会社	104	数研	数研出版株式会社
9	開隆堂	開隆堂出版株式会社	116	日 文	日本文教出版株式会社
11	学図	学校図書株式会社	224	学 研	株式会社 G a k k e n
15	三省堂	株式会社三省堂	225	自由社	株式会社自由社
17	教出	教育出版株式会社	227	育鵬社	株式会社育鵬社
27	教芸	株式会社教育芸術社	229	学び舎	株式会社学び舎
38	光村	光村図書出版株式会社	232	あか図	あかつき教育図書株式会社
46	帝国	株式会社帝国書院	233	日 科	日本教科書株式会社
50	大修館	株式会社大修館書店	236	令書	令和書籍株式会社

【国語】

国 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい国語
15	三 省 堂	現代の国語
17	教 出	伝え合う言葉 中学国語
38	光 村	国語

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 言葉の特徴や使い方に関する事項	新出漢字の示し方、重要語句の示し方及び言語・漢字・文法の扱い
		② 情報の扱い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項の示し方及び教材名等
		③ 我が国の言語文化に関する事項	伝統的な言語文化に関する単元名・教材名及び関連する資料、読書に関わる内容及び紹介されている書籍数
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 自分の考えを形成する活動の工夫	話し合いに関する単元の内容の扱い
		⑤ 内容を解釈するための本文記述と図表等の関連	文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等、図表等の種類及び数
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 問題解決的な学習を実施するための工夫	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動
		⑦ 見通しを立てて学習するための構成上の工夫	単元名・教材名、目標、学習過程及び見通しを立てさせるための資料等
		⑧ 学習を振り返るための工夫	学習の振り返りの示し方及び具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑨ 単元の構成	単元内の教材等の配列及び具体例
		⑩ 単元・教材等の配列	配列の特徴、総単元数、思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数
(オ)	内容の表現・表記	⑪ 巻末資料の示し方	巻末資料の示し方、内容及びページ数
		⑫ デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの数と扱い

【国語】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①言葉の特徴や使い方に関する事項
方法	新出漢字の示し方、重要語句の示し方及び言語・漢字・文法の扱い

		第1学年										
		新出漢字の数及び脚注等への示し方等	重要語句の脚注への示し方及び数			言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)				
東書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 365字 ○ 脚注に行数、音訓を示している。 ○ 脚注のない教材については、教材末にページ数、行数、音訓を示している。 ○ 教材末に「新出漢字一覧」の掲載ページを示している。 ○ 巻末に「新出漢字一覧」として、ページ数、部首、画数、筆順、各音訓についての用例が示してある。 ○ 新出音訓については、フォントサイズを新出漢字より小さくして、脚注に表示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語探検 ・音声の働きや仕組み (1) ・接続する語句・指示する語句 (3) ・語の意味と文脈 (2) ・方言と共通語 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字道場 ・活字と書き文字・画数・筆順 (2) ・音読み・訓読み (2) ・国語の学習に関わる漢字 (1) ・漢字の部首 (2) ・形の似た漢字 (1) ・他教科で学ぶ漢字 (1) ・漢字の成り立ち (2) ・小学校六年の漢字〈日常〉 (3) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 ・文法とは・言葉の単位 (1) ・文の成分・連文節 (1) ・単語の分類 (1) 						
							記号	記号の意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料編 ・新出漢字一覧 (12) ・新出音訓一覧 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法解説 ・文法とは・言葉の単位 (3) ・文の成分・連文節 (5) ・単語の分類 (4) 	
							意	意味を調べよう	75			
							文	短文を作ろう	33			
							類	似た意味の語句(類義語)を挙げよう	46			
対	反対の意味の語句(対義語)を挙げよう	8										
三省堂		<ul style="list-style-type: none"> ○ 420字 ○ 脚注に行数、本文中の読みを示している。 ○ 教材末に「新出漢字」「新出音訓」のページ数、音訓を示している。 ○ 教材末に漢字の学習ができる二次元コードを掲載している。 ○ 巻末に「一年生で学ぶ漢字字典」として、ページ数、音訓、中学校で学ばなくてもよい音訓、部首、画数、筆順、用例を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉発見 ・音声のしくみとはたらき (2) ・接続する語句・指示する語句 (2) ・方言と共通語 (2) ・比喩・倒置・反復・対句・体言止め (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字のしくみ ・活字と手書き文字・画数・筆順 (2) ・成り立ちと部首 (3) ・漢字の音と訓 (2) ・コラム 漢字文化をアレンジする日本の力 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の窓 ・言葉の単位・文節の関係 (1) ・単語の類別・品詞 (1) 						
							記号	記号の意味	数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参考資料 ・学習用語辞典 (6) ・語彙の広がり (4) ・五十音図とローマ字 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字を身につけよう (9) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法のまとめ ・言葉の単位 (13)
							意	辞書で意味を調べる	135			
							類	類義語	50			
対	対義語	15										

【国語】

		第1学年					
新出漢字の数及び脚注等への示し方等		重要語句の脚注への示し方及び数			言語 (ページ数)	漢字 (ページ数)	文法 (ページ数)
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 396 字 ○ 新出漢字には、本文中にルビが振ってある。 ○ 新出漢字が出てくる行の下の脚注に漢字のみを示している。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」として、ページ数、音訓、用例を示しているものがある。 ○ 教材末に「この教材で学ぶ漢字」と並列して、「新出音訓」や「付表」の語を示している。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、中学校で学ばない読み、総画数、部首、部首を除いた画数、筆順、用例を示している。 	○ 意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。			<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音声 (1) ・日本語の文字 (1) ・方言と共通語 (1) ○ 言葉と文法 解題編 <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の音声 (4) ・日本語の文字 (4) ・方言と共通語 (4) ○ 言葉の自習室 <ul style="list-style-type: none"> ・理解に役立つ言葉 (2) ・表現に役立つ言葉 (2) ・学習に必要な用語 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字の広場 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の部首 (2) ・画数と活字の字体 (2) ・漢字の音と訓 (2) ・熟語の構成 (2) ○ 漢字の練習 (7) ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・一年生で学習した漢字 (10) ・小学校六年生で学習した漢字 (4) ・常用漢字表 (12) ・「付表」の語 (1) ・一年生で読みを学習した漢字・語 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法の小窓 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (1) ・文の成分 (1) ・単語のいろいろ (1) ○ 言葉と文法 解題編 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (3) ・文の成分 (5) ・単語のいろいろ (5)
		記号	記号の意味	数			
		意	調べたり考えたりして意味を理解する。	50			
		文	短文を作って表現に生かす。	30			
		同	同じ音をもつ語句を調べる。	2			
		対	反対や対比の意味をもつ語句を調べる。	3			
		類	似た意味をもつ語句を調べる。	17			
考	考えるときの観点として生かす。	5					
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 392 字 ○ 脚注に行数、音訓、本文中での読みを示している。 ○ 教材末に「漢字の練習」ができる二次元コードが示されている。 ○ 教材末に「新出漢字」として、ページ数、音訓を示しているものがある。 ○ 巻末に「一年生で学習した漢字」として、ページ数、音訓、部首、画数、筆順、用例、慣用句・ことわざ・四字熟語などを示している。 	○ 意味や用法を理解しておきたい語句を、記号とともに示している。			<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・音声の仕組みや働き (1) ・指示する語句と接続する語句 (3) ・さまざまな表現技法 (3) ・語彙を豊かに (2) ・方言と共通語 (3) ・語彙ブック (8) ○ 資料 <ul style="list-style-type: none"> ・敬語を使う (1) ・学習のための用語一覧 (2) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てと部首 (2) ・漢字の音訓 (2) ・漢字の成り立ち (2) ○ 漢字に親しもう (5) ○ 漢字の練習 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校六年生で学習した漢字 (3) ・小学校六年生で学習した漢字一覧 (2) ○ 資料 <ul style="list-style-type: none"> ・一年生で学習した漢字 (13) ・一年生で学習した音訓 (1) ・常用漢字表 (14) ・常用漢字表 付表 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文法への扉 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉のまとまりを考えよう (1) ・言葉の関係を考えよう (1) ・単語の性質を見つつけよう (1) ○ 文法 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の単位 (4) ・文の組み立て (5) ・単語の分類 (4) ・参考 (2) <p>口語動詞活用表 口語形容詞活用表 口語助動詞活用表</p>
		記号	記号の意味	数			
		意	意味を調べる。	49			
		文	短文を作る。	28			
		類	類義語を調べる。	4			
		対	対義語を調べる。	3			
		関	関連語句を確認する。	9			

【国語】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②情報の扱い方に関する事項
方法	情報の扱い方に関する事項の示し方及び教材名等

	情報の扱い方に関する事項の示し方	教材名等		
東 書	<p>○ 各学年とも、本編に情報活用に係る単元を設定し、「情報と論理の学び」の前後に、「読むこと」と「話すこと・聞くこと」、「読むこと」と「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○ 各学年とも、資料編に情報活用に係る教材「思考のヒント」を掲載している。</p>	第1学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「オオカミを見る目」 ・情報と論理の学び 情報の分類・比較 ○ 「「食文化」のレポート」 比較して分かったことを伝えよう ○ 「私のタンポポ研究」 ・情報と論理の学び 意見と根拠 ○ 「「写真」の意見文」 根拠を明確にして書こう ○ 「ニュースの見方を考えよう」 ・情報と論理の学び 原因と結果 ○ 「「似ている言葉」スピーチ」 中心を明確にして話そう
		第2学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ネコだって推理できる」 ・情報と論理の学び 情報の関係の表し方 ○ 「「地域の魅力」の紹介文」 効果的に伝えよう ○ 「黄金の扇風機」「サハラ砂漠の茶会」 ・情報と論理の学び 意見と根拠の吟味 ○ 「「地図」の意見文」 根拠を吟味して書こう ○ 「「正しい」言葉は信じられるか」 ・情報と論理の学び 具体と抽象 ○ 「プレゼンテーション」 説得力のある提案をしよう
		第3学年	教材・活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「絶滅の意味」 ・情報と論理の学び 情報の信頼性の確かめ方 ○ 「「環境」の新聞」 編集して伝えよう ○ 「受け取る「利他」「利己」と「利他」」 ・情報と論理の学び 具体例、根拠、反対の関係 ○ 「「広告」の批評文」 観察・分析して論じよう
三省堂	<p>○ 各学年とも、本編に情報活用に係り、「情報を関係づける」という単元を設定し、教材の掲載前に、情報の扱い方について説明している。資料を1つは掲載している。また、同単元内に「話すこと・聞くこと」又は「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○ 各学年とも、資料編に「社会生活に生かす」として、情報活用に係る教材「著作権と引用」「メモを活用する」を掲載している。</p>	第1学年	教材・活動	<p>6 情報を関係づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マンガ 「情報の扱い方」 二つのデータ、どう関係づける？ ・資料A 「防災に関するデータ」 ・資料B 「「みんなでいるから大丈夫」の怖さ」 ○ 行事案内リーフレット 「必要な情報をわかりやすく伝える」
		第2学年	教材・活動	<p>6 情報を関係づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マンガ 「情報の扱い方」 「水問題」って何？何が原因？ ・資料A 「100年後の水を守る」 ・資料B 「飲み水は不足しているか」 ・資料C 水問題に関する資料 ○ 投稿文 「複数の情報を関連づけて根拠を明らかに示す」
		第3学年	教材・活動	<p>6 情報を関係づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マンガ 「情報の扱い方」 そのロコミ信頼できる？ ・資料A 「見たいものだけ見る私たち」 ○ 「情報の信頼性を確かめる」

【国語】

	情報の扱い方に関する事項の示し方	教材名等	
教出	<p>○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元、第1学年「情報を得る」、第2学年「情報を捉える」、第3学年「情報を共有する」を設定し、第1・3学年は教材を4つ、第2学年は教材を3つ掲載している。</p> <p>○ 各学年の単元内において、教材内容を活かして「書くこと」の活動の教材を1つは掲載している。また、「学びナビ」の中で、これまでの学習を踏まえた解説を加えるとともに、情報の扱い方を掲載している。</p>	第1学年	教材・活動 <p>四 情報を得る</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合（SDGs）」持続可能な未来を創るために——人の暮らし方を考える <ul style="list-style-type: none"> ・「エシカル」に生きよう ○ 「森には魔法つかいがある」 ○ 「根拠を明確にして意見文を書く」 ○ 「広告の情報を考える」
		第2学年	教材・活動 <p>四 情報を捉える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合（SDGs）」持続可能な未来を創るために——不平等のない社会を考える <ul style="list-style-type: none"> ・「どう思いますか」—新聞投書から言葉を考える ・「ここにいる」を言う意味 ・「一〇〇年後のみなさんへ」 ○ 「紙の建築」 ○ 「構成を明確にして説明文を書く」
		第3学年	教材・活動 <p>七 情報を共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「総合（SDGs）」持続可能な未来を創るために——人間の生命・存在を考える <ul style="list-style-type: none"> ・「生命とは何か」 ・「地球は死にかかっている」 ○ 「「対話力」とは何か」 ○ 「自分の意見を述べる時」—言葉の力と裁判— ○ 「意見を共有しながら話し合う」 ○ 「中学校生活をまとめて作品集を作る」
光村	<p>○ 各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報×SDGs」を設定し、教材を1つは掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「書くこと」の活動に関する教材を掲載している。</p> <p>○ 第2・3学年の資料編において、情報の整理に関する資料を掲載している。</p>	第1学年	教材・活動 <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報整理のレッスン 「比較・分類」 ○ 「情報を整理して説明しよう」 発見したことをわかりやすく書く ○ 「情報収集の達人になろう」—私のSDGs「行動宣言」—コラム 「著作権について知ろう」 ○ 思考のレッスン1 「意見と根拠」 ○ 「根拠を明確にして書こう」 資料を引用して報告する ○ 思考のレッスン2 「原因と結果」
		第2学年	教材・活動 <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報整理のレッスン 「思考の視覚化」 ○ 「情報を整理して伝えよう」 職業ガイドを作る ○ 「メディアの特徴を生かして情報を集めよう」—災害時における情報収集 ○ 「デジタル市民として生きる」 ○ 思考のレッスン1 「根拠の吟味」 ○ 「適切な根拠を選んで書こう」 意見文を書く ○ 思考のレッスン2 「具体と抽象」
		第3学年	教材・活動 <ul style="list-style-type: none"> ○ 思考のレッスン 「具体化・抽象化」 ○ 「情報の展開を意識して書こう」 グラフを基に小論文を書く ○ 「実用的な文章を読もう」 ○ 「報道文を比較して読もう」 ○ 情報整理のレッスン 「情報の信頼性」

【国語】

観点	(ア) 知識及び技能の習得	
	視点	③我が国の言語文化に関する事項
	方法	伝統的な言語文化に関する単元名・教材名及び関連する資料、読書に関わる内容及び紹介されている書籍数

	伝統的な言語文化に関する単元名・教材名 伝統的な言語文化に関連する資料	読書に関わる内容及び紹介されている書籍数						
東 書	<p>【第1学年】</p> <p>6 伝統文化に親しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「移り行く浦島太郎の物語」 ○ 「伊曾保物語」 ・古典コラム 古典の仮名遣い ○ 「竹取物語」 ・古典コラム 古典の言葉とその意味 ・資料 受け継がれる「竹取物語」 ○ 「矛盾 「韓非子」より」 ・資料 ほかの故事成語について知ろう ・古典コラム 漢文の読み方 <p>【第2学年】</p> <p>6 伝統文化を味わう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「枕草子・徒然草」 ・古典コラム 係り結び ・資料 ほかの章段も読んでみよう ○ 「平家物語」 ・古典コラム 表現の特徴 ・資料 「平家物語」と古典芸能 ○ 「漢詩」 ・古典コラム 漢詩の形式 ・資料 漢詩を楽しむ <p>【第3学年】</p> <p>6 伝統文化を受け継ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「万葉・古今・新古今」 ・古典コラム 和歌の修辞 ・資料 小倉百人一首 ○ 「おくのほそ道」 ・古典コラム 俳諧の歴史 ・芭蕉の「聖地巡礼」 ○ 「論語」 ・古典コラム 漢文の読み方 ・資料 世界各地の孔子廟 ・古典コラム 古典の言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に読書単元を2つ設定し、作品を掲載している。また、同単元内に読書案内「世界を広げる本」と言語活動の教材を掲載している。 ○ 各学年とも、教材末や単元末、資料編に「読書案内」として書籍紹介を掲載している。また、資料編に読書案内「中学生におすすめの本」を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で312冊 	第1学年	教材	読書への招待 ・平和のバトン ・たまごを持つように ・羽生結弦 あくなき挑戦の軌跡 ・はてしない物語 ・チョウはなぜ飛ぶか			
				活動	読書と情報 図書館の活用 読書活動 本のポップ			
			第2学年	教材	読書への招待 ・鯉節ー世界に誇る伝統食 ・時をかける少女 ・この世界の片隅に			
				活動	読書と情報 インターネット・新聞の活用 読書活動 ビブリオバトル			
			第3学年	教材	読書への招待 ・何のために「働く」のか ・夜を乗り越える ・何のために「学ぶ」のか ・本の読み方 ・本を読めなくなった日のための読書論 ・読書の価値 ・小説以外			
				活動	読書活動 読書会の方法 読書活動 私のベストブック			
			三 省 堂	<p>【第1学年】</p> <p>5 古典に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 月を思う心 ○ 「竹取物語」 ・語彙を豊かに 古語と現代語で異なる意味の語 ・古文の読み方ー古典の仮名遣い ・「このあたり」ってどのあたり？ ○ 「故事成語ー矛盾」 ・漢文の読み方ー訓読の仕方 <p>【第2学年】</p> <p>5 古典に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「枕草子・徒然草」 ○ 「平家物語」 ・語彙を豊かに さまざまな泣き方の表現 ・読み方を学ぼうー物語の転換点 ・コラム あの人の歌 ○ 「漢詩の世界」 ・漢文の読み方ー漢詩の形式 <p>【第3学年】</p> <p>5 古典に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「和歌の世界ー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集」 ・和歌の技法 ・コラム 和歌がつながる思い ○ 「おくのほそ道」 ・語彙を豊かに 「百」を含んだ語句 ・読み方を学ぼう⑤ー状況・背景 ○ 「論語」 ・漢文の読み方ー訓読の仕方の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に「私の読書体験」を掲載し、文章中の図書及び筆者の著作した図書を紹介している。また、「読書活動」に係る言語活動を1つ掲載している。 ○ 各学年とも、教材の終わりや「学びの道しるべ」中に、「私の本棚」として書籍紹介を掲載している。 ○ 各学年とも、資料編「読書の広場」の「小さな図書館」内で書籍紹介を掲載するとともに、日本十進法及び本の構造について掲載している。なお、各学年とも、「読書の広場」に第1学年5作品、第2・3学年4作品の読書教材を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で280冊 	第1学年	教材	私の読書体験 本を読むことのおもしろさ
							活動	読書活動 私が選ぶこの一文
						第2学年	教材	私の読書体験 生涯の友と出会う
活動	読書活動 ビブリオバトル							
第3学年	教材	私の読書体験 言葉は傘						
	活動	読書活動 ブックトーク						

【国語】

教 出	<p>【第1学年】</p> <p>五 古典にふれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「昔話と古典一箱に入った桃太郎ー」 ○ 「物語の始まりー竹取物語ー」 ・ 古典の仮名遣い、いろは歌 ○ 「故事成語ー中国の名言ー」 ・ 漢文の読み方 ○ 四季のたより 春、夏、秋、冬 <p>【第2学年】</p> <p>五 古典を楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「敦盛の最期ー平家物語ー」 ・ 歴史的仮名遣い、係り結び ○ 「随筆の味わいー枕草子・徒然草ー」 ○ 「二千五百年前からのメッセージー孔子の言葉ー」 ・ 漢文の読み方、置き字 ○ 四季のたより 春、夏、秋、冬 <p>【第3学年】</p> <p>五 古典を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「旅への思いー芭蕉と『おくのほそ道』ー」 ○ 「和歌の調べー万葉集・古今和歌集・新古今和歌集ー」 ・ 歴史的仮名遣い、和歌の修辞、和歌の句切れとリズム ○ 「風景と心情ー漢詩を味わうー」 ・ 漢詩の表現の特徴、日本人が作った漢詩 ○ 四季のたより 春、夏、秋、冬 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に読書単元「読書への招待」として、2作品を掲載している。また、2作品のうち最初の作品の終わりにある「みちしるべ」では、読書に係る言語活動について掲載し、後の作品では作品解説及び作者の紹介を掲載している。 ○ 資料編の「言葉の自習室」として、読書に関わる教材を、第1・2学年2作品、第3学年3作品を掲載している。 ○ 各学年とも、各単元末と資料編に「広がる本の世界」として書籍紹介を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で258冊 		
		第1学年	教材	読書への招待① ベンチ 読書への招待② 蜘蛛の糸
		第1学年	活動	みちしるべ ・本の帯やポップを作り、本を薦めよう
		第2学年	教材	読書への招待① 夢を跳ぶ 読書への招待② 坊っちゃん
		第2学年	活動	みちしるべ ・関心を広げ、課題を見つけてレポートを書こう ・疑問をメモにまとめよう ・図書館を活用しよう
		第3学年	教材	読書への招待① 薔薇のボタン 読書への招待② 最後の一句
		第3学年	活動	みちしるべ ・ビブリオバトルで本の世界を広げよう ・読書の記録を取ろう
		光 村	<p>【第1学年】</p> <p>6 いにしへの心にふれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 古典の世界 ・ 音読を楽しむ「いろは歌」 ○ 「蓬萊の玉の枝ー「竹取物語」から ・ 古典の言葉 ○ 「今に生きる言葉」 ・ 故事成語を使って体験文を書こう ・ 漢文を読む ○ 季節のしおり 春、夏、秋、冬 <p>【第2学年】</p> <p>6 いにしへの心を訪ねる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音読を楽しむ「平家物語」 ・ 「平家物語」の世界 ・ 「平家物語」の主な登場人物たち ○ 「扇の的ー「平家物語」から ○ 「仁和寺にある法師ー「徒然草」から ・ 人物の特徴を捉えて論じよう ○ 「漢詩の風景」 ・ 律詩について ○ 季節のしおり 春、夏、秋、冬 <p>【第3学年】</p> <p>1 深まる学びへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学びて時に之を習ふー「論語」から ・ 漢文の訓読 <p>6 いにしへの心を受け継ぐ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 和歌の世界 ・ 音読を楽しむ「古今和歌集 仮名序」 ○ 「君待つとー万葉・古今・新古今」 ・ 和歌の表現方法 ○ 「夏草ー「おくのほそ道」から ・ 俳句と俳諧 ・ つながる古典 ・ 古典名作選 ・ 古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう ○ 季節のしおり 春、夏、秋、冬 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも、本編に「いつも本はそばに」の読書単元を2つ設定している。1つ目の単元においては、「読書活動」「読書」「読書案内」「コラム」で構成されている。2つ目の単元においては、「読書」「読書案内」で構成されている。いずれも掲載作品について「続きはこちら」で書籍紹介をしている。 ○ 資料編において、各学年とも2作品の読書教材を掲載している。また、第1学年は「読書感想文の書き方」を掲載している。 ○ 書籍紹介数 3学年合計で340冊
				第1学年
第1学年	活動			読書を楽しむ ・ポップを作ろう ・読書会を開こう ・読書記録を続けていこう
第2学年	教材			翻訳作品を読み比べよう ・星の王子さま コラム「わからない」は人生の宝物 「自分らしさ」を認め合う社会へ ・父と話せば ・六千回のトライの先に
第2学年	活動			読書を楽しむ ・ブックトークをしよう ・読書ポスターを作ろう ・読みたい本のリストを作ろう
第3学年	教材			「私の一冊」を探しにいこう ・羊と鋼の森 コラム ためになるってどんなこと？ 本は世界への扉 ・天、共に在り ・極夜行
第3学年	活動			読書を楽しむ ・「私の一冊」を紹介しよう ・ブックレビューを書こう ・三年間の読書を振り返り、これからの読書について考えよう

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④自分の考えを形成する活動の工夫
方法	話し合いに関する単元の内容の扱い

第3学年 「話し合うこと」における合意形成に関する単元				
	単元名・教材名	目標	学習過程	資料等
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いを馳せる ・合意形成を目指す話し合い 話し合いで意見をまとめよう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会生活の中から話題を決め、多様な立場や意見を想定し、伝え合う内容を検討する。 ○ 進行の仕方を工夫したり、互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ ①話し合いのテーマを決める ②提案したいことを出し合う ③提案を整理する ④話し合って意見をまとめる ○ 振り返る ◇ 合意形成の仕方について ・学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の力 多様な意見の想定、合意形成 ・テーマの例 ・提案を出し合った例 ・提案を整理した例 ・話し合いの例
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かに想像する ・グループディスカッション 合意形成に向けて話し合いを計画的に進める 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。 ○ 話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の流れ ①「話し合いのこつ」を見つける ②グループでの話し合いをする ③話し合いでの発言を振り返る ○ 学びを振り返る ◇ 合意形成の仕方について ・学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話し合いのこつ」と発言例 ・テーマ例 ・発言メモ例
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を共有する ・意見を共有しながら話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出された意見の関係をおさえて話し合う。 ○ 話し合いの進行の仕方を理解し、互いの考えを尊重しながら話し合い、結論を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習活動の流れ ①合意形成が必要なテーマについて、自分の意見とその根拠を考える。 ②①必要に応じて司会や記録などの役割を決める。 ②テーマの確認と話し合いの進め方を確認し合う。 ③①手順にそって話し合いをする。 ②話し合いの進行や内容を振り返る。 ③合意形成のための話し合いにおける大切な点をクラス全体で共有する。 ○ 振り返り ◇ 合意形成の仕方について ・学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの会話例 ・意見を共有して話し合う方法 ・合意形成のための話し合いのポイント
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 価値を生み出す ・合意形成に向けて話し合おう 課題解決のために会議を開く 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の発言の共通点を見いだすなど、具体的な事例を抽象化して整理する。 ○ 多様な考え方を認め、互いの考えを生かしながら話し合い、合意形成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> (学習の流れ) ①議題を決める ②グループで提案を考える ③全体会議を開く ④合意形成のポイントを振り返る ○ 振り返る ◇ 合意形成の仕方について ・学習の流れを示し、資料等でポイントを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの会話例 ・各グループの提案を座標軸で整理した例 ・言の葉ポケット「提案を検討するとき」「互いの意見を生かして、合意形成を目指すとき」

【国語】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤内容を解釈するための本文記述と図表等の関連
方法	文章の内容理解に関連した図表等が挿入された教材名等、図表等の種類及び数

第2学年 説明的な文章				
	教材名	教材のページ数	目標	図表等の種類(数)
東書	ネコだって推理できる	8	○ 文章全体と部分との関係に注意しながら、内容を読み取る。 ○ 文章と図表を結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈する。	図(3) グラフ(3) 写真(2)
	黄金の扇風機	4	○ 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や論理の展開、表現の工夫について考える。 ○ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを深める。	写真(2)
	「正しい」言葉は信じられるか	6	○ 文章を比較して、文章の構成や表現の効果について考える。 ○ 構成や表現を工夫して、記事を書き換える。	図(1) 写真(1) 絵(2)
三省堂	人間は他の星に住むことができるのか	6	○ 文章を比較するなどして、構成や論理の展開と表現の効果について考える。 ○ 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。	図(2) 写真(2)
	壁に残された伝言	7	○ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。 ○ 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。	図(2) 写真(3)
	味は味覚だけでは決まらない	6	○ 図表と文章などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ○ 文章を読んで理解した味の感じ方について、知識や経験と結びつけて自分の考えを広げる。	図(2) グラフ(3)
教出	日本の花火の楽しみ	5	○ 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ○ 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。	図(1) 写真(4)
	水の山 富士山	6	○ 意見と根拠などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ○ 主張と例示の関係を捉え、説明の仕方という観点に着目して読み比べる。	図(3) 絵(1) 写真(4)
	紙の建築	7	○ 具体と抽象などに注意して読み、情報のつながりを理解する。 ○ 事例の役割や効果を確かめ、得られた情報を整理しながら読む。	図(1) 写真(8)
光村	クマゼミ増加の原因を探る	8	○ 情報と情報との関係を図示するなどして整理する。 ○ 文章全体と部分との関係や、文章と図表との関係に注意して読む。	図(3) 写真(2) グラフ(6)
	モアイは語る—地球の未来	6	○ 意見を裏づけるための、適切な根拠の在り方について理解する。 ○ 知識や経験を基に、文章の構成や論理の展開、筆者の主張を吟味する。	図(3) 写真(4)
	君は「最後の晩餐」を知っているか	10	○ 表などを用いて、情報を整理する。 ○ 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。	絵(6) 写真(2) 図(2)

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥問題解決的な学習を実施するための工夫
方法	実生活とつながりのある事柄を取り上げた単元名・教材名、目標及び学習活動

		書くこと		
		単元名・教材名	目標	学習活動
東書	第1学年	○ 分かりやすく伝える ・「食文化」のレポート 比較して分かったことを伝えよう	○ 日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理する。 ○ 内容の中心が明確になるように、分かりやすい文章の構成でレポートを書く。	○ 「食文化」について比較する個人テーマを決め、情報をカードに記録して整理した後、「調査結果」と「考察」を区別し、構成を考えてレポートをまとめ、読み合って感想を交換する活動を取り上げている。
	第2学年	○ 伝え方を工夫する ・「地域の魅力」の紹介文 効果的に伝えよう	○ 身近な地域の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にする。 ○ 読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整える。	○ 身近な地域に住む人に向けて紹介したい「地域の魅力」を決め、情報を集めて、図や表を使って整理し、伝えたいことや書きたいことを意識して、文章の構成を考えて下書きをし、推敲して仕上げた紹介文を読み合う活動を取り上げている。
	第3学年	○ 効果的に伝える ・「環境」の新聞編集して伝えよう	○ 社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ○ 目的や意図に応じて文章の種類を選択し、構成や表現を工夫する。	○ 環境に関わって、グループで取り上げるテーマを決め、題材について書くための材料を集めて吟味し、文章の種類を決めて下書き・推敲をして清書した新聞を読み合って感想を交換する活動を取り上げている。
三省堂	第1学年	○ わかりやすく伝える ・「調べたことを整理してわかりやすくまとめる」	○ 調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。 ○ レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。	○ 身の回りのものやできごとの中から興味や関心のあることを選び、情報を集めて整理・分類し、レポートの形式で書き、読み合う活動を取り上げている。
	第2学年	○ 振り返って見つめる ・情報誌「地域の魅力」を振り返って ※「話す・聞く」との複合単元	○ 集めた情報を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合って考えをまとめる。 ○ 地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章を整える。	○ 地域のよさや魅力に迫るために、編集会議を開いてテーマを決め情報収集を行い、レイアウトを決めた後、記事を書き、印刷・製本した雑誌を用いて発表会を行う活動を取り上げている。
	第3学年	○ 古典に学ぶ ・漢字一字「自分自身や社会を見つめる」	○ 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 ○ 文章を読み合って、お互いの表現のよい点を見つける。	○ 自分自身や社会生活を振り返って最近のできごとや今年一年を漢字一字で表現し、その漢字に決めた理由やその漢字にまつわるエピソードを文章にまとめ、グループで読み合って感想を交流する活動を取り上げている。

【国語】

		書くこと		
		単元名・教材名	目標	学習活動
教 出	第1学年	○ 考えを確かめる ・「報告文を整える」	○ 接続する語句の役割を理解し、使う。 ○ 読み手の立場に立って、標記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整える。	○ 身近な問題から、調べて報告したいテーマを決め、集めた調査結果を読み取り、書く順序を考えた後、図表を用いて調査結果をまとめ、書いた文章を推敲し、読み合う活動を取り上げている。
	第2学年	○ 学びを広げる ・「新聞の投書を書く」	○ さまざまな情報の集め方を理解し、活用する。 ○ 社会生活の中から題材を決め、材料を整理し、伝えたいことを明確にする。	○ 社会生活に目を向けて課題を設定し、材料を集め、構成を検討した後、新聞の投書を書き、推敲した文章を読み合い、感想を交流する活動を取り上げている。
	第3学年	○ 論理を築く ・「客観性や信頼性のある記事を書く」	○ 情報の信頼性の確かめ方を理解し、活用する。 ○ 目的に応じて題材を決め、伝えたいことを明確にして記事にする。	○ 社会問題の中から興味のあるテーマを選んで情報を集め、情報の信頼性を確認した後、伝えたいことを明確にして記事を書いて推敲し、新聞の形にまとめて共有する活動を取り上げている。
光 村	第1学年	○ 新しい視点で ・「情報を整理して説明しよう 発見したことをわかりやすく書く」	○ 集めた情報を比較したり分類したり、関係づけたりして整理する。 ○ 情報を取捨選択し、わかりやすく説明するためにまとめ方や順序を工夫する。	○ 取り上げる題材(道具)を選び、観察したり使ったりして気付いたことを分かりやすく説明する文章を書いた後、読み合って書き方についての感想を交流する活動を取り上げている。
	第2学年	○ 多様な視点から ・「情報を整理して伝えよう 職業ガイドを作る」	○ 図や記号を使って、情報を整理する。 ○ 目的に応じて多様な方法で材料を集め、整理して、伝えたいことを明確にする。	○ 調べる職業を決め、知りたいことに適した調べ方を考えて多様な方法で情報を集め、整理した後、見出しや文章等の配置を考え、紙面を書いた後、読み合って感想を伝え合う活動を取り上げている。
	第3学年	○ 自らの考えを ・「考えを効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く」	○ 具体と抽象の関係について理解を深める。 ○ 自分の考えが効果的に伝わるように、表現のしかたや論理の展開を工夫し、助言し合う。	○ 地域社会で見聞きしたことや、新聞、テレビなどのメディアを通して知ったことの中から関心のある事柄を決め、観点を決めて問いを立てて考えを深め、自分の考えを書いた後、読み合って論議の展開などについて助言し合う活動を取り上げている。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦見通しを立てて学習するための構成上の工夫
方法	単元名・教材名、目標、学習過程及び見通しを立てさせるための資料等

第3学年 批評文				
	単元名・教材名	目標	学習過程	資料等
東 書	○ 多面的に検討する ・「広告」の批評文 観察・分析して論じよう	○ 集めた材料の客観性を確認し、伝えたいことを明確にする。 ○ 論理の展開や表現の仕方を考えたり、資料を適切に引用したりして、説得力のある文章を書く。	○ 学習の流れ ①批評の対象について知る ②対象を観察・分析する ③対象を比較して判断する ④批評文を書く ⑤読み合って評価する ○ 振り返る	・批評の対象例（広報記事、広告） ・観察・分析のメモの例 ・批評文例（批評文の完成例） ・問題（広報記事、広告）
三省堂	○ ものの見方・感性を養う ・批評文「観察・分析を通して評価する」	○ 読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。 ○ 論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。	○ 学習の流れ ①題材を決める ②対象を観察・分析する ③構成を考えて批評文を書く ④交流して相互評価する ○ 学びを振り返る	・思考の方法例（俳句） ・批評文の例（俳句）
教 出	○ 関係を問う ・説得力のある批評文を書く	○ 取り上げる資料と自分の知識や経験との関係について整理する。 ○ 多様な読み手を説得できるように論理の展開を考えて、文章の構成や表現の仕方を工夫する。	○ 学習活動の流れ ①批評する観点を決めて対象を観察する。／気づいた特徴を分析する。 ②判断や評価が伝わりやすい構成を考える。 ③効果的な書き出し方やまとめ方を考え、批評文を書く。 ④書いた批評文に説得力があるか考えながら推敲する。 ⑤できあがった批評文を友達と読み合い、助言をもとに自分の文章のよい点や改善点を見つける。 ○ 振り返り	・関係を整理する方法（ポスター比較表） ・観点を決めて批評する（ポスターと解説） ・批評文例（スマートフォン）
光 村	○ 自らの考えを ・効果的に伝えよう 多角的に分析して批評文を書く	○ 具体と抽象の関係について理解を深める。 ○ 自分の考えが効果的に伝わるように、表現のしかたや論理の展開を工夫し、助言し合う。	(学習の流れ) ①題材を選ぶ ②観点を決めて分析する ③構成を考える ④批評文を書く ⑤友達と文章を読み合う ○ 振り返る	・題材の例（広告） ・分析例（観点の問いとそれに対する自分の考え） ・批評文の例（広告）

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑧学習を振り返るための工夫
方法	学習の振り返りの示し方及び具体例

	学習の振り返りの示し方	具体例（第1学年「話すこと・聞くこと」スピーチ）
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文の「見通す」に目標、生徒目線で書かれた「問いかけ」が示され、教材末の「振り返る」で生徒自身が確認できるようになっている。 ○ 振り返りには、目標に対して学んだことを振り返るように促している。 	<p>単元名 伝え方を考える 教材名 「似ている言葉」スピーチ 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中心を明確にし、事実と考えとの関係に注意して、構成を考える。 ・聞き手の反応を踏まえて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫する。 <p>問いかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすいスピーチをするためには、構成や話し方をどのように工夫したらいいんだろう。 <p>振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの構成や、聞き手の反応を踏まえた話し方について学んだことを振り返り、これからの生活に生かそう。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材冒頭で目標を示し、教材末の「学びを振り返る」で、学んだことを自分の言葉でまとめるようになっている。また、振り返りのキーワードがある。 ○ 目標で示した項目を「思考の方法」を用いて学習し、それについて自分の言葉で振り返るようになっている。 	<p>単元名 論理的に考える 教材名 スピーチ 構成を工夫して魅力を伝える 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 ・聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。 <p>思考の方法 ・順序立てる 学びを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成を工夫して魅力を伝えるためには、どんなことが大切か、学んだことを自分の言葉でまとめましょう。 ・「振り返りのキーワード」最も伝えたいこと・事実・理由づけ
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標に即した振り返りが掲載され、生徒自身で確認できるようになっている。 ○ 「振り返り」は、「知識・技能」「思考・判断・表現」の振り返りと、「主体的に学習に取り組む態度」の振り返りからなる。 ○ 目標で示した項目を「学びナビ」を用いて学習し、「振り返り」で確認できるようになっている。 	<p>単元名 論理を知る 教材名 「構成を考えて話す」 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらスピーチの構成を考える。 ・相手の反応を見て、それに応じた表現の仕方を工夫する。 <p>学びナビ ・構成を考える方法 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の構成、表現の仕方などに気をつけて説明をしているか。 ・相手や場の状況に応じて表現を工夫しながら話しているか。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標に即した振り返りと、学びを生かす振り返りが掲載されている。 ○ 振り返りは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の振り返りからなる。 ○ 目標で示した項目を「学びのカギ」を用いて学習し、「振り返る」で確認するようになっている。 	<p>単元名 学びをひらく 教材名 話の構成を工夫しよう 一枚の写真をもとにスピーチする 目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・声の大きさや速さ、間の取り方などを意識して話す。（知る） ・自分の伝えたいことが、わかりやすく伝わるように、話の構成や表現を工夫する。（話・聞） <p>学びのカギ ・わかりやすい話の構成を考える 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知る」声の大きさや間の取り方などを、どのように工夫したか。 ・「話す・聞く」自分の伝えたいことが、聞き手にはっきりとわかりやすく伝わるように、スピーチの構成や表現で工夫した点は何か。 ・「つなぐ」今回学んだことの中で、次にスピーチをするときに生かしたいことを挙げてみよう。

【国語】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨単元の構成
方法	単元内の教材等の配列及び具体例

	単元内の教材等の配列	具体例（第2学年「走れメロス」）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「読むこと」教材と、「書くこと」教材、または「話すこと・聞くこと」教材がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文と知識及び技能教材で構成されている。 	<p>8 描写を味わう 思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 読む〈文学3〉「走れメロス」 <ul style="list-style-type: none"> ・てびき ○ 書く〈感性・想像〉「短歌から始まる物語 いきいきと描き出そう」 ○ 話す・聞く〈話し合う〉「リンクマップによる話し合い 話し合いで問題を検討しよう」 知識及び技能教材 ○ 文法の窓3「助詞・助動詞 絵に合う助詞・助動詞を探そう」 ○ 漢字道場7「他教科で学ぶ漢字（2）」
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文、知識及び技能教材で構成されている。 	<p>9 振り返って見つめる 思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小説「走れメロス」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びの道しるべ ・読み方を学ぼう⑧心情把握 ・コラム「走れメロス」とシラーの「人質」 ・「走れメロス」から広げて読む 太宰治の世界 知識及び技能教材 ○ 漢字を身につけよう⑨ 思考力、判断力、表現力等教材 ○ 話す・聞く／書く 「情報誌 地域の魅力を振り返って」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文、近代文学、知識及び技能教材で構成されている。 	<p>九 表現を味わう 思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びナビ 想像・イメージ ○ 詩「豚」 ○ 学びナビ 語り手の位置 ○ 小説「走れメロス」 <ul style="list-style-type: none"> ・みちしるべ 知識及び技能教材 ○ 言葉の小窓3「類義語・対義語・多義語・同音語」 思考力、判断力、表現力等教材 ○ 「連作ショートショートを書く」 知識及び技能教材 ○ 漢字の広場4「同音の漢字 こうプレーにこう奮」 ○ 広がる本の世界9
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」教材の複数の領域がセットで単元構成されている。 ○ 古典単元は、古文、漢文、知識及び技能教材で構成されている。第2学年及び第3学年は、第1単元に古典教材が1編収録されている。 	<p>8 表現を見つめる 思考力、判断力、表現力等教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小説「走れメロス」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びへの扉 ・学びのカギ 人物像に着目する 知識及び技能教材 ○ 漢字に親しもう5 ○ 文法への扉3「一字違いで大違い」 思考力、判断力、表現力等教材 ○ 書く「描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように物語を書く」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びのカギ 表現の効果を考えて描写する 知識及び技能教材 ○ 言葉3「話し言葉と書き言葉」 ○ 漢字3「送り仮名」 思考力、判断力、表現力等教材 ○ 話す・聞く／書く「国語の学びを振り返ろう 「国語を学ぶ意義」を考え、コピーを作る」 <ul style="list-style-type: none"> ・学びのカギ これまでの学びを価値づける ○ 詩「鍵」 ・学びへの扉

【国語】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑩単元・教材等の配列
方法	配列の特徴、総単元数、思考・判断・表現に係る領域ごとのページ数

	配列の特徴	本文中の総単元数・ページ数				
		学年	1	2	3	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必須・必修教材からなる「本編」と、参考資料としての「資料編」からなる。 ○ 各単元は、「読むこと」の教材と、「話すこと・聞くこと」「書くこと」のどちらかの領域の教材及び知識及び技能教材で構成されている。 ○ 古典教材は、全学年、第6単元に配列している。 ○ 「読むこと」は、教材文の後に「てびき」がある。「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材は、教材の中に「てびき」の項目がある。 ○ 「資料編」は、「読む」「読書案内」「資料」「漢字」で構成されている。 	総単元数	8	8	8	
		本編の領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	12	13	13
			書くこと	18	19	18
			読むこと	113	115	118
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「資料編」の2部からなる。 ○ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の複数の領域からなる教材と、知識及び技能教材で構成されている。 ○ 「話すこと・聞くこと」の題材として読書活動に関連させたものがある。 ○ 古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 ○ 「読むこと」は、教材の前後に「読み方を学ぼう」がある。 ○ 「資料編」は、「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料（漢字含む）」で構成されている。 	総単元数	9	9	8	
		本編の領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	14	16	19
			書くこと	28	26	18
			読むこと	126	142	141
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 必須・必修教材からなる本教材と、補充・参考資料としての付録教材からなる。 ○ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の内、複数の領域からなる教材と知識及び技能教材で構成されている。 ○ 古典教材は、全学年、第5単元に配列している。 ○ 「読むこと」は、教材の前に「学びナビ」（見通し）を、教材文の後ろに「みちしるべ」（学習のてびき）がある。 ○ 付録教材（言葉の自習室）は、「読書」4作品と資料で構成されている。 	総単元数	9	9	8	
		本教材の領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	12	12	20
			書くこと	13	19	14
			読むこと	124	135	130
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本編」と「資料編」の2部、語彙ブックからなる。 ○ 各単元は、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」と知識及び技能の内、複数の領域で構成されている。 ○ 古典教材は、全学年、第6単元に配列している。 ○ 「読むこと」は、教材の終わりに「学習の窓」がある。 ○ 巻末資料（学習を広げる）は、「読む」「話す・聞く」「書く」「漢字」で構成されている。 	総単元数	8	8	8	
		本編の領域ごとのページ数	話すこと・聞くこと	18	18	18
			書くこと	23	23	17
			読むこと	110	117	110

【国語】

観点	(オ) 内容の表現・表記	
	視点	⑪ 巻末資料の示し方
	方法	巻末資料の示し方、内容及びページ数

	巻末資料の示し方	内容 (第1学年)	ページ数
東書	○ 「文法解説」「資料編」として全学年に示している。	○ 「文法解説」	12
		○ 「トロッコ」等 3編	19
		○ さまざまな古典作品「古事記」等	3
		○ 読書案内「中学生におすすめの本」	4
		○ 「学習の前に」「原稿用紙の使い方・推敲の観点」等	10
		○ 「新出漢字一覧」「新出音訓一覧」	13
		○ 「主なデジタルコンテンツ」「デジタルコンテンツ一覧」	折込 (5)
		○ 「言葉のカー一覧」	2
三省堂	○ 「文法のまとめ」「読書の広場」「社会生活に生かす」「参考資料」として全学年に示している。	○ 「文法のまとめ」	13
		○ 読書の広場「小さな図書館」	6
		○ 読書の広場「日本十進分類法」「本の構造」	2
		○ 読書の広場「電車は走る」等 6編	34
		○ 読書の広場「落語の世界」「落語 桃太郎」	6
		○ 読書の広場「日本文学名作集」「小倉百人一首」	10
		○ 社会生活に生かす「著作権と引用」等	16
		○ 「学習用語辞典」	6
		○ 「語彙の広がり」接頭語・接尾語等	4
		○ 「五十音図とローマ字」「日本語と英語の音節」	2
		○ 「一年生で学ぶ漢字字典」「一年生で学ぶ音訓」等	28
		○ 二次元コード参照先コンテンツ一覧	2
		○ 「読み方を学ぼう一覧」	折込 (5)
教出	○ 「言葉と文法(解説編)」「言葉の自習室」「漢字」として全学年に示している。	○ 「言葉(解説)」	12
		○ 「文法(解説)」	13
		○ 「銀のしずく降る降る」等 4編	19
		○ 「伝統芸能へのいざない 落語」	1
		○ 「十二支と月の呼び名」等	6
		○ 「理解に役立つ言葉」「表現に役立つ言葉」等	7
		○ 「一年生で学習した漢字」等	28
		○ 「ふるさと」を巡る	2
光村	○ 学びを深める「文法」「漢字」「国語の力試し」「語彙ブック」「資料編」として全学年に示している。	○ 「文法」	15
		○ 「[漢字練習] 小学校六年生で学習した漢字」等	5
		○ 国語の力試し「読む力」「話す力・聞く力」等	5
		○ 語彙ブック「情景を表す言葉」等	8
		○ 「学びのカギ」一覧(「文学的な文章を読むために」等)	6
		○ 発想を広げる「表現テーマ例集」等	8
		○ 資料「幻の魚は生きていた」「坊ちゃん」	14
		○ 「言葉としぐさの伝統芸能」等	4
		○ 漢字「一年生で学習した漢字」等	29
		○ 「学習のための用語一覧」	2
○ ICT活用のヒント	2		

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑫デジタルコンテンツの活用
方法	デジタルコンテンツの数と扱い

		第3学年					
特徴		二次元コードからつながる内容とその数					
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 58 個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから複数の内容にリンクしている。 ○ [知識及び技能] については、(1)言葉の特徴や使い方及び(2)情報の扱い方に関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] については、全ての領域において「思考・判断・表現のポイント」につながる二次元コードがある。 ○ A 話すこと・聞くことやB 書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。 ○ C 読むことにおいては、動画や外部サイトへのリンクによる作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。また、「対比と象徴」に着目して読むことにつながる二次元コードがある。 ○ その他として、動画による教科書の編集意図（国語を学ぶ意義）や思考方法（ツール）、探究学習への活用につながる二次元コードがある。 	〔知識及び技能〕	(1)言葉の特徴や使い方	漢字	常用漢字一覧 1		
				語彙	広がる言葉 5		
						文や文章	ゲーム 2 解説 2 練習問題 2
						言葉遣い	敬語のまとめ一覧 1
				(2)情報の扱い方	情報と情報の関係	導入動画 1 解説 1 練習問題 1	
		情報の整理	導入動画 1 解説 1 練習問題 1				
		〔思考力、判断力、表現力等〕	A 話すこと・聞くこと		学習の流れ(動画) 2 活動の具体例(テキスト) 3 (動画) 5 思考・判断・表現のポイント 3 言語活動の留意点 2		
			B 書くこと		学習の流れ(動画) 3 活動の具体例(テキスト) 4 思考・判断・表現のポイント 4 言語活動の留意点 3		
			C 読むこと		教材の朗読(動画) 3 解説(動画) 3 (外部) 5 作者(筆者)の言葉(動画) 8 作者の紹介(動画) 5 (外部) 6 思考・判断・表現のポイント 7 対比と象徴に関わる導入(動画) 1、解説1、練習問題1 教材の内容に関わる音声 2 教材の内容に関わる動画 2 教材の内容に関わる外部サイトへのリンク 1 教材のもととなった調査 1 読解の助け 1		
		その他		教科書の編集意図(動画) 1 百人一首一覧 1 古典文法 1 思考方法(ツール) 6 探究学習への活用 2 言語活動の留意点 2 書写との関連 1 ポイント一覧 1 コンテンツ一覧 2			
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 78 個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから複数の内容にリンクしている。 ○ [知識及び技能] については、(1)言葉の特徴や使い方及び(2)情報の扱いに関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] A 話すこと・聞くことやB 書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。 ○ C 読むことにおいては、外部サイトへのリンクによる作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。 ○ その他として、デジタル作品を全 88 作品、外部サイトへのリンクによる図書館検索、外部サイトへのリンクによる読書活動などにつながる二次元コードがある。 	び 技 能 〔知識及び技能〕	(1)言葉の特徴や使い方	漢字	ドリル 19 クイズ 8		
				文や文章	ドリル 2		
				(2)情報の扱い方	情報と情報の関係	情報の信頼性(外部) 1	
					〔思考力、判断力、表現力等〕	A 話すこと・聞くこと	
				B 書くこと		活動の具体例(テキスト) 1	
		C 読むこと		教材の朗読(音声) 4 作品の紹介・解説(外部) 12 作者(筆者)の言葉(動画) 2 作者の紹介(外部) 1 思考・判断・表現のポイント(動画) 6 (図解) 3 作品の他の場面(本文、口語訳) 8			
		その他		作品 88 教科書の使い方(動画) 1 コンテンツ一覧 2 扉コンテンツ一覧 8 ポイント一覧 1 思考スキル(動画) 1 思考ツール(ワークシート) 1 記録カード 3 記録カードの付け方 3 紹介図書一覧 3 図書館検索(外部) 3 3 分類、件名、ジャンル等(外部) 1 本の部分の名称(外部) 1 図書館の利用(外部) 1 読書活動(外部) 3 感想文メモ 1 感想文の書き方 2			

【国語】

		第3学年				
特徴		二次元コードからつながる内容とその数				
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 48個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから1つの内容にリンクしている。 ○ [知識及び技能] については、(1)言葉の特徴や使い方及び(2)情報の扱い方に関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] B書くことにおいては、活動の具体例を示す二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] C読むことにおいては、作品の紹介・解説につながる二次元コードがある。 ○ その他として、選書の仕方、読書活動、図書紹介や動画によるワールドカフェの仕方やジグソー学習の仕方につながる二次元コードがある。 	〔知識及び技能〕	(1)言葉の特徴や使い方	語彙	教材で学ぶ言葉5 (外部) 3	
				文や文章	助詞1 助動詞1	
				言葉遣い	(外部) 4	
		〔思考力、判断力、表現力等〕	B書くこと	(2)情報の扱い方	情報の整理	情報の信頼性の確かめ方1
(3)我が国の伝統文化	伝統的な言語文化			中学校第1学年の内容3		
その他	C読むこと	B書くこと		活動の具体例(テキスト) 3		
		C読むこと		作品の紹介・解説(テキスト) 6 作者(筆者)の言葉(動画) 4 作者の紹介(外部) 1 内容に関わる外部へのリンク 2		
		その他		コンテンツ一覧1 選書の仕方1 読書活動2 図書紹介1 本が貸し出されるまで(動画) 1 古典(外部) 3 ワールドカフェの仕方(動画) 1 ジグソー学習の仕方(動画) 1 表現に役立つ言葉1 学校の生活で気を付けること1		
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 68個の二次元コードがあり、1つの二次元コードから1つの内容にリンクしている。 ○ [知識及び技能] については、(1)言葉の特徴や使い方に関わる二次元コードがある。 ○ [思考力、判断力、表現力等] については、全ての領域において思考・判断・表現のポイントにつながる二次元コードがある。 ○ A話すこと・聞くことやB書くことにおいては、活動の具体例につながる二次元コードがある。また、話すこと・聞くことと書くこととの複合単元における思考・判断・表現のポイントにつながる二次元コードがある。 ○ C読むことにおいては、作者(筆者)のインタビューをテキストでまとめたものや動画につながる二次元コードがある。 ○ その他として、Web上の力試し問題につながる二次元コードがある。 	〔知識及び技能〕	(1)言葉の特徴や使い方	漢字	漢字16 漢字の一覧表8	
				語彙	小学校で学んだ語彙1 中学校第1・2学年で学んだ語彙1	
				文や文章	文法ワーク2 練習問題2	
		〔思考力、判断力、表現力等〕	A話すこと・聞くこと	A話すこと・聞くこと		活動の具体例(動画) 6 思考・判断・表現のポイント2 一覧1 表現テーマ例2
				B書くこと		活動(句会)の具体例(動画) 1 思考・判断・表現のポイント2 一覧1 書くことのミニレッスン3
				話すこと・聞くことと書くこととの複合		思考・判断・表現のポイント1 一覧1
				C読むこと		教材の朗読(音声) 5 作者(筆者)の言葉(テキスト・動画) 2 思考・判断・表現のポイント5 一覧2 内容に関わる動画1
		その他		その他		コンテンツ一覧3 言語活動の留意点2 Web上の力試し問題1 学校生活や社会生活に役立つ資料1

【書写】

書 写

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい書写
15	三 省 堂	現代の書写
17	教 出	中学書写
38	光 村	中学書写

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等及びページ数
		② 文字の書き方の示し方	筆使い及び紙面構成等の示し方
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫	目的や必要に応じた書き方を扱う場面の設定例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫	教科の学習や生活の様々な場面との関連を図った単元名等及びページ数
		⑤ 学習の見通しを立てるための構成上の工夫	学習過程の示し方と構成及び示し方の特徴
		⑥ 自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫	学習の目標及び振り返りの示し方
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・教材等の配列・分量	総ページ数、毛筆教材数・ページ数・毛筆教材例及び硬筆記入欄のページ数
		⑧ 伝統と文化に関する内容の記述	伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い
(オ)	内容の表現・表記	⑨ デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの数・内容及び扱い

【書写】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①姿勢、執筆法、用具の扱いの示し方
方法	正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等及びページ数

		正しい姿勢や執筆法、用具の扱い方等を示す写真・イラスト等	ページ数
東 書	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文字を整えて書くための姿勢（毛筆、硬筆） ○ 用具の名前・置き方 ○ 書きやすい鉛筆の持ち方 ○ 書きやすい筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法・懸腕法、小筆：提腕法・枕腕法） ○ 後かたづけ（大筆、小筆、硯） 	2
	イラスト・写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 墨のすり方 	
三省堂	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢と構え方（毛筆：懸腕法、硬筆） ○ 大筆の持ち方（双鉤法・単鉤法）、小筆の持ち方・構え方（提腕法・枕腕法） ○ 用具の扱い方（用具の準備・墨のすり方・用具の片づけ方） ○ 鉛筆の持ち方 	5
	イラスト	<ul style="list-style-type: none"> ○ 筆の運び方（筆圧・穂先・軸の傾き・腕の動き）と「筆脈を意識しよう」 	
教出	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本の姿勢（大筆：懸腕法） ○ 用具の置き方 ○ 毛筆の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：枕腕法・提腕法） ○ 硬筆の持ち方（鉛筆・ボールペン） ○ 墨のすり方 ○ 後片づけ 	2
光村	写真	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書くときの姿勢（大筆、姿勢のチェック欄） ○ タブレットを使う姿勢 ○ 筆記具の持ち方（大筆：双鉤法・単鉤法、小筆：提腕法・枕腕法、鉛筆） ○ 用具の準備 ○ 用具の片付け（大筆、小筆、硯） 	4

【書写】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②文字の書き方の示し方
方法	筆使い及び紙面構成等の示し方

第1学年 行書・点画の変化について示された紙面		
	筆使い	紙面構成等の示し方
東書	「点画の変化」	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1 見つけよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを、点線で筆脈を示している。 ○ ポイントとなる箇所、「行書の動きのパターン」に当てはまる筆使いをマークで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・右ページに学習のポイントを示し、左ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「見つけよう」では、楷書と行書で書かれた硬筆の文字を上下に示している。
三省堂	「点画の形や方向の変化」	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書き方を学ぼう」では、矢印や点線で筆脈を示し、言葉で解説している。 ○ 主教材となる文字の行書(朱墨と薄墨)と、楷書(黒墨)を並べて示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・右ページに書き方のポイントを示し、左ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「形の変化」では、楷書と行書で書かれた毛筆の文字を上下に示している。
教出	「点画の連続と変化1」	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを、矢印や点線で筆順と筆脈を示し、言葉で解説している。 ○ ポイントとなる箇所に、「変化」という文字と写真で筆使いを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページ <ul style="list-style-type: none"> ・左ページにポイントを示し、右ページ全面に主教材の文字を示している。 ○ 「試し書き」では、硬筆の楷書で字形を確認し、その下に硬筆の行書で書く欄を設けている。
光村	「点画の変化」	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「② 確かめよう」では、朱墨と薄墨で筆使いを示すとともに、ポイントとなる箇所に、写真と言葉で筆使いを示している。 ○ 半紙原寸大の主教材の文字の横に、朱墨と薄墨で筆使いを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4ページ <ul style="list-style-type: none"> ・見開き2ページで、学習の進め方を示している。 ・次の見開き2ページで、半紙原寸大の主教材の文字を示している。 ○ 「考えよう」では、楷書と行書で書かれた毛筆の文字を左右に並べて示している。

【書写】

観点	(イ)思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫
方法	目的や必要に応じた書き方を扱う場面の設定例

第2学年「楷書と行書の使い分け」		
	場面設定	特徴
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ インタビューのメモを取る。 ○ 試験の申し込み書を書く。 ○ 手紙を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」では、「楷書と行書を使い分けるには、どのような観点が必要か、理解しよう」と示している。 ○ 「見つけよう」では、場面に応じて楷書と行書のどちらで書くか考えるようにしている。 ○ 「確かめよう」では、手紙を書くには楷書と行書のどちらで書くか考えるようにしている。 ○ 「書写のかぎ」では、楷書と行書の特徴や使い分けの際の観点を示している。 ○ インタビューメモ・試験の申し込み書を、楷書と行書で書き分けた例を掲載している。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字テストの解答欄に記入する。 ○ 伝言を受けたときに、簡条書きでメモを書く。 ○ 贈り物をしてくれた相手にお礼状を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」では、「目的や必要に応じて、書体を選択して書くことができる」と示している。 ○ 「①」では、場面に応じて、楷書と行書のどちらで書くとよいか、理由も含めて話し合うようにしている。 ○ 「②」では、選択した書体で実際に書く欄を設けている。 ○ 書体を使い分ける際に意識することとして、「読み手」「目的」「状況」という観点を示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業中 <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューの内容をメモする。 ・ノートにまとめる。 ・学習した内容をまとめる。 ○ 手紙を書く ○ 学級活動 <ul style="list-style-type: none"> ・黒板に書く。 ・校内掲示物でお知らせをする。 ○ 学習発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・立て看板で行事があることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」では、「書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう」と示している。 ○ 学習活動や日常生活の中で、場面に応じた書き方をするにはどのような点に注意するとよいか、話し合えるようにしている。 ○ 「振り返ろう」では、評価の観点について「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入する欄を設けている。 ○ どのような点に注意するとよいか、話し合うための観点を示している。 ○ 楷書や行書が使われている場面の写真を掲載している。 ○ 教科書右下にある二次元コードから、話し合いの観点を整理するワークシートにアクセスできる。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ インタビューのメモを取る。 ○ 選挙ポスターを書く。 ○ 高校の入学願書を書く。 ○ クラスの意見を黒板に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「目標」では、「場面に応じて、楷書か行書かを選択して書く必要があることを理解しよう」と示している。 ○ 「考えよう」では、場面に応じて、楷書と行書のどちらで書くか考えるようにしている。 ○ 「確かめよう」では、考えた理由を話し合えるようにしている。 ○ 「生かさう」では、場面を選んで、楷書か行書で名前を書くようにしている。 ○ 「学びのかぎ」では、楷書と行書を使い分ける際の観点を示している。

【書写】

観点	(ウ)主体的に学習に取り組む工夫
視点	④他の学習や生活の様々な場面につなげるための工夫
方法	教科の学習や生活の様々な場面との関連を図った単元名等及びページ数

	学年	単元名等	教材名・資料名	ページ数
東 書	1	○ 読みやすく書く—楷書 ○ 読みやすく速く書く—行書①	「文字といっしょに 手書き文字と活字」 「生活に広げよう 手紙を書こう—お礼状」 「文字といっしょに 文字の移り変わり」 「生活に広げよう 年賀状を書こう」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 職場訪問をしよう」 「文字といっしょに いろは歌」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「少年の日の思い出」「竹取物語」	18
	2	○ 読みやすく速く書く—行書② ○ 楷書と行書を使い分ける	「文字といっしょに 伝統的な用具・用材」 「生活に広げよう 本のポップを書こう」 「楷書と行書の使い分け」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 地域の活動に参加しよう—防災訓練」 「文字といっしょに 筆記具の使い分け」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「枕草子」「走れメロス」	16
	3	○ 身の回りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く	「身の回りの文字の目的と工夫」 「手書き文字の特徴」 「現代につながる文字の役割」 「自分のノートを見直す—効果的な書き方を工夫する」 「文字といっしょに 書き初めをしよう」 「生活に広げよう 思いを文字で表そう」 「文字といっしょに 書いて味わおう」 ・「故郷」「おくのほそ道」 「文字といっしょに 書の古典—今に生きる書」	24
	書写 活用 ブック	○ さまざまな書式 ○ ノートの取り方・レポートの書き方	「手紙」 「ポスター・フリップ」 「新聞・リーフレット」 「その他の書式」	15

【書写】

	学年	単元名等	教材名・資料名	ページ数
三省堂	巻頭		「国語 朝のリレー」	2
	1	○ 楷書	「国語 活字と手書き文字・筆順」	10
		○ 楷書と仮名	「書いて身につけよう 仮名の字形／文字の大きさと配列」 ・国語「空中ブランコ乗りのキキ」「レポート」 「文字の変遷」	
	2	○ 行書	「書いて身につけよう 点画の丸み／点画の連続／点画の形や方向の変化」 ・国語「竹取物語」「故事成語一矛盾」「トロッコ」「少年の日の思い出」 「国語 やってみよう グループ新聞を作ろう」	10
		○ 行書と仮名	「書いて身につけよう 点画の省略／筆順の変化」 ・四十七都道府県名	
		○ 楷書と行書	「書いて身につけよう 行書と仮名の調和／行書に調和する仮名」 ・国語「枕草子」「平家物語」はがき 表面 裏面	
3	○ 文字文化の豊かさ	「楷書と行書の使い分け」 「国語 やってみよう 情報誌を作ろう」	8	
資料編	○ 日常の書式	「身のまわりの文字」 「書いて身につけよう 身のまわりの文字」 ・国語「おくのほそ道」「坊っちゃん」 「国語 やってみよう 名言集を作ろう」	21	
	○ 書写の広場	「便箋と封筒の書き方」 「はがきの書き方」 「送り状・のし袋・願書・原稿用紙の書き方」		
巻末			「国語 歌の言葉「群青」」	1

【書写】

	学年	単元名等	教材名・資料名	ページ数
教 出	巻頭		「目的に合わせて書こう」 「知りたい！さまざまな筆記具」 「ふしぎ」	5
	1	○ 楷書で書こう ○ 楷書と仮名を調和させて書こう ○ 行書で書いてみよう ○ 書き初めを書く	「学習内容を効果的にノートに書こう」 「コラム 筆、墨、硯、紙について知ろう」 「学習を生かして書くー配列ー」 ・「竹取物語」 「学校生活に生かして書く」 ・校庭の植物の観察をレポートにまとめる ・お薦めの本の帯やポップを作る ・ポスターを書く（ポスターセッション用） 「コラム 文字の変遷」 「行書学習のはじめに」 「コラム あの人が残した文字」 「コラム 活字について知ろう」 (書き初め) 「コラム 「書くこと」の変遷」	27
	2	○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう ○ 学習活動や日常生活に生かして書こう ○ 書き初めを書く	「行書に調和する仮名「いろは歌」」 「文字の大きさと配列」 「コラム 短冊と色紙」 「書く速さを意識して書くー行書と仮名の調和ー」 「学習を生かして書くー行書と仮名の調和と配列ー」 ・「枕草子」「平家物語」 「さまざまな書く場面」 「コラム 日本建築と「書」」 「学習を生かして書く」 ・新聞を書く ・掲示物（ポスター）に案内を書く ・案内状を書く 「コラム 書の古典の鑑賞」 (書き初め)	24
	3	○ 行書と仮名を調和させて書こう ○ 身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書こう ○ 書き初めを書く	「学習を生かして書くー配列ー「おくのほそ道」」 「多様な表現による文字」 「三年間の学習の成果を生かそう」 (書き初め)	14
	巻末	○ 書式の教室 ○ 書写で身に付けた力を、学習活動で活用しよう ○ 補充教材集 ○ 芸術としての書道	「手紙の書き方」「一筆箋の書き方／封筒の書き方」 「はがきの書き方／年賀状／暑中見舞い」 「都道府県名一覧表」 「往復はがきの書き方／電子メールの書き方」 「包み紙の書き方／エアメールの書き方」 「原稿用紙の書き方／小包伝票の書き方」 「願書の書き方／志願理由書の書き方」 「さまざまな考えをまとめる」 「段落の構成を考える」 「スピーチを評価しながら聞く」 「材料を整理して案内文を書く」 「行書と仮名の調和」	13

【書写】

	学年	単元名等	教材名・資料名	ページ数
光 村	別冊 「書写ブック」	○ 1年生[楷書]	「言葉を書こう1」 ・「竹取物語」、防災かるた、心情を表す言葉	11
		○ 2年生[行書]	「筆順の変化」 ・和歌2首 「言葉を書こう2」 ・「平家物語」「走れメロス」「人物を表す言葉」「学習や日常に生かす」	
		○ 3年生	「言葉を書こう3」 ・「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」「おくのほそ道」「ことわざ・慣用句」	
		○ 2～3年生	「都道府県名を練習しよう」 「年賀状を書こう」	
	1	○ 読みやすく書くための楷書	「コラム 文字の歴史を探る」	5
		○ 読みやすく速く書くための行書	「国語 季節のしおり①」 ・俳句、短歌、季節の言葉 「国語 情報収集の達人になろう」	
		○ 文字を使い分ける	「楷書と行書の使い分け」 「国語・学校生活 行書を活用しよう」 ・応援旗、めくり、ポップ、学級目標、年賀状 「コラム 全国フォント見つけ隊」 「国語 季節のしおり②」 ・「枕草子」 「国語 職業ガイドを作ろう」	
	2	○ 文字を使い分ける	「考えよう 手書きのよさって、何だろう」 「全国文字マップ」 「文字の使い分け」 「コラム ユニバーサルデザインフォントって何だろう」 「総合 防災フェスタを開こう」	18
		○ 未来へ向かって	「コラム 自分らしい文字」 「国語 季節のしおり③」 ・和歌、短歌、俳句、詩 「国語 冊子にまとめよう」 「書く道具が生まれる」 「発展 なりきり、書聖・王羲之」	
	3	○ 日常に役立つ書式	「手紙の書き方／はがきの書き方／送り状の書き方／入学願書の書き方／原稿用紙の書き方／レポートの書き方」 「国語・学校生活 通信文を見てみよう」 ・メール、タッチペンでの署名、プレゼンテーション、デジタル付箋 「学校生活 手書きで伝えよう」	28
○ 書き初めマスターブック		「全国書き初め調べ隊」 「書き初め1年生」 「書き初め2年生」 「書き初め3年生」		

【書写】

観点	(ウ)主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤学習の見通しを立てるための構成上の工夫
方法	学習過程の示し方と構成及び示し方の特徴

	学習過程の示し方と構成	示し方の特徴
東 書	<p>「書写の学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標を確かめて、学習の見通しを持つ。 ○ 1 見つけよう <ul style="list-style-type: none"> 「書写のかぎ」を見つける。 ○ 「書写のかぎ」学ぶこと <ul style="list-style-type: none"> ・学習のポイント。 ・言葉でまとめている。 ・キーワードは太字で示している。 ○ 2 確かめよう <ul style="list-style-type: none"> 実際に書いて確かめる。 ○ 3 生かそう <ul style="list-style-type: none"> 「書写のかぎ」を生かして、ほかの文字を書く。 ○ 振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返って、目標を達成できたか自己評価する。 ・「書写のかぎ」のキーワードを使って、自分の言葉で説明しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書写の学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示している。 ○ 「1 見つけよう」では、「書写のかぎ」を見つけるための視点を示している。 ○ 「書写のかぎ」は目標を達成できるよう、箇条書きで記載されている。 ○ 「3 生かそう」や「生活に広げよう」では、学んだことを他の文字や生活の中で生かすための活動などを示している。 ○ 「振り返ろう」では、学習を通して理解したことを自分の書いた文字で振り返ったり、学習してきたことをどのように活用したかを話し合ったりする活動を示している。
三 省 堂	<p>「この教科書の使い方・自分の文字をよりよくするために」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ① 目標を確かめて学習の見通しをもつ。 ○ 書き方を学ぼう <ul style="list-style-type: none"> ② 書き方のポイントをつかむ。 ③ 書き方のポイントが、他の文字ではどこに使われているかを見つける。 ○ ④ 書き方のポイントを意識して毛筆で書く。 ○ ⑤ 教材で学んだことを振り返る。 ○ 書いて身につけよう <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 硬筆で繰り返し書いて、学びを確かなものにする。 ⑦ 単元を通して学んだことが実際に活用できているか書いて確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「この教科書の使い方」では、「教材の構成」と「学習の流れ」を上下2段で対応させて示している。 ○ 「学習の流れ」では、単元における学習の流れを示し、「教材の構成」で示している縮小した教材と照らし合わせることで学習の流れの具体が想起しやすい構成となっている。 ○ 「書き方を学ぼう」で身に付けた書き方のポイントを意識して毛筆で書き、「書いて身につけよう」では学びを生かして硬筆で書くことで、学んだことの定着を図るような構成となっている。 ○ 単元末の「自分が学んだことを書き残そう。」では、学んだことを自分の言葉でまとめることができる記入欄を設けている。

【書写】

	学習過程の示し方と構成	示し方の特徴
教 出	<p>「学習の進め方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 目標 <ul style="list-style-type: none"> ・学習の目標を確かめよう。 ・学習のはじめに、硬筆や毛筆で書こう。 ○ 考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・試し書きと教科書の文字とを比べ、自分の課題を見つけよう。 ◆課題を発見し、課題を解決していく学び方 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を発見する。 ・課題に合った練習用紙を選択して練習する。 ◆話し合い活動をととした学び方 <ul style="list-style-type: none"> ・まとめ書きについて意見を交換しよう ・筆使いを見て意見を交換しよう ○ 生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆で学習したことを生かして、硬筆で他の文字を書こう。 ・まとめとして硬筆や毛筆で書き、試し書きと比べてみよう。 ○ 振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・課題が解決できたかどうかを自己評価し、学習を振り返ろう。 ◆相互評価をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・試し書きとまとめ書きとを比べて、よくなったところを伝え合う。 ○ 学習や日常生活に生かそう 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 学習の目標を確かめた後、硬筆や毛筆で試し書きをすることで「考えよう」において自分の課題が見付けやすい構成となっている。 ○ 「考えよう」では、具体的に話し合う活動をさせるために「書写の学習用語」を示している。 ○ 「生かそう」では、まとめとして書いた文字を試し書きと比べる活動を示している。 ○ 「振り返ろう」では、評価の観点を示し、その観点に沿って「できた＝○」「もう少し＝△」で自己評価できる欄を設けている。
光 村	<p>「中学書写スタートブック」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の進め方 <ol style="list-style-type: none"> ①考えよう <ul style="list-style-type: none"> ・課題について考えよう。 ・「学びのカギ」で、文字の整え方を確かめよう。 ②確かめよう <ul style="list-style-type: none"> ・書き方を確かめて、毛筆で書こう。 ③生かそう <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを、生かして書こう。 ○ 振り返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成できたか評価しよう。 ○ タブレットを活用しよう <ul style="list-style-type: none"> 活用① 筆使いや姿勢・持ち方の動画を見る。 活用② 書いている姿を撮影し、筆使いや姿勢を確かめる。 活用③ 書いた文字を撮影し、自分の課題を見つける。 ○ 整理体操 <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを使った後にやってみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「中学書写スタートブック」の「学習の進め方」では、上段に「学習の進め方」下段に「タブレットを活用しよう」を設け、学習の過程におけるタブレットの活用例を示している。 ○ 「学習の進め方」では、基本となる学習の流れを示し、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示している。 ○ 「考えよう」では、課題について考えたり話し合ったりする活動を示している。 ○ 「生かそう」では、硬筆で書いたり、学校生活でも書写の学習を生かしたりできることを示している。 ○ 「振り返ろう」では、目標の上に「○」枠を設け、振り返ることができたら「✓」を記入する欄を設けている。

【書写】

観点	(ウ)主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥自らの課題を発見し、自己調整しながら学習に取り組むための工夫
方法	学習の目標及び振り返りの示し方

		第1学年「楷書」		
	単元名	教材名等	上段：目標の記述	示し方
			下段：振り返りの記述	
東 書	読みやすく書く一楷書	○ 点画の書き方と字形の整え方 ・「大志」	○ 点画の書き方と字形の整え方を理解して書こう。 ○ 点画の書き方と字形の整え方について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。	○ 「目標」と明記し、学習のまとまりごとにページ右下部に目標を示している。 ○ 「振り返ろう」と明記し、目標と対応させ、学習のまとまりごとに振り返りを示している。
		○ 仮名の書き方と字形 ・「あいうえお…」(五十音表)	○ 仮名の書き方と字形の特徴を理解して書こう。 ○ 仮名の書き方と字形の特徴について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。	
		○ 文字の大きさと配列 ・「夏山の 緑うつりし小窓かな」	○ 文字の大きさと配列の整え方を理解して書こう。 ○ 文字の大きさと配列の整え方について理解したことを、自分の書いた文字で振り返ろう。	
		○ 生活に広げよう 手紙を書こうーお礼状	○ お礼の気持ちが伝わる書き方をしよう。 ○ これまでに書写で学習してきたことをどのように活用したか話し合おう。	
三省堂	楷書	○ 字形の整え方と筆使い ・「天地」	○ 字形の整え方と楷書の点画の筆使いを理解して書くことができる。 ○ 字形の整え方と楷書の点画の筆使いを理解して書くことができましたか。	○ 「目標」と明記し、学習のまとまりごとにページ右下部に目標を示している。 ○ 振り返りのマークとともに、振り返りを示している。 ○ 単元末には、「振り返ろう」と明記し、学習したことを硬筆で書き直す枠を設けるとともに、学んだことを自分の言葉で書く欄を設けている。
		○ 書いて身につけよう 字形の整え方(点画の組み立て・部分の組み立て・外形)	○ 毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。 ○ 学習したことを意識して、上の例を書き直そう。 ○ 自分が学んだことを書き残そう。	
	楷書と仮名	○ 仮名の字形と筆使い ・「いろは歌」	○ 仮名の字形と筆使いを確かめて書くことができる。 ○ 仮名の字形と筆使いを確かめて書くことができましたか。	
		○ 文字の大きさと配列 ・「暑き日を 海に入れたり 最上川」	○ 文字の大きさと配列を意識して、読みやすく書くことができる。 ○ 文字の大きさと配列を意識して、読みやすく書くことができましたか。	
		○ 書いて身につけよう 仮名の字形／文字の大きさと配列	○ 毛筆で学んだことを硬筆に生かそう。 ○ 学習したことを意識して、左の文を書き直そう。 ○ 自分が学んだことを書き残そう。	

【書写】

第1学年「楷書」					
	単元名	教材名等	上段：目標の記述	示し方	
			下段：振り返りの記述		
教 出	楷書で書こう	○ 筆使い—基本点画—	○ 基本的な筆使いを理解し、書いてみよう。 —	○ 「目標」と明記し、目標のマークとともに学習のまとまりの最初のページに目標を示している。 ○ 「振り返ろう」と明記し、振り返りのマークを示し、評価の観点に沿って「○=できた」「△=もう少し」で自己評価を記入する欄を設けている。	
		○ 筆使いと字形 ・「天地」「成功」	○ 楷書の点画の筆使いと字形を理解して書こう。 ○ 楷書の点画の筆使いと字形を理解して書けたか。		
		○ 学習を生かして書く —字形、筆順—	○ 字形の整え方と筆順のきまりを理解して書こう。 ○ 字形の整え方を確かめて書けたか。 ○ 筆順を理解して、字形を整えて書けたか。		
	楷書と仮名を調和させて書こう	○ 楷書に調和する仮名 ・「いろは歌」 ・「ありがとうございました」「よろしくお願 いします」	○ 楷書に調和する仮名の筆使いを確かめよう。 ○ 平仮名の筆使いを理解できたか。		
		○ 学習を生かして書く —配列—	○ 漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書こう。 ○ 漢字と仮名の大きさを理解して書けたか。 ○ 行の中心を理解して書けたか。		
		○ 学校生活に生かして書く	○ 漢字と仮名の配列を理解して、日常の学習に生かして書こう。 ○ 漢字と仮名の配列を理解して、日常の学習に生かして書けたか。		
			—		
	光 村	読みやすく書くための楷書	○ 漢字を分解してみよう ・点画の種類①～⑨		— —
			○ 漢字の筆使い ・「天地」		○ 漢字を構成する点画の種類と、その筆使いを確かめて書こう。 —
			○ 楷書に調和する仮名 ・「いろは歌」		○ 平仮名の筆使いや字形を確かめて書こう。 —
○ 文字の大きさと配列 ・「五月雨を あつめて 早し 最上川」			○ 文字の大きさと配列のポイントを確かめ、読みやすく書こう。 —		

【書写】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元・教材等の配列・分量
方法	総ページ数、毛筆教材数・ページ数・毛筆教材例及び硬筆記入欄のページ数

	学年	総ページ数 (※は、複数の学年で 扱うページ含む)	毛筆 教材数	毛筆教材を 扱うページ数	第1学年で扱う 毛筆教材例	硬筆記入欄の ページ数
東 書	1	39 巻末折込 4	11	20	「大志」 「あいうえお…(五十音)」 「夏山の緑うつりし小窓	10
	2	25 巻末折込 4	9	14	かな 「日光」 「大空」	8
	3	17 巻末折込 8	5	6	「早春」 「夢の実現」	1
	資料編 等	46	0	0	「温故知新」 「美しい緑」	0
三省 堂	1	34	7	16	「天地」 「いろは歌」 「暑き日を海に入れたり	11
	2	22	4	8	最上川 「名月」	9
	3	9	1	1	「元気」 「探究」	2
	資料編 等	33 巻末折込 12	14	15	「日進月歩」 「輝く生命」	0
教 出	1	57 折込 8	12	24	「天地」 「成功」 「いろは歌」	12
	2	30 巻末折込 4	9	14	「ありがとうございました」 「よろしくお願ひします」	11
	3	13 巻末折込 4	6	7	「大」 「大洋」 「栄光」	2
	資料編 等	30	13	3	「平和」 「新たな決意」 「伝統文化」	0
光 村	1	27	6	22	「天地」 「いろは歌」 「五月雨をあつめて早し	6 書写ブック 11
	2	21	4	12	最上川 「大木」	6 書写ブック 6
	3	23	2	2	「日光」	4 書写ブック 4
	資料編 等	46 +巻末折込 16 (※書写ブックは除く)	21	13		5 ※他、「書写ブック」2～3年生として4ページある。

【書写】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧伝統と文化に関する内容の記述
方法	伝統的な言語文化に関する単元名等、ページ数及び内容の扱い

	学年	単元名等	ページ数	内容の扱い
東書	1	○ 文字といっしょに「手書き文字と活字」	2	○ 明朝体の始まりを扱っている。
		○ 読みやすく書く一楷書「仮名の書き方と字形」	2	○ 平仮名の成り立ちを扱っている。
		○ 文字といっしょに「文字の移り変わり」	2	○ 文字の変遷を扱っている。
		○ 文字といっしょに「書き初めをしよう」	5	○ 書き初めを扱っている。
		○ 文字といっしょに「いろは歌」	1	○ 平安時代から伝わる「いろは歌」を扱っている。
		○ 文字といっしょに「書いて味わおう」	1	○ 「少年の日の思い出」「竹取物語」を扱っている。
	2	○ 読みやすく速く書く一行書②「行書に調和する仮名」	2	○ 平仮名の成り立ちを扱っている。
		○ 文字といっしょに「伝統的な用具・用材」	2	○ 文房四宝を扱っている。
		○ 文字といっしょに「書き初めをしよう」	5	○ 書き初めを扱っている。
		○ 文字といっしょに「筆記具の使い分け」	1	○ 8つの筆記具を扱っている。
		○ 文字といっしょに「書いて味わおう」	1	○ 「枕草子」「走れメロス」・短歌を扱っている。
		○ 身の回りの文字の豊かさに触れ、効果的に書く「現代につながる文字の役割」	2	○ 時代ごとの文字の役割を扱っている。
3	○ 文字といっしょに「書き初めをしよう」	5	○ 書き初めを扱っている。	
	○ 文字といっしょに「書いて味わおう」	1	○ 「故郷」「おくのほそ道」を扱っている。	
	○ 文字といっしょに「書の古典一今に生きる書」	4	○ 発展的な学習の教材として、高等学校の学習内容である書の古典を扱っている。	
三省堂	1	○ 楷書と仮名「仮名の字形と筆使い」	2	○ 平仮名の発生、楷書の教材として「いろは歌」を扱っている。
		○ 「文字の変遷」	2	○ 5つの書体を扱っている。
	2	○ 行書と仮名「行書に調和する仮名」	4	○ 行書の教材として「いろは歌」「枕草子」「平家物語」を扱っている。
	3	○ 文字文化の豊かさ「身のまわりの文字」	4	○ 文字文化としての文字の変遷、「おくのほそ道」「坊っちゃん」を扱っている。
		○ 書写の広場「文房四宝」	2	○ 毛筆道具と進化する筆記具の変遷を扱っている。
	資料編	○ 書写の広場「書の古典」	2	○ 発展的な学習の教材として、高等学校の学習内容である王羲之と光明皇后の書を扱っている。
○ 書き初め		12	○ 書き初めを扱っている。	

【書写】

	学年	単元名等	ページ数	内容の扱い
教 出	1	○ コラム「筆、墨、硯、紙について知ろう」	2	○ 文房四宝を扱っている。
		○ 楷書と仮名を調和させて書こう「楷書に調和する仮名「いろは歌」」	2	○ 仮名の成立として「いろは歌」を扱っている。
		○ 楷書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く－配列－」	2	○ 「竹取物語」を扱っている。
		○ コラム「文字の変遷」	2	○ 文字の変遷について扱っている。
		○ 行書で書いてみよう「行書学習のはじめに」	2	○ 行書の起源と特徴を扱っている。
		○ コラム「あの人が残した文字」	2	○ 日本の歴史上の人物の書や手紙等を扱っている。
	2	○ 書き初めを書く	4	○ 書き初めを扱っている。
		○ コラム「「書くこと」の変遷」	4	○ 過去から現代に至る手書き文化について扱っている。
		○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう「行書に調和する仮名「いろは歌」」「気持ちのつながりから文字のつながりへ」	2	○ 「いろは歌」について扱うとともに、高等学校の内容として、平安時代の「連綿」を扱っている。
		○ コラム「短冊と色紙」	1	○ 平安時代や江戸時代の「懐紙」「色紙」「短冊」を扱っている。
		○ 行書と仮名を調和させて書いてみよう「学習を生かして書く－行書と仮名の調和と配列」	4	○ 「枕草子」「平家物語」を扱っている。
		○ コラム「日本建築と「書」」	2	○ 高等学校の内容として「書院造り」を扱っている。
		○ コラム「書の古典の鑑賞」	1	○ 高等学校の内容として、書風を扱っている。
		○ 書き初めを書く	4	○ 書き初めを扱っている。
		3	○ 行書と仮名を調和させて書こう「学習を生かして書く－配列－」	2
○ 巻末「芸術としての書道」	1		○ 高等学校の内容として、古典文学を扱っている。	
○ 書き初めを書く	4		○ 書き初めを扱っている。	
光 村	1	○ 楷書に調和する仮名	2	○ 楷書として「いろは歌」を扱っている。
		○ コラム「文字の歴史を探る」	2	○ 文字の歴史を扱っている。
		○ 季節のしおり1	2	○ 古典や和歌・短歌・俳句を扱っている。
	2	○ 行書に調和する仮名	2	○ 行書として「いろは歌」を扱っている。
		○ 季節のしおり2	2	○ 「枕草子」を扱っている。
	3	○ 季節のしおり3	2	○ 古典や短歌・俳句を扱っている。
		○ 「なりきり、書聖・王羲之」	1	○ 高等学校の内容として、王羲之の書を扱っている。
巻末	○ 書き初めマスターブック	8	○ 書き初めの由来や全国の書き初め文化、書き初めのポイントを扱っている。	
	○ 書き初め	16	○ 書き初めを扱っている。	

【書写】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨デジタルコンテンツの活用
方法	デジタルコンテンツの数・内容及び扱い

		数・内容					扱い			
		二次元コード数	資料数	資料の内容				その他		
				動画			資料動画			
				書字動画						
				毛筆	硬筆					
東書	巻頭	2	2	0	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「書写の学習の進め方」の「コンピューターを学習に生かそう」の項で、二次元コードの使い方を示すとともに、教科用図書に掲載のデジタルコンテンツ一覧にアクセスできるURLと二次元コードを示している。 ○ 第1学年「はじめに」の二次元コードから、既習内容や姿勢と筆記具の持ち方、基本の点画の書き方等が確認できる。 ○ 1つの二次元コードから、複数の資料にアクセスできる。 ○ 他教科に関連する内容のページの二次元コードから、東京書籍の国語科の教科用図書の関連ページを確認できる。 ○ 学年末の「書写テストに挑戦!」の二次元コードから書写テストに回答できる。 		
	1年	14	42	25	0	12	5			
	2年	9	14	8	0	4	2			
	3年	4	6	5	0	0	1			
	巻末 (書写活用ブック)	4	4	0	0	0	4			
	計	33	68	38	0	17	13			
	三省堂	裏表紙	1	1	0	0	0		1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭の「学習のはじめに」の二次元コードから、毛筆の際の姿勢や筆の持ち方、用具の使い方等、硬筆の際の姿勢や鉛筆の持ち方等が確認できる。 ○ 学習の参考となる動画資料(外部サイト)を参照できる二次元コードが3つある。 ○ 他教科に関連する内容のページの二次元コードから、三省堂の国語科の教科用図書の関連ページを確認できる。 ○ 二次元コードの上部に「解説動画」「参考資料」等、確認できる資料の概要が記載されている。
目次、巻頭		3	11	0	0	11	0			
1年		16	30	23	0	3	4			
2年		9	9	7	0	0	2			
3年		2	2	1	0	0	1			
巻末 (資料編)		10	16	6	0	0	10			
計		41	69	37	0	14	18			

【書写】

		数・内容					扱い	
教 出		二次元 コード数	資料数	資料の内容				その他
				動画			資料動画	
				書字動画				
				毛筆	硬筆			
	巻頭	9	11	0	0	7	4	
	1年	15	43	23	11	2	7	
	2年	12	22	9	6	0	7	
3年	6	9	3	1	0	5		
巻末	3	15	13	0	0	2		
計	45	100	48	18	9	25		
光 村		二次元 コード数	資料数	資料の内容				その他
				動画			資料動画	
				書字動画				
				毛筆	硬筆			
	別冊 (書写 ブック)	1	1	0	0	0	1	
	巻頭	12	18	0	0	14	4	
	1年	18	19	10	1	4	4	
	2年	11	12	6	0	0	6	
	3年	7	7	2	0	0	5	
巻末	8	11	3	1	6	1		
計	57	68	21	2	24	21		

- 目次及び巻頭「「まなびリンク」を活用しよう」ページで、学習におけるデジタルコンテンツの使い方が例示されている。
- 筆や硯などの学習用具を製作している会社や組合など、学習に関連する団体のWebページの画像を閲覧できる二次元コードが2つ、国立文化財機構所蔵品統合検索システムにアクセスできる二次元コードが1つある。
- ワークシートを閲覧できる二次元コードが3つある。
- 毛筆の主教材を毛筆・硬筆の楷書・硬筆の行書で書字する動画が閲覧でき、それぞれを比較しながら学習できるようになっている。
- 巻頭の二次元コードでは、用具の扱い方や準備の仕方、姿勢、学習の前後の体操の様子の動画が閲覧できる。
- 学習の参考となるアニメーション動画を閲覧できる二次元コードが3つある。
- 二次元コード上部に「動画」「他の文字にもチャレンジ！」等、確認できる資料の概要が記載されている。
- 「文字マップ」や「SDGsについて」等、教科用図書に収録されていない関連資料を閲覧できる二次元コードが6つある。
- 「他の文字にもチャレンジ」と書かれた二次元コードからは、補助教材（毛筆の手本）が閲覧できる。

社 会（地理的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい社会 地理
17	教 出	中学社会 地理 地域にまなぶ
46	帝 国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
116	日 文	中学社会 地理的分野

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	「日本の諸地域」における日本の地域区分、中核とした考察の仕方及び内容 領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	「世界の諸地域」の地域区分、主題（地球的課題）の記載及び知識及び技能を身に付けさせる記載例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例
		⑤ 学習のまとめの工夫	単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫	各単元の導入における学習の見通しをもたせる工夫及び具体例
		⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	「地域の在り方」における調査の手順及び方法の記載例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量	総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容のページ数
		⑨ 防災教育の充実	「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数
		⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東書	○ 「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように／どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。	「世界の姿」
		○ 「大陸と海洋は、どのように分布しているでしょうか。また、世界はどのように区分的ことができるでしょうか。」 ○ 「地球上のさまざまな場所の位置を表すには、どのような方法があるでしょうか。」
教出	○ 「地図から見える世界」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのような～でしょうか。」「～比べましょう」等の表現で、1時間の学習課題を示している。	「世界の地域構成」
		○ 「陸地と海の分布にはどのような特徴があるのでしょうか。」 ○ 「世界の国々について、面積や人口に注目して比べましょう」
帝国	○ 「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように／どのような～だろうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。	「世界の姿」
		○ 「地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また、世界はどのように区分的ことができるのだろうか。」 ○ 「世界の国々や都市の位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。」
日文	○ 「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示している。タイトルの下に「どのように／どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。	「世界の地域構成」
		○ 「地球上で、大陸や海洋はどのように広がっているのでしょうか。」 ○ 「地球儀と世界地図には、それぞれどのような特色があるのでしょうか」

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	「日本の諸地域」における日本の地域区分、中核とした考察の仕方及び内容

	日本の地域区分	中核とした考察の仕方	考察する内容（近畿地方）
東 書	九州地方	自然環境	○ 人口や都市・村落に注目 1 近畿地方をながめて 2 大都市圏の形成と古都の歴史 3 ニュータウンの変化と農村の変化 4 山村・漁村の暮らしと地域の結び付きの変化
	中国・四国地方	交通や通信	
	近畿地方	人口や都市・村落	
	中部地方	産業	
	関東地方	交通や通信	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	自然環境	
教 出	九州地方	自然環境とその保全	○ 歴史的な視点から、近畿地方の特色を 考えていこう。 1 歴史に育まれた地域 2 京都の街並みと伝統文化 3 阪神工業地帯の発展と今後 4 都市の成り立ちと広がり 5 琵琶湖の水の利用と環境
	中国・四国地方	人口集中や人口減少	
	近畿地方	歴史的な視点	
	中部地方	産業	
	関東地方	交通・通信	
	東北地方	地域の伝統文化と産業の 変化	
	北海道地方	自然環境と関連する産業	
帝 国	九州地方	自然環境	○ 環境保全に注目して 1 近畿地方の自然環境 2 琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 3 阪神工業地帯と環境問題への取り組み 4 古都京都・奈良と歴史的景観の保全 5 環境に配慮した林業と漁業
	中国・四国地方	交通や通信	
	近畿地方	環境保全	
	中部地方	産業	
	関東地方	人口や都市・村落	
	東北地方	生活・文化	
	北海道地方	自然環境	
日 文	九州地方	自然環境	○ 歴史的背景をテーマに 1 近畿地方の自然環境と人々のかかわり 2 現在にいきづく歴史的都市の特色 3 港町から世界へ 4 伝統を生かした産業と世界進出 5 歴史を未来へつなぐ取り組み
	中国・四国地方	交通・通信	
	近畿地方	歴史的背景	
	中部地方	産業	
	関東地方	人口や都市・村落	
	東北地方	持続可能な社会づくり	
	北海道地方	自然環境	

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

領土をめぐる問題等に関する記載の仕方	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北方領土・竹島と尖閣諸島 領土をめぐる問題をかかえる島々 ・項目 「地理的に見る島々の特色」「水産資源にめぐまれた竹島」「貴重な自然が残る北方領土」「資源が期待される尖閣諸島」 ・地図 「竹島、尖閣諸島、北方領土の位置」「竹島の2万5000分の1地形図」「北方領土周辺の地形」「歯舞群島がのる20万分の1地勢図」「久場島の5万分の1地形図」 ・写真 「竹島」「断崖に囲まれた竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「自然環境にめぐまれた択捉島」「尖閣諸島の南小島、北小島、魚釣島」「尖閣諸島の久場島」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の領土をめぐる 日本国境をめぐるさまざまな動き ・項目 「北方領土をめぐる問題」「竹島と尖閣諸島」 ・年表 「北方領土に関する主なできごと」 ・地図 「北方領土とその周辺」「南東を上にして、日本海周辺を描いた地図」 ・写真 「ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団」「竹島」「尖閣諸島」
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の領域とその特徴 ・項目 「国際法に基づく日本の領土」「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」 ・地図 「北方領土周辺の国境の移り変わり」「竹島の位置」「尖閣諸島の位置」 ・写真 「北方領土の島々」「日本国民と北方領土に住むロシア人との交流」「竹島」「隠岐の人々が行っていた竹島での漁の様子」「尖閣諸島」 ・読み物資料 「漁業が盛んだった昔の竹島」 ・注釈 「日本は、サンフランシスコ平和条約において、樺太（サハリン）の一部や千島列島を放棄しましたが、北方領土の4島はその放棄地に含まれていないという立場をとっています。」
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の領域をめぐる問題をとらえよう ・項目 「北方領土」「竹島」「領土問題の解決に向けて」「尖閣諸島をとりまく情勢」 ・地図 「北方領土・竹島・尖閣諸島の位置」「北方領土付近の国境の変化」 ・写真 「羅臼町から見た国後島」「元島民らによる洋上からの先祖の慰霊」「竹島」「竹島に関する資料を展示する「竹島資料室」「尖閣諸島」「尖閣諸島の日本の領海に侵入する中国の船」「北方領土・竹島・尖閣諸島などに関する資料を展示する国立の施設「領土・主権展示館」」

【社会（地理的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得	
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	
方法	「世界の諸地域」の地域区分、主題（地球的課題）の記載及び知識及び技能を身に付けさせる記載例	

	「世界の諸地域」の地域区分	主題（地球的課題）	知識及び技能を身に付けさせる記載例
東 書	アジア州	人口・居住・都市の問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「未来にアクセス」というコーナーを設けている。 ○ 本文に「+解説」を付け、「+もっと解説」で本文の記述や言葉を補足したり、解説したりしている。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	国家間の統合の問題	
	アフリカ州	食料生産や経済発展での支援の問題	
	北アメリカ州	地域格差の問題	
	南アメリカ州	環境保全と開発の問題	
	オセアニア州	多文化社会の形成の問題	
教 出	アジア州	人口問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理の窓」「LOOK!」というコーナーを設けている。 ○ 本文に丸数字を付け、「側注解説」で本文の記述や言葉を補足したり、解説したりしている。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	環境問題	
	アフリカ州	人口問題、食料問題	
	北アメリカ州	多民族の共存の問題	
	南アメリカ州	環境問題、都市問題	
	オセアニア州	多民族の共存の問題	
帝 国	アジア州	都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理プラス+」「未来に向けて」というコーナーを設けている。 ○ 本文に「解説」や丸数字を付け、「解説」や本文側注で本文の記述や言葉を補足したり、解説したりしている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	経済格差	
	アフリカ州	食料問題	
	北アメリカ州	生産と消費の問題	
	南アメリカ州	熱帯林の破壊	
	オセアニア州	多文化の共生	
日 文	アジア州	経済発展の地域格差や都市問題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「地理+α」というコーナーを設けている。「スキルUP」というコーナーを設けて、学習に必要な技能について解説している。 ○ 巻末に用語解説を設けている。 ○ 単元のまとめに学習内容を確認するコーナーを設けている。
	ヨーロッパ州	統合のかげで広がる格差と対立	
	アフリカ州	モノカルチャー経済からの自立	
	北アメリカ州	大量生産・大量消費の生活スタイル	
	南アメリカ州	熱帯雨林の伐採による環境破壊	
	オセアニア州	多様な民族の共生	

【社会（地理的分野）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④見方・考え方を働かせるための工夫
方法	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせるための記載例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに、「地理を学ぶ5つのミカタ」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」を示している。 ○ 編や章の導入に「地理のミカタ」として、「見方・考え方」を示し、学習のまとめに「見方・考え方」を働かせる学習活動を設定している。ページによっては、「見方・考え方」を働かせる視点の例を示したマークを示している。 ○ 「世界の諸地域」の節ごとのまとめに、「見方・考え方」と資料を結びつけた「資料を活用する力をきたえよう」というページを設けている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに、「地理の学習を始めるにあたって…」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や広がり（分布）」「自然環境との関わり」「場所」「結びつき」「地域」を示している。 ○ 編や章の始めのページの下欄の「見方×考え方ははたらかそう」に、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに、「地理的な見方・考え方」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人間と自然の関わり」「他地域との結びつき」「地域の特徴」を示している。 ○ 章や節の振り返りのページに働かせる「見方・考え方」を示している。 ○ 地理的な見方・考え方を働かせて、自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする特設ページ「アクティブ地理AL」を設けている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに、「地理的な見方・考え方って？」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人と自然のかかわり」「地域どうしのつながり」「地域」を示している。 ○ 編や章の導入ページや本文ページの見開きページごとに、その編や章で働かせる「見方・考え方」を示している。

【社会（地理的分野）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤学習のまとめの工夫
方法	単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例

	「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例	
東 書	アジア州	経済発展についての資料を発表し合い、それぞれの地域や国で経済が成長した理由と、それによって起きた変化や課題を整理した図を参考に、単元の探究課題「アジア州の経済発展は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	ヨーロッパ州	ヨーロッパ統合のきっかけやよい影響、課題を表す資料を発表し合い、図に整理し、「今後統合を進めるべきか」について話し合う。単元の探究課題「ヨーロッパ州での国家間の統合は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	アフリカ州	アフリカ州の課題についての資料を発表し合い、「産業」「民族」「医療」の三つの側面から、アフリカ州の課題と、それに対する取組についてまとめ、その他に考えられる取組を話し合う。単元の探究課題「アフリカ州では、どのような国際支援が必要でしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	北アメリカ州	経済発展についての資料を発表し合い、「農業」「工業」「生活文化」の三つの側面から、北アメリカ州（アメリカ合衆国）の発展の様子と移民とのかかわりを図に整理した図を見て、北アメリカ州の経済成長と移民のかかわりについて話し合う。単元の探究課題「北アメリカ州に多く見られる移民は、地域にどのような影響をあたえているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	南アメリカ州	自然環境についての資料を発表し合い、南アメリカ州の開発と環境保全について図に整理する。単元の探究課題「南アメリカ州の開発と環境保全には、どのような課題があるのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。
	オセアニア州	貿易や人々の移動の変化についての資料を発表し合い、「貿易の結び付き」「人の結び付き」の変化やその理由を図に整理し、異なる文化の人々との共存の在り方を話し合う。単元の探究課題「オセアニア州では、どのような地域との結び付きが強くなっているのでしょうか。」について、自分の言葉でまとめる。

【社会（地理的分野）】

「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例		
教 出	アジア州	アジアの国や地域について、経済成長によって生じた影響を、よい点と課題に分けて整理した表から国・地域を1つ選んで、そこで生じている課題の原因について考え、「持続可能な社会」を実現するためにはどのような取組が必要か、グループで話し合う。
	ヨーロッパ州	「ヨーロッパでは、環境対策としてどのようなことが行われているか。」「私たちは温暖化防止のために何ができるか。」について話し合う。ヨーロッパ統合のよい点と課題についてまとめる。
	アフリカ州	アフリカ州への援助の例を、一つの国でもできること、多くの国が一体となつて行うこと、効果がすぐに出る・出ないの軸で示した図のどこに「食糧援助」「(産業への) 技術支援」「フェアトレード」があてはまるのかを考える。これらを踏まえて、アフリカの国々の支援や援助に必要な工夫について考える。
	北アメリカ州	アメリカ合衆国で盛んな工業を2つ挙げ、その理由について表に整理する。アメリカ合衆国で多民族が共存するために解決しなければならない問題を1つ挙げ、その問題を解決するために必要と考えることを書き出し、グループで話し合う。
	南アメリカ州	アマゾン川の開発について、流域の森林が失われている理由、流域で暮らす人々の生活の変化、南アメリカの経済成長との関係の順でまとめる。南アメリカで開発が進んだ要因について、「都市の変化」「産業の変化」「自然環境の変化」「生活・文化の変化」の視点で図に整理し、グループで話し合う。
	オセアニア州	各国の主な輸出品からオーストラリアと他の先進国を比較し、気付いたことをまとめる。観光地の規制をテーマにした文章から、「先住民」「ホテル経営者」「観光客」のそれぞれの立場でどのようなことを感じているか想像し、グループで話し合う。

【社会（地理的分野）】

「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例		
帝 国	アジア州	1節の問い「アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アジア州における経済成長の背景と地域への影響を、国や地域ごとに図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。
	ヨーロッパ州	2節の問い「ヨーロッパ州では、国どうしの結びつきの強まりによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、ヨーロッパ州におけるEUの統合による効果とEUの統合によって生じた課題を、「人の動き」「物の動き」「通貨」「産業」の視点で図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。
	アフリカ州	3節の問い「アフリカ州では、特定の産物に頼る経済によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アフリカ州におけるモノカルチャー経済の背景と地域への影響を図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。
	北アメリカ州	4節の問い「北アメリカ州では、巨大な産業が発達したことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、アメリカ合衆国における産業の特色と地域への影響を図にまとめる。それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を話し合う。
	南アメリカ州	5節の問い「南アメリカ州では、農地や鉱山の開発によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、ブラジルにおける農地や鉱山の開発による影響を「プラスの面」「マイナスの面」を埋め、図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。
	オセアニア州	6節の問い「オセアニア州では、他地域との結びつきの変化によって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。」について、オーストラリアにおける、他地域との結びつきと地域への影響を図にまとめる。また、それを表す写真を1枚選び、グループでその写真を選んだ理由を発表し合う。

【社会（地理的分野）】

		「世界の諸地域」の各地域のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例
日 文	アジア州	学習した内容を「人口（都市・農村）」「資源・エネルギー」「産業（農業・工業）」「他地域との関係・国際協力」の視点で図に整理し、第1節の問い「アジアの国々は、どのように経済発展しているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「経済発展の地域格差や都市問題」に含まれる課題を整理して1つ選び、解決策をグループで話し合う。
	ヨーロッパ州	学習した内容を図で整理し、第2節の問い「ヨーロッパでは、どのように統合が進められ、どのような課題があるのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「統合のかけで広がる格差と対立」を踏まえ、イギリスの離脱前と離脱後の人々の意見を参考にして、EU離脱についてグループで議論する。
	アフリカ州	学習した内容を図で整理し、第3節の問い「アフリカの国々は、資源などに頼る経済をどのように克服しようとしているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「モノカルチャー経済からの自立」を解決するために優先させるべき取組についてグループで議論する。
	北アメリカ州	学習した内容を図で整理し、第4節の問い「北アメリカの産業は、世界にどのような影響をあたえているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「大量生産・大量消費の生活スタイル」についての、アメリカの人々の意見を読み、共感できる考えについてグループで議論する。
	南アメリカ州	学習した内容を図で整理し、第5節の問い「南アメリカの開発と環境保全は、どのような状況になっていて、何が問題になっているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「熱帯雨林の伐採による環境破壊」を解決するために様々な立場の人々と熱帯雨林を守る方法について、自分の考えをまとめる。
	オセアニア州	第6節の問い「オセアニアでは、どのように多様性を尊重する社会づくりを進めているのでしょうか。」についてまとめる。地球的課題「多様な民族の共生」について考えたことを踏まえ、自分の考える多文化社会について図でまとめ、グループで議論する。

【社会（地理的分野）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥単元の導入における工夫
方法	各単元の導入における学習の見通しをもたせる工夫及び具体例

	「日本の諸地域」における学習の見通しをもたせる工夫	具体例 (中部地方)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、1 ページを使い、テーマ、地図やグラフ、写真、キャラクターの吹き出し、コラム、県章・シンボルを記載している。 ○ 第1時と第2時の間に「～地方を～の視点で見てみよう」があり、探究課題や学習内容が示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ 「産業に注目」 ○ 中部地方の地図 ○ 中部地方の面積・人口の帯グラフ ○ 写真 「中部地方で生産される農産物や工業製品」 ○ キャラクターと吹き出し 「中部地方には、世界的に有名な自動車会社の工場があるね。」「ほかにどんな産業があるのだろうか。」 ○ コラム 「高原野菜から顕微鏡まで」 ○ 探究課題 「中部地方の産業は、どのような条件に支えられて発展してきたのでしょうか。」 ○ 学習内容 「中京工業地帯と東海の産業」「中央高地の産業の移り変わり」「北陸の米づくりと個性ある地場産業」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、2 ページを使い、学習の視点、地図やグラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。 ○ 見開きページの右下に「学習の視点」を示すとともに、学習の視点について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の視点 「産業の視点から、中部地方の特色を考えていこう。」 ○ 中部地方の地図 ○ 中部地方の面積・人口の帯グラフ ○ 写真 「越前和紙を漉く」「世界有数の豪雪地帯を訪れる観光客」「越後平野の稲作地帯」「上高地」「小千谷縮の雪さらし」「出荷時期をずらして生産されるぶどう」「燃料電池車を製造する工場」「遠洋漁業の基地・焼津港」「茶畑が広がる丘陵地帯」 ○ キャラクターと吹き出し 「それぞれの産業が、どのような工夫をしているのか、確かめよう。」「なぜ、ぶどうの出荷時期を遅らせるのかな。」 ○ 学習の視点の説明文 「中部地方には、農業、工業、観光などさまざまな産業が発達し、その重要性は年々増しています。中部地方でこれらの産業が発展した背景や特色を考えていきましょう。」

【社会（地理的分野）】

	「日本の諸地域」における学習の見通しをもたせる工夫	具体例 (中部地方)
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、3ページを使い、イラスト、地図、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。 ○ 単元の導入の3ページ目の下部に、「～地方の学習を見通そう」を設け、学習の視点を示し、4ページ目の上部に節の問いを記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ イラスト 「兼六園」「黒部ダム」「長岡まつり大花火大会」「福井駅と恐竜広場」「鶉飼」「名古屋城と本丸御殿」「善光寺」「ワインセラー」「オートバイの生産」 ○ 中部地方の地図 ○ 写真 「名古屋港の自動車運搬船と自動車」「眼鏡枠の生産」「白川郷の合掌造り」「水田が広がる越後平野」「金沢箔の工房」「春先の立山黒部アルペンルート」「トイレットペーパーをつくる工場」「初夏の上高地」「甲府盆地を走る山梨リニア実験線」 ○ キャラクターと吹き出し 「なんでこんなにたくさんの自動車が集められているのかな。」「中部地方では、自動車だけじゃなくて、いろいろなモノがつくられているね。」 ○ 中部地方の学習を見通そう 「この節では、写真1～9のような中部地方の様子が、特に「産業」の視点とどのように関係しているのかを中心に考えていこう。」 ○ 4節の問い 「中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたのだろうか。」
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入において、2ページを使い、テーマ、地図、グラフ、写真、キャラクターと吹き出しを記載している。 ○ 第1時と第2時の間に「節の問いを立てよう」があり、節の問いやキーワードが示されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ テーマ 「産業をテーマに」 ○ 中部地方の地図 ○ 中部地方の面積・人口・県内総生産の帯グラフ ○ 写真 「名古屋港のふ頭で自動車運搬船に積みこまれる多くの自動車」「白川郷の合掌造り」「富士山をのぞむ日本の東西交通網」「広大なチューリップ畑」「山梨リニア実験線」「せともの祭」「秋の白米千枚田」 ○ キャラクターと吹き出し 「こんなに多くの自動車は、どこで生産されているのかな。」 ○ 第4節の問い 「中部地方では、どのようにして特色のある産業が盛んになったのでしょうか。」 ○ 学習の見通しをもとう 第4節のキーワードを5つ挙げ、節のテーマとともに示している。

【社会（地理的分野）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方法	「地域の在り方」における調査の手順及び方法の記載例

	調査の手順	方法の記載例
東 書	○ 課題をとらえ、問いを立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・学んできたことをふり返ろう ・地域とテーマを決めよう
	○ 地域を調査し、課題をとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特色と課題を調べよう ・地域の移り変わりに注目しよう
	○ 課題の要因や影響を考察しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの地域を調べて比べよう ・要因や影響を考察しよう
	○ 解決策を議論し、構想しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決策を構想しよう ・構想したことを議論して深めよう
	○ 地域のこれからを提案し、発信しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある提案をしよう ・地域の未来像を広く発信しよう ・発信方法の例 「プレゼンテーションソフトの活用」「動画を使った発信の仕方」
教 出	○ 地域の課題をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題をとらえる ・都市の課題 ・農村の課題
	○ 地域の課題を調べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・地域調査の方法を振り返ろう ・地域調査を始めよう
	○ 地域の特色をまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・水俣市を例に ・水俣病の発生 ・環境改善に向けて
	○ 調査結果を整理しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を整理する ・調査結果をまとめて発表準備に取りかかろう
	○ 調査結果を地域に伝えよう	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会をしよう ・研究をさらに広げていくために ・発信方法の例 「スライドにまとめる」「ポスターにまとめる」
帝 国	○ 追究するテーマを決めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題を振り返ろう ・追究するテーマを決めよう
	○ 地域の実態を調査しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・資料と情報を収集しよう
	○ 地域の魅力と課題を分析・考察しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・資料と情報を整理しよう ・魅力と課題の要因を考察しよう
	○ 地域の課題の解決策を構想しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決に向けた取り組みを調べよう ・解決策を構想しよう ・構想した解決策を議論しよう
	○ 解決策と魅力を高める提案をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・構想したことをまとめよう ・地域社会に向けて発信しよう ・持続可能な社会を目指す一員として ・発信方法の例 「プレゼンテーション資料の作り方」

【社会（地理的分野）】

	調査の手順	方法の記載例
日 文	○ 考察・構想するテーマを決めよう	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会づくりを意識する ・多面的・多角的に考察・構想する
	○ 地域の課題の解決策を考察しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題の解決策を考える ・課題の解決につながる取り組みを調べる
	○ 情報を集めて構想しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の在り方を構想する情報を集める ・情報を共有して構想する
	○ 構想した内容を整理してまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・構想した内容をまとめる ・提案を地域に発信する
	○ 構想した内容を発信しよう	<ul style="list-style-type: none"> ・より良い地域の将来像を発信し、社会に参画しよう ・発信方法の例 「1枚の地図にまとめる」「発表会を開く」

【社会（地理的分野）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧ 単元や資料等の配列・分量
方法	総ページ数、各大項目のページ数、巻末資料等の内容のページ数

	総ページ数	「世界と日本の地域構成」のページ数	「世界の様々な地域」のページ数	「日本の様々な地域」のページ数	巻末資料の内容 (ページ数)	その他
東書	294	26	110	136	用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (3)	11
教出	310	20	103	157	用語解説 (6) さくいん (4) 巻末資料 (3)	17
帝国	310	24	102	166	さくいん (4) 巻末資料 (3)	11
日文	318	24	104	163	統計資料 (4) 用語解説 (4) さくいん (4) 巻末資料 (4)	11

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨防災教育の充実
方法	「日本の地域的特色と地域区分」及び「日本の諸地域」における自然災害、防災及び減災に係る具体例

	日本の地域的特色と地域区分	日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本で見られるさまざまな自然災害 2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震や火山による災害 ・気象による自然災害 ○ 防災・減災に向けた取り組みと課題 2ページを使い、防災・減災の取組について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・災害への対応と支援 ・災害の被害を小さくする工夫 ・自助・共助と防災の課題 ○ 特設ページでは、2ページを使い、ハザードマップの読み取り方と公共交通機関が災害からの復興に果たす役割について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページを使い、火山灰、梅雨や台風等の災害と対策について記載している。 ○ 東北地方 2ページを使い、東北地方太平洋沖地震を含む東北沿岸でこれまでに発生した地震と、被害の記憶を引き継ぐ取組等について記載している。 ○ 北海道地方 1ページを使い、雪の中で生活するための工夫、火山による被害を減らす取組について記載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害に向き合う 2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震と火山 ・気象災害 ○ 災害から身を守るために 2ページを使い、災害から身を守るために、国や県、地域社会でなされている努力について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・災害予測の大切さ ・災害への支援と復興 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページを使い、火山活動による災害、自然を利用する暮らしの工夫や防災について記載している。 ○ 東北地方 特設ページで、2ページを使い、災害発生時の様子や復興への取組、まちづくり計画、東日本大震災の経験を受け継ぐ取組について記載している。 ○ 北海道地方 「火山と温泉」という見出しで、観光地の災害への備えや避難訓練等について記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本のさまざまな自然災害 2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震と火山災害が多い日本 ・さまざまな気象災害 ○ 自然災害に対する備え 2ページを使い、自然災害からの被害を防いだり減らしたりする取組について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災の取り組み ・災害発生時の対応 ○ 特設ページでは、2ページを使い、イラスト地図やハザードマップを使って、災害の危険性と防災情報の活用について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 1ページを使い、火山の噴火と対策について記載している。 ○ 東北地方 特設ページで、1ページを使い、高台に移転した宮古市田老地区の取組について記載している。 ○ 北海道地方 2ページを使い、北海道の人々の雪や寒さへの対策について記載している。

【社会（地理的分野）】

	日本の地域的特色と地域区分	日本の諸地域（九州地方、東北地方、北海道地方）
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分 2ページを使い、日本で起こる自然災害について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火山による災害 ・さまざまな気象災害 ・自然災害からみた日本の地域区分 ○ 災害にそなえるために 2ページを使い、防災・減災の取組を記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災へのくふう ・どのように災害と向き合うか ○ 特設ページでは、2ページを使い、地震の仕組みや南海トラフ巨大地震への備え、ハザードマップの使い方について記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 九州地方 2ページを使い、九州地方の自然災害と対策について記載している。 ○ 東北地方 4ページを使い、東日本大震災による影響と復興、災害に強い地域づくりについて記載している。特設ページで、1ページを使い、災害に備えた交通網について記載している。 ○ 北海道地方 2ページを使い、寒さと雪への対策について記載している。

【社会（地理的分野）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用
方法	資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数

	「世界の諸地域」				
	写真	絵図	地図	図表・グラフ	二次元コード
東書	149	13	41	42	38
教出	113	8	45	37	7
帝国	149	21	34	50	20
日文	134	18	28	67	48

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方法	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト

	フォント・グラフ	レイアウト
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分け、見開きページ左下の文字と見開き右側のインデックスで学習内容を示している。
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けと見開き右側のインデックスで学習内容を示している。

社 会（歴史的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい社会 歴史
17	教 出	中学社会 歴史 未来をひらく
46	帝 国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
81	山 川	中学歴史 日本と世界 改訂版
116	日 文	中学社会 歴史的分野
225	自 由 社	新しい歴史教科書
227	育 鵬 社	新しい日本の歴史
229	学 び 舎	ともに学ぶ人間の歴史
236	令 書	国史教科書 第7版

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	文化遺産の示し方及び神話・伝承等に関する記載内容
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数及び内容
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫	特設ページ等を活用して思考させるための記載例
		⑤ 学習のまとめの工夫	単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための記載例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫	各単元の導入における学習の見通しをもたせるための工夫の具体例
		⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	「身近な地域の歴史」で示している記載の仕方及び調べる手順・方法
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量	各時代区分別のページ数
		⑨ 主権者育成のための工夫	古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がりについての記載内容
(オ)	内容の表現・表記	⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数
		⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

観点		(ア) 知識及び技能の習得
視点		①学習課題の示し方
方法		1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例
	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東 書	<p>○ 見開きごとにタイトルを「律令国家の成立と平城京」「平安京と律令国家の変化」等の項目で示し、タイトルの上に「なんと立派な、都ができた」「最澄と空海は、新しい仏教を伝えた」等の学習内容を表す副題を示し、タイトルの右横に「どのような」「どのように」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。</p> <p>○ 見開き左のページの下段に「チェック」、右のページの下段に「トライ」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。</p>	<p>3節 古代国家の歩みと東アジア世界</p> <p>○ 蘇我氏や聖徳太子は、どのような国づくりを目指したのでしょうか。</p> <p>○ 東アジアの国々との関係の中で、日本はどのような改革を進めていったのでしょうか。</p> <p>○ 律令国家はどのようにしてできあがり、その仕組みはどのようなものだったのでしょうか。</p> <p>○ 奈良時代の土地と税の制度にはどのような特徴があったのでしょうか。</p> <p>○ 奈良時代の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。</p> <p>○ 平安京に都が移り、政治や社会はどのように変わったのでしょうか。</p> <p>○ 平安時代の政治は、どのような特色を持っていたのでしょうか。</p> <p>○ 平安時代の貴族の文化は、どのような特色を持っていたのでしょうか。</p> <p>【「チェック」の例】</p> <p>○ 律と令は、それぞれどのようなものか、本文からぬき出しましょう。</p> <p>【「トライ」の例】</p> <p>○ 律令国家が全国を支配した仕組みを、次の語句を使って説明しましょう。[太政官／国・郡]</p>
	教 出	<p>○ 見開きごとにタイトルを「木簡と計帳は語る」「望月の欠けたることもなしと思えば」等の項目で示し、タイトルの下に「奈良の都と律令制下の人々の暮らし」「平安の都と摂関政治」等の学習内容を表す副題を示している。タイトルの右横に「どのような」「どのように」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。</p> <p>○ 見開き右のページの下段に「表現！」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。</p>

【社会（歴史的分野）】

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイトルを「揺れ動くアジアと倭国」「律令国家での暮らし」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に「確認しよう」「説明しよう」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。 	<p>第3節 中国にならった国家づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくらうとしたのだろうか。 ○ 倭国（日本）はどのような改革を進めたのだろうか。 ○ 奈良時代の土地と税の制度にはどのような特色があったのだろうか。 ○ 奈良時代には、どのような特色をもった文化が展開したのだろうか。 <p>【「確認しよう」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 律令国家のしくみを本文から書き出そう。 <p>【「説明しよう」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 倭国（日本）の目指した国づくりを、大宝律令の特色を踏まえて説明しよう。
山 川	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイトルを「律令国家の仕組みと人々の暮らし」「平城京と天平文化」等の項目で示し、タイトルの下に「どのような」「なぜ」等の表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ ページの下段に1時間の学習内容を踏まえて取り組む「ステップアップ」を設定している 	<p>3節 律令国家の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ヤマト政権は、どのような国づくりを目指したのだろうか。 ○ 7世紀の倭は、なぜ朝廷に政治権力を集中させようとしたのだろうか。 ○ 朝廷に権力が集中する中で、天皇と豪族との関係はどのように変化したのだろうか。 ○ 律令国家は、どのような仕組みで地域と人々を支配したのだろうか。 ○ 中国や朝鮮半島との交流は、奈良時代の日本にどのような影響をあたえたのだろうか。 <p>【「ステップアップ」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 墾田永年私財法は、律令国家の支配にどのように役立ったのか、考えてみよう。

【社会（歴史的分野）】

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ タイトルを「奈良の都と人々のくらし」「天平文化と聖武天皇」等の項目で示し、タイトルの右横に「律令に基づく統治のしくみ」「国際色豊かな文化」等の学習内容を表す副題を示している。タイトルの下に「どのような」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ ページの下段に「確認」「表現」を設定し、学習課題に対応した問いを示している。 	<p>第3節 古代国家の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 奈良時代の政治には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 奈良時代の文化には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 平安時代の桓武天皇による政治には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 平安時代の藤原氏による政治には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 平安時代の国風文化には、どのような特色があるのでしょうか。 <p>【「確認」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 律令制度や平城京は、どの国にならってつくられ、どのようなしくみになっているか確認しましょう。 <p>【「表現」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「税」をキーワードにして、律令制度における朝廷のねらいと、当時の人々の生活を説明しましょう。
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとにタイトルを「律令国家の建設と日本の国号」「古代律令国家の完成と平城京」等の項目で示し、タイトルの下に「どのような」「どんな」等の表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に「チャレンジ」を設定し、学習課題に対応した学習活動を示している。 	<p>第3節 律令国家の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聖徳太子が新しい政治を始める背景は何だったのだろうか。 ○ 聖徳太子の対等外交と天皇という称号の間には、どんな関係があったのだろうか。 ○ 蘇我氏はどのようにして倒され、天皇中心の国づくりが進んだのだろうか。 ○ 白村江の戦いで敗北は、律令国家の建設にどんな意味をもったのだろうか。 ○ 日本の古代律令国家には、唐の制度と比べてどのような独自性があったのだろうか。 ○ 7～8世紀の飛鳥、天平の文化にはどのような特徴があったのだろうか。 ○ 摂関政治はどのようにして成立したのだろうか。 ○ 平安時代に国風文化が開いたのはなぜだろうか。 <p>【「チャレンジ」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 唐の律令国家と日本の律令制の違いを説明してみよう。

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとにタイトルを「律令国家への歩み」「平安京と摂関政治」等の項目で示し、タイトルの右横に「どのような」といった表現で1時間ごとの学習課題を示している。 ○ 見開き右のページの下段に「確認」「探究」を設定し、学習課題に対応した振り返る課題を示している。 	<p>第2節 「日本」の国の成り立ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 厩戸皇子や蘇我馬子は、新しい国づくりを目指して、どのようなことをしたのでしょうか。 ○ 中国や朝鮮半島との関係の中で、どのような改革を進めたのでしょうか。 ○ 律令国家の下で、人々はどのような暮らしをしていたのでしょうか。 ○ 唐の影響を受けた天平文化には、どのような特色があるのでしょうか。 ○ 平安時代の天皇や貴族の政治は、どのようなしくみだったのでしょうか。 ○ 唐の影響がうすまり生まれた国風文化の特色は、どのようなものなのでしょうか。 <p>【「確認」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大化の改新は何をめざした改革だったか、その理由と内容について本文からぬき出して書きましょう。 <p>【「探究」の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 律令国家において、中央から各地に国司が派遣された理由を説明しましょう。
学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとにタイトルを「奈良の都」「北で戦い、都をつくる」等の項目で示し、タイトルの右横に「律令制の成立」「平安京と地方の政治」等の学習内容を表す副題を示している。タイトルの下に「どんな」「なぜ」等の表現で1時間ごとの学習課題を示している。 	<p>第2章 日本の古代国家</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 仏教の導入で、超高層の寺院が出現。そのあと倭国は、ゆるる東アジアにどう立ち向かうのか。 ○ 都に大量の品物が運ばれてきた。どんなしくみができたのか。国の内外にどんな変化があらわれたか。 ○ 口分田で農業に取りくむ人びとは、税としてどんな負担をしいられていたか。 ○ 伎楽や正倉院宝物、鑑真の来日からどんなことがわかるか。歴史書はなぜつくられたのか。 ○ バグダッドにはどんな人たちが集まってきたか。イスラムではどんな文化が生まれたか。 ○ 新しい都・平安京ができた。東北で、都や地方で、どんなことがおこなわれるようになったか。 ○ 紫式部と清少納言はどんなことを書いたのか。このころの文化にはどんな特色があるだろう。

【社会（歴史的分野）】

	1 時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
令書	<p>○ タイトルを「大宝律令の完成は独立国の証」「日本」を名乗った大宝の遣唐使」等の項目で示し、タイトルの左横に「どのような」「なぜ」等の表現で学習課題を示している。</p>	<p>二 飛鳥時代</p> <p>○ 律令国家はどのように形成されていったのだろうか。</p> <p>○ 聖徳太子はどのような政治を行ったのだろうか。</p> <p>○ 聖徳太子はなぜ隋との対等な外交を目指したのだろうか。</p> <p>○ 大化の改新は政治にどのような影響を与えたのだろうか。朝鮮半島の情勢の変化は日本にどのような影響を与えたのだろうか。</p> <p>○ 律令国家はどのようにして完成段階に至ったのだろうか。</p> <p>○ 大宝の遣唐使はなぜ「日本」を名乗ったのだろうか。</p>

【社会（歴史的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	文化遺産の示し方及び神話・伝承等に関する記載内容

	文化遺産の示し方	神話・伝承等に関する記載内容
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「国宝」「世界遺産」「重要文化財」「世界の記憶」「無形文化遺産」のマークが付いている。 ○ 第1章2節「身近な地域の歴史」の中で「身近な地域の主な史跡・国宝・重要文化財」を示している。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国家の仕組みが整い、国際的な交流が盛んになると、日本の国のおこりや、天皇が国を治めることの由来を説明しようとする動きが朝廷の中で起こりました。そこで、神話や伝承、記録などを基に歴史書の「古事記」と「日本書紀」が作られました。また、全国に命じて、自然・産物・伝承などを記した「風土記」が国ごとに作られました。 <p>【特設ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「現代に生きる神話」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2ページを使い、「記紀神話」の成立」「記紀神話」の展開」「日本の神話と世界の神話」「島根県と神話」「宮崎県と神話」を記載している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「世界遺産」「国宝」「重要文化財」のマークが付いている。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「律令制が整うなか、文書や記録の作成、情報や命令の伝達などで、貴族や役人は日常的に文字を使用するようになりました。国際的な交流が盛んになると、天皇が日本を治める由来を説明する歴史書として、神話や国の成り立ちを記した「古事記」・「日本書紀」がまとめられました。また、地方の国ごとに、地理や産物、伝承などを記した「風土記」もまとめられました。 <p>【特設ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「神話にみる古代の人々の信仰」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2ページを使い、「日本の神話」「古事記に記された黄泉の国の物語」「神話にみる古代の人々の信仰ともの見方」を記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「世界遺産」「世界の記憶」「国宝」「重要文化財」のマークが付いている。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「奈良時代初め、律令制の導入によって国のしくみが整ってくると、貴族や僧侶の間で文字を使うことが当たり前になりました。天皇が日本を治めることの正統性を明らかにしようとする動きも起こり、天皇家の由来を説明するための歴史書として「古事記」や「日本書紀」がつくられ、数々の神話がそこへ記されました。また、天皇が支配するすべての土地の地理的な情報を集めるため、産物や地名の由来、伝承などを国ごとにまとめた「風土記」もつくられました。 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自然災害と神話」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページを使い、「古事記」や「日本書紀」に書かれた「ヤマタノオロチの神話」の内容等について記載している。

	文化遺産の 示し方	神話・伝承等に関する記載内容
山川	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「世界遺産」「国宝」のマークが付いている。 ○ 巻頭に「日本の世界遺産」を地図等とともに示している。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「律令国家が確立すると、天皇の由来や、天皇が国家をおさめる正当性を示すために、歴史書の編さんが行われた。天武天皇が命じた歴史書の編さん事業を引きつぎ、奈良時代には「古事記」と「日本書紀」が完成した。「古事記」は、神話の時代から推古天皇の時代までの、天皇の起源を説明する物語をまとめたものである。「日本書紀」は、中国の歴史書にならって漢文で書かれた日本で最初の歴史書で、神話の時代から持統天皇の時代までの歴史がまとめられた。 <p>このほか、諸国には、国内の産物や地名の由来、古くからの伝承などを報告することが命じられ、国ごとに「風土記」がつくられた。」</p> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の神話」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ページを使い、「古事記」「日本書紀」「風土記」の内容等について記載している。
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。 ○ 巻末の折り込みに「日本の世界遺産」を地図等とともに示している。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「律令国家のしくみが整ってくると、国家のおこりや天皇・貴族の由来などを説明するために、「古事記」や「日本書紀」などの歴史書がつくられました。このほか、全国の国ごとに、自然・地理・産物や伝説などについてまとめた「風土記」がつくられました。」 <p>【特設ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の神話」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 ページを使い、「神話とは何か」「古事記」「日本書紀」の神話」「さまざまな神話」を記載している。
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」のマークが付いている。 ○ 巻頭に「日本の世界文化遺産」を地図等とともに示している。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本の国の成り立ちは、8 世紀に完成した日本最古の歴史書である「古事記」「日本書紀」に、神話の形で書かれています。神話や伝承は超自然的な物語をふくみ、また後世に改変された部分もあって、ただちに歴史的事実として扱うことはできません。 <p>しかし、これらの神話・伝承のものは、古代の人々が、自分たちの住む国土や自然、社会の成り立ちを、山や海への自然崇拜や、稲作祭祀など縄文・弥生以来の信仰なども取り入れながらまとめたものと考えられます。神々が織りなす物語は一貫したストーリーに構成され、大和朝廷の始まりにつながっています。」</p> <p>「712 年に「古事記」が完成し、全 3 巻の中に、民族の神話と歴史がすじみち立った物語としてまとめられました。次いで、720 年には「日本書紀」全 30 巻が完成し、日本国家の正史として、歴代の天皇の系譜とその事績が年代順に詳細に記述されました。」</p> <p>「朝廷は、地方ごとに伝説や地理、産物を調べて「風土記」として記録させました。」</p> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国譲り神話と古代人」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2 ページを使い、「大国主神の「国譲り」「古代日本人のものの考え方」「姿をあらわす巨大空中神殿」を記載している。

【社会（歴史的分野）】

	文化遺産の 示し方	神話・伝承等に関する記載内容
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料に「国宝」「世界遺産」のマークが付いている。 ○ 巻頭や巻末で世界遺産や国宝を地図等とともに示している。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「律令国家としての基礎ができあがるにつれ、日本の歴史が書物としてまとめられるようになりました。神々の物語や代々の天皇の業績を記した「古事記」や、国の正史（公式な歴史書）として代々の天皇やその業績を記した「日本書紀」がそれにあたります。また、朝廷の命令によって、各地の地理や産物、伝説などを記した「風土記」もつくられました。」 <p>【特設ページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「神話に見る日本誕生の物語」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2ページを使い、「日本の神々の物語」「三種の神器と神武天皇」「伝説の英雄が活躍する神話」を記載している。
学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5章の扉ページ「世界遺産に見る世界」で世界遺産を示している。 	<p>【本文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「朝廷は8世紀の前半に、中国の正史にならった歴史書の「日本書紀」を、神話の記録として「古事記」を完成させました。これらは、古くからの伝承もふくんでいます。天武天皇が、国の統一をすすめる目的で編さんを命じていたものです。 <ul style="list-style-type: none"> 「また、国ごとに言い伝えられたことをしるした「風土記」もまとめられ、出雲国（島根県）や常陸国（茨城県）などのものが残っています。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「「常陸国風土記」に書かれた富士山と筑波山」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1ページを使い、常陸国風土記に記された内容等について記載している。

	文化遺産の 示し方	神話・伝承等に関する記載内容
令 書	<p>○ 資料に、「国宝」「世界遺産」「重要文化財」のマークがついている。</p>	<p>【本文】</p> <p>○ 「今から約一三〇〇年前の奈良時代、第四十代天武天皇の命令によって編纂された二つの書物が完成しました。「古事記」と「日本書紀」です。両方を合わせて記紀といいます。「古事記」は日本の神話などの伝承と歴代天皇の事績を伝えるため、また「日本書紀」は日本の歴史を伝えるために編纂されたと考えられています。「古事記」は今に伝わる書物のなかでは日本最古で、そこには、日本列島誕生の神話や日本建国の物語が書かれています。</p> <p>「遷都からまもない和銅五年（七一二）、天武天皇の命令によって編纂された「古事記」が、また養老四年（七二〇）に「日本書紀」がそれぞれ完成しました。同じ時代に二つの歴史書が書かれたのには理由があります。「古事記」は主に日本国内向けで、文学的要素が強く、天皇の根拠を明確にして建国のことを後世に伝える意図があると思われます。一方、「日本書紀」は国内外に向けて正史を伝えるためのものと思われます。「古事記」は万葉仮名と漢文の両方を折衷して書かれているため、主な読者として外国人は想定されていないものと考えられますが、「日本書紀」は漢文（古代中国語）で書かれているため、中国王朝や朝鮮の役人たちも読むことができました。このように書き分けられていることから用途の違いを知ることができます。</p> <p>「古事記」は稗田阿礼が日本各地の神話や伝承などを繰り返し読んで学び、それを太安万侶が文字に表したと伝えられます。「日本書紀」は舎人親王（天武天皇の皇子）が編纂しました。また、朝廷の命により、各地の神話、地理、産物などを記した風土記も編纂されました。」</p> <p>【コラム】</p> <p>○ 「「古事記」の国譲り神話」</p> <p>・ 2 ページを使い、「古事記」の国譲り神話について記載している。</p>

【社会（歴史的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
方法	日本に影響を与えた文化交流に関するコラム等の数及び内容

	時代区分 (コラム等の数)	内容
東 書	古代（1）	○ 大陸への玄関口 福岡
	中世（1）	○ 東アジア世界の国々の交流と琉球文化
	近世（3）	○ 朝鮮人陶工と日本の陶磁器文化 ○ 朝鮮通信使が訪れた対潮楼 ○ アイヌの文化とその継承
	近代（1）	○ メディアの発達が日本を変えた
教 出	古代（1）	○ 神話にみる古代の人々の信仰
	中世（1）	○ 宋と高麗
	近世（2）	○ 大海を超える人と物 ○ 野國總管と青木昆陽
	近代（2）	○ 沖縄の歴史を調べよう ○ 北海道の歴史を調べよう
	現代（1）	○ ともに生きていくために
帝 国	古代（2）	○ 上野三碑にみる渡来人の影響 ○ 時代とともに変わっていった衣服
	中世（2）	○ 東アジアに開かれた窓口 博多 ○ 東アジアの美、磁器
	近世（4）	○ 朝鮮半島から伝わった文化 ○ 琉球とアイヌ民族の暮らし ○ 昆布ロードと北前船 ○ ワクチン接種の始まり
	近代（7）	○ 幕府の近代化への対応 ○ 世界に開かれた港 横浜 ○ 「絹の道」と日本の製糸業 ○ 国旗と国歌 ○ 祖国の音楽を紹介したドイツ兵 ○ 人々を魅了した洋菓子文化 ○ 発展する産業都市 大阪・神戸
山 川	古代（4）	○ 中国の記録に見る日本列島 ○ 日本の神話 ○ 神仏習合 ○ 福岡
	中世（4）	○ 海に眠っていた貿易船 ○ 琉球の歴史と文化 ○ アイヌ民族の歴史と文化 ○ 木綿栽培
	近世（2）	○ 砂糖 ○ 園芸文化
	近代（2）	○ 近代日本と女子留学生 ○ 「蛍の光」

【社会（歴史的分野）】

	時代区分 (コラム等の数)	内容
日 文	中世 (3)	○ 宋と高麗 ○ 東大寺の再興と重源 ○ 朝貢と冊封
	近世 (3)	○ つながる世界と生活の変化 ○ 雨森芳洲 ○ 今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成
	近代 (2)	○ 近代社会に日本を見つめ直す ○ 日本初の女子留学生と女子教育
	現代 (1)	○ 在日韓国・朝鮮人の歴史とコリアタウン
自 由 社	古代 (1)	○ 世界にほこる女流文学
	近世 (1)	○ 秀吉はなぜバテレン追放令を出したのだろうか
	近代 (1)	○ 日本の近代化とアイヌ
	現代 (1)	○ 水泳ニッポンと 1964 年の東京五輪
育 鵬 社	古代 (1)	○ 日本人の宗教観
	近代 (2)	○ 外国人が見た日本 ○ 世界の平和に力をつくした新渡戸稲造
	現代 (1)	○ 感染症の歴史
学 び 舎	古代 (2)	○ 今も読まれる孔子の「論語」 ○ 中国の歴史書に書かれた卑弥呼
	中世 (4)	○ 博多に住みついた中国商人たち ○ 大仏再建の熱狂 ○ 帯と扇のネットワーク ○ アイヌの人びとがになう北方の交易
	近世 (4)	○ ザビエルとアンジロー ○ 琉球王国の使節 ○ 長崎に荷揚げされた砂糖 ○ ラクスマンと大黒屋光太夫
	近代 (2)	○ 6歳の子留学生 ○ 「モダン・タイムス」と「独裁者」
	現代 (3)	○ インディアラがやってきた ○ 東京オリンピック ○ 微力だけど無力じゃない
令 書	古代 (2)	○ 聖徳太子はなぜ仏教を受容したのか ○ 日本語の起源
	近代 (1)	○ 日本を小国から大国に押し上げた明治天皇
	現代 (2)	○ 古代オリンピックと近代オリンピック ○ オバマ大統領の広島訪問

【社会（歴史的分野）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④見方・考え方を働かせるための工夫
方法	特設ページ等を活用して思考させるための記載例

特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代）	
東 書	<p>○ 「メディアの発達が日本を変えた」</p> <p>【項目】 「電信・電話の導入」「新聞・雑誌の誕生」「映画・ラジオと大衆社会」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図：①急ごしらえされた電信柱 ・写真：②「国民之友」創刊号の表紙 ・人物：③梅屋庄吉 ・コラム：「マスメディアと政府」 <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現代につながるマスメディアや情報環境がどのように成立したか、見てみましょう。」 ・「本文に登場するメディアは、現在の私たちの生活にどのように関わっているか、調べましょう。」
教 出	<p>○ 「人口の変化と海外への移民」</p> <p>【項目】 「過去の人口を知る方法」「日本の歴史と人口の移り変わり」「ハワイへの移住」「ブラジルへの移住」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真：①宗門改帳、③ハワイにある日本式の寺院、④ブラジルのコーヒー農園で働く日本からの移住者 ・文書資料 ・コラム：「国境を越える人々と多文化共生」 ・グラフ：②800年以降の人口の移り変わり <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「人口の移り変わりには、どのような特徴や背景があるのか探ってみましょう。」 ・「①右の表をもとにグラフを完成させよう。現在の人口は、調べて記入しよう。」 ・「②1900年以降の人口増加の最も大きな理由は何だろうか。グループで話し合おう。」 ・「③今から50年後、100年後の予測人口はどれくらいか調べよう。」 ・「いろいろな地域や国の、多文化共生の取り組みについて調べてみよう。」

特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代）	
帝 国	<p>○ 「世界に開かれた港 横浜 ～開港とともに広がった文明開化～」</p> <p>【項目】 「1 横浜から広がった新たな文化 ① どうして横浜が港になったのかな？」 「2 外国商人の集まった街 横浜 ② 居留地はどのようなところだったのかな？」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵図：1 横浜、2 牛鍋を食べるざんぎり頭の男性、3 開通したころの鉄道、5 横浜港の様子、6 生糸の品質を調べる欧米の商人 ・ 写真：4 開港場が整備される前の横浜の様子、7 1872年の外国人居留地 ・ グラフ：8 全国に占める横浜港の貿易の割合、9 横浜港からの輸出入品 <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「日米修好通商条約によって横浜が開港したけれど、当時の横浜はどのような所だったのかな。また、文明開化を迎えたとき、横浜からどのような新しい文化が各地に広まったのかな。」 ・ 「写真は、図1の地図内のどこからどの方向を撮影したものか、考えてみよう。」
山 川	<p>○ 「世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」</p> <p>【項目】 「1 富岡製糸場とは」「2 明治日本と製糸業」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地図：1 富岡製糸場の位置 ・ 絵図：2 開業時の富岡製糸場 ・ 写真：3 富岡製糸場、4 繰糸場の内部、5 フランス式繰糸機、6 諏訪式繰糸機、7 座繰り器 ・ 文書資料：和田英「富岡日記」 ・ グラフ：8 生糸の生産量と生糸の輸出量、10 輸出品における生糸の割合 ・ 年表：9 明治日本と製糸業 <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「富岡製糸場が果たした役割について考えていきましょう。」 ・ 「富岡製糸場は、なぜ群馬県の富岡に設立されたのだろうか。この地域で江戸時代から盛んな産業は何か、生糸をつくるためには何が必要かを考えてみよう。」 ・ 「内陸の群馬県から開港場の横浜まで、生糸はどのような方法で運ばれたのだろうか。」 ・ 「筆者はどのような部分に、おどろいているだろうか。」 ・ 「建物の特徴を挙げてみよう。」 ・ 「写真4を見て、工場内でどのような工夫がなされているか考えてみよう。」 ・ 「作業をしやすくするために建物にはどのような工夫がなされているだろうか。」 ・ 「器械を見比べてちがうところを探してみよう。」 ・ 「材質のちがいに注目してみよう。」 ・ 「グラフ8・10や年表9を見て、製糸業はどのように変わっていったのか考えてみよう。」 ・ 「明治時代の日本は、なぜ製糸業に力を入れたのか考えてみよう。」

特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代）	
日 文	<p>○ 「経済発展か、環境保全か、足尾鉍毒事件を通して考えよう」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図：資料1 足尾銅山の鉍毒の被害 ・人物：田中正造 ・文書資料：資料3 田中正造の直訴状の内容、資料6 政府の主な対応 ・グラフ：資料4 日本の銅の生産量の推移、資料5 日本の輸出品に占める銅の割合 ・年表：資料2 足尾鉍毒事件の年表 <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1890（明治23）年ごろから、栃木県の足尾銅山の鉍毒が渡良瀬川に流れ出し、下流の田畑の作物が枯れ、魚が死ぬなどの被害が広がりました。また、銅山の煙害や用材のための森林の乱伐によって水源の山々ははげ山となり、1896年には大洪水が起こって、3万haをこえる土地が鉍毒におおわれました。こうしたなか、当時の人々はどのように対応したのでしょうか。銅山の操業停止と被害民の救済を求めた田中正造と政府の対応を学び、みなさんもこの問題について考えましょう。」 ・「田中正造はどのような事態を問題とし、帝国議会や天皇に何を訴えようとしたのでしょうか。」 ・「資料1～3から、足尾鉍毒事件の概要を確認して、田中正造の主張を読み取りましょう。」 ・「政府はなぜ、田中正造の訴えを全面的に認めなかったのでしょうか。またどうして、そのような決定をしたのでしょうか。」 ・「資料1・2と資料4～6を読み取り、当時の日本の状況と政府の方針との関連に着目しましょう。」 ・「あなたが当時の国民の一人だったら、国の経済発展と各地域の環境保全のどちらを重視し、優先しようと思いますか。ステップ1・2で読み取ったことなどをもとに、自分の考えをまとめましょう。」 ・「自分がそう考えた理由も整理して、クラスで意見交換をしましょう。」
自 由 社	<p>○ 「明治維新とは何か」</p> <p>【項目】</p> <p>「欧米列強の植民地化をまぬがれる」「2つの中心が日本を救った」「アヘン戦争で強い危機感」「米百俵」の伝統</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物：小林虎三郎 ・絵図：国漢学校の図 <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一国の統治者たちが、みずからその身分を廃止して新しい国をつくった世界に例のない改革は、なぜ実現できたのだろうか。」

【社会（歴史的分野）】

特設ページ等を活用して思考させるための記載例（近代）	
育 鵬 社	<p>○ 「外国人が見た日本」</p> <p>【項目】 「クラーク “少年よ大志をいだけ”」「ナウマン 「フォッサマグナ」を発見」「パーマー 横浜水道を造る」「考古学者シュリーマンが見た日本人」「動物学者モースが見た日本人」「女性旅行家バードが見た日本人」「医学者ベルツが見た日本人」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図：③フォッサマグナ ・写真：④日本近代水道最古の水道管 ・人物：①さっぽろ羊ヶ丘展望台に立つクラーク像、②ナウマン、⑥シュリーマン、⑦モース、⑧イザベラ・バード、⑨ベルツ ・表：⑤主なお雇い外国人の業績 <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幕末から明治時代にかけて来日した「お雇い外国人」が、身近な地域にいたか調べましょう。」 ・「幕末から明治時代に来日した外国人は、日本のどこに関心を持ったのか、グループで話し合ひましょう。」
学 び 舎	<p>○ 「対話・討論にチャレンジ 「学問のすゝめ」をどう読むか」</p> <p>【項目】 「①「学問のすゝめ」を読み、要約する」「②感じたこと、思ったことをことばにして、対話・討論する」「③あるクラスの議論から」「④問いを深めていくということ、問いを学ぶということ」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物：福沢諭吉 ・写真：「学問のすゝめ」1871年初版本 <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「次の現代語訳をじっくりと読んでみましょう。」 ・「次に、一人ひとりが、この文章をどう読みとったのか、福沢の主張に賛成か、反対か、意見交流・討論をしてみましょう。」 ・「(1) 自分の意見をノートに書いてみましょう。」 ・「(2) それを、二人組のペア、グループ・班、クラスなどに対して話してみましょう。」 ・「(3) …ところで、福沢は「人はみな平等である」と主張しているのでしょうか、それとも「不平等や格差が存在するには、それなりの理由がある」ということを主張しているのでしょうか。」
令 書	<p>○ 福沢諭吉「学問のすゝめ」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人物：福沢諭吉 ・コラム：「福沢諭吉の母は偉かった」 <p>【問い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「「無秩序な西洋化」とはどのような意味だろうか？」 ・「日本史上、最も勉強して世の中に影響を与えた人物の一人・福沢諭吉は、どのような母に育てられたのでしょうか。」

【社会（歴史的分野）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤学習のまとめの工夫
方法	単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための記載例

	記載例（中世の日本）
東 書	<p>○ 「武士が生まれ、その支配が広がった中世の日本で、社会はどのように変化したのでしょうか。」という探究課題について、章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究課題の解決の前に、「政治の動き」「東アジアの情勢」「産業の発達」「文化の側面」の4つの視点から整理する学習活動を設定している。 ・探究課題の解決の前に、節の学習を振り返り、「なぜ武士は政権を立て、社会を動かすほどの力を持つようになったのでしょうか。」「東アジアでの交流が進み、産業や文化が発達する中で、民衆はどのようにして力を持つようになったのでしょうか。」という問いについて、まとめる場面を設定している。
教 出	<p>○ 「武士と民衆の成長によって、社会はどのように変化したのだろうか。」という章の問いについて、章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章の問いをまとめる前に、中世の政治や文化について説明する学習活動を設定している。 ・「学習のまとめと表現の流れ」として、「HOP！中世の時代の移り変わりを確かめよう」「STEP！①中世の政治や文化について説明しよう」「STEP！②資料を読み解いて、中世の時代を振り返ろう」「JUMP！「歴史的な見方・考え方」を使って、時代の特色を考えよう」の場面を設定している。
帝 国	<p>○ 「武士による政治が行われたことによって、社会はどのように変化したのだろうか」という章の問いに対して、章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章の問いをまとめる前に、中世の年表に記載している政治や国際関係の変化、生活や社会の様子について自分が重要と考える出来事にマーカーをつける学習活動を設定している。 ・単元の振り返りとして、「学習事項の確認」「節の振り返り」「章の振り返り」の場面を設定している。
山 川	<p>○ 中世のまとめとして、4つの立場で問いについて、自分の考えを文章にまとめる。「海外から受けた影響」「宗教の果たした役割」について、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「武士」「農民」「守護」「荘園領主」の4つの立場を設定している。 ・4つの立場で考える際は、「鎌倉時代」から「戦国時代」の4つの時代区分ごとに自分の考えを文章にまとめ、「海外から受けた影響」「宗教の果たした役割」を考える際は、3つの区分ごとに自分の考えを文章にまとめる。
日 文	<p>○ 「絶えず戦乱がくり返される時代となったのは、なぜなのでしょう。」という編の問いについて、編の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「法」という視点を例に、中世の特色について考え、文章にまとめ、他の視点からも、中世の特色について文章にまとめる場面を設定している。 ・単元の振り返りとして「いつ、どこで、何があった？」「中世ってどんな時代？」「中世の学習をふり返ろう」の場面を設定している。

【社会（歴史的分野）】

記載例（中世の日本）	
自由社	<p>○ 中世を振り返り、「中世とはどんな時代だったのだろうか」について、「中世はひとことという「○○」の時代だった。」として、○○を埋めて、200字以内の作文を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北条時宗」と「足利義満」の中国とのかかわり方の違いについてまとめる場面を設定している。 ・作文を作る前に、「歴史用語ミニ辞典」の作成」「時代比較の問題」「人物比較の問題」の場面を設定している。
育鵬社	<p>○ 中世を振り返り、「武士が時代の主役になった中世は、どのような時代だったといえるのか」を考え、その理由と合わせてまとめ、それぞれの考えをみんなで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この時代の人々の暮らしや社会の変化について、「市場で品物を売り買いする人々」「機織り」「馬借」の絵を参考にして、説明する場面を設定している。 ・中世についてまとめる前に、年表の空欄にあてはまる言葉を選び、戦いについて整理し、この時代で最も重要だと思う人物を選び、理由をまとめる。次に、歴史的事象に当てはまる場所を地図上から選び、暮らしや社会の様子について、資料や前の時代の様子を参考にして説明する場面を設定している。
学び舎	<p>○ 中世を振り返り、「第2部・中世は、どのような人びとが力をもった時代だったでしょうか。前の時代と比べながら、自分の考えを文章にまとめましょう。」という問いについて、自分の考えを文章にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中世について、人々の政策や行動、アジアの国々や地域との交流の様子、産業の発達や民衆の行動、仏教や文化の新しい動きや特色といった視点でそれぞれまとめる場面を設定している。 ・中世についてまとめる前に、歴史的事象に当てはまる場所を地図上から選び、中世について4つの課題をまとめ、歴史絵画を解説・推理する場面を設定している。
令書	<p>○ 中世のまとめとして、4つの視点から、学習を整理する。また、日明貿易がどのように展開したかをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「政治」「文化」「外交」「産業」の4つの視点を示している。 ・中世のまとめの前に、鎌倉時代に登場した新しい仏教について表にまとめ、それぞれの仏教の特徴をグループの中で発表し合う場面を設定している。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥単元の導入における工夫
方法	各単元の導入における学習の見通しをもたせるための工夫の具体例

具体例（近世の日本）	
東 書	<p>【構成の概要】 2ページを使い、二次元コード、小学校の社会で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表、キャラクターの問い等や、資料の読み取り及び話し合い活動を示している。また、章や各節の学習課題とともに、キャラクターの問いにより、章及び各節の学習課題を導くよう構成している。</p> <p>【章の学習課題】 「近世の日本では、社会にどのような変化が見られたのでしょうか。」</p> <p>【各節の学習課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヨーロッパ人との出会いを経て、なぜ戦乱の世が終わりをむかえたのでしょうか。」 ・「なぜ江戸幕府の支配は約260年も続いたのでしょうか。」 ・「産業や文化が発達し、都市が繁栄する中で、なぜ幕府は改革をせまられたのでしょうか。」 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（①南蛮人の来航、②江戸城、③、④参勤交代の行列、⑤歌舞伎、⑥新しい農具⑦打ちこわしの様子） ・年表 <p>【資料に係る学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「(個人活動) ①・②にはどのような人々がえがかれているか、それぞれ読み取りましょう。」 ・「(グループ活動) ①でえがかれている様子と関連の深いイラストを、右ページの年表から選び、どのような関連があるのか説明しましょう。」 ・「(個人活動) ①～⑦の資料を参考にしながら、前の時代と比べて、この時代になって変化していること、変化せずに続いていることはそれぞれ何か、話し合いましょう。」
教 出	<p>【構成の概要】 3ページを使い、二次元コード、絵図、写真、地図、キャラクターの問い等や、人物のイラストを用いた年表及び資料の読み取りを示している。また、章の学習課題とともに、章に係る説明を示し、各節のタイトル及び各節に關係する歴史的な事象を示している。</p> <p>【章の学習課題】 「近世の日本は、どのような政治のしくみをつくったのだろうか。」</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（江戸城、江戸のまち①～⑤） ・写真（寛永通宝と慶長小判） ・年表 ・地図 <p>【資料に係る学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「1 上の絵に描かれている江戸城と、前のページに描かれている室町時代の将軍の邸宅（御所）を比べてみよう。建物や周辺の様子は、どのように変化したのだろうか。」 ・「2 なぜ日本で貨幣がつくられるようになったのだろうか。」 ・「3 室町時代から江戸時代にかけて、社会はどのように変化したのか予想してみよう。」 ・「Q1 ①～⑤には、どのような場所や人が描かれているだろうか。また、中世と比べて変わったところ、変わっていないところを考えてみよう。」 ・「Q2 江戸城やその城下町は、だれがどのようにつくったのだろうか。」 ・「Q3 中世と比べて、城下町や人々の暮らしが変化したのはなぜか、予想してみよう。」

【社会（歴史的分野）】

具体例（近世の日本）	
帝 国	<p>【構成の概要】 1 ページを使い、二次元コード、絵図、小学校で学んだ人物と主な出来事のイラストを用いた年表、キャラクターの問いを示し、話し合い活動や予想を書く活動を示している。章や各節の学習課題を示している。</p> <p>【章の学習課題】 「全国を統一する政権の誕生によって、社会はどのように変化したのだろうか。」</p> <p>【各節の学習課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヨーロッパの国々による世界進出は、各地の生活や文化にどのような影響を与えたのだろうか。」 ・「全国統一が進むなかで、社会はどのように変化したのだろうか。」 ・「江戸幕府はどのようにして全国を支配したのだろうか。」 ・「なぜ江戸時代に産業や経済が発達したのだろうか。」 ・「なぜ幕府はさまざまな改革を行ったのだろうか。」 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（①「会津藩主参勤交代行列図」） ・年表 <p>【学習活動】</p> <p>○「「学習する時代の見通し」をもとう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「これから学習する時代について、どのような時代なのか、ほかの人と話し合ってみよう。その際、小学校で学習した人物や主な出来事、前の章で学習した時代の特色を踏まえよう。」 ・「この時代では、前の章で学習した時代からどのように社会が変化するか、予想を書こう。」
山 川	<p>【構成の概要】 2 ページを使い、これから学習する内容を日本史と世界史に分けて年表で示すとともに、章全体に係る説明を示し、日本史と世界史の主な歴史的事象の写真や絵図を示している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真（姫路城、オスマン帝国の都となったイスタンブルの街、サン＝ピエトロ大聖堂、タージ＝マハル、ヴェルサイユ宮殿） ・絵図（長篠の戦い、「南蛮屏風」、「最後の晚餐」、コロンブスの上陸、検地の様子、出帆を待つ菱垣廻船、聖堂学問所での講義、オランダ正月、大塩の乱、ボストン茶会事件） ・年表

具体例（近世の日本）	
日 文	<p>【構成の概要】 4ページを使い、絵図、二次元コード、人物のイラストを用いた年表、写真、地図、キャラクターの問い等や、資料の読み取り、話し合い活動及び予想を書く活動を示している。章や各節の学習課題を示すとともに、キャラクターの言葉から章の学習課題を導くよう構成している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章の学習課題 「戦乱のない安定した時代は、どのように続いたのでしょうか。」 ○ 各節の学習課題 <ul style="list-style-type: none"> ・「ヨーロッパ人の来航や信長・秀吉の統一事業は、それまでの社会をどのように変えたのでしょうか。」 ・「江戸幕府は人々をどのように支配していたのでしょうか。」 ・「江戸時代の社会と政治は、どのように移り変わっていったのでしょうか。」 <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（1室町幕府の将軍が政治を行った建物のようす、2江戸幕府の将軍が政治を行った建物のようす、4ムスリム商人の船） ・年表 ・地図 ・写真（3イスタンブール） <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「「近世」という時代のイメージをつかもう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「1と2の特徴やちがいを読み取り、話し合しましょう。」 ・「室町幕府の将軍邸（室町殿）と江戸城を比べると、大きさにちがいはあるか。」 ・「それぞれの建物の特徴にちがいはあるか。」 ・「今のあなたが考える「近世」という時代のイメージを書き出しましょう。」 ○ 「年表から「近世」という時代を見通そう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「年表を読み取り、話し合しましょう。」 ・「小学校で学んだ人物は、いつぐらいに登場しているか。」 ・「政治、社会、外交、文化の面で、いつ、どのようなことが起こっているか。」 ・「世界ではどのようなことが起こっているか。」 ○ 「日本と世界のつながりを確認しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「地図を読み取り、話し合しましょう。」 ・「P.67の地図と比べて、ユーラシア大陸の国々はどのように変化しているか。」 ・「「近世」の日本と世界は、どのようにつながっていたか。」
自由 社	<p>【構成の概要】 1ページを使い、絵図、キャラクターの問い等とともに、小学校で学んだ近世の人物のイラストを時代順に示している。</p> <p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵図（三浦屋の高尾、タンギー爺さん、五十三次名所図会 石薬師、雲龍打掛の花魁）

具体例（近世の日本）	
育 鵬 社	<p>【構成の概要】 4ページを使い、年表、絵図、人物や歴史的事象のイラストを時代順に示し、キャラクターの問い等や資料の読み取りを示している。章全体に係る説明を示し、章及び各節の学習課題を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章の学習課題 江戸時代の安定した社会は、どのようにして形成され、維持されたのでしょうか ○ 各節の学習課題 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパとの出会いによって、日本は、どのように変化していったのでしょうか。 ・長く続いた戦乱の世は、どのようにして終わっていったのでしょうか。 ・江戸幕府が長い間、支配を続けることができたのは、なぜでしょうか。 ・産業や交通の発達する中で、どのような文化が盛んになったのでしょうか。 ・江戸幕府は、なぜ、改革をせまられたのでしょうか。 <p>【資料】 ・年表 ・絵図（「江戸図屏風」）</p> <p>【資料に係る学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ この絵から、どんなことが分かるでしょうか？ Q1 「日本橋がかかる川の両岸では、どのような荷物があつかわれているのでしょうか。」 Q2 「日本橋の右手には、大店といわれる大きな館が軒を連ねています。建物には、どのような特徴がありますか。」 Q3 「どのような身分・職業の人たちがえがかれていますか。それは、どのようなところから分かりますか。」 Q4 「このころの日本橋の町の区画は、どのようになっているのでしょうか。」 Q5 「日本橋の左側には、高札（立て札）がえがかれています。高札は、どのようなことに使われていたのでしょうか。」
学 び 舎	<p>【構成の概要】 2ページを使い、年表、写真、絵図を示し、それぞれの歴史的事象が関連する位置を地図に示している。章の学習課題を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章の学習課題 海洋を行き来して、遠く離れた国と国につながります。人びとの交流が新しい時代を開きます。地域と地域がつながって、新しい文化が育ちます。天下を統一した武将たち、力をつけた百姓・町人たちの姿を見ていきましょう。地域に残る歴史の跡や資料からも、当時の人びとの生活を見ることができます。近世の新しい動きを、さまざまな角度から考えてみましょう。 <p>【資料】 ・年表 ・地図 ・絵図（鉱山で働かされるアメリカ先住民、奴隷い船の内部のようす、イスタンブールの天文台、南蛮船から下ろされた荷物） ・写真（トマト・トウモロコシ・トウガラシ、コショウの実、石見銀）</p>
令 書	<p>【構成の概要】 2ページを使い、絵図及び歴史的事象を示した年表を示し、政治・外交・文化・産業の4つの視点で章の学習課題を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 章の学習課題 政治「江戸幕府はなぜ、長期安定の政権になったのでしょうか」 外交「江戸時代の外交は鎖国期から開国にかけてどのように変化していったのでしょうか」 文化「平和な江戸時代に生まれた豊かな文化はどんなものがあるのでしょうか」 産業「当時、世界有数の都市といわれた江戸の暮らしはどのように便利になっていったのでしょうか」 <p>【資料】 ・絵図 ・年表</p>

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方法	「身近な地域の歴史」で示している記載の仕方及び調べる手順・方法

記載の仕方及び調べる手順・方法	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史へのとびら」に「2節 身近な地域の歴史」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「地域の歴史を調べよう」という特設ページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 ○ 調べる手順・方法 <ol style="list-style-type: none"> 1 テーマと問いを設定して調査・考察しよう <ol style="list-style-type: none"> 1 テーマと問いの設定 <ul style="list-style-type: none"> ・調べるテーマを見つけよう 2 調査 <ul style="list-style-type: none"> ・主な調査方法（図書室・図書館を利用する、インターネットを利用する、博物館・美術館を利用する、郷土資料館など地域の施設を利用する、遺跡や遺物を見学する、聞き取り調査・リモート取材をする） ・書籍で調べよう（歴史上の出来事を調べる、時代や年代から調べる、人物・地名を調べる、郷土史を調べる） ・インターネットで調べよう（役に立つウェブページ、利用上の注意） 3 考察 2 まとめと発表をしよう <ol style="list-style-type: none"> 4-1 まとめ <ul style="list-style-type: none"> レポートやスライドの構成 <ul style="list-style-type: none"> ・レポートにまとめよう ・プレゼンテーションソフトでスライドにまとめよう 4-2 発表 5 ふり返り
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史のとらえ方・調べ方」に「2節 身近な地域の歴史を調べよう」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「身近な地域の歴史を調べよう」という特設ページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 ○ 調べる手順・方法 <ol style="list-style-type: none"> 1 情報を集めて問いを立てよう ▷地域にはどのような歴史があるのかな <ul style="list-style-type: none"> ・小学生のときの学習を思いだそう ・調査全体の見通しを立てよう（1情報を集めて問いを立てよう、2実際の調査を進めよう、3整理して考察しよう、4調査の結果をまとめよう、5発表して振り返ろう） ・情報を集めよう ・学校図書館を活用しよう（調査に役立つ図書、図書の探し方） ・インターネットを活用しよう（インターネットの検索、利用するときの注意点） ・「調査テーマ」を決めよう ・意見を共有して、アイデアをまとめよう 2 実際の調査を進めよう ▷調査テーマについてどのようなことがわかるかな <ul style="list-style-type: none"> ・メモを取ろう 3 整理して考察しよう ▷調べたことから何がわかったかな 4 調査の結果をまとめよう ▷どのように表現したら相手により伝わるかな 5 発表して振り返ろう ▷お互いの発表から何を学び合えるかな

記載の仕方及び調べる手順・方法	
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史のとらえ方と調べ方」に「第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「歴史を探ろう」という特設ページを設け、身近な地域の調べ学習の例を示している。 ○ 調べる手順・方法 <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史の謎を探ろう <ul style="list-style-type: none"> ・町のなかの気になる場所に行ってみよう。 ・情報の集め方（①図書館、②博物館・資料館、③インターネット） 2 資料をよく見てヒントを探そう <ul style="list-style-type: none"> ・博物館や資料館などに行ってみよう ・図書館などでヒントを探してみよう ・詳しい方に質問してみよう ・新たな発見をしにいこう ・野外・聞き取り調査のしかた ・年表のつくり方・地図のつくり方 3 謎解きの答えをまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ・今との関わりを考えよう ・自分たちの考えを表現しよう ・クラスみんなに発表しよう ・レポートのまとめ方、発表のしかた
山 川	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・「第1章 歴史との対話」に「2節 身近な地域を調べよう」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「地域からのアプローチ」というページを設け、身近な地域の歴史に関する調べ学習の例を示している。 ○ 調べる手順・方法 <ol style="list-style-type: none"> 1 テーマを設定しよう！ <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを見つけるには 2 さあ調査だ！ <ol style="list-style-type: none"> ① 図書館を利用しよう <ul style="list-style-type: none"> ・図書館での文献調査 ② 荒川ふるさと文化館に行ってみた <ul style="list-style-type: none"> ・博物館の展示品と展示図録 ③ インターネットで昔の地図を見てみた <ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページの信頼性 ・古い地図を入手するには ④ 聞き取り調査をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り調査の注意点 ⑤ フィールドワークで道灌山周辺を実際に歩いてみた <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークの注意点 3 レポートをつくって発表しよう！ <ol style="list-style-type: none"> ① レポートにまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ・レポートの書き方 ・参考文献 ・引用と盗用 ② 発表しよう <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい伝え方 ・スライドのつくり方

記載の仕方及び調べる手順・方法	
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・「第1編 私たちと歴史」に「第2節 身近な地域の歴史の探究—大阪市内を例に—」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「でかけよう！地域調べ」という特設ページを設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ○ 調べる手順・方法 <ol style="list-style-type: none"> 1 テーマを決めて調査の準備をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・学習のはじめに <ul style="list-style-type: none"> ①地域調べをする理由を明確にするための視点 ・調査の全体像（テーマの決定、課題の調査、考察とまとめ） ①調査のテーマを決めよう ②テーマについて調べよう <ul style="list-style-type: none"> ・引用のしかた 2 課題を設定して、調査しよう <ul style="list-style-type: none"> ③調査の課題を設定しよう ④調査をしよう <ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り調査のしかた 3 考察し、まとめたことを報告しよう <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトを活用した報告の仕方 ⑤調査したことをまとめよう <ul style="list-style-type: none"> ②調査課題に対する考察の視点 ⑥調査したことを伝えよう <ul style="list-style-type: none"> ③報告・発表するときを示すこと ④発表を聞く時に意識すること ・活動をふり返ってみよう ⑤ふり返るときの視点
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・「序章 歴史のとらえ方」に「第3節 地域の歴史を調べる」を設け、調べ学習の具体例を4つ示している。 ・大単元の最後に「調べ学習のページ」を設定し、調べ学習の進め方やまとめの具体例等を示している。 ○ 調べる手順・方法 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域の歴史を調べる」において、A～D班の4つの班に分かれて調査を行った内容をそれぞれがまとめた文章として掲載している。 A班 古墳を調査 B班 港を調査 C班 千利休の屋敷跡を調査 D班 堺事件を調査
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・序章に「④身近な地域の歴史の調べ方」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・序章及び第4章において、「地域の歴史を調べてみよう」という特設ページを設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ○ 調べる手順・方法 <ol style="list-style-type: none"> ①テーマを決める ②調査をする（（1）事前調査、（2）実地調査（調査活動を行なう際に便利な道具）） ③分類・分析・整理をする ④発表する（まとめ）
学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史への案内」に「4 地域の博物館で調べる」を設け、地域の博物館での調べ学習や現地調査における学習のポイントを示している。 ○ 調べる手順・方法 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の博物館で調べる ・地域の歴史について、上手に調べ、発表するために <ol style="list-style-type: none"> ①どこを歩き、何を見るのか、何を調べるのか、あらかじめチェックしておきましょう。 ②地域の方、博物館の学芸員、説明員に積極的に質問してみましょう。 ③わかったこと、さらに調べてみようと思うことなど、メモしておきましょう。 ④写真も撮っておきましょう（ただし、写真は許可をえてから撮るようにしましょう）。 ⑤調べたことを、レポートや地図にまとめ、グループやクラスで発表しましょう。

【社会（歴史的分野）】

記載の仕方及び調べる手順・方法	
令 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記載の仕方 <ul style="list-style-type: none"> ・「序 国史を学ぶにあたって」に「三 グループで歴史を調べよう」を設け、調べ学習における学習のポイントを示している。 ・「第三章」「第四章」「第五章」において「field work」に具体的な課題を示している。 ○ 調べる手順・方法 <ul style="list-style-type: none"> イ テーマを決める ロ 疑問を持つ ハ 調べる ニ まとめる ホ 発表する ヘ 振り返る

【社会（歴史的分野）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧ 単元や資料等の配列・分量
方法	各時代区分別のページ数

	歴史との 対話	古代	中世	近世	近代	現代
東書	14	42	34	46	100	32
教出	17	40	36	48	108	36
帝国	12	48	42	56	114	32
山川	9	48	40	52	100	30
日文	12	46	40	50	104	34
自由社	12	50	36	44	106	33
育鵬社	14	40	32	50	98	36
学び舎	8	44	32	48	110	36
令書	13	102	64	86	142	49

【社会（歴史的分野）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨主権者育成のための工夫
方法	古代、近代、現代における民主主義の来歴や人権思想の広がりについての記載内容

	記載内容		
	古代	近代	現代
東書	○ 「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「アクロポリスとパルテノン神殿」「古代ローマの支配領域」等の資料を掲載している。	○ 「イギリスとアメリカの革命」「フランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言」「人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「民主化と日本国憲法」というタイトルで2ページを使って記載し、「日本国憲法前文」「初の男女普通選挙」等の資料を掲載している。
教出	○ 「すべての道はローマに通ず」というタイトルで2ページを使って記載し、「アテネのパルテノン神殿」「古代ローマの領域」等の資料を掲載している。	○ 「王は君臨すれども統治せず」「代表なくして課税なし」というタイトルで4ページを使って記載し、「権利の章典」「人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「敗戦からの再出発」「平和国家をめぐって」というタイトルで4ページを使って記載し、「女性の国会議員の誕生」「日本国憲法の前文」等の資料を掲載している。
帝国	○ 「ギリシャとローマの政治と文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「パルテノン神殿」「東西の大国と交易のつながり」等の資料を掲載している。	○ 「市民革命の始まり」「人権思想からフランス革命へ」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言の採択」「人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「新時代に求められた憲法」というタイトルで2ページを使って記載し、「あたらしい憲法のはなし」「初めての女性国会議員」等の資料を掲載している。
山川	○ 「地中海文明の発展」というタイトルで2ページを使って記載し、「アクロポリスに建つパルテノン神殿」「円形闘技場」等の資料を掲載している。	○ 「市民革命の時代」というタイトルで4ページを使って記載し、「独立宣言」「バスティーユ襲撃」等の資料を掲載している。	○ 「占領下の日本」「日本国憲法と民主化」というタイトルで4ページを使って記載し、「女性の衆議院議員」「日本国憲法」等の資料を掲載している。
日文	○ 「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「パルテノン神殿」「ローマ帝国の支配圏」等の資料を掲載している。	○ 「王政から議会制へ」「アメリカの独立とフランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「権利の章典」「人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「占領と改革の始まり」「平和で民主的な国家をめぐって」というタイトルで4ページを使って記載し、「日本国憲法公布の祝賀会」「投票する女性有権者」等の資料を掲載している。
自由社	○ 「ギリシャ・ローマの文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「古代アテネ復元図」「大西洋から黒海沿岸を支配したローマ帝国」等の資料を掲載している。	○ 「イギリスの市民革命とアメリカの独立」「啓蒙思想とフランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「権利章典」「人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「占領下の日本」というタイトルで2ページを使って記載し、「日本最初の婦人代議士」「占領軍の進めた戦後の主な改革」等の資料を掲載している。

【社会（歴史的分野）】

	記載内容		
	古代	近代	現代
育鵬社	○ 「ギリシャとローマの文明」というタイトルで2ページを使って記載し、「パルテノン神殿」「コロッセオ」等の資料を掲載している。	○ 「イギリスの革命とアメリカ独立」「フランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言」「人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「民主化と日本国憲法制定」というタイトルで2ページを使って記載し、「初めての女性国会議員」「英文で書かれた日本国憲法の草案」等の資料を掲載している。
学び舎	○ 「円形競技場の熱狂」というタイトルで2ページを使って記載し、「紀元前5世紀ごろのギリシアとペルシア」「ローマ帝国の広がり」等の資料を掲載している。	○ 「アメリカの大地に生きる」「バスチーユを攻撃せよ」というタイトルで4ページを使って記載し、「ボストン港でのイギリスへの抗議行動」「ベルサイユ宮殿へ向かう民衆」等の資料を掲載している。	○ 「焼け跡からの出発」「もう戦争はしない」というタイトルで4ページを使って記載し、「街頭演説をする山口シヅエ」「あたらしい憲法のはなし」等の資料を掲載している。
令書	○ 「ギリシャ・ローマの文化」というタイトルで3ページを使って記載し、「アレクサンドロス大王」「フォロ・ロマーノ」の資料を掲載している。	○ 「イギリス革命とアメリカ独立戦争」「啓蒙思想とフランス革命」というタイトルで8ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言」「人権宣言」等の資料を掲載している。	○ 「大日本帝国憲法の改正」というタイトルで5ページを使って記載し、「日本国憲法原本上論」等の資料を掲載している。

【社会（歴史的分野）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用
方法	資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数

	「近代の日本と世界」における資料の種類及び掲載数							
	写真	絵図	地図	図表・グラフ	文書資料	年表	人物	二次元コード
東書	125	84	32	26	47	3	57	49
教出	109	80	28	32	22	3	55	6
帝国	129	73	37	38	2	3	62	20
山川	123	66	31	37	19	0	47	11
日文	116	69	31	37	34	31	61	60
自由社	68	71	22	14	60	5	34	0
育鵬社	78	68	33	36	20	3	77	2
学び舎	136	58	32	20	1	0	39	0
令書	29	20	4	8	29	3	27	0

【社会（歴史的分野）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	㊦掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方法	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

	フォント・グラフ	レイアウト等
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りをして区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしている。 ○ ページ隅の色分け、見開き右側の年表及び下部の記載で、学習内容を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りをして区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一し、本文の部分と側注等の資料の掲載部分を色分けしている。 ○ ページ隅の色分け及び下部の記載で学習内容を示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りをして区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフの周囲を周りとは違う色にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分け及び見開き右側の年表で学習内容を示している。
山 川	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分け及び下部の記載で学習内容を示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りをして区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分け及び見開き右側の年表で学習内容を示している。
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変え、実線で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分け、見開き左下部の年表及び下部の記載で学習内容を示している。

【社会（歴史的分野）】

	フォント・グラフ	レイアウト等
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切りを入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分け及び見開き左下部の年表で学習内容を示している。
学 び 舎	<ul style="list-style-type: none"> ○ 円グラフ及び帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページ見開きのレイアウトを統一している。 ○ ページ隅の色分けで学習内容を示している。
令 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は縦書きで示し、脚注は横書きで示している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れている。 ○ 複数の項目を含んだ折れ線グラフでは、データごとに濃淡を変え、実線で示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ページ下部の記載で学習内容を示している。

社 会（公民的分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい社会 公民
17	教 出	中学社会 公民 とともに生きる
46	帝 国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
116	日 文	中学社会 公民的分野
225	自 由 社	新しい公民教科書
227	育 鵬 社	新しいみんなの公民

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例
		② 公民としての基礎的教養を培うための工夫	現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例
		③ 国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫	国旗・国歌に関する記載の仕方及び領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④ 見方・考え方を働かせるための工夫	「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例
		⑤ 学習のまとめの工夫	単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 単元の導入における工夫	各単元の導入における学習の見通しをもたせる手立て及び具体例
		⑦ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	持続可能な社会の形成に関わる課題例及び課題解決の手順
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列・分量	各大項目のページ数
		⑨ 社会参画への意識を高める工夫	「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑩ 学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数
		⑪ 掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

【社会（公民的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①学習課題の示し方
方法	1時間ごとの学習課題の記載の仕方及び記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方	記載例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治の考え方と役割」「地方自治の仕組み」「地方公共団体の課題」「住民参加の拡大と私たち」とし、タイトルの上に「国と地域の、役割分担」「住む人の意思を、どう生かす?」「地域を守る・暮らしを守る」「今すぐ、できることもある」とサブタイトルを示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治はどのような考えに基づいて行われているのでしょうか。」 ○ 「地方自治はどのような仕組みで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体には、どのような課題があるのでしょうか。」 ○ 「住民の声を生かした政治を実現するために、どのような取り組みがなされているのでしょうか。」
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治ってなんだろう」「暮らしを支える地域の行政サービス」「地域の暮らしを支えるために」「変わりゆく地域社会」とし、タイトルの下に「身近な地域の政治」「地方自治体のしくみと仕事」「地方財政の現状と課題」「住民参加とこれからの地方自治」とサブタイトルを示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」「どのように」「何をすることが」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と住民の参加」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「身近な地域の政治は、どのようなしくみで行われるのでしょうか。」 ○ 「地方自治体はどのように仕事を行っているのでしょうか。」 ○ 「国や地方自治体は、地方財政にどのように取り組んでいるのでしょうか。」 ○ 「地域社会が抱える課題に対し、私たちは何をすることができのでしょうか。」
帝国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治と地方公共団体」「地方公共団体のしくみと政治参加」「地方財政の現状と課題」「私たちと政治参加」と示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と私たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「国の政治と比べて、地方の政治にはどのような特徴があるのだろうか。」 ○ 「私たちが住む地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのだろうか。」 ○ 「地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのだろうか。」 ○ 「私たちは、どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。」
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの暮らしと地方自治」「地方自治のしくみ」「地方自治の現状と今後の課題」「地方自治と私たち」と示している。 ○ タイトルの下に学習課題として「どのような」「どのように」「なぜ」「～とは何でしょうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「暮らしを支える地方自治」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治とはどのようなものなのでしょうか。なぜ必要とされるのでしょうか。」 ○ 「地方公共団体とは何でしょうか。それはどのようなしくみでしょうか。」 ○ 「地方公共団体と国にはどのような関係があり、地方自治の今後にはどのような課題があるのでしょうか。」 ○ 「地方自治を実現するために、私たちはどのように住民参加していけばよいのでしょうか。」
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「地方公共団体の役割」「地方自治の課題」と示している。 ○ タイトルの下に学習課題として「～とは何だろうか」「どうして」「どう～だろうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方公共団体の仕組みと課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治の意義とは何だろうか。国家レベルの行政や立法だけでは、どうして不十分なのだろうか。」 ○ 「地方自治体の財源は、どう確保されているだろうか。地方と国との関係は、どう変わってきただろうか。」
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きごとに、タイトルを「私たちと地方自治」「地方公共団体の政治のしくみ」「私たちのまちづくり」と示している。 ○ タイトルの右横に学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。 	<p>「地方自治と住民」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方自治はどのようなしくみで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方の政治はどのようなしくみで行われているのでしょうか。」 ○ 「地方自治において住民の声を生かすために、どのようなしくみがあるのでしょうか。」

【社会（公民的分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②公民としての基礎的教養を培うための工夫
方法	現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例

現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体例 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い）	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動を例に、「1年前の学校でのトラブルについて考えよう」「現在の学校でのトラブルについて考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「解決のための話し合い」の次に、「決まりの作成」「決まりの見直し」「見直した決まりの評価」について、絵図で示している。 ○ 「見直した決まりの評価」では、「決まりの評価表」を表で示している。 ○ 「いちごを効率的に配分するには」という課題を、絵図で示している。 ○ 「日本国憲法に定められた家族」「旧民法と新民法の比較」「社会集団の例」「物事を決定する方法」「採決の方法」「契約書の例」「Win-Win」「対立と合意、効率と公正」を絵図等で示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 合唱コンクールの練習を例に、「ルールについて考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ ごみ収集所の新たな設置を例に、「ルールをつくってみよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「ある家族のスマートフォンの使用をめぐるルール」「社会集団の広がりと主なルール」「受け継がれる京都の景観」「話し合いと決定の主な方法」「効率と公正をふまえた対立から合意へのプロセス」「じゃんけんは公平か」を絵図等で示している。 ○ 「考えたルールを評価しよう」では、「評価カード」を表で示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」を例に、「状況を確認する」「設置場所を話し合う」という課題を、絵図で示している。 ○ 「防災備蓄倉庫の運用規則は変えられる？」という課題を、絵図で示している。 ○ 「社会集団の例」「家族の役割」「家事分担での「win-winの関係」の例」「本書で扱う「意見が対立するテーマ」の例」「対立からよりよい合意へ」「合意を検討する観点の例」を絵図等で示している。 ○ 「効率と公正から考えよう」では、「コンビニエンスストアのレジの例」「テーマパークのアトラクションの例」の2つを絵図で示している。 ○ 「決定を行う方法を考えよう」では、「決定を行う方法の例」を4つの絵図で示している。

【社会（公民的分野）】

現代社会をとらえる見方・考え方を理解させるための具体例 （「対立と合意」「効率と公正」の扱い）	
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「アクティビティ」で、「きまりについて考えよう」「合意する方法を考えよう」「効率と公正の考え方」「きまりの変更について評価してみよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「合唱コンクールの練習スケジュールを考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「社会集団のきまりや役割の例」「さまざまな場面でのきまり」「家族構成の変化」「慣習・道徳・法」「家族にかかわる民法の変化」「さまざまな対立の例」「国会での話し合いのようす」「近江商人の「三方よし」」「対立と合意、効率と公正の関係」「ケーキの分け方における効率と公正」「外国人向けの広報誌」「ウェブサービスの利用規約」を絵図等で示している。
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部活動を例に、文章で「体育館使用問題①－対立」「体育館使用問題②－合意形成と目的に関する考察」「体育館使用問題③－合意形成後の対立」「体育館使用問題④－決まりをつくる」の順で表や文章で示している。 ○ 「やってみよう」として、「自分たちの学校で、体育館使用問題以外に決まりを決めた方が良い問題があるか、話し合ってみよう。もしあれば、体育館使用問題にならって、いろいろ話し合ったり、行動したりしてみよう。」という課題を、文章で示している。 ○ 「代表的な利益社会の例」として、「企業の研修会」「趣味で集まったクラブ」の写真を示している。
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「部活動の平日のグラウンド割りを考えよう」という課題を、絵図で示している。 ○ 「「効率」「公正」の観点から適切？話し合ってみましょう。」「合意の仕方について考えてみましょう。」「ルールの見直しについて評価しましょう。」について、絵図で示している。 ○ 「祭りで神輿を担ぐ中学生」「つながりの強さを感じる時」「家庭の役割」「親等図」「三世代世帯と核家族世帯」「家族構成の変化」「共働き世帯数の推移」「保育施設への苦情」「隣近所との上手なつきあい方はどれだと思うか」に対する考え」「地域共生社会の実現へ向けての取り組み」「ケーキの分け方」「win-winの例」「対立を合意に導く考え方」「雇用契約書（例）」「ルールの評価法」「ルール（きまり）の具体例」「競技規則が変更された例（サッカー）」を絵図等で示している。

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫
方法	国旗・国歌に関する記載の仕方及び領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

	国旗・国歌に関する記載の仕方	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
東 書	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家は、国を象徴する国旗や国歌などを定めています。国旗や国歌などにはその国の歴史や文化が反映されています。日本は、1999（平成11）年に「国旗及び国歌に関する法律」を制定し、日章旗を国旗、「君が代」を国歌と決めました。国どうしの関係ではお互いが主権国家であることを尊重し、他の国の国旗や国歌などを大切にしなければなりません。」 ○ 写真「独立を喜ぶ南スーダンの人々」「国際連合本部の前に並ぶ加盟国の国旗」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「沖ノ鳥島と、護岸が造られた北小島」 ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「竹島問題の経緯と取り組み」「北方領土問題の経緯と取り組み」「尖閣諸島への対応」 ○ 写真「竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「樺太の真岡から函館への引きあげ」「尖閣諸島の島々」「中国の船と並走する海上保安庁の巡視船」 ○ 地図「李承晩ライン」「北方四島の位置」「沖縄返還協定でアメリカから日本に返還された範囲」 ○ 新聞「李承晩ラインについて報じる島根県の新聞」
教 出	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「世界のどの国にも、国旗と国歌があります。国旗や国歌はその国を表す象徴（シンボル）で、国家と国民はそれらに対しお互いに敬意を払って尊重し合うことが、今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年、「日章旗（日の丸）」を国旗、「君が代」を国歌とするのがならわしでしたが、1999年にそのことが法律で定められました。植民地などがついに独立を果たして主権国家となり、独自の国旗を掲げるとは、自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。国旗や国歌には、それぞれの国の歴史や国民の思いがこめられています。」 ○ 写真「東京2020パラリンピックの表彰式で掲げられた国旗」「国歌を斉唱するサッカー日本代表」 ○ 絵図「南アフリカ共和国の国旗の変化」 ○ 側注「1999年の国会において、当時の首相は「君が代には、日本の繁栄と平和への願いがこめられている」という考え方を示しました。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌の歴史」 ○ 絵図「威臨丸」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「「北方領土の日」の住民大会」「北方領土返還を求める看板」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 地図「北方領土」「日本の国土とその周辺」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「なぜ、外交の役割は重要なのだろう」の一部 ○ 写真「尖閣諸島周辺の海を警備する、海上保安庁の巡視船」「折り紙などが行われた、択捉島での文化交流会」
帝 国	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「国旗と国歌は、それぞれの国のシンボルです。世界の国々が自分たちの国の歴史を背景に国旗や国歌を定めています。日本では、1999年の国旗・国歌法によって、「日章旗（日の丸）」が国旗で、「君が代」が国歌であると定められています。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗が掲げられ、国歌が演奏されています。国際社会では、国旗や国歌を相互に尊重することは大切で、現代社会の重要な儀礼となっています。」 ○ 写真「拉致被害者の帰国」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「尖閣諸島沖を航行する海上保安庁の船と中国船」 ○ 地図「尖閣諸島の位置」「日本の排他的経済水域」「北方領土の歩み」「竹島の位置」 ○ 側注「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」

	国旗・国歌に関する記載の仕方	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
日 文	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国家と国家主権」 ○ 本文「(前略) すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会の大切な原則です。また、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重し合うことが、国際的な儀礼です。日本では、法律で「日章旗」を国旗、「君が代」を国歌としています。」 ○ 写真「2020 東京オリンピックの表彰式」「G20 大阪サミットに出席する各国首脳」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「護岸工事前と護岸工事後の沖ノ鳥島」「西之島」「竹島」「尖閣諸島」 ○ 絵図「北方領土周辺」 ○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」の一部 ○ 写真「元島民らによる洋上慰霊」「竹島の日」式典」「尖閣諸島付近で海上保安庁の巡視船には含まれた中国政府の船」
自由社	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌」 ○ 本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国家の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。オリンピックやワールドカップでも、各国の国旗が掲揚され、国歌が演奏されています。」 ○ 写真「リオデジャネイロオリンピック開会式」 ○ 脚注「ここがポイント！③国際社会では相互に国旗・国歌への敬意が求められている。」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗と国歌を考えてみよう」 ○ 写真「アメリカ市民権獲得宣誓式の模様」「日の丸を手に、日本の伝統文化をすすめるイベントに参加する和服姿の女性たち」 ○ タイトル「「日章旗」の意味」「君が代」の意味」「国旗掲揚の国際儀礼」 ○ タイトル「どこの国の国歌だろう？」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地図「わが国の領域」 ○ 写真「沖ノ鳥島」「南鳥島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「わが国の領土問題」 ○ 地図「1855 年の日露通好条約で決められた国境」「李承晩ライン」 ○ 年表「北方領土問題の主な歴史」 ○ 写真「銃撃された日本の海上保安庁の巡視船」
育鵬社	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国旗・国歌」 ○ 本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗（日の丸）を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999（平成 11）年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」 ○ 資料「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」 ○ 写真「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「国歌「君が代」の意味」 ○ 資料「各国の国歌の大意」（アメリカ、中国、フランス、イギリス）「世界の国旗のデザイン」 	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 写真「尖閣諸島の魚釣島付近の領海に侵入した中国船を追走する海上保安庁の巡視船」 ○ 地図「日本の排他的経済水域と延長大陸棚」 ○ 絵図・写真・解説「日本の主権範囲」の中に「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」「日本の最南端、沖ノ鳥島と護岸工事がほどこされた沖ノ鳥島の北小島」 <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ タイトル「日本の領土をめぐる問題」 ○ 地図「北方領土」「韓国側が主張する李承晩ライン」 ○ 写真「択捉島の街並み」「尖閣諸島」「竹島」 ○ 新聞「竹島は日本領」 ○ グラフ「尖閣領海内への中国公船の月別侵入隻数（延べ数）」

【社会（公民的分野）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④見方・考え方を働かせるための工夫
方法	「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例

「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための記載例	
東 書	<p>【課題】 持続可能な社会の実現に向けて、私たちには何ができるのでしょうか。</p> <p>【資料】 絵図 「社会的な見方・考え方を働かせて身に付けた資質能力」 表 「人間と自然環境との相互依存関係」「持続可能性」「推移に関わる視点（継続）」「対立と合意」「希少性」「持続可能性」</p> <p>【本文】 「これまでの社会科の学習を思い起こし、「効率と公正」といった社会的な見方・考え方を活用することも大切です。」</p>
教 出	<p>【課題】 私の提案「自分を変える、社会を変える」をつくろう</p> <p>【資料】 イメージ図 「作品の作成～振り返りのイメージ図」 文書資料 「四つの視点とは」</p> <p>【本文】 [表現方法の選択] 「私の提案」は、物事を空間的にとらえる「地理」の見方や考え方、物事の時間的な流れに着目する「歴史」の見方や考え方、さまざまな視点から現代社会をとらえる「公民」の見方や考え方など、これまでの社会科での学びを総動員して作成する。 [自分にとっての持続可能な未来とは] 「私の提案」のまとめとして、「持続可能な未来のために大切にすべき見方や考え方とは何か」、「自分にとっての持続可能な未来とは何か」という「考え続ける問い」に対し、自分なりの答えを考えてみよう。」</p>
帝 国	<p>【課題】 持続可能な社会の形成に向けて解決すべき課題について考察、構想し、自分の考えを論述します。</p> <p>【資料】 吹き出し 「「民主主義」の観点で考えてみたい。」「「効率と公正」の観点で考えてみるよ。」 絵図 「「個人の尊重」に着目」「空間的な広がり」や「推移」に着目」「「持続可能性」に着目」「「希少性」や「協調」に着目」「人口に応じた調整だけでいい?」「増加する医療費にどう対応するのか?」「高福祉には高負担が必要」「日本の難民受け入れ数は少ない」「これまでの考察をもとに、レポートを書いてみよう。」 文書資料 「一票の格差とは?」</p> <p>【本文】 「あるテーマについて、さまざまな立場から意見を出し合うことで、より効率的で公正な解決策が見つかります。」</p>

【社会（公民的分野）】

「よりよい社会を目指して」における、見方・考え方を働かせるための記載例	
日 文	<p>【課題】 これからの社会をどんな社会にしたい？</p> <p>【資料】 「まどかさんの考察」 考察内にある「位置」に関する文章、グラフによる「比較」、「効率と公正」に関する「効率と公正の観点から」と題する文章 表 「どの程度の効果があらわれているかを表す統計資料はあるだろうか。」 「自分の提案は、実現が可能なものになっているだろうか。」 「自分の提案は、効果があるものになっているだろうか。」</p> <p>【本文】 「これまで地理・歴史・公民の授業で身に付けてきた知識や、見方・考え方を使うことで、課題についてさまざまな面から考察することができようになります。」</p>
自 由 社	<p>【課題】 ディベートをやってみよう</p> <p>【資料】 文書資料 「論題の例」 ・政治の仕組みに関して ・安全保障の方針に関して ・環境問題への対応に関して</p> <p>【本文】 「社会のなかでさまざまに生じる対立から合意を形成していくためには、無駄のないように効率も配慮して、公正に議論する必要がある。」</p>
育 鵬 社	<p>【課題】 これからの社会に加わる私たちが、持続可能な社会（将来の世代が必要とするものを満たしつつ、現在の私たちの世代をも満足させる社会）を築いていくという観点からよりよい社会をつくっていくためにはどうすればよいのでしょうか。</p> <p>【資料】 絵図 テーマを決める～ウェビングマップの作成 表 テーマ例「社会」「政治・経済」「国際」「環境・食料」</p> <p>【本文】 「地理」では日本と世界の地理的な特色やそれぞれの関係について、「歴史」では世界の歴史を背景に日本の歴史の大きな流れについて学びました。そして「公民」では、現代の日本社会の特色や、現代社会をとらえる見方や考え方を学習しました。 地理・歴史・公民で身に付けた視点や方法を働かせ、レポートに書いたり、プレゼンテーションをしたりして表現する活動をします。</p>

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤学習のまとめの工夫
方法	単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例

単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例	
東 書	<p>○ 「私たちの暮らしと経済」の単元末において、2ページを使い、「コンビニエンスストアの新たなサービスを企画しよう」という学習課題を設定している。学習活動として、「導入の活動では、長く続けられるコンビニエンスストアについて、場所の面（立地条件）から中心に考えました。導入の活動で作成したマトリックスを参考に、改めてA市、B市、C市からあなたが出店したいと思う1か所を選んで、(1)～(4)について考えましょう。」と示している。</p> <p>(1) 長く続けられるお店、持続可能なお店とはどのようなお店なのでしょう。これまで学習した以下のポイントを参考に、改めて経営者（店舗）、労働者、消費者の視点で整理し直しましょう。その際、Yチャートを使うと、上記3点の視点で整理しやすくなります。</p> <p>(2) この地域に必要なお店としてさらに発展していくために、さらなるサービスの拡充を図ろうとしています。どのようなサービスを優先的に行っていくべきか、次の1～6の項目を参考に、一つ選びその理由を考えましょう。</p> <p>(3) グループの中でサービスの優先順位を発表し合ひましょう。そして実現可能かどうか、効率・公正、希少性、持続可能性の観点で問題はないかなど、意見を交換しましょう。</p> <p>(4) グループでの発表、話し合いを受けて、改めてどのサービスを優先的に行っていくのか、理由と合わせて考えましょう。</p> <p>○ 第4章の探究課題を解決しよう 探究課題「豊かな社会を築くために、私たちはどのように経済に関わっていくべきでしょうか。」</p>
教 出	<p>○ 「私たちの暮らしと経済」の単元末において、3ページを使い、「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」と学習課題を設定している。学習活動として、STEP! ①②を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ STEP! ①「第4章の学習のはじめに」(p.130～131)を振り返ろう 以下の問いに答えながら、第4章の学習を行う前の自分の意見と比べてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ① p.130の「給食作り」における分業の長所を考え、思いつく限りあげてみよう。 ② 「給食作り」における分業に短所があるかどうか、考えてみよう。 ③ p.131のQ6で自分があげた「分業と交換」の例について、「効率と公正」の視点からとらえ直してみよう。 ④ p.130の事例で、もっと多くの給食を作るためには、どのような工夫が考えられるだろうか。 ・ STEP! ②「第4章の問い」について考えよう 第4章「私たちの暮らしと経済」の問い 私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> [1] 企業の経済活動がない場合、社会はどうなってしまうだろうか。以下の「見方・考え方」を参考に、具体例をあげながら考えてみよう。[見方・考え方：分業と交換] [2] 家計における「消費者」や、企業における「労働者」など、経済活動をになう一員として今後の日本経済を考えたときに、どのようなことが大切だと思うか、第4章の「見方・考え方」を参考に自分の意見をまとめよう。[見方・考え方：対立と合意 効率と公正 分業と交換] [3] [2] で考えた自分の意見をグループで発表し合い、意見や考えをマインドマップにまとめてみよう。 [4] 第4章のテーマ「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」について、[3]も活用しながら自分の意見をまとめよう。

<p style="text-align: center;">単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例</p>	
<p>帝 国</p>	<p>○ 「経済活動と私たち」の単元末において、1ページを使い、「各節の学習や「学習の前に」を振り返り、章の問いをまとめよう」という学習課題を設定している。学習活動として、「①「学習の前に」を振り返ろう。」「②節の振り返りや①を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。」と示している。</p> <p>① 「学習の前に」を振り返ろう。</p> <p>(1) p. 116～117 のイラストを振り返り、人と人の中で交換が行われている場面を探し、右の表の①、②にまとめてみよう。</p> <p>(2) (1) で見つけた場面は、経済活動においてどのような役割を果たしているのか、家計、企業、政府の関係性に着目して右の表の③にまとめよう。</p> <p>(3) (2) で作成した表を周りの人と持ち寄って、意見交換をしてみよう。</p> <p>②節の振り返りや①を参考にして、章の問いの答えをまとめよう。</p> <p>1章の問い 私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。</p> <p>ステップ1</p> <p>(1) 下線部 (A) (B) に当てはまる語句を漢字2字で考えよう。</p> <p>ステップ2</p> <p>(1) クラゲチャートを用いて、下線部 (C) のアイデアを出そう。</p> <p>(2) (1) について、周りの人と意見交換をしながら、下線部 (C) をまとめよう。</p>
<p>日 文</p>	<p>○ 「国民の生活と政府のはたらき」の単元末において、2ページを使い、「章のまとめをしよう」と学習活動を示している。学習課題として、「ニュースを見方・考え方から見てみよう」「章の問いに答えよう」と示している。</p> <p>ニュースを見方・考え方から見てみよう</p> <p>①失業した人は雇用保険によってお金を受け取ることができます。雇用保険は社会保障の四つの柱のうち、どれに含まれるでしょうか。</p> <p>②失業者が増えているとき、景気はどのように変化していくと考えられますか。</p> <p>③失業した人を社会全体で支えるべき理由を、効率と公正の見方・考え方を使って説明してみましょう。</p> <p>○ 章の問いに答えよう</p> <p>①これまで学習してきたことをもとに、章の問いをまとめましょう。 マトリックス (表) を使って考えてみよう (財政の3つの役割に基づいて学習内容を整理してみよう。)</p> <p>②自分の考えがまとまったら、グループになって意見交換をしてみよう。その後、みんなの意見を参考に、新たに気づいたことや足りなかった部分をふまえて、考えをまとめよう。</p>
<p>自 由 社</p>	<p>○ 「国民生活と経済」の単元末において、1ページを使い、学習活動として「学習のまとめと発展」を示している。「学習の発展」として、「第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つを選んで、約400字でまとめてみよう。」と学習課題を示している。</p> <p>①江戸時代の家庭にはなくて、現代ではどこの家庭にもある家庭用品を10ほどあげ、それらがなければ、生活がどのように変わるか考えてみよう。</p> <p>②新しく開発された商品は経済生活を豊かにすると同時に、社会に悪い影響をあたえることがある。そのときは規制が必要となる。そのことを、携帯電話を例にして考えてみよう。</p> <p>③市場経済では、商品売るために莫大な宣伝費をかけるのに対して、計画経済では宣伝費はあまりかけない。宣伝費の得失について、考えてみよう。</p> <p>④高齢者が増え、働いている若い世代が少なくなる高齢社会の中で、年齢制度に問題が生じることを確かめ、その解決法にはどんなものがあるか、いろいろ考えてみよう。</p> <p>⑤わが国は循環型社会をさらに進めるために、どのようにしていかなければならないか、考えてみよう。</p>

単元末のまとめにおける多面的・多角的に考察させるための具体例	
育 鵬 社	<p>○ 「私たちの生活と経済」の単元末において、2ページを使い、学習活動として「経済のこれから」とし、「第4章で学んだ内容を振り返りながら、企業の社会的責任（CSR）について考え、これからの社会に求められる企業とはどのような企業か、ポスターツアーを行ってみましょう。」と学習課題を示している。</p> <p>1 コンビニエンスストアに共通の課題としてどのようなものがあるか、調べてみました。</p> <p>2 そこで「経済の入り口」でインタビューした、コンビニエンスストアを運営するA～C社のそれぞれの会社では、社会に求められる会社をめざして、「行動計画2030」を作成しようということになりました。「経済の入り口」での活動の時につくったA・B・C社の班に分かれ、社員になったつもりでSDGsの最終年に合わせた「行動計画2030」(Plan)を、次の①～⑤にしたがって話し合い、作成してみよう。</p> <p>①「2030年には、こういう会社になっている」というゴールを具体的に示しましょう。</p> <p>②社会に求められる会社をめざすために取り組まなくてはならない課題を、右の4つのテーマにしたがってあげてみましょう（1 イノベーション／2 環境／3 社員と働き方（人権）／4 経営の健全化（ガバナンス））。</p> <p>③②であげた課題の解決のために実行すること（Do）を考え、具体的に提案してみよう。</p> <p>④③で提案した内容を、「社会課題の解決や、会社と社会が共有する価値の創造に結びつくものになっているか」という視点で、評価（Check）してみよう。</p> <p>⑤④の評価を受けて改善（Act）し、グループの「行動計画2030」をポスターにまとめ、ポスターツアーを行いましょ。</p>

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥単元の導入における工夫
方法	各単元の導入における学習の見通しをもたせる手立て及び具体例

	各単元の導入における学習の見通しを持たせる手立て	具体例（私たちと経済）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載しており、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どのような」「どのように」の問いを示している。 ○ 導入の活動として「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」という課題を、絵図、表で示し、キャラクターの吹き出しで情報を示している。 ○ 「探究課題」では、キャラクターの吹き出しで「～整理しましょう」「どのように」という問いを、「探究のステップ」では各節の問いを示している。 	<p>第4章「私たちの暮らしと経済」 探究課題「豊かな社会を築くために、私たちはどのように経済に関わっていくべきでしょうか。」</p> <hr/> <p>「探究のステップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1節「消費活動では、なぜ消費者の自立が求められているのでしょうか。」 ○ 2節「生産活動では、なぜ労働者の権利を保障することが重要なのでしょうか。」 ○ 3節「市場と金融の働きは、なぜ私たちの生活にとって重要なのでしょうか。」 ○ 4節「国民の福祉にとって、なぜ財政が重要なのでしょうか。」 ○ 5節「これからの経済と社会のために、私たちに何ができるのでしょうか。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに4枚の写真を掲載している。それぞれの写真の横や下に、写真の説明文と内容に関する項目とページ数を示している。 ○ 導入の活動として、「よりたくさんの給食を作るためには」という課題を、漫画で示している。 ○ 学習の見通しとして、各節のテーマと問いを示している。また、章全体の問いを示している。 	<p>第4章「私たちの暮らしと経済」 「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1節「私たちの消費生活は、経済活動とどのようにつながっているのだろうか。」 ○ 2節「生産活動をになう企業にはどのような役割と責任があり、働く人たちはどのように関わっているのだろうか。」 ○ 3節「市場経済は、どのようなしくみと機能をもつのだろうか。」 ○ 4節「金融や財政のしくみは、私たちの暮らしにとってどのような役割があるのだろうか。」
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載している。 ○ 導入の活動として見開き2ページに「学習の前に」として、「暮らしのなかから経済を探してみよう」を設け、イラストや問いを示している。また、各場面には関連する本文のページ数を示している。 ○ キャラクターの吹き出しで、「～していきましょう」と第3部で何を学習するのかを示している。 	<p>第3部「経済」 「私たちの社会を豊かにするために、経済にはどのような働きがあるのだろうか。」</p> <hr/> <p>「はるの市」の「若木地区」の商店街の様子です。たくさんの人たちが買い物をしたり、働いたりしています。イラストを見ながら、経済が私たちの暮らしとどのように関わっているか、考えてみましょう。次の場面は、イラストの□ア～□カのどれに当たるか、() に記号を入れてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①購入する商品の代金を支払っている ②店長から給与を受けとっている ③スマートフォンの契約内容を確認している ④市の作業員がごみを収集している ⑤ATM（現金自動預け払い機）を利用している ⑥パン用の小麦を受けとっている

【社会（公民的分野）】

	各単元の導入における 学習の見通しを持たせる手立て	具体例（私たちと経済）
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、見開き2ページに「学習のはじめに」として、「ハンバーガーショップから見る経済のしくみ」を設け、漫画で示している。 ○ 漫画についてイラストに吹き出しを加えながら示し、「関係があるのかな」「どういう意味だろう」の問いを2つ示している。 ○ 「第3編第1章の問い」では、第3編で何を学習するのかを示している。 	<p>第3編「私たちの生活と経済」 「私たちの生活を支える経済活動は、どのようなしくみで成り立っているのでしょうか。」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「労働基準法ってどんなことが書いてあるんだろう。」 ○ 「円安の影響で値上げってどういう意味だろう。」 ○ 1節「市場経済において、消費生活はどのような意味で大切なのでしょうか。」 ○ 2節「市場経済において、企業にはどのような役割と責任があるのでしょうか。」 ○ 3節「金融のしくみは、私たちの生活とどのようにかかわっているのでしょうか。」
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページにイラストを掲載している。単元名の下に、単元の内容についての問いを示している。 	<p>第4章「国民生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの豊かな生活を支える経済の仕組みは、どうなっているのだろうか。」 ○ 「幸せな経済生活とは、いったいどのようなものなのだろうか。」
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真に掲載しており、写真の横や下に説明があり、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どういう」「どうやって」「なぜ」の問いを示している。 ○ 導入の活動として、「経済の入り口」で、「コンビニの経営者と支持者になって、新たなサービスについて考えてみましょう。」という活動を設け、説明文やイラストを示している。 ○ 「どうして経済を学ぶの？」「経済を学習するにあたって」で、第4章で考えること、学ぶことについて示している。 	<p>第4章「私たちの生活と経済」 「経済（「経世済民」）のしくみとはどんなものなのでしょうか。経世済民（「世を経め民を済う」）の世の中にするには、どんな社会を築いていけばいいのでしょうか。」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「どういうしくみになっているのかな。」 ○ 「魚はどうやって食卓に届くのだろうか。」 ○ 「郊外に大きなショッピングセンターが増えたのはなぜかな。」 ○ 第1節「私たち消費者は、どのような形で経済活動に関わっているのでしょうか。」 ○ 第2節「経済社会において企業が果たす役割と責任は何でしょう。」 ○ 第3節「金融市場での取引は、国民生活とどのような関係にあるのでしょうか。」 ○ 第4節「国民の福祉実現のため、政府はどのような役割を担っているのでしょうか。」

【社会（公民的分野）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方法	持続可能な社会の形成に関わる課題例及び課題解決の手順

	課題例	課題解決の手順
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 情報・技術 ○ 人権・平和（多様性の尊重） ○ 伝統・文化 ○ 環境・（資源・）エネルギー ○ 防災・安全 ○ 近江八幡市を例に、課題の設定（課題の把握）、資料の収集と読み取り（課題探究）、意思決定、提案参加を示している。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題の設定（課題把握） 「持続可能な社会の形成者として」 2 資料の収集と読み取り（課題探究） 「持続可能な社会を実現するために」 3 意思決定 4 提案参加 「中間発表（スライド作成）」「最終発表（レポート作成）」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 環境・資源 ・自然災害 ・環境破壊・公害 ・エネルギー及び資源の枯渇 等 ○ 平和・人権 ・戦争・紛争・テロ ・差別・偏見 ・信仰・宗教の布教と対立 ・体罰 等 ○ 経済 ・経済格差の拡大と貧困 ・日本国内の超高齢・人口減少社会の進展 等 ○ 健康 ・H I V、鳥インフルエンザ、新型コロナウイルスなど感染症・疾病 等 ○ 教育・文化 ・識字率 ・世界遺産・地域遺産の保護と破壊 等 ○ 情報 ・ICT環境 ・PC・インターネット・スマートフォン 等 ○ 犯罪 ・地域や学校などで起こる犯罪・事件 等 	<ol style="list-style-type: none"> 1 持続可能な未来をつくるために、私たちに必要なことはどのようなことでしょうか。 2 私の提案「自分を変える、社会を変える」を作成するには、どうしたらよいのでしょうか。 3 「私の提案」をもとに対話を行うと、さらにどのような未来が描けるのでしょうか。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現代社会 テーマ「少子化への対応」 ・政府の対策 ・海外の事例 ○ 憲法 テーマ「夫婦別氏の是非」 ・海外の事例 ・裁判所の判決 ○ 政治 テーマ「一票の格差の解消」 ・一票の格差の現状 ・海外のさまざまな選挙区の区割り ・今後の人口動向 ○ 経済 テーマ「増加する医療費への対応」 ・近年の医療制度の改革 ・海外の事例 ○ 国際 テーマ「日本の難民支援のあり方」 ・日本や主な国の難民の受け入れ状況 ・難民条約 ・国連難民高等弁務官事務所の活動 ○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題を決めよう（課題の設定） 2 資料を集めよう（資料の収集と読み取り） 3 考察しよう（考察） 4 レポートを書こう（構想とまとめ）

【社会（公民的分野）】

	課題例	課題解決の手順
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 伝統・文化 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の年中行事 ・日本の宗教 ・伝統的な芸術 ・世界遺産 ・観光 ・多文化共生社会 等 ○ 政治・経済 <ul style="list-style-type: none"> ・社会保障、年金 ・財政赤字 ・消費者問題 ・為替相場 ・外交 ・防衛 ・防災 ・減災 ・領土問題 ・世代間の公正 等 ○ 人権・平和 <ul style="list-style-type: none"> ・女性 ・子ども ・外国人 ・アイヌ ・障がいのある人 ・南北問題 ・労働 ・憲法9条 ・核兵器 ・PKO 等 ○ 環境・科学・技術 <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化 ・生物多様性 ・循環型社会 ・遺伝子操作 ・臓器移植 ・尊厳死 ・宇宙開発 ・人口知能 ・IoT社会 等 ○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマの設定 2 資料の収集と読み取り 3 考察と構想 4 まとめと評価
自由 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の国際貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・環境のための国際貢献 ・日本型ODA ・平和のための国際貢献 ○ 日本の安全と世界の安全 <ul style="list-style-type: none"> ・核兵器廃絶とわが国 ・わが国の生き残りを ・人間の安全保障を ○ 持続可能な日本と世界 <ul style="list-style-type: none"> ・世界に貢献する基礎 ・持続可能な世界 ・良い公民になるために 	<ol style="list-style-type: none"> 1 課題をみつけよう 2 選択した課題について調べよう 3 解決の方法を考えてみよう 4 卒業論文にまとめる
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会 <ul style="list-style-type: none"> ・世界をおもてなしできる国 ・子どもの笑顔があふれるまち ・元気で100歳！みんながイキイキしている社会 ○ 政治・経済 <ul style="list-style-type: none"> ・地方がキラキラしている国 ・ものづくりのまち ・働く喜びを実感できる社会 ○ 国際 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界のお医者さん」と呼ばれる国 ・世界の平和と安全に貢献する国 ・クールジャパンを発信する企業 ○ 環境・食料 <ul style="list-style-type: none"> ・水と緑と風薫る国 ・「もったいない」精神のまち ・省エネ推進社会 	<ol style="list-style-type: none"> 1 テーマを決めよう 2 課題探求の計画を立てよう 3 プレゼンテーションしよう 4 内容の見直し 5 レポート作成

【社会（公民的分野）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧単元や資料等の配列・分量
方法	各大項目のページ数

	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他
東書	31 ○ 現代社会と私 たち	52 ○ 私たちの暮らしと経済	92 ○ 個人の尊重と日本国憲法 ○ 現代の民主政治と社会	43 ○ 地球社会と私 たち ○ より良い社会を目指して	28
教出	26 ○ 私たちの暮らしと現代社会	64 ○ 私たちの暮らしと経済 ○ 安心して豊かに暮らせる社会	90 ○ 個人を尊重する日本国憲法 ○ 私たちの暮らしと民主政治	44 ○ 国際社会に生きる私たち ○ 私たちが未来の社会を築く	46
帝国	28 ○ 現代社会	66 ○ 経済	86 ○ 政治	43 ○ 国際 ○ 課題探究学習	39
日文	32 ○ 私たちと現代社会	60 ○ 私たちの生活と経済	90 ○ 私たちの生活と政治	43 ○ 私たちと国際社会	49
自由社	42 ○ 現代日本の自画像 ○ 個人と社会生活	44 ○ 国民生活と経済	78 ○ 立憲国家と国民 ○ 日本国憲法と立憲的民主政治	60 ○ 国際社会に生きる日本 ○ 持続可能な社会を目指して	46
育鵬社	28 ○ 私たちの生活と現代社会	54 ○ 私たちの生活と経済	80 ○ 私たちの生活と政治－日本国憲法の基本原則－ ○ 私たちの生活と政治－民主政治と政治参加－	36 ○ 私たちと国際社会の課題	64

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨社会参画への意識を高める工夫
方法	「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例

「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例	
東 書	<p>○ 「現代の民主政治と社会」の章末において、2ページを使い、「S市の議員になって条例を作ろう」という学習課題を設定している。「ここまでの政治についての学習を生かし、あなたがS市の議員になったつもりで、まちをより活性化させるために、地方公共団体の法である「条例」の案を作って、議会に提出しましょう。」を示し、学習活動を設定している。</p> <p>(1) あなたが考える活気あるまちを、ステップチャートの「理想のまち」欄に記入しましょう。</p> <p>(2) S市の課題を見て、あなたが解決したい課題を一つ選び、「課題」の欄に記入しましょう。</p> <p>(3) 課題を解決し、まちに活気を取り戻すための解決策を考えて、グループで意見交換しましょう。グループでの話し合いを受けて、より良い解決策を考え、「解決策」の欄に記入しましょう。</p> <p>(4) 解決策を決まりの形に整え、「条例案」の欄に記入しましょう。その際、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点や、次の点を参考にしましょう。</p> <p>(5) あなたが暮らすまちがかかえる課題を調べてグループで話し合い、それを解決するためにどのような条例があったらよいか、ステップチャートを活用して考えましょう。</p> <p>○ 章の導入で示した探究課題「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか。」について、文章で記述する活動を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャラクターの吹き出しで、「持続可能性」、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点到に着目してまとめるよう示している。
教 出	<p>○ 「私たちの暮らしと民主政治」の章末において、3ページを使い、第3章の「日本国憲法に基づいてよりよい社会をつくるために、私たちは政治とどのように関わればよいだろうか。」の問いをこれまでの学習を振り返りながら自分の意見をまとめる学習活動を設定している。</p> <p>①各節で学習したことを振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1節ごとに学習したキーワードや問いに対する答えをまとめる。 <p>②「第3章の学習のはじめに」を振り返ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のはじめに」で答えた回答と「これまでの学習をふまえた現在の回答」を比較する。 ・変化があった場合、変化の理由を書き出す。 ・「第3章の学習のはじめに」で意見交換した友だちと、再度意見交換する。 <p>③「第3章の問い」について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3章の問いに対する答えと、その考えた理由をクラゲチャートを使って整理する。 ・クラゲチャートに記入した内容について、「見方・考え方」とつながる部分に線を引く。 (視点：対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義) ・クラゲチャートを参考にして記述する。 <p>④未来のためにできること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「合唱コンクールで歌うクラスの曲をどうするか」の話し合いについて考える。 ・神奈川県川崎市の高校生が、川崎のまちを舞台にプロジェクトを企画して実行する「川崎ワカモノ未来PROJECT」に関する資料を読んで、あとの問いについて考える。 <p>○ 「次章の学習に向けて」を設け、第3章までの学習をふまえて、キャラクターの吹き出しの意見に対する現在の考えを書かせる。</p>

「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例	
帝 国	<p>○ 「政治と私たち」の章末において、2ページを使い、「自分のまちの課題を解決する予算案を提案しよう」という学習活動を設定している。学習課題として、「地方自治の役割や地方公共団体の仕事、財政状況などを学習しました。自分が住むまちをよりよくするための予算案を作成してみよう。」と示している。</p> <p>1 まちの課題と対策カードを使って考えよう 調べたまちの課題と、調べた課題の対策をカードに書いてグループで持ち寄ろう。／同じテーマや関連のあるカードごとにまとめて、共通するタイトルカードをつくろう。／カードのまとめごとに〈関連〉〈対立〉〈原因と結果〉など、関係性がわかるように配置を工夫しよう。／整理した対策のなかから、四つを選び、歳出のどの項目に当たるか考えよう。／住民の立場に立って、予算案を考えます。それぞれどのような困りごとがあるか話し合ってみよう。</p> <p>2 対策の優先順位と町の政策方針を考えよう 住民のいずれかの立場に立って、1で選んだ四つの対策に優先順位をつけてみよう。／「安全・安心」「福祉・教育の充実」「経済の活性化」「環境対策」のなかから、まちの政策方針の一つ選ぼう。</p> <p>3 まちの魅力を生かす予算案を作成しよう 2で考えた対策の優先順位と政策方針をもとに、下のア～キのなかから増やす歳出項目と減らす歳出項目を考えよう。／予算案を円グラフにまとめて、キャッチフレーズをつけてみよう。</p>
日 文	<p>○ 「私たちの生活と政治」の編末において、2ページを使い、「自分たちのまちの首長を選ぼう」という学習課題を設定している。「あなたの住むまちで、首長を選ぶ選挙が行われることになりました。まちの課題について調べ、よりよいまちづくりが期待される首長を選ぶ、模擬選挙をしてみましょう。」と示し、学習活動を設定している。</p> <p>1 まちの課題を出し合おう ・あなたの住むまちには、どのような課題があり、その課題に対して地方公共団体はどのような取り組みを行っているのでしょうか。調べてみましょう。 地理や歴史で学習した内容からも考えてみましょう。／インターネットで、地方公共団体のウェブサイトを見てみましょう。 ・調べた課題のなかから、特に重視したいものを一つ選びましょう。 ・グループになり、選んだ課題や選んだ理由を共有しましょう。</p> <p>2 政策について検討してみよう ・あなたのまちの首長に、次の3人が立候補しました。候補者の政策案について検討してみましょう。 ・これまでに調べた地域の課題と候補者の政策案を比較して、政策に付け加えて欲しいことがあれば発表しましょう。／全く新しい政策案があれば、新たに架空の候補者を立てても構いません。</p> <p>3 模擬選挙をしてみよう ・支持する候補者を選び、投票しましょう。／模擬選挙の結果が出たら、よりよいまちづくりのためにはどのようなことが大切か、あなたの考えをまとめてみましょう。</p> <p>○ キャラクターの吹き出しで「どのような」「～はあるかな」「～できるかな」「どうなっているのかな」等の問いがある。</p> <p>○ 学習活動に関連する内容のページ数が書いてある。</p>
自 由 社	<p>○ 「日本国憲法と立憲的民主政治」の章末において、2ページを使い、「総合的な安全保障問題を考えよう」という学習課題を設定している。食料問題・防災問題・防犯問題について、調べ、話し合い、グループでまとめ、発表する活動を設定している。</p> <p>・皆さんの発言から、防衛問題だけではなく、①食料問題、②防災問題、③防犯問題、④水問題、⑤医療保険問題、⑥エネルギー問題が広い意味の安全保障問題として考えられるね。④水問題と⑤医療保険問題とは第4章で、⑥エネルギー問題は第5章で学びますから、残りの3つの問題について研究しましょう。</p> <p>4～6人の班を作って、図書室やインターネットを利用し、わが国の現状について調べ学習をしましょう。各々が調べた内容を持ち寄り、話し合っ、600字程度で班としての研究結果をまとめましょう。</p>

【社会（公民的分野）】

「民主政治と政治参加」における社会参画を促している具体例	
育 鵬 社	<p>○ 「私たちの生活と政治」の章末において、2ページを使い、「政治のこれから」という学習活動を設定している。学習課題として、「自分たちの住む地域をより良くするために、どのようなまちづくりが必要か、考えてみましょう。」と示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住むまちの特色と課題を調べよう 自分たちが住む地域の課題を解決し、特色を生かして、より良くするためにはどうすればいいでしょうか、どのような課題があるか、どのような特色があるか、1項目ずつカードに書き出してみましょう。 ・ カードを整理しよう 模造紙に関連のあるカードごとにまとめて整理し、見出しを付けてみましょう。 ・ テーマについてランキングを付けよう ①見出しをつけた項目について同時にすべて取り組むことはできません。そこで重要度や必要度に応じて、ランキング（順位づけ）をして、ピラミッド型に配置して自分自身のランキングシートをつくりましょう。／②次に班（4～6人）をつくり、全員で一致する1つのランキングシートをつくってみましょう。／③クラス全体の意見を集約し、クラスのランキングシートをつくってみましょう。

【社会（公的分野）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩学習内容との関連付けがなされた絵図・写真等の活用
方法	資料の種類（二次元コードを含む）及び掲載数

	「私たちと政治」における資料の種類及び掲載数							
	絵 図	写 真	地 図	表・グラフ	新 聞	年 表	文書資料	二次元コード
東書	55	123	3	45	12	2	16	47
教出	47	78	4	55	3	3	6	10
帝国	47	79	4	47	3	1	5	14
日文	60	110	3	61	9	2	16	44
自由社	27	71	0	14	4	0	4	0
育鵬社	44	116	3	33	13	1	32	2

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑪掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
方法	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント・グラフ及びレイアウト等

	フォント・グラフ	レイアウト等
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには、背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一し、資料の掲載部分に薄い色を付け、本文との区別をしている。 ○ ページの偶の色分けと見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの偶の色分けと見開きページ右側のインデックス、左ページの下部への記載で、学習内容を示している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォントを採用している。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの偶の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。 ○ 図版資料などのタイトルの先頭に、矢印を付している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用している。 ○ 小学校6年生以上で学習する漢字の初出箇所と、全ての重要語句にルビが付いている。 ○ 円グラフと帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの偶の色分けと、見開きページ右側のインデックスで、学習内容を示している。

【社会（公民的分野）】

	フォント・グラフ	レイアウト等
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重要語句は、ゴシック体（太字）を使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは縁取りして区切っている。 ○ 帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは色を変えている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ 見開きページの隅の色分けと、見開きページ左下の文字で、学習内容を示している。
育鵬社	<ul style="list-style-type: none"> ○ ふりがなには、ゴシック体を使用している。 ○ 円グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、隣り合うデータは区切ったり色を変えている。 ○ 帯グラフでは、グラフに文字や数値を入れ、主となるグラフの中に違うデータが含まれる場合は、色を変えたり斜線を入れている。 ○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは、データごとに色を変えている。 ○ グラフには背景色や囲み線をつけ、本文との区別をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文ページのレイアウトを統一している。 ○ ページの隅の色分けで、学習内容を示している。 ○ 図版資料などのタイトルの先頭に、矢印を付している。

【地図】

地 図

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい社会 地図
46	帝 国	中学校社会科地図

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 地図の活用を促す工夫	地図の見方の記載と内容及び地図を活用した調べ方の事例
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	国土の地理的環境及び歴史的事象が記載された地図の例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 思考力、判断力、表現力等を育む工夫	思考力、判断力、表現力等の育成を促す記載内容
		④ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	地図を活用した表現の記載の仕方及び具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫	課題を追究するための資料の扱い
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 題材や資料等の配列	内容の構成、配列及びページ数
(オ)	内容の表現・表記	⑦ 学習内容との関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	地図の種類と縮尺及び資料等（二次元コードを含む）の活用方法の示し方

【地図】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①地図の活用を促す工夫
方法	地図の見方の記載と内容及び地図を活用した調べ方の事例

	地図の見方の記載とその内容	地図を活用した調べ方の事例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。 ○ 巻頭ページに「この地図帳の活用方法」を設け、一般図や主題図等の見方や読み取り方、デジタルコンテンツの使い方といった地図の活用方法を記載している。 ○ 巻末に「地形図の読み取り」では、「主な地形図の記号」と縮尺、等高線、方位の説明を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に記載されている「この地図帳の活用方法」において、ヨーロッパ州を例に挙げ、地図の活用方法について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「一般図を見てみよう」 「ページ番号」「国旗」「陸地の高さや海の深さ」「位置図」「インデックス」等についての解説を記載している。 ・「主題図を見てみよう」 「表現したいテーマの広がりを表す」「地域ごとの数値を色で表す」「図形の大きさで数値を表す」等を例に挙げ、それぞれの資料が表す内容を記載している。 ・「地図帳を活用して学習を深めよう」 歴史的な分野や公民的分野との関連を示すマークと、SDGsとの関連を示すマークを例に挙げ、活用できる資料の一部とともに記載している。 ・「デジタルコンテンツを活用しよう」 主なデジタルコンテンツを記載している。 ・「デジタル地図を使ってみよう」 主なデジタル地図を記載している。 ・キャラクターの吹き出しによる解説を記載している。 <p>【具体例】主題図には、地域別の数量や割合、移動などの数値を地図上に表す図があるよ。さまざまな種類の主題図を見てみよう。</p>
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。 ○ 巻頭に「この地図帳の使い方」を設け、一般図、鳥瞰図、主題図等の見方や使い方といった地図の活用方法を記載している。 ○ 巻末に「国土地理院の地形図」では、「地形図のおもな記号」と地形図、縮尺の説明を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に記載されている「この地図帳の使い方」の(1)(2)において、オセアニア州や富山県を例に挙げ、地図の活用方法について記載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「小学校で学習した地図の約束を振り返ろう」 「方位」「地図記号」「色」「縮尺」についての解説を記載している。 ・「地図帳の見方・使い方を確認しよう」 一般図が示され、「図タイトル」「縮尺とスケールバー」「凡例」等の説明を記載している。 「一般図」「鳥瞰図」「主題図」について、オセアニア州の資料のページでどのように記載されているか示している。他分野との関連やSDGsとの関連を示すマークを例に挙げ、オセアニア州の資料とともに記載している。 ・「地図帳を使いこなそう」 「さくいん」「統計」「問いコーナー「地図で発見！」」の説明を記載している。 ・「地図の見方をおさえよう」 地図を読み解くポイントを示している。 ・「テーマを決めて地図から読み取ろう」 「交通の結びつきと工業」を例に、テーマを決めて地図から読み取ることについて記載している。 ・キャラクターの吹き出しによる解説を記載している。 <p>【具体例】別テーマの主題図と比べることによって、その地域の特徴がより深く理解できるね。</p>

【地図】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	国土の地理的環境及び歴史的事象が記載された地図の例

	国土の地理的環境の例	歴史的事象が記載された地図の例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本全体」で、近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ○ 日本全体に関しては、地形、気候、自然災害、文化、人口、農林水産業、資源・エネルギー、工業・貿易、交通・通信に関する資料や統計を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料 <ul style="list-style-type: none"> ・「原子爆弾投下時の長崎市」 ・「広島市中心部」 ・「地形と水系から読み解く大阪・京都・奈良の歴史と治水」 ・「江戸時代（17世紀末ごろ）の大阪」 ・「神戸市内」 ・「奈良市内」 ・「京都市内」 ・「地形と水系から読み解く東京の歴史と治水」 ・「江戸時代末期の江戸」 ・「1856年ごろの江戸」 ・「明治時代の開拓とアイヌ語由来の地名」 ○ 日本全体についての歴史に関する資料 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の主な公害 ○ 巻末に「日本の周辺」を記載している。 ○ 巻末に「旧国名 1868（明治元年）」を記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料のページ」で、近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ○ 日本全体に関しては、地形、気候、自然災害・防災、人口、鉱産資源、工業、農業・水産業、交通・観光、歴史・生活・文化に関する資料や統計を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料 <ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄県」 ・「長崎市」 ・「北九州工業地帯の変化」 ・「瀬戸内海周辺の歴史」 ・「広島市中心部」 ・「大阪湾周辺の地形－地形と歴史・防災－」 ・「近畿地方の歴史・文化・観光」 ・「江戸時代の大阪」 ・「奈良市中心部」 ・「京都市中心部」 ・「本州中央部と五街道」 ・「東京都周辺の地形－水と人の関わり・防災－」 ・「江戸」 ・「日本とロシア・ソ連の国境の変遷」 ・「アイヌ語地名と開拓の歴史」 ・「石狩平野の土地改変」 ○ 日本全体についての歴史に関する資料 <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の公害」 ・「鉄道の発達による時間距離の変化」 ・「日本の歴史・生活・文化」 ○ 巻末に「日本の領土とそのまわりの国々」を記載している。 ○ 巻末に「昔の国名と国境」を記載している。

【地図】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③思考力、判断力、表現力等を育む工夫
方法	思考力、判断力、表現力等の育成を促す記載内容

思考力、判断力、表現力等の育成を促す記載内容	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史、公民、SDG s との関連を示すマークを設けている。 ○ 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設定している。 【具体例】「稲作」(p. 16) 2世界の食文化 ○ 「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をする」キャラクターとして「ミツバチーズ」を設定し、資料活用コーナーを設けている。 【具体例】 <ul style="list-style-type: none"> ①アフリカ州の資料② 4 モノカルチャー経済 <ul style="list-style-type: none"> ・「4によると、特定の品目の輸出割合が高い国では、どのような物の輸出が盛んかな。」 ②近畿地方の資料 9 人口増減率、10 人口ピラミッド <ul style="list-style-type: none"> ・「9 10から、人口増加率と年齢構成との関係を見つけよう。」 ③日本の工業・貿易 1 工業生産額とその内訳、2 工業地域の分布、4 貿易港別の貿易額 <ul style="list-style-type: none"> ・「1 2 4を見て、工業が盛んな地域と、貿易が盛んな地域とを照らし合わせてみよう。」 ④アジア州の資料 <ul style="list-style-type: none"> ・「アジアで人口密度が高い地域と低い地域はそれぞれどんな自然環境の地域かな。」
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史、公民、SDG s との関連を示すアイコンや「防災」「環境」「日本との結びつき」コーナーを設けている。 ○ 別のページにある関連する資料とのつながりを示す「リンク」というマークを設定している。 【具体例】「日本の気候区分」(p. 176) 6 ○ 社会科の学習内容を、地図を基に確認したり深めたりする問いのコーナー「地図で発見！」を設定している。 【具体例】 <ul style="list-style-type: none"> ①アフリカ州の資料(2) 2 砂漠化が進むサヘルと都市への人口集中 ウサヘルのような(マリ)、エ都市に住む人々の割合の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界各地で進行している砂漠化は、地球規模の気候の変化と、その地域に暮らす人々の生活の両方に原因があると考えられている。サヘルでは、人々のどのような営みや変化が砂漠化に影響を与えているか、ウ エから考えて答えよう。」 ②オセアニア州の資料 7 移民の出身地 <ul style="list-style-type: none"> ・「オーストラリアへの移民の出身地は、どのように変化しているか、キ ク図を確認して答えよう。」 ③中国・四国地方の資料 6 中国・四国地方の交通と人口密度の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・「1970年と2020年の地図で、1km²あたりの人口密度がともに200人以上のところと、20人未満のところはどのような地域か、地形や交通に着目して答えよう。」 ④東京都周辺の地形 <ul style="list-style-type: none"> ・「東部・中央部・南部で起こる可能性がある自然災害を、p159～162も参考にしながら、地形に着目して考えよう。」 ○ ページ全体に関わる主題を示す「主題学習」のコーナーを設けている。 【具体例】「日本の工業には、どのような特色があり、どのような分布がみられるだろうか。」

【地図】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	地図を活用した表現の記載の仕方及び具体例

地図を活用した表現の記載の仕方及び具体例	
東書	○ 「この地図帳でいっしょに“世界旅行”をするミツバチーズ」というキャラクターを設定し、資料活用コーナーを設け、地図の活用や学習を深めるためのヒントとなる問いとして 157 問記載している。 【具体例】 ・「1月に日本海側で降水量が多くなる仕組みを説明しよう。」
帝国	○ 「地図で発見！」のコーナーを設け、社会科の学習を、地図をもとに確認したり深めたりする問いとして 156 問記載している。 【具体例】 ・「渥美半島で野菜や花の栽培がさかんになった理由を、水や輸送、消費地の面から調べ、説明しよう。」

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための工夫
方法	課題を追究するための資料の扱い

課題を追究するための資料の扱い	
東書	○ 世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。 中国・四国地方 ----- 中国・四国地方の一般図 ・中国地方、広島市中心部、竹島 ・四国地方 ・瀬戸内地方 中国・四国地方の資料 ①地形 ②降水量 ③人口分布 ④土地利用 ⑤工業・交通 ⑥瀬戸内地方の工業地域 ⑦人口増減率 ⑧本州と四国との間の自動車交通量 ⑨交通網の変化
帝国	○ 世界では州ごと、日本では地方ごとに、一般図の次に資料を掲載している。 中国・四国地方 ----- 中国・四国地方の一般図 ・中国地方、広島市中心部、竹島 ・四国地方 ・瀬戸内海周辺 中国・四国地方の資料 ①自然 ②降水量 ③人口分布 ④農業 ⑤工業・交通 ⑥中国・四国地方の交通と人口密度の変化 ⑦鳥取砂丘 ⑧水島コンビナート ⑨広島市付近にある水害の碑の分布 ⑩八幡浜市のみかん栽培 ⑪高知平野の野菜づくり

【地図】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥題材や資料等の配列
方法	内容の構成、配列及びページ数

	構成	配列	ページ数
東 書	○ A4判 ○ 「世界全体」「日本全体」「世界や日本の地域ごと」「統計」「さくいん」に分類し、インデックスを5つに分類し色分けしている。また、「世界」を「世界全体」「州」、「日本」を「日本全体」「地方」で分類し、色分けしている。	①世界と日本の資料図 世界の地形、世界の気候、世界と日本の環境問題、世界の生活・文化、日本の自然環境（地形）、日本の自然環境（気候）、日本の自然環境（自然災害）、世界と日本の文化、世界の人口、日本の人口、世界の農林水産業、日本の農林水産業、世界と日本の資源・エネルギー、日本の工業・貿易、世界と日本の交通・通信、世界の経済・国際関係	32
		②世界の諸地域	50
		③日本の諸地域	64
		④統計 世界の統計、日本の統計	5
		⑤さくいん	9
		⑥巻頭・巻末 ・巻頭 目次、世界全図、この地図帳の地図記号、この地図帳の活用方法、現代社会の課題を解決するために「SDGs」を知ろう！ ・巻末 地形図の読み取り、著作関係者、日本の周辺、都道府県の区分、旧国名、日本列島①、日本列島②、小笠原諸島	16
		総ページ数	176
帝 国	○ A4判 ○ 「資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」でインデックスを5つに分類し色分けしている。	①世界と日本の資料図 世界の地形、世界の気候、世界の生活・文化（1）、世界の生活・文化（2）、日本の地形、日本の気候、日本の自然災害・防災（1）、日本の自然災害・防災（2）、世界と日本の人口、世界と日本の鉱産資源、日本の工業、日本の農業・水産業、世界と日本の交通・観光、日本の歴史・生活・文化	28
		②世界の諸地域	58
		③日本の諸地域	74
		④統計 自然の統計、世界の統計（1）、世界の統計（2）、日本の統計（1）、日本の統計（2）	9
		⑤さくいん	11
		⑥巻頭・巻末 ・巻頭 もくじ、世界の国々、この地図帳の凡例、この地図帳の使い方（1）、この地図帳の使い方（2）、地図で考える持続可能な社会（1）、地図で考える持続可能な社会（2）、地図で考える持続可能な社会（3）、地図で考える持続可能な社会（4） ・巻末 国土地理院の地形図、都道府県と昔の国名、日本の領土とそのまわりの国々	18
		総ページ数	198

【地図】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑦学習内容との関連付けがなされた地図や資料等の取扱い
方法	地図の種類と縮尺及び資料等（二次元コードを含む）の活用方法の示し方

地図の種類と縮尺		資料等の活用方法の示し方	
東 書	世界全図	○ 赤道上の距離を示している。	○ 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。 ○ デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを、83 か所記載している。
	世界の広域地図	○ 6000 万分の 1～6500 万分の 1 ・北極圏（6500 万分の 1） ・南極圏（6500 万分の 1） ・環大西洋（6500 万分の 1） ・環太平洋・環インド洋（6000 万分の 1）	
	世界の各地域の地図	○ 1500 万分の 1～3500 万分の 1 ・アジア（2700 万分の 1） ・東アジア（1600 万分の 1） ・東南アジア（2000 万分の 1） ・南アジア・西アジア（2000 万分の 1） ・ヨーロッパ（1600 万分の 1） ・ロシア連邦（2200 万分の 1） ・アフリカ（3500 万分の 1） ・北アメリカ（3500 万分の 1） ・アメリカ合衆国（1500 万分の 1） ・南アメリカ（3000 万分の 1） ・オーストラリア・ニュージーランド（2000 万分の 1）	
	その他（世界）	○ 150 万分の 1～800 万分の 1 ・チューリッホ川河口部（150 万分の 1）、台湾（400 万分の 1）、朝鮮半島（400 万分の 1）、イスラエル周辺（400 万分の 1）、ヨーロッパ中央（800 万分の 1）、ハワイ諸島（800 万分の 1）	
	日本全体	○ 1000 万分の 1、600 万分の 1 ・日本列島①（1000 万分の 1）、日本列島②（600 万分の 1）	
	日本の各地方地図	○ 200 万分の 1、100 万分の 1 ・北海道地方（200 万分の 1） ・九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方、中部地方、新潟県、関東地方、東北地方、北海道地方南部、北海道地方北部（100 万分の 1）	
	日本のある地域の拡大図	○ 50 万分の 1、5 万分の 1、2 万分の 1 ・沖縄島、九州地方北部、瀬戸内地方、近畿地方中央部、東海地方、新潟市周辺、関東地方南部、仙台市周辺、札幌市周辺（50 万分の 1） ・広島市中心部、大阪市内、神戸市内、奈良市内、京都市内、東京中心部、札幌市中心部（5 万分の 1） ・東山区付近（2 万分の 1）	
	その他（日本）	○ 5 万分の 1～700 万分の 1 ・千島列島（700 万分の 1） ・小笠原諸島（600 万分の 1） ・南西諸島（500 万分の 1） ・喜界島、奄美群島、奄美群島南部、伊平屋島、伊是名島、慶良間列島、大東諸島、宮古列島、八重山列島、与那国島、対馬、五島列島、大隅諸島、伊豆諸島（100 万分の 1） ・竹島（5 万分の 1） ・大阪・京都・奈良の歴史と治水、東京の歴史と治水（15 万分の 1）	

【地図】

	地図の種類と縮尺		資料等の活用方法の示し方
帝 国	世界全図	○ 8800 万分の 1	○ 関連する資料の参照ページを示す「リンク」を設けている。 ○ デジタルコンテンツにアクセスできる二次元コードを、56 か所記載している。
	世界の広域地図	○ 3500 万分の 1～9000 万分の 1 ・アジア州（4000 万分の 1） ・アフリカ州（3500 万分の 1） ・南北アメリカ（4000 万分の 1） ・南極（9000 万分の 1） ・大西洋（6000 万分の 1） ・太平洋・インド洋（6000 万分の 1）	
	世界の各地域の地図	○ 1600 万分の 1～3000 万分の 1 ・東アジア（1600 万分の 1） ・東南アジア（2000 万分の 1） ・南・西・中央アジア（2000 万分の 1） ・ヨーロッパ州（1600 万分の 1） ・ロシア連邦とそのまわりの国々（2000 万分の 1） ・アメリカ合衆国（1600 万分の 1） ・南アメリカ州（3000 万分の 1） ・オーストラリア・ニュージーランド（2000 万分の 1）	
	その他（世界）	○ 40 万分の 1～1000 万分の 1 ・ホンコン・マカオ（100 万分の 1）、台湾（400 万分の 1）、朝鮮半島（300 万分の 1）、シンガポール（50 万分の 1）、イスラエル・パレスチナ（250 万分の 1）、ヨーロッパ州中央部（800 万分の 1）、ハワイ諸島（800 万分の 1）、サモア（300 万分の 1）、タヒチ島（250 万分の 1）、ラパヌイ（イースター）島（100 万分の 1）、ガラパゴス諸島（1000 万分の 1）、ツバル（40 万分の 1）、フィジー（650 万分の 1）、トンガ（150 万分の 1）	
	日本全体	○ 500 万分の 1 ・日本列島（1）、日本列島（2）	
	日本の各地方地図	○ 200 万分の 1、100 万分の 1 ・北海道地方（200 万分の 1） ・九州地方、中国地方、四国地方、近畿地方、中部地方、福井県・石川県・富山県、新潟県、関東地方、東北地方、北海道地方南部、北海道地方北部（100 万分の 1）	
	日本のある地域の拡大図	○ 50 万分の 1、30 万分の 1、5 万分の 1 ・沖縄島、九州地方北部、瀬戸内海周辺、近畿地方中部、中部地方南部、新潟市とそのまわり、関東地方南部、仙台市とそのまわり、札幌市とそのまわり（50 万分の 1） ・名古屋市とそのまわり（30 万分の 1） ・那覇市中心部、福岡市中心部、広島市中心部、神戸市中心部、大阪市中心部、奈良市中心部、斑鳩町付近、明日香村付近、京都市中心部、名古屋市中心部、東京都の中心部、横浜市中心部、仙台市中心部、札幌市中心部（5 万分の 1）	
その他（日本）	○ 5 万分の 1～1000 万分の 1 ・伊豆諸島・小笠原諸島（1000 万分の 1） ・千島列島（700 万分の 1）、 ・小笠原諸島（400 万分の 1） ・奄美群島、奄美群島南部、沖縄諸島、尖閣諸島、宮古列島、八重山列島、大東諸島、対馬、五島列島、大隅諸島、伊豆・小笠原諸島（100 万分の 1）、 ・竹島（5 万分の 1） ・大阪湾周辺の地形－地形と歴史・防災－、東京都周辺の地形－水と人の関わり・防災－（15 万分の 1）		

数 学

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
4	大 日 本	数学の世界
11	学 図	中学校 数学
17	教 出	中学数学
61	啓 林 館	未来へひろがる数学
104	数 研	これからの 数学
116	日 文	中学数学

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 知識及び技能の習得を図るための工夫	学習内容の定着や既習事項の確認に関する扱い及び練習問題数
		② 概念的な理解を促す工夫	基礎的な概念を身に付ける活動の具体例及び展開
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫	説明したり、話し合ったりする問題や問い等の具体例
		④ 問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫	問題発見・解決の過程における数学的な見方・考え方を働かせる展開例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	日常生活や社会とのかかわりで取り扱われている具体例及び題材数
		⑥ 問題解決的な学習を実施するための工夫	問題の具体例及び問題数
		⑦ 問題解決的な学習に対する振り返りの工夫	問題解決的な学習で働かせた数学的な見方・考え方等の振り返りの取扱い
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元や資料等の配列	各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料の具体例
		⑨ 発展的な学習に関する内容の記述	発展的な問題の数及び具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑩ イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用	イラスト・写真の数と具体例及びデジタルコンテンツの数と扱い

【数学】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	学習内容の定着や既習事項の確認に関する扱い及び練習問題数

第2学年「文字を用いた式の四則計算」			
学習内容の定着や既習事項の確認			
	扱い	練習問題数	
		問	節末 章末 巻末
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章のはじめに、章とびらを設け、章の学習内容につながる問いかけとともに、学習を通して身に付ける力を示している。 ○ 各学習のはじめに、「Q 考えてみよう」を設定して学習のきっかけとするとともに、見通しをたてるための考え方を示している。 ○ 「まちがいの例」を示し、どこがまちがっているか説明し、正しく計算する問題を取り扱っている。 ○ 学習のまとめごとに、「クイックチェック」を設定し、必ず身に付けたい問題を取り扱っている。 ○ 節末と巻末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。 ○ 二次元コードを読み取ると、そのページの内容に関する練習問題が表示される。 	83	節末 23 章末 26 巻末 77
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章のはじめに、見開きページで、単元で学習する内容や下学年の学習内容との関連を示している。 ○ 各学習のはじめに、「考えよう？」を設定して学習のきっかけとするとともに、学習のめあてを示している。 ○ 問いに対して、問題解決に関する生徒の考えを取り上げている。 ○ 節末と巻末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。 ○ 学習内容を定着させるために「たしかめ」や「プラス・ワン」を設定し、例題と同じように取り組める問題や補充するための問題を取り扱っている。 	117	節末 28 章末 18 巻末 32
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の前に、「ふりかえり」を設け、下学年の学習内容を示すとともに、章のはじめに、章とびらを設け、日常生活の中から学習内容につながる疑問を示している。 ○ 各学習のはじめに、「Q u e s t i o n」を設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決のための見通しをもたせている。 ○ 「正しいかな？」として、誤答例を示し、正しいかどうか確かめる問題を取り扱っている。 ○ 節末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。 ○ 「チャレンジ」として示された二次元コードを読み取ると、関連する練習問題が表示される。 	82	節末 57 章末 25 巻末 25

【数学】

<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の前に、「〇〇を学習する前に」を設け、章のはじめに、章の学習内容に関連する既習の問題を示すとともに、章とびらを設け、章の学習内容と日常生活や社会との関連を示している。 ○ 各学習のはじめに、「Q 考えてみよう」などを設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、考え方の手がかりを示している。 ○ 「まちがい」として誤答例を示し、どこが間違っているかを説明し、正しく計算する問題を取り扱っている。 ○ 「もどって確認」として、下学年で学習した類似の問題の解き方を示している。 ○ 節末と巻末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。 	<p>78</p>	<p>節末 26 章末 24 巻末 85</p>
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章のはじめに、日常生活と関わる課題を示すとともに、各節のはじめに、その節で学習する内容に関わる課題を示している。 ○ 「説明しよう」「話しあおう」として、誤答例を示し、正しくない理由を説明したり、どのように直せば正しくなるかを考えたりする問題を取り扱っている。 ○ 内容のまとめりごとに練習問題を設定している。 ○ 「ふりかえり」として、下学年で学習した類似の問題の解き方を示している。 ○ 章末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。 ○ 二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される。 	<p>79</p>	<p>章末 50 巻末 15</p>
<p>数 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の前に、「ふりかえり」を設け、章の学習に関連する下学年の学習内容や問題を示している。 ○ 各学習内容の導入で、「Qマーク」を設定して学習のきっかけとするとともに、生徒の発言により、問題解決のための手がかりを示している。 ○ 「例」の横に、「ふりかえり」として、章の前の「ふりかえり」にある既習事項に関する内容が示されている。 ○ 「例」では複数の解答例を示し、多様な考えを取り上げている。 ○ 節末と巻末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。 ○ 「Link 補充」として示された二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される。 	<p>91</p>	<p>節末 16 章末 15 巻末 38</p>
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の前に、「次の章を学ぶ前に」を設け、章の学習内容に関連する下学年の学習内容や問題を示している。 ○ 各学習内容の導入で、「Qマーク」を設定して学習のきっかけとするとともに、学習のめあてを示している。 ○ 「まちがいの例」として、誤答例を示し、どこが間違っているかを見つけ、正しく計算する問題を取り扱っている。 ○ 「チャレンジ」として、「問」の後に、さらに練習するための問題を示している。 ○ 節末と巻末に、学習した内容のページを示し、振り返ることができるようにしている。 ○ 「身につける」として示された二次元コードを読み取ると、補充問題が表示される。 	<p>96</p>	<p>節末 25 章末 34 巻末 28</p>

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②概念的な理解を促す工夫
方法	基礎的な概念を身に付ける活動の具体例及び展開

第1学年「比例と反比例」																			
関数の概念について理解するための導入の工夫及び展開と主な発問																			
	展開と主な発問																		
東 書	<p style="text-align: center;">導入</p> <p>○ 満水になるまでの時間を予想しよう。 水そうの掃除を終えたあと、水がたまっていくようすをしばらく見ていましたが、なかなかたまりません。</p> <p style="text-align: center;">展開と主な発問</p> <p>○ 水そうに水を入れ始めてからの時間と水の深さの関係について、表にまとめながら考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空の水そうに水を入れるとき、どのように考えれば満水になるまでの時間を予想できるでしょうか。 空の水そうに水を入れ始めてから10分後に見にいくと、底から30cmの深さまで水がたまっていました。満水のときの水の深さを180cmとして、満水になるまでの時間を予想してみましょう。 水を入れ始めてからx分後の水の深さをycmとして、下の表のxの値に対応するyの値を求め、空らんをうめてみましょう。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">x</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">25</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">…</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">y</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">□</td> <td style="text-align: center;">…</td> </tr> </table> <p>○ 水そうの例では、xの値を決めると、それにもなってyの値もただ1つ決まる。このように、2つの変数x、yがあり、変数xの値を決めると、それにもなって変数yの値もただ1つ決まる時、yはxの関数であるという。</p>	x	0	5	10	15	20	25	30	…	y	0	□	30	□	□	□	□	…
x	0	5	10	15	20	25	30	…											
y	0	□	30	□	□	□	□	…											
大 日 本	<p>○ 時間とともに変わるものは？ 東京マラソンに出場した先生をいろいろな場所で応援しました。</p> <p>○ 1時間ごとの気温の変化のようすなど、ともなって変わるいろいろな数量のうち、2つの数量に着目して、それらの数量の関係について考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> マラソン大会で、時刻にもなって変化していった数量を、いろいろあげましょう。 ある地点での、ある日の8時から18時までの1時間ごとの気温の変化のようすを表したものです。このグラフから、いろいろなことを読み取りましょう。 <p>(1) 12時の気温は何℃ですか。また、15時の気温は何℃ですか。 (2) 時刻を決めると、気温はただ1つに決まるといってよいですか。 (3) 10℃のときの時刻は1つに決まりますか。</p> <p>○ ともなって変わる2つの数量x、yがあつて、xの値を決めると、それに対応してyの値がただ1つに決まるとき、yはxの関数であるといいます。</p>																		
学 図	<p>○ ともなって変わる2つの数量の関係は？ 縦25m、横13m、深さ1.2mのプールがあります。プール開きの前に、プールをきれいに掃除したあと、一定の割合で、プールが満水になるまで水を入れていきます。</p> <p>○ プールや水そうに水を入れる時の水を入れる時間と水位の関係や、窓を開けた時の開けた幅と開けた部分の周囲の長さの関係について考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> プールに水を入れるとき、ともなって変わる2つの数量をいろいろ見つけましょう。 ①～③の水そうに一定の割合で水を入れます。水を入れる時間と水位の関係をグラフに表すと、それぞれ㉠～㉣のどれになるでしょうか。 水そうに一定の割合で水を入れたとき、水を入れた時間と水位の関係をグラフに表すとどうなるでしょうか。およそのグラフをノートにかきましょう。 縦90cmの長方形の窓をxcm開けたとき、開けた部分の周囲の長さをycmとします。xとyの関係を、次の表にまとめてみましょう。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">開けた幅x (cm)</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">…</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">周囲の長さy (cm)</td> <td style="text-align: center;">200</td> <td style="text-align: center;">220</td> <td style="text-align: center;">…</td> <td style="text-align: center;">…</td> <td style="text-align: center;">…</td> <td style="text-align: center;">…</td> <td style="text-align: center;">…</td> </tr> </table> <p>○ ともなって変わる2つの変数x、yがあつて、xの値を決めると、それに対応するyの値がただ1つに決まるとき、yはxの関数であるという。</p>	開けた幅 x (cm)	10	20	30	40	50	60	…	周囲の長さ y (cm)	200	220	…	…	…	…	…		
開けた幅 x (cm)	10	20	30	40	50	60	…												
周囲の長さ y (cm)	200	220	…	…	…	…	…												

<p style="text-align: center;">教 出</p>	<p>○ いつ水を止めればよいか？ りくさんは、夏休みの数日間、親戚のおじさんが経営しているペットショップでお手伝いをしています。</p>	<p>○ 水そうに水を入れ始めてからの時間と水面の高さについて、表にまとめて考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> りくさんは、空の水そうに水を入れ、水の高さが40cmになったら水を止めようとしています。水を入れ始めてから止めるまでの時間を知るには、前もってどんなことを確かめておく必要があるでしょうか。 下の表の□をうめて、水を入れ始めてからの時間と水面の高さの関係を調べて、水面の高さが40cmになるのは何分後か求めてみましょう。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 15%;">水を入れ始めてからの時間 (分)</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>…</td> <td>?</td> </tr> <tr> <td>水面の高さ (cm)</td> <td>0</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>6</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>□</td> <td>…</td> <td>40</td> </tr> </table> <p>○ 水を入れ始めてからの時間を x 分、水面の高さを y cm とすると、x と y はいろいろな値をとる。 ともなって変わる2つの変数 x、y があって、x の値を決めると、それに対応する y の値がただ1つ決まるとき、y は x の関数であるという。</p>	水を入れ始めてからの時間 (分)	0	1	2	3	4	5	6	…	?	水面の高さ (cm)	0	□	□	6	□	□	□	…	40																						
水を入れ始めてからの時間 (分)	0	1	2	3	4	5	6	…	?																																			
水面の高さ (cm)	0	□	□	6	□	□	□	…	40																																			
<p style="text-align: center;">啓 林 館</p>	<p>○ ともなって変わる数量を見つけよう けいたさんとかりんさんは、1辺の長さが16cmの正方形の厚紙を使って、次の方法で、ふたのない箱をつくり、小物入れにすることにしました。</p>	<p>○ 箱をつくる時、切り取る正方形の1辺の長さが変わることにもなって、箱の底面の1辺の長さが変わることなどについて考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 箱をつくる時、切り取る正方形の1辺の長さを変えたと、それにもなって、どんな数量が変わるでしょうか。 切り取る正方形の1辺の長さが2cmのとき、箱の底面の正方形の1辺の長さは何cmになるでしょうか。また、切り取る正方形の1辺の長さが7cmのときには、箱の底面の正方形の1辺の長さは何cmになるでしょうか。 <p>○ 切り取る正方形の1辺の長さを x cm、箱の底面の1辺の長さを y cm とすると、y は x にもなって変わり、いろいろな値をとります。 この x、y のように、ともなって変わる2つの変数 x、y があって、x の値を決めると、それに対応して y の値がただ1つに決まるとき、y は x の関数であるといえます。</p>																																										
<p style="text-align: center;">数 研</p>	<p>○ 硬貨の枚数と重さの関係を調べよう。 かなさんは、小学生のころから貯金をしていて、500円硬貨はすべて貯金箱Aに、それ以外の硬貨はすべて貯金箱Bに入れている。</p>	<p>○ 500円硬貨ばかり入れている貯金箱Aと、それ以外の硬貨を入れている貯金箱Bそれぞれについて、硬貨を何枚か取り出し、硬貨の枚数と重さの関係について考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 硬貨の枚数と重さの関係を調べよう。 貯金箱Aから硬貨を何枚か取り出すとき、硬貨の枚数と重さの関係はどのようになるでしょうか。また、貯金箱Bから硬貨を何枚か取り出すときはどのようになるでしょうか。それぞれについて、下の表を使って考えてみましょう。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">貯金箱A</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">貯金箱B</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (枚) </td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (枚) </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (g) </td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (g) </td> </tr> </table> <p>○ 貯金箱Aについて、x 枚の硬貨を取り出した場合の重さが y g であるとするとき、x と y はいろいろな値をとるが、x の値が1つ決まると、それに対応して y の値がただ1つに決まる。このようになるとき、y は x の関数であるという。</p>	貯金箱A	貯金箱B	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (枚)	1	2	3	4	5	6							<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (枚)	1	2	3	4	5	6							<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (g)							<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (g)						
貯金箱A	貯金箱B																																											
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (枚)	1	2	3	4	5	6							<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (枚)	1	2	3	4	5	6																									
1	2	3	4	5	6																																							
1	2	3	4	5	6																																							
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (g)							<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> (g)																																					
<p style="text-align: center;">日 文</p>	<p>○ 歩いて日本を測量した伊能忠敬 江戸時代に日本地図づくりに取り組んだ伊能忠敬は、最初の測量の旅で、歩数から歩いた道のりを求めました。</p>	<p>○ 歩数と道のりなど、1つの数量が決まると、それにもなって、もう1つの数量が決まるものを考えることを通して、関数の概念について理解できるようにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「歩幅が一定だとすると、歩数が決まれば、歩いた道のりが決まる」という話をしていきます。同じように、1つの数量が決まると、それにもなって、もう1つの数量が決まるものをいろいろ見つけて、□が決まると、□が決まると説明しましょう。 ア 時速4kmで歩くとき、歩く時間が決まると、□が決まる。 イ 1Lのジュースを何人かで等分するとき、□が決まると、1人分の量が決まる。 次の文章の x に、自分で決めたいいろいろな数値をあてはめて、それに対応する y の値を求めてみましょう。 歩幅が0.7mで一定であるとするとき、x 歩で y mの道のりを進む。 <p>○ 歩いた道のりは、歩数にもなって変わります。また、歩数が決まると、それに対応する道のりがただ1つ決まります。ともなって変わる2つの変数 x、y があって、x の値を決めると、それに対応する y の値がただ1つ決まるとき、y は x の関数であるといえます。</p>																																										

【数学】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③数学的な表現を用いて自分の考えを説明し伝え合う活動の工夫
方法	説明したり、話し合ったりする問題や問い等の具体例

第2学年「データの活用」	
「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」における具体例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「スーパーマーケットでは、なるべく多くの商品を仕入れて、残すことなく売するために販売数の傾向を分析することがあります。」 ○ 調べてみよう 「牛乳の販売数を表したヒストグラムから、どのようなことがわかるでしょうか。」 ○ 考えてみよう 「箱ひげ図とヒストグラムを比較して、箱ひげ図から読み取れることを考えてみましょう。」 ○ 調べてみよう 「牛乳の販売数を曜日ごとに表した箱ひげ図を比較して、その傾向を調べてみましょう。」
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「日本の（バレーボール）選手の身長は、ほかの国の選手に比べて、どのような傾向があるだろうか。」 ○ 問題 （1）表8のデータを、どのような方法で分析すれば、日本の選手の身長の傾向がわかりそうですか。 （2）表8をもとに、日本とイランの選手の身長のデータを、箱ひげ図に表しなさい。 （3）（2）から、日本の選手とイランの選手の身長の分布のようすを比べて、わかることをいいなさい。 （4）（3）と同じように、日本の選手とイラン以外の国の選手の身長の分布のようすを比べて、わかることをいいなさい。 （5）（3）、（4）から、日本の選手の身長は、ほかの国の選手に比べてどのような傾向があるといえるか、説明しなさい。
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「1月から3月の間にメルボルンに行く場合、どんな服を準備すればよいか調べるために、5年間の日ごとの最高気温のデータから月ごとの平均値を求めグラフに表すと、次のようになりました。このグラフから、どんなことがわかりますか。」 ○ 問題 「メルボルンと東京の5年間の日ごとの最高気温のデータを月ごとに集めて箱ひげ図をつくると、次のようになりました。このグラフから、どんな服を準備すればよいか話し合ってみましょう。」 ○ 問題 「メルボルンの5年間の1月から3月の日ごとの最高気温を、次のような度数分布表に整理しました。累積度数や相対度数、累積相対度数を求めて、どんな服を用意すればよいか話し合ってみましょう。」
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「年々、冬日の日数が減少することは、京都以外の都市でも起こっているのでしょうか。京都以外の都市についても箱ひげ図を利用し、冬日の日数の経年変化を調べてみましょう。また、わかったことを発表してみましょう。」 ○ 調べたいことを決めよう 「札幌と横浜の冬日の日数の経年変化は、京都と同じような傾向があるのかな。」 ○ 計画を立てよう ○ データを集めよう ○ 分析しよう ○ 結論をまとめよう ○ 結論、調査や発表のしかたをふり返ろう

第2学年「データの活用」	
「複数のデータの分布を比較するとき、箱ひげ図を用いて説明する活動」における具体例	
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「けいたさんとかりんさんは、日ごろから関心をもっているごみのリサイクルについて、全国でどの程度取り組まれているか調べてみることにしました。」 「けいたさんとかりんさんは、各都道府県のごみのリサイクル率について調べ、次のようにヒストグラムと表にまとめました。」 ○ 話しあおう 「上のヒストグラムや表から、ごみのリサイクル率について、どのようなことがわかりますか。」 「ごみのリサイクル率が高い5県について、それぞれの市町村のごみのリサイクル率のデータを調べたところ、四分位数などの値は、次のようになりました。」 「この表から箱ひげ図をつくると、次のようになります。」 ○ 話しあおう 「前ページのヒストグラムや表、上の図などから、各都道府県のごみのリサイクルへの取り組みについて、どのようなことがいえそうでしょうか。」
数 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「ある中学校の体育委員会で、生徒の体力が以前と比べて変化しているか調べるため、体力テストのデータの傾向について調査することになった。」 ○ 先生の問い 「これまでに学習した方法を使って、データの傾向について調べましょう。」 ○ 問題 「ある中学校の体力テストのハンドボール投げのデータから、2012年、2015年、2018年、2021年の平均値の表と、箱ひげ図をつくると下のようになりました。データの傾向について、気づいたことを答えましょう。また、そのように考えた理由を説明しましょう。」 ○ 先生の問い 「箱ひげ図のどこに着目したのですか？」 「最大値や最小値ではなく、箱の位置や中央値に着目したのはなぜですか？」
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ きっかけとなる事柄 「1日の最低気温が0℃未満の日を冬日といいます。」 「真衣さんの班では、今度は冬日が減る傾向にあるのかどうかを調べることにしました。」 「そこで、福岡、大阪、東京の冬日について、1963年から2022年までの60年間分のデータを20年ごとに区切り、都市ごとに3つずつのデータにしました。それぞれの都市のデータについて、古い方から順にデータ①、②、③とします。」 「次のページの図1は、それらのデータをもとにかいた箱ひげ図です。」 ○ 問題 図1から、3つの都市のデータに共通する特徴を読み取ることができます。その特徴として正しいものを、次の㉠～㉥の中からすべて選びなさい。 ㉠ データの範囲が①、②、③の順に小さくなっている。 ㉡ データの四分位範囲が①、②、③の順に小さくなっている。 ㉢ データの中央値が①、②、③の順に小さくなっている。 ㉣ ①、②、③のいずれのデータも、中央値より平均値の方が大きい。 ○ 話し合おう 「上の図1から、3つの都市の冬日について、どのような傾向があるといえるでしょうか。根拠にしたことと、その傾向について話し合みましょう。」

観点	(イ)思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④問題発見・解決の過程を意図した活動の工夫
方法	問題発見・解決の過程における数学的な見方・考え方を働かせる展開例

第2学年「基本的な平面図形の性質」			
多角形の内角の和			
	導入	課題	展開
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多角形の角の和をいろいろな方法で求め、その求め方を説明する。 ○ 「それぞれの多角形について、角の和の求め方を説明してみましょう。」 ○ 「友だちの考えやほかの考えを聞いてみましょう。」 (扱う多角形) ・四角形 ・五角形 ・正六角形 ・六角形 ▼ 「どの六角形でも同じ方法で求められるかな。」 ・十角形 ▼ 「頂点の数が増えても、同じ方法で角の和を求められるかな。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三角形の内角の和が 180° であることをもとにして、多角形の内角の和を求める。 ○ 1つの頂点から出る対角線で分けた四角形、五角形、六角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。 ○ 「多角形の角の和の求め方の説明について考えてみよう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「多角形を、1つの頂点から出る対角線で三角形に分けます。頂点の数が n の多角形の内角の和を求める式はどうなるでしょうか。」 ▼ 「頂点が増えても、同じきまりで考えられるのかな。」 ○ 「n角形のときに分けられる三角形の個数はどうなるでしょうか。また、その理由を説明してみましょう。」 ○ 「n角形の内角の和を求める式はどうなるでしょうか。」 ○ 「多角形の内角の和の求め方の説明で、もとにしていることがらをいいなさい。」 ▼ 「説明では、もとにしていることがらを明らかにしよう。」 ○ 「n角形を、その内部の1つの点から頂点にひいた線分で三角形に分ける方法で、n角形の内角の和の求め方を説明しなさい。」
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 五角形の内角の和を求めたカルロスさんの考え方をを使って、六角形と七角形の内角の和をそれぞれ求める。 (扱う多角形) ・五角形 ・六角形 ・七角形 	<ul style="list-style-type: none"> ○ カルロスさんの三角形に分ける考え方を示している。 ○ 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、n角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。 ○ 「「三角形の内角の和は 180° である」ことをもとにして、多角形の内角の和について調べよう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「辺の数と、1つの頂点から対角線をひいてできる三角形の数との間には、どのような関係がありますか。」 ○ 「n角形の内角の和を、nを使った式で表しなさい。」 ○ 五角形の内部に点を取る方法を図で示したマイさんの考え方をを使って、内角の和を求める。 ▼ 「点Oを辺上にとっても考えることができるかな。」 ○ 十角形の内角の和の求め方を例示し、十二角形の内角の和を求める。 ○ 内角の和が 2340° である多角形の求め方を例示し、内角の和が 1980° である多角形を求める。
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 五角形の内角の和を求め、その求め方を説明する。 ▼ 「根拠を明らかにして、説明できるかな。」 (扱う多角形) ・五角形 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拓真さんの考え方(五角形を3つの三角形に分ける求め方)を示している。 ○ 「拓真さんの考え方をを使って、いろいろな多角形の内角の和を求めて、次の表を完成させましょう。」 ○ 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの頂点の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。 ▼ 「多角形の内角の和には、共通のきまりがありそうだね。」 ▼ 「いろいろな多角形の内角の和を求める式を、1つの式で表せないかな。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「表で、多角形の頂点の数を n とすると、内角の和はどんな式で求めることができるでしょうか。」 ▼ 「三角形に分ける方法は、ほかにもありそうだね。」 ▼ 「どんな分け方をしても、結果は同じになるのかな。」 ○ 「美月さんは、次のようにして五角形の内角の和を求めました。美月さんの考え方を説明してみましょう(五角形の内部に点を取り、各頂点と結んで求める方法)。」 ○ 「美月さんの考え方で n角形の内角の和を求め、それが $180^\circ \times (n - 2)$ と等しいことを確かめてみましょう。」 ▼ 「点Pを図形の内部にとっているけど、どこに点Pをとっても同じ結果になるのかな。」 ▼ 「辺上や、五角形の外部にとっても同じことがあるのかな。」 ○ 「十二角形の内角の和は何度ですか。」 ○ 「正十二角形の1つの内角の大きさは何度ですか。」 ○ 「内角の和が 1260° になるのは何角形ですか。」 ○ 五角形を三角形に分ける方法として、「1つの頂点で分ける」「内部の点で分ける」「辺上の点で分ける」場合を示し、「点Pを五角形の外部に動かした場合も考えることができます。この図を使って、五角形の内角の和を求めてみましょう。」

【数学】

<p style="text-align: center;">教 出</p>	<p>○ 1つの頂点から対角線をひく方法で多角形の内角の和を求める。 (扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 ・六角形 ・七角形 	<p>○ 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形までの頂点の数と三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>○ 「求めた結果をもとにして、下の表を完成させましょう。」</p> <p>▼ 「多角形の頂点の数と、対角線をひいて分けた三角形の数には、どんな関係があるのかな。」</p>	<p>○ 「多角形の頂点の数を n とすると、1つの頂点からひいた対角線によって、多角形は $(n-2)$ 個の三角形に分けられる。」これが正しいことを、教科書の図を使って説明する。また、このことから、多角形の内角の和を、n を使った式で表す。</p> <p>▼ いくつか調べてきまりを見つける。</p> <p>○ たくみさんが、五角形を三角形に分ける方法として、内部に点をとって分ける図をかくて考えている。たくみさんの考え方を説明し、たくみさんの考え方で n 角形の内角の和を求める。</p> <p>▼ 「ほかにも下の図のように考える（三角形を辺上の点で分ける）方法があるよ。」</p> <p>○ 「十二角形の内角の和を求めなさい。」</p> <p>○ 「正九角形の内角の和を求めなさい。また、その1つの内角の大きさを求めなさい。」</p> <p>○ 「内角の和が 1980° である多角形は何角形であるか答えなさい。」</p> <p>▼ 「方程式の形にして求めるといいね。」</p> <p>○ 「内角の和が 2700° である多角形は何角形ですか。」</p> <p>○ 「1つの内角の大きさが 135° である正多角形は正何角形ですか。」</p>
<p style="text-align: center;">啓 林 館</p>	<p>○ 多角形の内角の和を調べる。 (扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 ・六角形 	<p>○ 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、八角形、九角形までの辺の数、三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>▼ すでに学んだ形にする</p> <p>○ 「多角形の1つの頂点から対角線をひき、右の表の□にあてはまる数を調べて書き入れなさい。」</p> <p>▼ 「辺の数が1増えると、内角の和は何度増えるかな。」</p>	<p>○ 「辺の数が n である多角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、$(n-2)$ 個の三角形に分けられます。したがって、n 角形の内角の和は、次の式で表すことができます。n 角形の内角の和は、$180^\circ \times (n-2)$ である。」</p> <p>○ 「十角形の内角の和は何度ですか。また、正十角形の1つの内角の大きさは何度ですか。」</p> <p>○ 「内角の和が 900°、1800° となる多角形は何角形ですか。」</p> <p>○ かりんさんが、五角形を三角形に分ける方法として、内部に点をとって分ける図を示し、「かりんさんは、n 角形の内角の和を、右の図のように考えて、$180^\circ \times n - 360^\circ$ という式で表しました。かりんさんの考え方を説明しましょう。」</p>
<p style="text-align: center;">数 研</p>	<p>○ 「n 角形の内角の和は何度になりますか。n を使って表しましょう。」</p> <p>○ まなとさん（小学校の学習を想起する）</p> <p>○ みかさん（三角形に分ける方法を想起する）</p> <p>▼ 「次のように三角形に分ける方法があったね。」 (扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 	<p>○ ひびきさん（みかさんの考えをもとに、表を作る）</p> <p>▼ 「みかさんの考えをもとにして、表をつくってみよう。」</p> <p>○ 四角形、五角形、六角形、七角形、八角形までの三角形の数と内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>○ 「n 角形を何個の三角形に分けることができるか、考えてみましょう。」</p>	<p>○ 「n 角形は1つの頂点からひいた対角線によって $(n-2)$ 個の三角形に分けることができる。よって、次のことが成り立つ。n 角形の内角の和は $180^\circ \times (n-2)$」</p> <p>○ 「2人の考え方では、n 角形の内角の和はどのような式で表されますか。」</p> <p>○ かなさん（辺上に点をとって、三角形に分ける）</p> <p>▼ 「辺の上に点をとって三角形に分けたよ。」</p> <p>○ ひびきさん（図形の内部に点をとって、三角形に分ける）</p> <p>▼ 「図形の中に点をとって三角形に分けたよ。」</p> <p>○ 十角形の内角の和の求め方を例示する。</p> <p>○ 「十二角形の内角の和を求めなさい。」</p> <p>○ 「正十八角形の1つの内角の大きさを求めなさい。」</p> <p>○ 「内角の和が 1260° である多角形は何角形ですか。」</p>

【数学】

<p>日 文</p>	<p>○ 陸さんは、1本の対角線で2つの三角形に分け、四角形の内角の和を求めている。</p> <p>○ 「陸さんと同じ方法で、五角形の内角の和を求めましょう。」</p> <p>▼ いくつかの場合から予想する 具体的な数で考える</p> <p>○ 陸さんと同じ方法で六角形と七角形の内角の和を求める。</p> <p>▼ 知っていることを使えるようにする 三角形の内角の和をできるように補助線をひく (扱う多角形)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四角形 ・五角形 ・六角形 ・七角形 	<p>○ 三角形、四角形、五角形、六角形、七角形、n角形までの頂点の数、三角形の数、内角の和を求める式を書き込む表を示している。</p> <p>○ 「次の表を使って、これまでに調べたことを整理してみましょう。」</p>	<p>○ 「上の表からきまりを見つけて、気づいたことを話し合しましょう。また、話し合ったことをもとに、n角形の内角の和を求めましょう。」</p> <p>▼ 関連づけてまとめる 共通する考え方に着目してまとめる</p> <p>○ 「n角形は、1つの頂点からひいた対角線によって、$(n-2)$個の三角形に分けることができます。このことから、次のことが成り立ちます。n角形の内角の和は$180^\circ \times (n-2)$である。」</p> <p>○ 「十角形の内角の和を求めなさい。」</p> <p>○ 「内角の和が1800°である多角形は何角形ですか。」</p> <p>○ n角形の内角の和を求めた3人の図を見て、対応する式を選ばせる。</p> <p>▼ ほかの方法を考える 三角形のつくり方を考える</p> <p>○ 陸さん（1つの頂点からひいた対角線で三角形に分ける）</p> <p>○ 真衣さん（辺上に点をとって三角形に分ける）</p> <p>○ レオさん（図形の内部に点をとって三角形に分ける）</p> <p>○ 3人の考え方の共通点を考えさせる。</p> <p>▼ 比べて考える 共通する考え方や異なる考え方に着目する</p>
----------------	--	--	---

【数学】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	日常生活や社会とのかかわりで取り扱われている具体例及び題材数

	第1学年			
	「比例、反比例」		「データの活用」	
	具体例	題材数	具体例	題材数
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・水そうに水を入れ始めてからの時間と水の深さの関係 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・ポップコーンを購入するときの待っている人数と待ち時間の関係 ・スライドショーを作成するときの1枚の写真を映す時間と曲の長さの関係 ・車いすマラソンの選手のスタートしてからの時間と走った距離の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・スライドショーを作成するときの1枚の写真を映す時間と写真の枚数の関係 	18	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーチームにおいて、現在のチームと優勝時のチームの1500m走の記録の比較 ・「体力向上ウィーク」において、全校生徒の運動時間が増えたかどうかの比較 ・生徒のスマートフォンやタブレットなどの情報機器の使用状況についての考察 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・2社のホエールウォッチング体験ツアーのクジラとの出会いやすさの判断 ・ペットボトルキャップを投げて表向きになる確率 ・上ばき販売時に、過去3年分のデータをもとに考える各サイズの仕入れ個数 	13
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・マラソン大会で、時刻にともなって変化した数量 ・ある地点での、ある日の8時から18時までの1時間ごとの気温の変化 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・選手が走ったときの時間と位置の関係 ・一定の割合で水位が変化している直方体の容器の中での、時間と水位の関係 ・時計において、12時からの経過時間と長針、短針それぞれが動いた角度の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・電子レンジの出力と加熱時間の関係 ・自転車のギアの歯数と回転数の関係 	26	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・10cmの長さの感覚について実験をしたときの1回目と2回目の記録の比較 ・A中学校とB中学校の生徒の通学時間の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・サッカーのコイントスにおいて、びんやペットボトルのふたが代用できるかを実験結果より比較 ・2008年から2017年までの日本の男女別出生数のデータから、男子と女子の生まれることの起こりやすさの比較 ・2007年と2017年のガソリン自動車の燃費の比較 	22
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・プールに水を入れたときにともなって変わる2つの数量 ・長方形の窓を開けたときの、開けた幅と開けた部分の周囲の長さの関係 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・ばねにつるしたおもりの重さとばねののびの関係 ・陸さんと妹が家から駅まで歩くときの時間と道のりの関係 ・ペットボトルのキャップの個数と寄付できるワクチンの人数分の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・視力とランドルト環の外側の直径の関係 	35	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・A組とB組のルーラーキャッチの記録の比較 ・東京の1920年と2020年の8月の日ごとの最高気温のヒストグラムの比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのキャップを投げたときの表向き、裏向き、横向きが出る確率 ・びんの王冠を投げたときの表、裏が出る確率 ・降水確率 	25

【数学】

<p>教出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・水そうに水を入れ、水面の高さが 40 cm になるまでの時間を知るために必要な情報 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのキャップ全体の重さと個数の関係 ・たくみさんとそうたさんがジョギングしたときの時間と道のりの関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・電子レンジの出力と加熱時間の関係 ・1000羽のつるを折るときの人数と1人が折るつるの数の関係 	<p>28</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・紙コプターの羽の長さや滞空時間のデータの分析 ・2つの学級の男子の50m走の記録の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・スキー場の昨シーズンのスキーブーツ貸出回数と今後の1000足分の購入計画 ・ペットボトルのキャップを投げたときに表向き、裏向き、横向きになる確率 ・2015年から2021年までの日本の女子出生数の分析 	<p>17</p>
<p>啓林館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・正方形の厚紙を使って、底面が正方形でふたのない箱を作るときの高さやそれともなって変わる数量 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・線香に火をつけてからの時間と燃えた長さの関係 ・紙パックをトイレトペーパーにリサイクルするときの紙パックの重さとトイレトペーパーの個数の関係 ・アルミ板から形を切り取るときの切り取った形の重さと面積の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・電子レンジの出力と温める時間の関係 	<p>25</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・紙ふぶきの長方形の長さや幅の違いと滞空時間の比較 ・卵が10個ずつ入った容器A、Bそれぞれの容器に入った卵の重さの分布の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・将棋の駒を投げたときの表向き、裏向き、横向き、上向き、下向きがでる確率 ・2011年から2020年までの日本の年次ごとの出生児総数と出生女児数の割合 ・イルカウォッチングツアーの実施回数と、イルカと遭遇できた回数から求められる遭遇できる確率 	<p>17</p>
<p>数研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・貯金箱から取り出した硬貨の枚数と重さの関係 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・500円硬貨の枚数と重さの関係 ・回収したペットボトルのキャップの個数と重さの関係 ・電動式のシャッターの開いた部分の長方形の高さと面積の関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・電子レンジの出力と加熱時間の関係 	<p>14</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・A市とB市の50日分の気温と天気データの比較 ・テーマパークにある2つのアトラクションの待ち時間の比較 ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのキャップを投げたときに表向き、裏向き、横向きになる確率 ・靴の販売店の過去のデータをもとにした各サイズの靴を何足仕入れるかの考察 	<p>13</p>
<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ともなって変わる数量 <ul style="list-style-type: none"> ・伊能忠敬の地図づくりにおける歩数と道のりの関係 ○ 比例 <ul style="list-style-type: none"> ・水そうに水を入れ始めてからの時間と水の量の関係 ・海水の量とそれに含まれる塩の量の関係 ・姉と弟が家から学校まで歩くときの時間と道のりの関係 ○ 反比例 <ul style="list-style-type: none"> ・1500mの道のりを走った時にかかる時間と速さの関係 	<p>32</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ データの分布 <ul style="list-style-type: none"> ・20世紀の100年間における高知県高知市の3月の平均気温のデータの比較 ・野球チームが、対戦相手のA投手の球の速さを分析して立てた練習計画が適切かを判断する ○ 不確定な事象の起こりやすさ <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルのキャップを投げたときの表向き、裏向き、横向きが出る確率 ・送迎バスの2つのルートの所要時間の比較 	<p>15</p>

【数学】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥問題解決的な学習を実施するための工夫
方法	問題の具体例及び問題数

	第1学年 (巻末)	問題数	第2学年 (巻末)	問題数	第3学年 (巻末)	問題数
東 書	[数学の自由研究] ○ 素数のひみつを調べよう ○ 円周率 π の歴史 ○ グラフを使って考えよう ○ ランドルト環のしくみ ○ 地震のゆれの予測のしくみ ○ エッシャーに挑戦しよう ○ はちの巣の形のしくみ ○ フラクタル模様を知ろう ○ 正多面体は、なぜ5種類？	9	[数学の自由研究] ○ 17段目のふしぎ ○ 食品ロスの未来を予測しよう ○ アメリカホームステイ ○ 折り紙で正多角形を作ろう ○ 図形の性質を見つけよう ○ パスカルのフェルマーの手紙 ○ 点字のきまりを知ろう	7	[数学の自由研究] ○ 瞬間の速さ ○ 容積を最大にするには？ ○ 黄金比 ○ 伊能忠敬の業績を知ろう ○ 大工道具「さしがね」 ○ 三平方の定理のいろいろな証明	6
大 日 本	[もっと数学の世界へ] ○ 鉛筆の芯はどれだけ使える？ ○ テーブルは何人で使うことができる？ ○ 2つのエレベーターの距離はどうなる？ ○ 素数の力で生き抜いてきたセミ ○ 身のまわりのマイナス ○ 私たちの食料とフード・マイレージ ○ 関数で健康管理！ ○ 船が安全に進むための工夫 ○ 手まり模様の秘密 ○ データを正しく活用するには	10	[もっと数学の世界へ] ○ どの店に注文する？ ○ 考え方の共通点は？ ○ 点を結んでできる図形の面積は？ ○ まだある！数の世界 ○ さっさ立てに挑戦しよう ○ 関数を使って予想しよう ○ 幾何学の起こり ○ 四角形の変身術 ○ 不思議な錯視の世界 ○ 点字を生んだブライユの想い	10	[もっと数学の世界へ] ○ 黄金比と図形の性質の関係は？ ○ 九九表にはどんな規則性がある？ ○ 影はどのように変わる？ ○ 2乗すると負の数になる数！？ ○ リレーのバトンパス ○ 相似を生かして ○ 三平方の定理のいろいろな証明 ○ 日本のことばと数 ○ 数学から見る芸術の世界	9
学 図	[さらなる数学へ] ○ 海面水位の上昇を抑えるためにできることを考えよう ○ 米は何粒？ ○ 複雑な形の面積は？ ○ 道路のカーブの半径は？ ○ 立方体の切り口の形は？ ○ デジオファントスと方程式 ○ 円周率 π の話	7	[さらなる数学へ] ○ フェアトレードからできることを考えよう ○ 気温は上がっている？ ○ 点字のしくみは？ ○ どちらが有利？ ○ 面積は求められる？ ○ パスカルのフェルマーになってみよう	6	[さらなる数学へ] ○ エシカル消費についてできることを考えよう ○ 黄金比って何？ ○ 「三平方の定理の逆」の証明はほかにもある？ ○ 放物線はみな相似？ ○ ドローンを使った撮影範囲は？ ○ 震源の位置を特定できる？ ○ 地球の測り方 ○ 三平方の定理の証明 ○ 高校へのかけ橋	9

【数学】

	第1学年 (巻末)	問題数	第2学年 (巻末)	問題数	第3学年 (巻末)	問題数
教出	<p>[数学ライブラリー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最大公約数と最小公倍数 ○ 円周率 π の歴史 ○ どちらが得かな？ ○ 進行の計画を立てよう！ ○ 「動く歩道」の速さは？ ○ どちらのほうが長いかな？ 	6	<p>[数学ライブラリー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 点の数と面積の関係 ○ 立体の切り口 ○ 点字のしくみ ○ 食塩水の濃度はどれくらいかな？ ○ 条件を変えても成り立つのかな？ 	5	<p>[数学ライブラリー]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい因数分解の公式？ ○ 2次関数？ ○ 散らばりの程度を表す新しい数値？ ○ 瞬間の速さ？ ○ 考えよう！地球温暖化問題 ○ 黄金比 ○ 和算と算額 ○ ページ番号はいくつになるのかな？ ○ 円周上の点を結ぶと…？ ○ 注文を引き受けることはできるかな？ 	10
啓林館	<p>[学びをいかそう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 何時に話そうかな？ ○ 最大公約数と最小公倍数 ○ おにぎりを売ろう ○ どちらの店で買おうかな？ ○ 緊急地震速報 ○ ランドルト環 ○ 移動を使って面積を求めよう ○ おうぎ形の面積 ○ 正多面体の特徴をさぐる ○ 最高気温の推移から気候変動について調べよう ○ 社会見学にいこうー回転焼きができるまでー 	11	<p>[学びをいかそう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スタートの位置はどこ？ ○ 体を動かして健康を維持しよう ○ 料金が安いのは？ ○ 角の大きさを求めよう ○ へこみの部分の角の大きさ ○ どちらのくじをひこうかな？ ○ 大雨の発生状況を調べよう ○ 社会見学にいこうー明太子ができるまでー 	8	<p>[学びをいかそう]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 ○ 容器をつくろう ○ 変化の割合の計算 ○ グラフの交点の座標 ○ 全身がうつる鏡 ○ 三角形の五心 ○ 円に内接する四角形 ○ 接線と弦のつくる角 ○ 方べきの定理 ○ 曲尺の秘密 ○ 三平方の定理の証明 ○ データを整理するときには？ ○ 災害から身を守ろう ○ 社会見学にいこうー教科書ができるまでー 	14
数研	<p>[数学旅行]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 塵劫記 ○ デイオファントスの一生 ○ 深海の水圧 ○ 封筒で立体を作ってみよう ○ 日本の気候変動 ○ 降水確率 	6	<p>[数学旅行]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 温度の単位 ○ LED電球はお得？ ○ 星形の図形の角の和 ○ ビッグデータ 	4	<p>[数学旅行]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ リレーのバトンパス ○ 皆既日食と金環日食 ○ 曲尺と数学 ○ ピタゴラス 	4
日文	<p>[数学マイトライ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 小町算 ○ 地震のP波とS波 ○ 三角形の内心と外心 ○ 正多面体が5種類しかない理由 ○ 多面体の面、頂点、辺の数の関係 ○ 立体の切り口にできる図形 ○ 素数を求めるプログラムを考えよう 	7	<p>[数学マイトライ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 連続する10個の整数の和 ○ さっさ立て ○ 食塩水の濃度 ○ ダイアグラム ○ 条件を変えて考えよう ○ 1970年の大阪万博の入場者数 ○ 星形正多角形のアルゴリズムを考えよう 	7	<p>[数学マイトライ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 便利な計算方法 ○ $\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 ○ 黄金比 ○ 円周角を動かしていくと… ○ 三平方の定理の証明 ○ フラクタル図形のアルゴリズムを考えよう 	6

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦問題解決的な学習に対する振り返りの工夫
方法	問題解決的な学習で働かせた数学的な見方・考え方等の振り返りの取扱い

第1学年「正の数・負の数」		振り返りの視点、 ポイント
利用の場面における学習の流れと振り返りの取扱い		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題をつかむ、見通しをたてる 「(バレーボール選手6人の身長について) 平均を求めてみましょう。」 ○ 問題を解決する 「自分の求め方をノートに書いて説明してみましょう。1つの方法ができたなら、ちがう方法でも考えましょう。」「あおいさんは(略)。あおいさんの求め方の続きを考えて、説明してみましょう。」「はるきさんは(略)。このあとどのようにして求めることができますか。」「あおいさんとはるきさんの求め方で、似ているところやちがうところを話し合ってみましょう。」 ○ 振り返る 「平均をくふうして求めるときに、大切な考え方は何だったのでしょうか。学習を振り返ってまとめをしましょう。」 ○ 深める 「自分で基準を決めて、6人の身長の平均を求めてみましょう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新しく学んだこと ○ 大切だと思った考え方 ○ 疑問に思ったこと ○ 次に考えてみたいこと
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題を見いだそう 「(8人の生徒の1500m走の記録について) どのように調べれば、つばささんの記録とほかの生徒の記録を比べられそうですか。」 ○ 解決のしかたを探ろう 「つばささんの記録の330秒を基準にして、記録の差を表しなさい。」 ○ 解決しよう 「記録の差の合計を求めなさい。」「つばささんの記録は、8人の生徒の平均値より速かったといえますか。また、そのように考えた理由を説明しなさい。」 ○ 深めよう 「8人の生徒の記録の平均値を求め、つばささんの記録と比べなさい。」「正の数、負の数の考え方を使った数値の比べ方や平均値の求め方について、気づいたことを話し合いましょう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 解決の過程や結果を振り返って、新しく学んだことをまとめ、疑問に思ったことやもっと調べたいことをあげる
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題を見つけよう、予想しよう 「(男子4人の立ち幅とびの記録について) 4人の記録の平均を求めてみましょう。」 ○ 平均を求めよう 「美月さんは(略)。美月さんの考え方で平均を求めましょう。」 ○ よりよい方法を見つけよう 「この章で学習したことを使って、効率的に平均を求める方法を考えましょう。」 ○ 基準を変えて考えよう 「拓真さんは、4人の記録がすべて150cm以上であることに着目し、150cmを基準として平均を求めようと考え、式をつくりました。拓真さんの式の意味を説明しましょう。」「健太さんは、自分の記録194cmを基準として(略)平均を求めましょう。」「基準を何cmとすると、平均を求めやすいでしょうか。自分で基準を決めて、平均を求めましょう。」 ○ まとめよう 「平均を求めるとき、どんなくふうができるかをまとめましょう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題を解決するために、どんなことを学び、どんなことがわかったかまとめましょう。

【数学】

<p>教 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題を見いだす、問題をつかむ、見通しを立てる「(昨年の読書週間で貸し出した本の冊数について)貸し出した本の冊数の平均は、何冊でしょうか。」 ○ 問題を解決する「貸し出した本の冊数の平均を、工夫して求めてみましょう。」「かずまさんの求め方で、平均を求めてみましょう。」「さらさんの求め方について(略)平均を求めてみましょう。」「かずまさんとさらさんの求め方について、似ているところや違うところを話し合ってみましょう。」 ○ 振り返る「学習を振り返って、平均を求めるときにどんな工夫ができるか、まとめてみましょう。」 ○ 深める「今年の読書週間では、1日あたり150冊の本を貸し出すことを目標にしました。(略)この表をもとにして、目標が達成できたかどうかを判断してみましょう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことのよさ ○ 大切だと思った見方・考え方 ○ 数学の楽しさ
<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 状況を整理し、問題を設定しよう「(ペットボトルのキャップの収集量について)過去5年間の収集量の平均は何kgですか。」 ○ 解決の見通しを立てて、問題を解決しよう「仮平均を340kgにして下の表を完成させ、平均を求めなさい。」 ○ 問題解決の過程を振り返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう「いろいろな計算方法で平均を求めたね。」「仮平均とする値をくふうしたら、計算が簡単になったね。」「となりの町の過去5年間の収集量は次のような値でした。仮平均とする値をくふうして平均を求めなさい。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決の過程を振り返って、気づいたことやもっと調べてみたいことを話しあい、問題を深めよう
<p>数 研</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「(A組の大縄跳びの5回の記録について)くふうして平均を求める方法はありませんか。」 ○ TRY1「A組の2週間前の記録の平均を、くふうして求める方法を考えましょう。」 ○ 「基準をいくつか決めて、2週間前の記録の平均を求めましょう。また、気づいたことを答えましょう。」 ○ 「エマさんは、毎日30分間読書することを日課にしている、(略)1日あたりの読書時間の平均を求めなさい。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ TRY1について、～を求めましょう。また、気づいたことを答えましょう。
<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の問題にしよう「(清掃活動の参加人数について)陸さんたちは、1月から5月までの参加人数は昨年と今年でどちらが多いかを、1回あたりの平均値で比べようとしています。参加人数の平均値を、もっと簡単な計算で求めましょう。」 ○ 見通しをもとう「次のレオさんの考え方で、1回あたりの平均値を求めてみましょう。」 ○ 考えよう「基準の人数は自分で決めて、基準との差を次の表にまとめましょう。また、この表の値を使って、昨年の参加人数の平均値を求めましょう。」 ○ 話し合おう「各自で考えた求め方について、共通することやちがうところなどを話し合ひましょう。」 ○ 振り返ろう「平均値を簡単に求めるために、どんなくふうをしましたか。」 ○ 深めよう「次の表は、Aさんが1500m走を3回走った記録です。この3回の記録の平均値をくふうして求めましょう。」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんなことがわかったかな。 ○ 問題を解決するとき、どんな方法や考え方、表し方が役に立ったかな。 ○ 学んだことがらには、どんなよさがあったかな。 ○ 次にしたいこと、さらに調べたいことは何かな。

【数学】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧単元や資料等の配列
方法	各単元と巻末問題のページ数及び巻末資料の具体例

	第1学年		第2学年		第3学年	
	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
東 書	0 算数から数学へ	8	1 式の計算	24	1 多項式	30
	1 正負の数	44	2 連立方程式	22	2 平方根	28
	2 文字と式	28	3 1次関数	38	3 2次方程式	24
	3 方程式	26	4 平行と合同	30	4 関数 $y = ax^2$	34
	4 比例と反比例	40	5 三角形と四角形	36	5 相似な図形	40
	5 平面図形	34	6 確率	18	6 円	20
	6 空間図形	34	7 データの比較	14	7 三平方の定理	24
	7 データの分析と活用	24	巻末問題	12	8 標本調査	14
	巻末問題	15			巻末問題	15
	○ 「数学の目でふり返ろう」で、学年を越えて働かせることができる「見方・考え方」を確認できるようにしている。 ○ 「数学の自由研究」で、日常生活や他教科の学習と関連した課題やそれをレポートにまとめる活動の例を示している。					
大 日 本	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 数の世界のひろがり	54	1 式と計算	28	1 多項式	32
	2 文字と式	34	2 連立方程式	26	2 平方根	34
	3 1次方程式	24	3 1次関数	32	3 2次方程式	24
	4 量の変化と比例、反比例	40	4 平行と合同	36	4 関数	34
	5 平面の図形	38	5 三角形と四角形	34	5 相似と比	40
	6 空間の図形	36	6 データの比較と箱ひげ図	14	6 円	20
	7 データの分析	26	7 確率	18	7 三平方の定理	22
	巻末問題	12	巻末問題	10	8 標本調査	18
					巻末問題	16
○ 「課題学習」で、各領域の内容を総合したり、日常生活や他教科の学習と関連付けたりする課題等を掲載している。 ○ 「MATHFUL」で、数学が生活に生かされていることや、数学の世界を知ることができる読み物を掲載している。						
学 図	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数・負の数	56	1 式の計算	30	1 式の計算	34
	2 文字式	30	2 連立方程式	29	2 平方根	30
	3 1次方程式	33	3 1次関数	37	3 2次方程式	27
	4 比例と反比例	41	4 図形の性質の調べ方	40	4 関数 $y = ax^2$	39
	5 平面図形	32	5 三角形・四角形	33	5 相似な図形	46
	6 空間図形	39	6 確率	20	6 円	26
	7 データの活用	32	7 データの分布	16	7 三平方の定理	27
	巻末問題	7	巻末問題	7	8 標本調査	18
					巻末問題	10
○ 「今の自分を知ろう」で、SDGsに関連した課題を取り上げ、これまで身に付けた数学の力を使って、自分たちに何ができるかを考察する活動を設定している。 ○ 「数学の力」で、数学を仕事や生活に生かしている社会人のスペシャルインタビューを掲載している。						

※ 巻末問題は、当該学年の問題のみとしている。

【数学】

教 出	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 整数の見方	10	1 式の計算	31	1 式の計算	35
	2 正の数、負の数	49	2 連立方程式	25	2 平方根	29
	3 文字と式	36	3 1次関数	35	3 2次方程式	27
	4 方程式	29	4 平行と合同	41	4 関数 $y = ax^2$	31
	5 比例と反比例	36	5 三角形と四角形	37	5 相似な図形	46
	6 平面図形	38	6 確率	19	6 円	22
	7 空間図形	35	7 データの分析	16	7 三平方の定理	25
	8 データの分析	31	巻末問題	14	8 標本調査	16
	巻末問題	15			巻末問題	18
○ 「学んだことを活用しよう+ (プラス)」で、日常生活や他教科の学習と関連付けた課題等を掲載している。 ○ 「学びのマップ」で、下学年の既習内容を整理するとともに、当該学年の既習の学習との系統性を示している。						
啓 林 館	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数・負の数	46	1 式の計算	24	1 式の展開と因数分解	28
	2 文字の式	30	2 連立方程式	24	2 平方根	28
	3 方程式	26	3 一次関数	36	3 二次方程式	24
	4 変化と対応	34	4 図形の調べ方	34	4 関数 $y = ax^2$	30
	5 平面図形	34	5 図形の性質と証明	34	5 図形と相似	40
	6 空間図形	38	6 場合の数と確率	16	6 円の性質	20
	7 データの活用	27	7 箱ひげ図とデータの活用	13	7 三平方の定理	22
	巻末問題	14	巻末問題	14	8 標本調査とデータの活用	17
					巻末問題	18
○ 「学びをふりかえろう」で、下学年で学んだ内容を復習する問題を掲載している。 ○ 「学びをいかそう」で、日常生活や他教科の学習と関連した課題等の例を示している。						
数 研	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数と負の数	49	1 式の計算	31	1 式の計算	33
	2 文字と式	33	2 連立方程式	27	2 平方根	35
	3 1次方程式	25	3 1次関数	37	3 2次方程式	27
	4 比例と反比例	35	4 図形の性質と合同	35	4 関数 $y = ax^2$	33
	5 平面図形	31	5 三角形と四角形	31	5 相似	41
	6 空間図形	41	6 データの活用	17	6 円	23
	7 データの活用	25	7 確率	15	7 三平方の定理	25
	巻末問題	22	巻末問題	20	8 標本調査	17
					巻末問題	36
○ 「数学旅行」で、数学を生かして仕事をしている人のインタビュー記事や、日常生活や他教科の学習と関連した課題等を掲載している。 ○ 「学びの自己評価」で、自分で学ぶ力、学び合いの力のそれぞれについて、確認する表がある。						
日 文	単元名	ページ数	単元名	ページ数	単元名	ページ数
	1 正の数と負の数	45	1 式の計算	25	1 式の展開と因数分解	29
	2 文字と式	31	2 連立方程式	23	2 平方根	27
	3 方程式	25	3 1次関数	35	3 2次方程式	19
	4 比例と反比例	37	4 図形の性質と合同	37	4 関数 $y = ax^2$	33
	5 平面図形	33	5 三角形と四角形	31	5 相似な図形	35
	6 空間図形	25	6 場合の数と確率	17	6 円	19
	7 データの活用	33	7 データの比較	15	7 三平方の定理	21
	巻末問題	12	巻末問題	12	8 標本調査	13
					巻末問題	28
○ 「SDGs と数学」で、SDGs と関連のある暮らしの中の数学の話を掲載している。 ○ 切り取って使い、ノートにはって残せる「ふり返しシート」と「対話シート」がある。						

※ 巻末問題は、当該学年の問題のみとしている。

【数学】

観点	(工) 内容の構成・配列・分量
	視点 ⑨発展的な学習に関する内容の記述
	方法 発展的な問題の数及び具体例

	学年	問題数	具体例
東書	1	3	同類項
	2	5	文字が3つに増えたなら… (連立三元一次方程式)
	3	4	いろいろな数の分母の有理化 (分母が多項式であるときの有理化)
大日本	1	4	同類項
	2	4	3つの文字をふくむ連立方程式 (連立三元一次方程式)
	3	14	多項式を累乗する展開
学図	1	7	a^1 や a^0 はあるのかな?
	2	7	3つの文字をふくむ方程式を解こう (連立三元一次方程式)
	3	10	乗法公式を使った分母の有理化
教出	1	4	同類項
	2	5	文字を使った式の学習のひろがり (1年→2年→3年)
	3	10	乗法の公式を使った分母の有理化
啓林館	1	1	最大公約数と最小公倍数
	2	1	どちらのくじをひこうかな? (期待値)
	3	7	$\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 (背理法)
数研	1	2	三角形の外心、内心
	2	2	あることがらが起こったときの確率
	3	7	$\sqrt{2}$ が無理数であることの証明 (背理法)
日文	1	3	三角形の内心と外心
	2	2	3つの文字をふくむ連立方程式 (連立三元一次方程式)
	3	8	分母が多項式であるときの有理化

【数学】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩イラスト・写真・デジタルコンテンツの活用
方法	イラスト・写真の数と具体例及びデジタルコンテンツの数と扱い

	第3学年「関数 $y = ax^2$ 」				3学年全体	
	イラスト		写真		デジタルコンテンツ	
	数	具体例	数	具体例	数	扱い
東 書	20	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジェットコースター ○ ジェットコースターのコース ○ 斜面で球を転がしたときの、1秒ごとの球の位置(2) ○ 底面が1辺 x cmで、高さが5 cmである正四角柱 ○ 1辺が x cmの立方体 ○ 半径が x cmで、面積が y cm²である円 ○ 底面の半径が x cmで、高さが3 cmである円柱 ○ 自動車の急停止の様子 ○ 橋と船 ○ 1往復するのに x 秒かかる長さ y mの振り子 ○ 電車が自動車に追いつく様子 ○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切る様子 ○ りんごの入った箱 ○ 渋滞している車の流れのモデル化(2) ○ 直角三角形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 ○ 台形と長方形の重なりが変化している様子(2) ○ マイバックとレジ袋 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ ジェットコースター(3) ○ 噴水 ○ 花火 ○ 公園内 水飲み口の水の軌跡 ○ 上記写真とグラフの重ね合わせ ○ 自由落下する球の連続写真 ○ 渋滞学研究者(2) 	215	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、「動画」「マイ教科書・マップ」「ワークシート」「シミュレーション」「対話シート」「ちょっと確認」「フラッシュカード」「ヒントと解答」「教科リンク」「Webサイト」のデジタルコンテンツを利用できる。
大 日 本	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1辺が10 cmの正方形に対角線を引いた図 ○ 1辺が10 cmの正方形の対角線上に、1つの頂点をそろえて直角二等辺三角形を折り返した図 ○ 6枚の折り紙の図 ○ 1辺が10 cmの正方形の対角線上に、1つの頂点をそろえて1辺が x cmの直角二等辺三角形を折り返し、10 cmから x cmをひいた差を y cmとした図 ○ 1辺が10 cmの正方形の対角線上に、1つの頂点をそろえて1辺が x cmの直角二等辺三角形を折り返し、その面積を y cm²とした図 ○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置 ○ 放物線上の軸に平行な光や電波などを反射して集まる焦点の解説図 ○ ボールが自然に落ちていくときの、1秒ごとのボールの位置 ○ 底面が1辺 x cmで、高さが8 cmである正四角柱 ○ 自動車の停止距離の説明 ○ 一定の速さで走る1人を、地点Aを通過した瞬間に自転車に乗ったもう1人が、走っている人を追いかける様子 ○ 正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる三角形(2) ○ 荷物の入った箱 ○ 曾呂利新左衛門が豊臣秀吉からほうびをもらう様子 ○ 高層ビル ○ 直角三角形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 ○ 周の長さが20mのロープを使ってできた長方形の図 ○ 直角二等辺三角形を長方形に向かって移動させる図(5) 	7	<ul style="list-style-type: none"> ○ 投げたボールの軌跡 ○ パラボラアンテナ ○ ソーラークラッカー ○ 懐中電灯の反射面 ○ 振り子の軌跡 ○ 製薬会社研究員 ○ 実験の様子 	21	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、「シミュレーション」「外部のウェブサイトへのリンク」「PDFデータ」「資料」「動画」「インタビュー記事」のデジタルコンテンツを利用できる。

【数学】

<p>学 図</p>	<p>22</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スキージャンパーが斜面を滑り降りる様子 ○ 斜面をボールが転がり落ちる様子 ○ 1辺が x cmの立方体 ○ 半径が x cmで、面積が y cm²である円 ○ 正方形のタイルを積み重ねた図 ○ つり橋 ○ パラボラアンテナの断面 ○ 長方形と台形の重なりが変化している様子(3) ○ 短距離走のスタートの様子 ○ スタートした1人が、走っている1人に追いつく様子(3) ○ リレーのバトンパスの様子 ○ 底面が1辺 x cmで、高さが8 cmである正四角柱 ○ ゴンドラの位置を示している円 ○ 1枚の紙を半分に切り、その紙を重ねて半分に切っていく図 ○ 正三角形のタイルをピラミッド状に並べている様子 ○ 正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 ○ 風力発電の風車の図 ○ 自動車の停止距離の説明 	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 坂でボールを転がした様子 ○ 投げ上げたボールの軌跡 ○ 飛行機の先端 ○ 懸垂線 ○ パラボラアンテナ ○ 落下するボールの軌跡 ○ リレーのバトンパスの様子 ○ 観覧車(大阪府) ○ 観覧車(鹿児島県) ○ 数学者 岡潔 ○ 風力発電の風車 ○ 自動車 	<p>117</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、「アニメーション」「活動」「データ」「映像」「ふりかえり」「チャレンジ」「パトロール隊」「別の解き方」「解答」「リンク」のデジタルコンテンツを利用できる。
<p>教 出</p>	<p>16</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置(2) ○ 底面が1辺 x cmで、高さが9 cmである正四角錐 ○ パラボラアンテナの電波の反射の様子 ○ 斜面でボールを転がしたときの、x秒後のボールの位置 ○ 平面図形の中に潜む放物線(2) ○ 直角二等辺三角形と正方形の重なりが変化している様子(2) ○ 直角二等辺三角形と長方形の重なりが変化している様子 ○ 電車やバスが進む様子 ○ 自動車の停止距離の説明 ○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子 ○ 正方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 ○ 同じ大きさのタイルを階段状に並べていく様子(2) 	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 噴水 ○ パラボラアンテナ ○ ジェットコースター ○ スキーのジャンプ ○ 噴水 ○ パラボラアンテナ ○ 懐中電灯 ○ 札幌市中心部 ○ ガリレオ・ガリレイ ○ 信号機 	<p>84</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、「操作」「動画」「統計ツール」「資料」のデジタルコンテンツを利用できる。
<p>啓 林 館</p>	<p>13</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ジェットコースター ○ 斜面を転がるボールが x 秒後に y mの距離を転がった図 ○ 自動車の制動距離の説明図 ○ 自動車の制動距離について会話している様子(2) ○ 1往復するふりこの様子 ○ 合同な2つの直角二等辺三角形の重なりが変化している様子(2) ○ レンタサイクル店 ○ 底が階段状になっている直方体の水槽に水を流す様子 ○ 水そうを横からみた図 ○ 水そうを上から見た図 ○ 走っている列車と自動車 	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面で転がるボールの0.1秒ごとの位置 ○ 落下するボールの軌跡 ○ カーリングのハウス ○ 投げたボールの軌跡(2) ○ 走り幅跳びの選手の飛んだ軌跡 ○ 列車 ○ ふりこ時計 	<p>169</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、「動かす」「動画」「スライドショー」「リンク」「プログラミング」「問題解説」「補充問題」「例・例題の解説動画」「ふりかえりCBT」「前学年までのまとめ」のデジタルコンテンツを利用できる。

【数学】

<p>数 研</p>	<p>16</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 底面が1辺 x cmで、高さが5 cmである正四角柱 ○ 1辺が x cmの立方体 ○ 半径が x cmの円 ○ ボールを放り投げたときの様子 ○ パラボラアンテナの断面図 ○ 変化の割合について会話している様子 ○ 自動車がブレーキをかけている様子 ○ 自動車の制動距離の説明図 ○ ピサの斜塔 ○ 電車が自転車に追いつく様子 ○ 2枚の三角定規の重なりが変化している様子(2) ○ 半径 x cm、面積が 10 cm^2のおうぎ形の図 ○ 正 x 角形の図 ○ 長方形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 ○ 車のタイヤをスタッドレスタイヤに交換する様子 	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面で転がるボールの1秒ごとの位置(2) ○ パラボラアンテナ ○ 噴水 ○ 花火 ○ 宅配の様子 ○ 美ら海水族館 ○ 循環バス ○ 紙を半分に切る様子 ○ 車のタイヤ 	<p>107</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」のデジタルコンテンツを利用できる。
<p>日 文</p>	<p>14</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面でボールを転がしたときの、1秒ごとのボールの位置 ○ 坂道を下りている自転車 ○ 斜面でボールを転がしたときの様子について会話している様子 ○ 等しい辺の長さが x cmである直角二等辺三角形 ○ 1辺が x cmである立方体 ○ 半径が x cmである円 ○ パラボラアンテナの断面図 ○ ボールが落ちるときの、1秒ごとの位置 ○ 1往復するのに x 秒かかる長さ y mの振り子 ○ 自動車の停止距離の説明 ○ 電車が自動車に追いつく様子 ○ 紙をはさみで2等分に繰り返し切って重ねている様子 ○ 宅配便の箱 ○ 台形の辺上の2つの動点とそれを結んでできる直角三角形 	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 斜面にボールを放り投げた様子 ○ 門司港駅 ○ ボールがはずんでいくようす ○ パラボラアンテナ 	<p>117</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、「見る」「ためす」「身につける」「図形のまとめ」「調べる」「統計ツール」のデジタルコンテンツを利用できる。

理 科

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい科学
4	大 日 本	理科の世界
11	学 図	中学校 科学
17	教 出	自然の探究 中学理科
61	啓 林 館	未来へひろがるサイエンス

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫	既習事項の取扱い方及び補充的な問題の設定
		② 観察、実験の技能を習得させるための工夫	観察、実験の数、内容及び具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 単元の導入において、課題を設定するための工夫	単元の導入における取扱い内容、ページ数及び単元の第1章・実験における問いの設定までの流れ
		④ 観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫	観察、実験を計画する視点及び分析し解釈する視点の示し方と具体例
		⑤ 科学的な概念を使用して考えたり説明したりする活動の工夫	話し合いや説明の学習活動の示し方及び話し合い活動を促すセリフの具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥ 学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫	学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等の取扱い箇所及び具体例
		⑦ 科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫	探究の過程の示し方及び具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧ 単元の配列の工夫	単元の配列及び総ページ数
		⑨ 補充的な観察、実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫	ものづくりの数、補充的な観察、実験の数及び発展的な学習の取扱い数
(オ)	内容の表現・表記	⑩ 写真、資料及びデジタルコンテンツ等の取扱い	巻頭・巻末における写真、資料、デジタルコンテンツ等の内容及びページ数

【理科】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫
方法	既習事項の取扱い方及び補足的な問題の設定

	既習事項		補足的な学習			
	取扱い方	具体例（第3学年「力の合成・分解」における既習事項の取扱い）	学年	単元末問題のページ数	補足的な問題の設定	
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部に「これまでに学んだこと」という枠組を設けている。 ○ 関連する内容の近くに「これまでに学んだこと」「(教科名)で学んだこと」という枠組を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【これまでに学んだこと】 ○ 力のはたらき（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ・物体の形を変える。 ・物体の運動の状態を変える。 ・物体を支える。 ○ 力の表し方（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ・力には、大きさ、向き、作用点の3つの要素がある。この3つの要素は、力の矢印で表される。 ○ 力のつり合い <ul style="list-style-type: none"> ・静止している物体にはたらく2力は、一直線上にあり、大きさが等しく、力の向きが逆向きである。 【数学で学んだこと】 ○ 平行四辺形の性質（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ・2組の対辺がそれぞれ平行な四角形を平行四辺形という。 	中理1年	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中に、「学んだことをチェックしよう」「例題」「練習」を設定している。 ○ 単元末に、「確かめ問題」「活用問題」を設定している。 	
		中理1年	中理1年			12
		中理1年	中数2年	14		
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部に「これまでに学習したこと」という枠組を設けている。 ○ 関連する内容の横に「思い出そう」「つながる」という枠組を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【これまでに学習したこと】 ○ 物体に力が加わると、その物体が変形したり、動き出したり、運動のようすが変わったりする。（※図あり） ○ 力は大きさと向きによって表される。（※図あり） ○ 1つの物体に2つ以上の力が加わっていても物体が動かないとき、これらの力はつり合っているという。（※図あり） 【思い出そう】 ○ 力の大きさの単位は、ニュートン（記号N）である。 ○ 力には3つの要素があり、これらは1本の矢印で表せる。（※図あり） ○ ばねの伸びは、加えた力の大きさに比例する。（※図あり） ○ 1つの物体に2つの力が加わってつり合っているとき、2つの力には次の関係が成り立つ。 <ul style="list-style-type: none"> ・2つの力は、大きさが等しい。 ・2つの力は、一直線上にある。 ・2つの力は、向きが反対である。 【つながる】 ○ 平行四辺形 <ul style="list-style-type: none"> ・向かい合った2組の辺が平行な四角形を、平行四辺形という。平行四辺形の向かい合った辺の長さは等しい。 	中理1年	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中に、「例題」「演習」「章末問題」を設定している。 ○ 単元末に、「単元末問題」「読解力問題」を設定している。 ○ 第3学年の巻末に、「学習のまとめ」（1年、2年、3年）を設定している。 	
		中理1年	中理1年			12
		中理1年	中理1年			
		小算4年	17			
学図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の導入部に「ふり返ろう・つなげよう」という枠組を設けている。 ○ 関連する内容の近くに「つながり」という枠組を設けている。 ○ 第2学年、第3学年の関連する内容の近くに「ふりかえり」という枠組を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ふり返ろう・つなげよう】 ○ 力は、矢印の向き、矢印の長さ、作用点で表す。 ○ 物体に2力がはたらいてつり合うとき、2力は、一直線上にあり、向きが反対で、大きさが等しい。 ○ 物体に力がはたらくとき、その物体には、「変形する」、「運動のようすが変わる」、「支えられている」という現象がみられる。 ○ 力の大きさの単位をニュートン（記号N）という。また、100gの物体が受ける重力の大きさは約1Nである。 【つながり】 ○ 平行四辺形の性質（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ・向かい合う辺が平行である。 ・向かい合う辺の長さが等しい。 	中理1年	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元末に、「学習のまとめ」を設定している。 ○ 巻末に、「計算問題例題」を設定している。 ○ 第2学年、第3学年の巻末に、「読解力強化問題」を設定している。 	
		中理1年	中理1年			4
		中理1年	中数2年	4		

【理科】

	既習事項		補充的な学習				
	取扱い方	具体例（第3学年「力の合成・分解」における既習事項の取扱い）	学年	単元末問題のページ数	補充的な問題の設定		
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入部に「学んでいくこと」という枠組を設け、その中にこれまで学習した内容も示している。 ○ 各章の導入部に「これまでの学習」という枠組を設けている。 ○ 関連する内容の近くに「思い出そう」という枠組を設けている。 ○ 第2学年の関連する内容の近くに「ブリッジ国語」及び「ブリッジ算数」、第3学年の関連する内容の近くに「ブリッジ算数」という枠組を設けている。 	<p>【学んでいくこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ これまでの「力のはたらき[中1]」や「気象観測（気圧）[中2]」の学習を踏まえ、水中の物体にはたらく圧力について学習していきます。さらに、いくつかの力がはたらくときの力のつりあいや力の合成・分解についても学習していきます。 <p>【これまでの学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「力のはたらき[中1]」力は大きさや向きによって表されることや、力がつりあうときの条件について学習した。 <p>【ブリッジ算数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 和とはたし算をした値、差とはひき算をした値のことである。 	中理1年 中理2年	1	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中に、「例題」「練習」「演習しよう」「要点をチェック」を設定している。 ○ 単元末に、「基本問題」「活用問題」を設定している。 ○ 巻末に、「学年末総合問題」を設定している。 	
			中理1年				
			小算4年	2	12		
				3	14		
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章の導入部や関連する内容の近くに「つながる学び」という枠組を設けている。 ○ 各学年の関連する内容の近くに「算数・数学と関連」という枠組を設けている。 ○ 第1学年、第2学年の関連する内容の近くに「国語と関連」という枠組を設けている。 	<p>【つながる学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 力のはたらき <ul style="list-style-type: none"> ・力には下のようなはたらきがある。 力のはたらき <ul style="list-style-type: none"> ①物体を変形させる。 ②物体の動き（速さや向き）を変える。 ③物体を支える。 ・力には、重力、弾性力、磁力、電気力、摩擦力、垂直抗力などがある。 ○ 力の表し方 <ul style="list-style-type: none"> ・力の大きさはニュートン（記号N）という単位で表す。 ・質量100gの物体にはたらく重力の大きさが、約1Nである。 ・力は次のように表す。 力の表し方（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ・物体にはたらく力は、力の大きさ、力の向き、作用点（力の三要素）を、矢印を使って表す。 ○ 力のつり合い <ul style="list-style-type: none"> ・1つの物体に2つの力がはたらいていて、その物体が静止しているとき、物体にはたらく力はつり合っている。 2力がつり合う条件（※図あり） <ul style="list-style-type: none"> ①2力の大きさは等しい。 ②2力の向きは反対である。 ③2力は一直線上にある（作用線が一致する）。 	中理1年	1	12	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の中に、「例題」「練習」「レビューーふり返ろう」を設定している。 ○ 単元末に、「力だめし」を設定している。 ○ 巻末に、「学年末総合問題」を設定している。また、第3学年の巻末に、「中学校総合問題」を設定している。 	
			中理1年				
				2	12		
				3	14		

(注) 既習事項の具体例では、「力の合成・分解」に関連するもののみを挙げている。

【理科】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②観察、実験の技能を習得させるための工夫
方法	観察、実験の数、内容及び具体例

	学年	観察、 実験の 数	第1学年「身のまわりの物 質」における観察、実験の 内容	第1学年「蒸留」の実験における具体例	
				実験の手順及び補足事項	安全確保の状況
東 書	1	23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金属と非金属のちがい ○ 密度による金属の区別 ○ 白い粉末の区別 ○ 二酸化炭素と酸素の性質 ○ 水にとけた物質のとり出し ○ ロウの状態変化と体積・質量の 変化 ○ 混合物の分離 	① 混合物を熱して出てき た液体を集める ② 出てきた液体を調べる ③ 温度変化をグラフに表す 【補足事項】 ・温度計の球部は、枝の高 さにして、出てくる蒸気 (気体)の温度をはかる。 ・ガラス管の先が、たまっ た液の中に入らないよう にする。 ・温度計の読み方 最小目盛りの 1/10 まで 読みとる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護眼鏡を使用する。(マーク) ○ 換気をする。(マーク) ○ 薬品のあつかいに注意する。(マ ーク) ○ 火のあつかいや、やけどに注意 する。(マーク) ○ 試験管を入れかえるとき、ゴム 管やガラス管が熱くなっているた め、やけどに注意する。 ○ ガラス管が液の中に入っていな いことを確認してから火を消す。 ○ エタノールは燃えやすいので、 加熱中に出てきた液体に火を近づ けない。 ○ においを調べるときには、手で あおいでにおいをかぎ、長く、深く 吸いこまない。 ○ 液体にひたしたろ紙に火をつけ るときには、やけどに注意する。
	2	30			
	3	30			
大 日 本	1	27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白い粉末の区別 ○ 身のまわりの気体の性質 ○ 液体⇔固体の状態変化 ○ 蒸留 ○ 再結晶 	① 赤ワインを加熱し、液 体を集める。 ② 集めた液体の性質を調 べる。 【補足事項】 ・試験管をかえるときは、 ビーカーを横にすべらせ るとよい。	<ul style="list-style-type: none"> ○ やけどに注意する。 ○ 保護眼鏡をかける。 ○ 換気する。 ○ 液体が逆流しないよう、ゴム管 の先を試験管の中の液体から抜き とってから火を消す。
	2	35			
	3	27			
学 図	1	27	<ul style="list-style-type: none"> ○ 物質を加熱して分類する ○ 物質名をつきとめる ○ 溶質を取り出す ○ 気体の区別 ○ 状態変化と体積、質量 ○ 状態変化と粒子のモデル ○ 混合物を分ける 	① 混合物を加熱する ② 出てきた液体を集める ③ 出てきた液体を調べる 【補足事項】 ・温度計の先をガラス管の 先にそろえて、出てくる 気体の温度をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出てきた気体に火を近づけては いけない。エタノールは火がつき やすい。 ○ ゴム管が熱くなっているので、 軍手などで持つようにする。 ○ ガラス管の先が、たまった液体 の中に入らないようにする。 ○ ゴム管、ガラス管が熱くなっ ているため、試験管を入れかえる ときは注意する。 ○ 手であおぐようにしてにおいを かぐ。
	2	28			
	3	34			

【理科】

	学年	観察、 実験の 数	第1学年「身のまわりの物 質」における観察、実験の 内容	第1学年「蒸留」の実験における具体例	
				実験の手順及び補足事項	安全確保の状況
教 出	1	22	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白い物質の性質を調べる ○ 1円硬貨の密度を調べる ○ 酸素や二酸化炭素の性質を調べる ○ 水溶液から溶質を取り出す ○ 物質が状態変化するときの体積や質量の変化を調べる ○ 混合物を加熱して出てくる物質を調べる 	<p>① 混合物を加熱して、出てくる物質を集める</p> <p>② 集めた液体の性質を調べる</p> <p>【補足事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出てくる蒸気の温度を測定するため、温度計の液だめの部分を枝の高さに調節する。 ・ 1本集めるごとに温度を測定する。 ・ 試験管を入れ替えるときは、軍手をつけて行うとよい。 ・ においを調べる。 ・ 火を近づけたときの様子を調べる。 ・ 火を消す際には、蒸発皿の上からぬれ雑巾をかぶせるといいですよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 室内換気マーク ○ 廃液処理マーク ○ 保護眼鏡マーク ○ エタノールは燃えやすいので、加熱中に出てくる物質や試験管に集めた液体をガスバーナーに近づけないように注意する。 ○ ガラス管やゴム管は熱くなっているため、試験管を入れ替えるときには、やけどをしないように十分注意する。 ○ 加熱しているときや、加熱するのをやめるときには、試験管に集めた液体や、ビーカーの水中にガラス管の先が入らないように十分注意する。 ○ においを調べるときには、深く吸い込まないように注意する。 ○ 火が見えにくいので、やけどをしないように注意する。
	2	24			
	3	20			
啓 林 館	1	28	<ul style="list-style-type: none"> ○ 謎の物質Xの正体 ○ 密度による物質の区別 ○ 酸素と二酸化炭素の発生とその性質 ○ 身のまわりのものから発生する気体 ○ 水にとけた物質のとり出し ○ ろうが状態変化するときの体積、質量の変化 ○ エタノールが沸騰する温度 ○ 水とエタノールの混合物の分離 	<p>① 水とエタノールの混合物を加熱する</p> <p>② 出てきた液体の性質を調べる</p> <p>【補足事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温度計の液だめは、枝の高さにして、出てくる蒸気の温度をはかる。 ・ ガラス管の先が、たまっていた液体の中に入らないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保護眼鏡マーク ○ 要換気マーク ○ 廃液処理マーク ○ 火気注意マーク ○ やけど注意マーク ○ 必ず保護眼鏡をかけて実験を行う。 ○ エタノールは引火しやすいので、加熱中は出てきた液体に火を近づけない。 ○ ゴム管やガラス管は熱くなっているため、やけどに注意する。 ○ ガラス管が試験管の中の液体につかっていることを確認してから火を消す。 ○ 長く、深く吸い込まない。 ○ 火が見えにくいので、やけどに注意する。
	2	33			
	3	29			

(注) 各発行者において、次のように表記されているものを「観察、実験の数」として数えている。

- ・ 東書「観察」「実験」「実習」「調査例」
- ・ 大日本「観察」「実験」「観測」「実習」「探究活動」
- ・ 学図「探究」
- ・ 教出「観察」「実験」「実習」「観測」
- ・ 啓林館「観察」「実験」「実習」「観測」「調査」「探Qクラブ」

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③単元の導入において、課題を設定するための工夫
方法	単元の導入における取扱い内容、ページ数及び単元の第1章・実験における問いの設定までの流れ

第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例			
	単元の導入	単元の第1章・実験における 問いの提示までの流れ	
	取扱い内容		ページ 数
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ さまざまなイオンをふくむ温泉テルメ・ディ・サトゥルニア（イタリア）の写真を掲載。「清涼飲料水や世界各地の温泉、電池など、私たちの身のまわりには、イオンとよばれる物が多くふくまれている。このイオンとは、いったい何だろうか。ここでは、イオンとは何かをさぐり、イオンの利用について学んでいこう。」（二次元コードあり） ○ 「Before & After 学習前に書こう」として「イオンとは何だろうか。」と投げかけている（二次元コードあり）。また、単元の最後に「Before & After 学習後も書こう」として同様の発問がある。 ○ 「これまでに学んだこと」として、次の3点を示している（二次元コードあり）。 <ul style="list-style-type: none"> ・水の電気分解→中2 ・酸性、アルカリ性、中性→小6 ・電流の流れと電子の流れ→中2 ○ 「この単元で学ぶこと」として、次の3点を示している。 第1章 電流が流れる水溶液とイオンの関係を調べよう。 第2章 酸性やアルカリ性の水溶液の性質とイオンの関係を調べよう。 第3章 電池のしくみとイオンの関係を調べよう。 	3	<ul style="list-style-type: none"> ① 死海（イスラエルとヨルダンの国境付近）の写真を掲載。 ② 「Before & After 学習前に書こう」として「原子構造と電子の関係を、言葉や図、モデルなどを使って表そう。」と投げかけている（二次元コードあり）。また、章の最後に「Before & After 学習後も書こう」として同様の発問がある。 ③ 銅線の拡大図とともに「2年生で、導線の中の金属のようすを学んだね。」と示されている。 ④ 食塩の固体、精製水、食塩水への通電実験を漫画形式で掲載。 「ドライバーには感電しないようにぬれた手でさわらないよう注意書きがあったよ！」 「だとすると水には電流が流れるんじゃないかな！」 「見て！精製水に電圧をかけても電流は流れないね」 「水には電流が流れないのかな……？」 「じゃあ次の実験をしてみよう！」 「どうしてこんなちがいがあがるんだろう？」 「水に電流が流れるのには何か条件があるのかな？」 ⑤ ? 「水に電流が流れるのはどのようなときだろうか。」
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大浪池（鹿児島県霧島市）の写真を掲載。「水にはさまざまな物質が溶け、いろいろな化学変化が起こる。水溶液の性質と化学変化について学ぼう。」 ○ 「これまでに学習したこと」として、次の6点を示している。（写真あり） <ul style="list-style-type: none"> ・物質は原子や分子できている。（中学校2年） ・電流は電子の流れである。（中学校2年） ・電流から熱や光などがとり出せる。（中学校2年） ・水溶液には、酸性、アルカリ性および中性のものがある。（小学校6年） ・水溶液には、気体が溶けているものがある。（小学校6年） ・水溶液には、金属を変化させるものがある。（小学校6年） ○ 「これから学習すること」として、次の7点を示している。 1章 水溶液とイオン ・電流が流れる水溶液 ・原子とイオン 2章 化学変化と電池 ・イオンへのなりやすさ ・電池とイオン ・いろいろな電池 3章 酸・アルカリとイオン ・酸・アルカリ ・中和と塩 	4	<ul style="list-style-type: none"> ① スポーツドリンクの成分表の写真を掲載。「私たちの体や、スポーツドリンクなどには、イオンが含まれている。イオンとはどのようなものか学んでいこう。」 ② アルミニウムとプラスチックの写真を掲載。「電流は、導線や金属中を流れやすく、試験管などのガラスには流れない。固体に電流が流れるかどうかは、電子が動きやすいかどうかで決まる。」 ③ 「水や、エタノールや食塩を溶かした水溶液には電流が流れるだろうか。水溶液の場合、溶けているものによって、電流の流れ方にちがいはあるだろうか。」 ④ ? 「どのような水溶液に電流が流れるのだろうか。」

第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例			
	単元の導入		単元の第1章・実験における 問いの提示までの流れ
	取扱い内容	ページ 数	
学 図	<p>○ 「学びのあしあと」として、<課題>「酸性の水溶液と、アルカリ性の水溶液を混ぜ合わせると何が起きますか。図や文章で説明してみましょう。」と示している。また、単元の学習前にこの課題に対する自分の考え(①)やインターネットで調べた情報をもとに、再考した自分の考え(②)を残しておき、単元の学習後に自分の考えが①とどのように変化したか、どのようなことを理解できるようになったか、自分で体験した結果、②とどのようにちがっていたか書くように投げかけている。</p> <p>○ 「ふり返ろう・つなげよう」として、次の5点を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質は、それ以上分割できない原子や、いくつかの原子が結びついた分子からできている。(中学校2年) 回路を流れる電流の正体は、電源の一極から+極へ移動する電子の流れである。電流が流れる向きは、電子が移動する向きと逆である。(中学校2年) 水を電気分解したとき、陰極側には水素が発生し、陽極側には酸素が発生する。$2\text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{H}_2 + \text{O}_2$ (中学校2年) 水溶液は、リトマス紙の色の変わり方で、酸性、中性、アルカリ性の3つに分けることができる。(小学校6年) 酸性・・・青色リトマス紙が赤色に変わる。 中性・・・青色リトマス紙も赤色リトマス紙も色が変わらない。 アルカリ性・・・赤色リトマス紙が青色に変わる。 塩酸に鉄やアルミニウムなどの金属を入れると、金属は溶けて気体が発生する。(小学校6年) 「鉄に塩酸を加えると水素が発生しました。石灰水に二酸化炭素を通すと、石灰水が白くにごりました。今まで理科であたりまえのように見てきたこれらの現象も、化学変化の一例です。かつ、水に関わる化学変化です。これまでの化学変化の学習を思い出し、進めていきましょう。」 <p>○ 「Can-Do List できるようにになりたい目標」として、3観点で12項目を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> どのように学びに向かうか(4項目) どのような知識・技能を身につけるか(5項目) 理解していることをどのように使うか(3項目) 	1	<p>① 水質検査を行う団体の実験室、水溶液中のさまざまなイオンを調べる(神奈川県横浜市)の写真を掲載。</p> <p>② 原子の構造の学習において、「この時間の課題」として「原子はどのようなつくりになっているか。」を設定し、途中「ヘリウム原子の構造」の図及び説明を示し、まとめとして「原子は原子核と電子でできている。」と示している。</p> <p>③ 蒸留水、固体の塩化ナトリウム、塩化ナトリウム水溶液への通電実験の写真を掲載。「電源装置につないだ電極を蒸留水に入れても、電流は流れません。同じように、固体の塩化ナトリウムも電流が流れません。しかし、塩化ナトリウム水溶液には電流が流れます。これはどのようなしくみでしょうか?」</p> <p>④ ? 「電流が流れる水溶液には、何が関わっているか。原子や電子のモデルで説明する。」</p>
教 出	<p>○ オンネトー(北海道足寄町)の写真を掲載。「水溶液の性質は、イオンとよばれるものと深い関係があるが、イオンとはいったい何だろうか。これから、水溶液の電気的な性質や酸・アルカリの性質の学習を通して、イオンとは何か調べていこう。」</p> <p>○ 「学んでいくこと」として、関連のある既習内容を例示しながら、次の3点を示している。</p> <p>1章 水溶液とイオン 「これまでの「原子・分子<small>中2</small>」「静電気と電流<small>中2</small>」などの学習を踏まえ、水溶液の電気的な性質について学習していきます。」</p> <p>2章 酸・アルカリとイオン 「これまでの「酸性、アルカリ性、中性<small>小6</small>」「金属を変化させる水溶液<small>小6</small>」などの学習を踏まえ、酸とアルカリの性質、酸とアルカリの反応について学習していきます。」</p> <p>3章 電池とイオン 「これまでの「金属を変化させる水溶液<small>小6</small>」「電気とそのエネルギー<small>中2</small>」「静電気と電流<small>中2</small>」などと1章の学習を踏まえ、金属イオン、電池の仕組みについて学習していきます。また電池の種類についても学習していきます。」</p>	2	<p>① 海(沖縄県南城市)の写真を掲載。「海水は、地球上に存在する水のうち、97%ほどを占めている。この海水にはさまざまな物質がとけているが、その中には、イオンとよばれるものも含まれている。イオンとはいったいどのようなものだろうか。これから、イオンの正体について調べていこう。」</p> <p>② 「これまでの学習」として「原子・分子<small>中2</small>」「静電気と電流<small>中2</small>」を提示している(二次元コードあり)。</p> <p>③ 「学習前の私」として「イオンとは、どのようなものなのだろうか?」と投げかけている。また、章の最後に「学習後の私」として同様の発問がある。</p> <p>④ 蒸留水、塩化ナトリウム(固体)、塩化ナトリウム水溶液の通電実験の写真を掲載。「純粋な水(蒸留水)には電流が流れない。また、固体の塩化ナトリウム(食塩の結晶)にも電流が流れない。しかし、固体の塩化ナトリウムと蒸留水を合わせたもの、つまり塩化ナトリウム水溶液(食塩水)には電流が流れる。このような現象は、どのような物質でも水にとかせば見られるのだろうか。」</p> <p>⑤ 「どのような物質でも、水溶液にすると電流が流れるのだろうか。」</p>

第3学年「化学変化とイオン」の単元における具体例		
単元の導入		単元の第1章・実験における 問いの提示までの流れ
取り扱い内容	ページ 数	
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭用蓄電池としても使える電気自動車の写真を掲載。「電気自動車には、充電によってくり返し使えるリチウムイオン電池が入っている。この電池は、自動車を動かす目的以外に、災害時には、非常用電源としての役割も果たす。電池に充電するときや、電池から電気エネルギーがとり出されるとき、電池の中で起こる変化にはイオンが関係している。この単元では、化学変化とイオンについて探究していこう。」 ○ 「学びの見通し」として、次の3点を示している。 物質－1章 水溶液とイオン －2章 電池とイオン －3章 酸・アルカリと塩 ○ 「学ぶ前にトライ！」として「金属はどこにいったの？」と投げかけている。また、「学んだ後にリトライ！」として、学習後に再度答えることを促している（二次元コードあり）。※本単元の最後に「学んだ後にリトライ！」として同様の発問あり。 	2
		<ul style="list-style-type: none"> ① 蒸留水、塩化ナトリウム（固体）、塩化ナトリウム水溶液での通電実験の写真を掲載。「蒸留水や固体の塩化ナトリウムには電流が流れないが、塩化ナトリウム水溶液には電流が流れる。どのようなちがいがあのだろうか。」 ② 「つながる学び」として、次の4点を示している（二次元コードあり）。 1 金属は電気を通す。（中1） 2 水を電気分解すると水素と酸素に分解される。（中2） 3 原子とは、化学変化でそれ以上分けることができない、物質をつくる粒子である。（中2） 4 回路を流れる電流の正体は電子である。（中2） ③ 「蒸留水には電流が流れない。中学校2年で学んだ水の電気分解では、電流を流れやすくするために、蒸留水に水酸化ナトリウムを加えた。」 ④ ? 「どのような物質でも、水溶液にすると電流が流れるようになるのだろうか。」

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④観察、実験を計画する学習活動、結果を分析し解釈する学習活動の工夫
方法	観察、実験を計画する視点及び分析し解釈する視点の示し方と具体例

	観察、実験を計画する視点及び分析し解釈する視点の示し方	第2学年「唾液がデンプンを他の糖に変える働きを確かめる実験」における計画の視点の具体例	第2学年「電熱線に電流を流し、同じ量の水の温度を上昇させる実験」における考察の視点、表やグラフの例示の具体例																																																																																									
東書	<p>○ 「構想」等により観察、実験を計画する視点を、「結果の見方」「分析解釈」等により分析し解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ だ液のはたらきを調べるには、どのような実験をしたらよいか。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ だ液をふくむ・ふくまない以外の条件は同じにした対照実験を行い、比べることが必要である。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>○ それぞれの電熱線に電流を流した時間と水の上昇温度は、どのような関係であったか。</p> <p>○ 電熱線に加える電圧の大きさを変化させたとき、水の上昇温度と電熱線に流れる電流の大きさには、どのような関係があったか。ほかの班の結果も使って考えよう。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電熱線の種類</th> <th colspan="5">電熱線 (2 Ω)</th> <th colspan="5">電熱線 (4 Ω)</th> <th colspan="5">電熱線 (6 Ω)</th> </tr> <tr> <td>6 V加えたときに流れる電流[A]</td> <td colspan="5">3.0</td> <td colspan="5">1.5</td> <td colspan="5">1.0</td> </tr> <tr> <td>時間[分]</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>水温[℃]</td> <td>16.5</td><td>18.9</td><td>21.5</td><td>24.0</td><td>26.6</td><td>29.0</td> <td>14.6</td><td>15.9</td><td>17.2</td><td>18.4</td><td>19.6</td><td>20.7</td> <td>17.0</td><td>17.9</td><td>18.6</td><td>19.4</td><td>20.2</td><td>20.9</td> </tr> <tr> <td>上昇温度[℃]</td> <td>0</td><td>2.3</td><td>5.0</td><td>7.5</td><td>10.1</td><td>12.5</td> <td>0</td><td>1.2</td><td>2.6</td><td>3.8</td><td>5.0</td><td>6.1</td> <td>0</td><td>0.8</td><td>1.6</td><td>2.4</td><td>3.2</td><td>3.9</td> </tr> </thead></table> <p>【グラフの例示】</p> <p>①横軸：時間[分]、縦軸：上昇温度[℃] ②横軸：電力[W]、縦軸：上昇温度[℃] ③横軸：時間[分]、縦軸：エネルギー[J]</p>	電熱線の種類	電熱線 (2 Ω)					電熱線 (4 Ω)					電熱線 (6 Ω)					6 V加えたときに流れる電流[A]	3.0					1.5					1.0					時間[分]	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	水温[℃]	16.5	18.9	21.5	24.0	26.6	29.0	14.6	15.9	17.2	18.4	19.6	20.7	17.0	17.9	18.6	19.4	20.2	20.9	上昇温度[℃]	0	2.3	5.0	7.5	10.1	12.5	0	1.2	2.6	3.8	5.0	6.1	0	0.8	1.6	2.4	3.2	3.9
電熱線の種類	電熱線 (2 Ω)					電熱線 (4 Ω)					電熱線 (6 Ω)																																																																																	
6 V加えたときに流れる電流[A]	3.0					1.5					1.0																																																																																	
時間[分]	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5	0	1	2	3	4	5																																																																										
水温[℃]	16.5	18.9	21.5	24.0	26.6	29.0	14.6	15.9	17.2	18.4	19.6	20.7	17.0	17.9	18.6	19.4	20.2	20.9																																																																										
上昇温度[℃]	0	2.3	5.0	7.5	10.1	12.5	0	1.2	2.6	3.8	5.0	6.1	0	0.8	1.6	2.4	3.2	3.9																																																																										
大日本	<p>○ 「計画を立てよう」等により観察、実験を計画する視点を、「結果の整理」「結果から考えよう」等により分析し解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ デンプンに対するだ液のはたらきを調べる計画を立てよう。</p> <p>○ デンプンについて調べるための方法を知る。</p> <p>○ ヨウ素液とベネジクト液を使って、だ液がデンプンを変化させるのかを調べる実験を考える。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ どんな実験をすればよいか、左の表を参考に対照実験の考え方を踏まえて計画してみよう。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>○ 電流を流した時間と熱量には、どのような関係があると考えられるか。</p> <p>○ 電力の大きさと熱量には、どのような関係があると考えられるか。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間[分]</th> <th>0</th><th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水の温度[℃]</td> <td>13.8</td><td>14.0</td><td>14.3</td><td>14.7</td><td>15.0</td><td>15.3</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度[℃]</td> <td>0</td><td>0.2</td><td>0.5</td><td>0.9</td><td>1.2</td><td>1.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1班</th><th>2班</th><th>3班</th><th>4班</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電圧[V]</td> <td>3.0</td><td>4.0</td><td>5.0</td><td>6.0</td> </tr> <tr> <td>電流[A]</td> <td>0.72</td><td>1.00</td><td>1.23</td><td>1.49</td> </tr> <tr> <td>電力[W]</td> <td>2.2</td><td>4.0</td><td>6.2</td><td>8.9</td> </tr> <tr> <td>5分後の水の上昇温度[℃]</td> <td>1.5</td><td>2.4</td><td>3.6</td><td>5.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>【グラフの例示】</p> <p>①横軸：電流を流した時間[分]、縦軸：水の上昇温度[℃] ②横軸：電力[W]、縦軸：5分後の水の上昇温度[℃]</p>	時間[分]	0	1	2	3	4	5	水の温度[℃]	13.8	14.0	14.3	14.7	15.0	15.3	水の上昇温度[℃]	0	0.2	0.5	0.9	1.2	1.5		1班	2班	3班	4班	電圧[V]	3.0	4.0	5.0	6.0	電流[A]	0.72	1.00	1.23	1.49	電力[W]	2.2	4.0	6.2	8.9	5分後の水の上昇温度[℃]	1.5	2.4	3.6	5.6																																											
時間[分]	0	1	2	3	4	5																																																																																						
水の温度[℃]	13.8	14.0	14.3	14.7	15.0	15.3																																																																																						
水の上昇温度[℃]	0	0.2	0.5	0.9	1.2	1.5																																																																																						
	1班	2班	3班	4班																																																																																								
電圧[V]	3.0	4.0	5.0	6.0																																																																																								
電流[A]	0.72	1.00	1.23	1.49																																																																																								
電力[W]	2.2	4.0	6.2	8.9																																																																																								
5分後の水の上昇温度[℃]	1.5	2.4	3.6	5.6																																																																																								
学図	<p>○ 「計画」等により観察、実験を計画する視点を、「結果」「考察」等により分析し解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ デンプンがあるかないかは、ヨウ素液を使えばわかるよ。麦芽糖などができたことは、確かめなくていいのかな？</p> <p>○ 変える条件とそろえる条件を整理しよう。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ 単に水だけを加えてもデンプンが変化するという可能性が考えられる。これを否定するためには、アミラーゼをふくまない水（ただの水）を使う「対照実験」が必要だね。2つの実験で変える条件は、アミラーゼがあるかないか。それ以外の条件はそろえよう。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>※ 実験A（電力を一定にして水の温度を調べる）と実験B（時間を一定にして水の温度を調べる）を行う。</p> <p>○ A、Bの結果をそれぞれグラフにする。</p> <p>○ 実験Aを行った班のグラフと、実験Bを行った班のグラフをもとに、電力、時間、水の上昇温度の関係を求められるか。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電圧[V]</th> <th>6.0</th><th>電流[A]</th> <th>3.06</th><th>電力[W]</th> <th>18.36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>時間[分]</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td> </tr> <tr> <td>各時点の水の温度[℃]</td> <td>24.8</td><td>27.3</td><td>29.9</td><td>32.6</td><td>35.3</td><td>37.9</td> </tr> <tr> <td>水の上昇温度[℃]</td> <td>0</td><td>2.5</td><td>5.1</td><td>7.8</td><td>10.5</td><td>13.1</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>電力[W]</th> <th>4.65</th><th>9.27</th><th>18.36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最初の水の温度[℃]</td> <td>24.8</td><td>24.3</td><td>24.8</td> </tr> <tr> <td>5分間の上昇温度[℃]</td> <td>2.9</td><td>6.5</td><td>13.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>【グラフの例示】</p> <p>①横軸：時間[分]、縦軸：水の上昇温度[℃] ②横軸：電力[W]、縦軸：水の上昇温度[℃]</p>	電圧[V]	6.0	電流[A]	3.06	電力[W]	18.36	時間[分]	0	1	2	3	4	5	各時点の水の温度[℃]	24.8	27.3	29.9	32.6	35.3	37.9	水の上昇温度[℃]	0	2.5	5.1	7.8	10.5	13.1	電力[W]	4.65	9.27	18.36	最初の水の温度[℃]	24.8	24.3	24.8	5分間の上昇温度[℃]	2.9	6.5	13.1																																																		
電圧[V]	6.0	電流[A]	3.06	電力[W]	18.36																																																																																							
時間[分]	0	1	2	3	4	5																																																																																						
各時点の水の温度[℃]	24.8	27.3	29.9	32.6	35.3	37.9																																																																																						
水の上昇温度[℃]	0	2.5	5.1	7.8	10.5	13.1																																																																																						
電力[W]	4.65	9.27	18.36																																																																																									
最初の水の温度[℃]	24.8	24.3	24.8																																																																																									
5分間の上昇温度[℃]	2.9	6.5	13.1																																																																																									

	観察、実験を計画する視点及び分析し解釈する視点の示し方	第2学年「唾液がデンプンを他の糖に変える働きを確かめる実験」における計画の視点の具体例	第2学年「電熱線に電流を流し、同じ量の水の温度を上昇させる実験」における考察の視点、表やグラフの例示の具体例																																																															
教 出	<p>○ 「計画を立てる」等により観察、実験を計画する視点を、「結果」「考察する」等により分析し解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ デンプンは唾液のはたらきによって何に分解されるのか、仮説を確かめる方法を考えよう。</p> <p>○ ヨウ素液やベネジクト液の変化からわかることを整理して、実験の方法を考え、自分の仮説のとおりなら、どのような結果になるかを予測しよう。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ 本当に唾液のはたらきで変化しているかどうかを明確にするためには、光合成について調べたときのように対照実験が必要だと思ふ。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>○ 電流を流した時間と水の上昇温度との間には、どのような関係があるといえるか。</p> <p>○ 電力と水の上昇温度との間には、どのような関係があるといえるか。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1" data-bbox="852 488 1334 568"> <tr><td>時間[分]</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>水の温度[°C]</td><td>19.6</td><td>20.0</td><td>20.5</td><td>21.0</td><td>21.5</td><td>22.1</td></tr> <tr><td>水の上昇温度[°C]</td><td>0</td><td>0.4</td><td>0.9</td><td>1.4</td><td>1.9</td><td>2.5</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="852 584 1334 665"> <tr><td>時間[分]</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>水の温度[°C]</td><td>19.7</td><td>20.5</td><td>21.4</td><td>22.1</td><td>22.8</td><td>23.7</td></tr> <tr><td>水の上昇温度[°C]</td><td>0</td><td>0.8</td><td>1.7</td><td>2.4</td><td>3.1</td><td>4.0</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="852 680 1334 761"> <tr><td>時間[分]</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>水の温度[°C]</td><td>19.5</td><td>21.0</td><td>22.6</td><td>24.2</td><td>25.8</td><td>27.5</td></tr> <tr><td>水の上昇温度[°C]</td><td>0</td><td>1.5</td><td>3.1</td><td>4.7</td><td>6.3</td><td>8.0</td></tr> </table> <p>【グラフの例示】</p> <p>①横軸：時間[分]、縦軸：水の上昇温度[°C]</p> <p>②横軸：電力[W]、縦軸：水の上昇温度[°C]</p>	時間[分]	0	1	2	3	4	5	水の温度[°C]	19.6	20.0	20.5	21.0	21.5	22.1	水の上昇温度[°C]	0	0.4	0.9	1.4	1.9	2.5	時間[分]	0	1	2	3	4	5	水の温度[°C]	19.7	20.5	21.4	22.1	22.8	23.7	水の上昇温度[°C]	0	0.8	1.7	2.4	3.1	4.0	時間[分]	0	1	2	3	4	5	水の温度[°C]	19.5	21.0	22.6	24.2	25.8	27.5	水の上昇温度[°C]	0	1.5	3.1	4.7	6.3	8.0
時間[分]	0	1	2	3	4	5																																																												
水の温度[°C]	19.6	20.0	20.5	21.0	21.5	22.1																																																												
水の上昇温度[°C]	0	0.4	0.9	1.4	1.9	2.5																																																												
時間[分]	0	1	2	3	4	5																																																												
水の温度[°C]	19.7	20.5	21.4	22.1	22.8	23.7																																																												
水の上昇温度[°C]	0	0.8	1.7	2.4	3.1	4.0																																																												
時間[分]	0	1	2	3	4	5																																																												
水の温度[°C]	19.5	21.0	22.6	24.2	25.8	27.5																																																												
水の上昇温度[°C]	0	1.5	3.1	4.7	6.3	8.0																																																												
啓 林 館	<p>○ 「計画」等で観察、実験を計画する視点を、「結果」「考察」等により分析し解釈する視点を示している。</p>	<p>【計画の視点】</p> <p>○ 仮説を確かめるためには、どのような実験を行えばよいか。結果の予想もしてみよう。</p> <p>○ デンプンが別の物質に変化することを確認するには、どのような薬品を使えばよいか。</p> <p>【対照実験の視点】</p> <p>○ どのような条件を変えて比較するのか。そろえておく条件は何か。</p> <p>○ p. 21 のように、調べたい条件以外を同じにする対照実験を意識して、とり組む必要があるね。</p>	<p>【考察の視点】</p> <p>※ 実験A（電圧を変えて調べる）と実験B（電流を流す時間を変えて調べる）のどちらかを選んで行う。</p> <p>○ 電熱線の発熱量は何によって決まるといえるか。</p> <p>○ 電熱線の発熱量は、2とどのような関係にあるか。</p> <p>【表の例示】</p> <table border="1" data-bbox="852 1088 1278 1211"> <tr><td>電圧[V]</td><td>0</td><td>3.00</td><td>6.00</td><td>9.00</td></tr> <tr><td>電流[A]</td><td>0</td><td>0.48</td><td>0.97</td><td>1.45</td></tr> <tr><td>電力[W]</td><td>0</td><td>1.44</td><td>5.82</td><td>13.05</td></tr> <tr><td>水温[°C]</td><td>21.4</td><td>21.8</td><td>23.2</td><td>25.0</td></tr> <tr><td>温度上昇[°C]</td><td>0</td><td>0.4</td><td>1.8</td><td>3.6</td></tr> </table> <table border="1" data-bbox="852 1218 1437 1276"> <tr><td>時間[分]</td><td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>水温[°C]</td><td>21.4</td><td>22.0</td><td>22.7</td><td>23.3</td><td>23.9</td><td>24.5</td><td>25.0</td><td>25.7</td></tr> <tr><td>温度上昇[°C]</td><td>0</td><td>0.6</td><td>1.3</td><td>1.9</td><td>2.5</td><td>3.1</td><td>3.6</td><td>4.3</td></tr> </table> <p>【グラフの例示】</p> <p>①横軸：電力[W]、縦軸：温度上昇[°C]</p> <p>②横軸：時間[分]、縦軸：温度上昇[°C]</p>	電圧[V]	0	3.00	6.00	9.00	電流[A]	0	0.48	0.97	1.45	電力[W]	0	1.44	5.82	13.05	水温[°C]	21.4	21.8	23.2	25.0	温度上昇[°C]	0	0.4	1.8	3.6	時間[分]	0	1	2	3	4	5	6	7	水温[°C]	21.4	22.0	22.7	23.3	23.9	24.5	25.0	25.7	温度上昇[°C]	0	0.6	1.3	1.9	2.5	3.1	3.6	4.3											
電圧[V]	0	3.00	6.00	9.00																																																														
電流[A]	0	0.48	0.97	1.45																																																														
電力[W]	0	1.44	5.82	13.05																																																														
水温[°C]	21.4	21.8	23.2	25.0																																																														
温度上昇[°C]	0	0.4	1.8	3.6																																																														
時間[分]	0	1	2	3	4	5	6	7																																																										
水温[°C]	21.4	22.0	22.7	23.3	23.9	24.5	25.0	25.7																																																										
温度上昇[°C]	0	0.6	1.3	1.9	2.5	3.1	3.6	4.3																																																										

【理科】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤科学的な概念を使用して考えたり説明したりする活動の工夫
方法	話し合いや説明の学習活動の示し方及び話し合い活動を促すセリフの具体例

	話し合いや説明の学習活動の示し方	話し合い活動を促すセリフの具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭に、「議論のしかた」を設定し、4点のポイントを示している。 ○ 各学年の巻頭に、「発表のしかた」を設定し、5点のポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年「生命の連続性」単元におけるセリフの具体例 【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「A aの遺伝子をもつエンドウのモデルがいるね。」 「Aとaのカードで遺伝子を表現できるね。」
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年の巻末に、「探究の進め方」を設定し、「結果をもとに考えよう」において、「話し合いのしかた」として5点、「発表のしかた」として3点のポイントを示している。また、「調べたことをまとめ、発表しよう」において、3点のポイントを示している。 ○ 「話し合おう」として、話し合い活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年「生命のつながり」単元におけるセリフの具体例 【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「A aの子なのだから、みんなA aだよ。」 「AA、A a、a aが同じだけできると思う。」 「割りばしを「減数分裂」といって、割ったから、割りばしは…」 「その後、割った割りばしを同時にとり出したのは何を表していたのかな。」 「1班の結果で丸としわの比を表したとき、計算では、2.846…：1になっていたね。」 「ほぼ3：1としたんだよね。クラス全体の計算ではどうだったかな。」 「もし、3回だけで結果を出していたら、どういう結果になっていたかな。」
学 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻頭に、「理路整然 一智に働けば役に立つ—」を設定し、「どうする、探究の進め方」において、「9 伝える」を位置付け、伝える際のポイントを示している。 ○ 第1学年に、「理路整然 一智に働けば役に立つ—」を設定し、「どうする、伝える・伝わるコツ」において、発表のしかたや発表スライドのつくり方の例等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年「生命どうしのつながり」単元におけるセリフの具体例 【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「図15は丸粒の純系の遺伝のしかただよね。しわ粒の純系であれば、遺伝子の組み合わせは、a aだけが伝わっていくね。」 「AAの親と、a aの親からできる子はA aという遺伝子で、顕性の形質（丸粒）が現れるね。」 「孫はどうなるの？ A aではない組み合わせができそうだよ。何種類できるのかな。」 「原子カードをつくったときみたいに、遺伝子カードをつくってみたらどうかな？」 「そうか！最初に親の組み合わせを2組のカードで表して、分離の法則は、そのカードがバラバラになることで表せるね。」 「遺伝子の組み合わせや、現れる形質を比で表してみよう。」

【理科】

	話し合いや説明の学習活動の示し方	話し合い活動を促すセリフの具体例
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年に、「話し合おう」として話し合い活動を設定している。 ○ 第2学年に、「発表しよう」として、発表する活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年「生命の連続性」単元におけるセリフの具体例【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「図10の親の遺伝子の組み合わせがどちらもAaになったと考えればよいね。」 「AaとaAは同じ遺伝子の組み合わせです。Aが1つでもあれば、顕性形質、つまり丸となると考えましょう。」 「Aとaが区別できるように2種類のものを使うとよいと思う。」 「Aとaを1:1で取り出す方法を考える必要があるね。」
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年、第2学年の巻末に、「探究もフェアプレイで」を設定し、「探究の成果を誠実に発表しよう」において、発表の際のポイントを示している。 ○ 第1学年の巻末に、「理科における話し合い」を設定し、「話し合う」において、8点の話し合う際のポイントを示している。 ○ 第2学年の巻末に、「思考ツールの活用と理科における話し合い」を設定し、「話し合う」において、8点の話し合う際のポイントを示している。 ○ 第1学年、第2学年の巻末に、「探究の成果を発表してみよう」を設定し、2つの発表方法について説明し、「発表の進め方」及び「ポスターやスライド作成のポイント」を示している。 ○ 「発表してみよう」として、発表する活動を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年「生命の連続性」単元におけるセリフの具体例【遺伝の規則性についてモデルを使って考える場面】 「モデルを使った実験でメンデルが得たような結果に近づけるためには、どのような方法が考えられるかな。」 「メンデルは「丸」と「しわ」という種子の形などの対立形質に着目して実験を行ったんだね。」 「親の染色体が2本あるとすれば、モデルはいくつ必要かな。」 「子や孫の形質の割合も確かめたいな。」

【理科】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥学ぶことの意義や有用性の実感及び理科への関心を高めるための工夫
方法	学習内容と日常生活や社会、職業との関連を図った読み物等の取扱い箇所及び具体例

	取扱い箇所 (コラム)	具体例			
		第1分野「身の回りの物質」		第2分野「いろいろな生物とその共通点」	
		学習内容	関連した読み物等	学習内容	関連した読み物等
東 書	「まちなか科学」 「歴史にアクセス」 「なるほどね！」 「お仕事図鑑」 「防災特集」 「私たちのSDGs」 「社会につながる科学」	身のまわりの物質とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 金属はどこまでうすくなるか ○ 身のまわりの金属の利用 ○ 有機物から炭をつくる 	生物の観察と分類のしかた	<ul style="list-style-type: none"> ○ サイエンスアーティスト
		気体の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 混ぜるな危険！ ○ 注意が必要な気体 ○ 身のまわりの気体 	植物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身のまわりの多様な植物
		物質の姿と状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蒸発と沸騰・石油の分留 ○ 蒸留の歴史 ○ アロマオイルのつくり方 	動物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動物解説員のアドバイス ○ 分類学の確立
		単元末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「なんでだろう？」が自然科学の原点 	単元末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学びを生活や社会に広げよう ○ 目の解像度を上げて観察してみよう
大 日 本	「Science Press」 「くらしの中の理科」 「Professional」 「科学のあしあと」	いろいろな物質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身のまわりの金や銀の活用 ○ にせの王冠を見抜いたアルキメデス 	身近な生物の観察	<ul style="list-style-type: none"> ○ よび名が変わる魚
		気体の発生と性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ アルゴン ○ 酸素の発見 ○ 希ガスから貴ガスへ ○ とり扱いに注意が必要な身のまわりの気体 	植物のなかま	<ul style="list-style-type: none"> ○ 種子の運ばれ方 ○ 石炭をつくった植物 ○ 種子と胞子のちがひ
		物質の状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 凍った湖の中で生物が生活できる理由 ○ ドライアイスの状態変化 ○ 蒸発と沸騰 ○ 温度を表す2つの単位 ○ 鋳物 ○ 石油の精製 	動物のなかま	<ul style="list-style-type: none"> ○ 体温を保つ ○ 体を再生する ○ 水族館ではたらく
		水溶液	<ul style="list-style-type: none"> ○ 拡散 ○ 生活排水をきれいにする ○ 溶解のしくみ ○ 化学薬品と濃度 	単元末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 牧野富太郎 ○ 万葉集から見る植物
		単元末	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリンピックの金メダル ○ 火山ガスの正体 		

【理科】

	取扱い箇所 (コラム)	具体例			
		第1分野「身の回りの物質」		第2分野「いろいろな生物とその共通点」	
		学習内容	関連した読み物等	学習内容	関連した読み物等
学 図	「理路整然」 「SDGsを 意識して脱炭 素社会へ」 「補充資料」	物質の分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうする、物質の性質の考え方 ○ どうする、結果と考察 ○ どうする、水の確認 ○ どうする、本当の値かはわからない ○ どうする、式と値 	身近な生物の観察	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうする、レポート ○ どうする、文章を書く ○ どうする、文章を読み取る ○ どうする、写真とスケッチ ○ どうする、伝える・伝わるコツ ○ どうする、適切な観点 ○ どうする、整理して表現する
		粒子のモデルと物質の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうする、濃度と薬品 ○ どうする、測定値にも誤差 ○ どうする、溶液を冷やして現れる溶質の質量 ○ どうする、気体の性質と集め方 ○ どうする、二酸化炭素は同じもの 		
		粒子のモデルと状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうする、融点・沸点が一定でない 		
		単元末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二酸化炭素はワルモノか ○ SDGsと脱炭素社会 		
		補充資料	<ul style="list-style-type: none"> ○ 密度で犯人を探せ ○ 混ぜるな危険 ○ 環境問題で聞く「ppm」 ○ 石油を蒸留する 		
教 出	「ハローサイ エンス」 「広がる科学 の世界」	さまざまな物質とその見分け方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 測定した値と真の値とのずれ 	生物の観察と分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水中の小さな生物 ○ 分類の示し方の工夫
		気体の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 注意が必要な身のまわりの気体 	植物の体の共通点と相違点	<ul style="list-style-type: none"> ○ いろいろな花 ○ 花粉の運ばれ方 ○ 種子の散布 ○ 分類学の父リンネ ○ 牧野富太郎とその業績
		水溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 牛乳は水溶液か？ ○ 海水から塩を取り出す 	動物の体の共通点と相違点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 草食動物と肉食動物の体のつくりのちがいがい ○ さまざまな無脊椎動物
		物質の状態変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 打ち水 ○ 石油の分留 	単元末	○ どのような生物か？
		単元末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水と油は混ぜ合わせる事ができる？ 		
啓 林 館	「部活ラボ」 「お料理ラボ」 「お仕事ラボ」 「防災減災ラ ボ」 「深めるラボ」 「ひろがる世 界」	いろいろな気体とその性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 火災を未然に防ぐ「ガス警報器」 	植物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ 海藻は何のなかま？ ○ 分類学の父 リンネ
		水溶液の性質	<ul style="list-style-type: none"> ○ 塩分のとりすぎにご注意を ○ 岩塩って、どんなもの？ 	動物の特徴と分類	<ul style="list-style-type: none"> ○ サンゴは動物？植物？ ○ イルカの泳ぎ方
		物質のすがたとその変化	<ul style="list-style-type: none"> ○ 蒸発と沸騰 ○ こおらせたスポーツ飲料 ○ 石油からガソリンや灯油をとり出すには 		
		単元末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軽くて、割れにくく、簡単に変形できるガラス 	単元末	<ul style="list-style-type: none"> ○ 琉球列島の世界自然遺産

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦科学的に探究しようとする態度の育成を図る工夫
方法	探究の過程の示し方及び具体例

	探究の過程の示し方	第2学年 第1分野 「電圧と電流の関係」における具体例
東 書	<p>○ 各学年の巻頭に「探究」の流れを確認しよう」として探究の過程を示している。</p> <p>① 「問題発見」 レッツ スタート！」</p> <p>② 「？」課題</p> <p>③ 「仮説」「？」に対する自分の考えは？」</p> <p>④ 「構想」調べ方を考えよう</p> <p>⑤ 「観察」「実験」</p> <p>⑥ 「結果の見方/考察のポイント」「分析解釈」考察しよう」「検討改善」解決方法を考えよう</p> <p>⑦ 「！」「？」に対する自分の考えをまとめよう</p> <p>⑧ 「ふり返り」探究をふり返ろう」「活用」学びをいかして考えよう</p>	<p>1 手回し発電機を回す速さと電熱線に加わる電圧と電熱線を通る電流の大きさの関係</p> <p>2 「？」…「抵抗器に加える電圧とそのときに流れる電流の大きさには、どのような関係があるのだろうか。」</p> <p>3 「構想」…実験計画の視点</p> <p>4 「実験」…「抵抗器に加える電圧を変化させたとき、抵抗器に流れる電流の大きさを測定し、電圧と電流の関係を調べる。」</p> <p>①回路をつくる</p> <p>②電圧を加えて電流を調べる</p> <p>③グラフをかく</p> <p>5 「結果の見方」…結果の整理の視点</p> <p>6 「考察のポイント」…考察の視点</p>
大 日 本	<p>○ 各学年の巻頭に「理科の学習の進め方」として探究の学習の過程を示している。</p> <p>1 「課題をつかもう」</p> <p>① 「問題の発見」</p> <p>② 「学習の課題」</p> <p>2 「観察や実験をしよう」</p> <p>③ 「予想、計画」</p> <p>④ 「観察・実験」</p> <p>⑤ 「結果」</p> <p>3 「結果をもとに考えよう」</p> <p>⑥ 「考察」</p> <p>⑦ 「解説など」</p>	<p>1 豆電球の種類と豆電球の明るさの関係</p> <p>2 「？」…「回路の電流と電圧の大きさには、どのような関係があるのだろうか。」</p> <p>3 「実験」…「電熱線に加える電圧を変えたときの電流の大きさを調べる。」</p> <p>①回路を組み立てる。</p> <p>②電熱線aを通る電流の大きさをはかる。</p> <p>③電熱線bを通る電流の大きさをはかる。</p> <p>4 「結果の整理」…結果の整理の視点</p> <p>5 「結果から考えよう」…考察の視点</p>
学 図	<p>○ 各学年の巻頭に「どうする、探究の進め方」として探究の過程を示している。</p> <p>① 「気づき」</p> <p>② 「課題設定」</p> <p>③ 「仮説」</p> <p>④ 「検証計画」</p> <p>⑤ 「観察・実験」</p> <p>⑥ 「結果」</p> <p>⑦ 「考察」</p> <p>⑧ 「ふり返り」</p> <p>⑨ 「伝える」</p> <p>⑩ 「次の気づき」</p>	<p>1 豆電球の種類と豆電球の明るさの関係</p> <p>2 「気づき」…「実際に回路の各部分に通る電流、電圧は「電流を流そうとするはたらき」、抵抗は「電流の流れにくさ」、この3つに関係があるのかな？」「豆電球の中には金属の線（フィラメント）が入っています。このフィラメントに抵抗があるのですね。」</p> <p>3 「課題」…「抵抗器にかかる電圧の大きさと、流れる電流の大きさには、どのような関係があるか。それを調べるために、どのような実験を行えばよいか。」</p> <p>4 「仮説」…「電流の流れにくさ」ということは、電圧と逆のはたらきなのかな。「電圧を大きくすると、豆電球は明るく光る。つまり電流も大きくなるのではないかな。」「電流と電圧の関係に、抵抗の大きさがどのように影響するのだろうか。」</p> <p>5 「計画」…実験計画の視点</p> <p>6 「方法」</p> <p>①回路をつくる</p> <p>②電圧と電流の大きさをはかる</p> <p>③抵抗器を取りかえる</p> <p>7 「結果」…結果の整理の視点</p> <p>8 「考察」…考察の視点</p>

【理科】

	探究の過程の示し方	第2学年 第1分野 「電圧と電流の関係」における具体例
教 出	<p>○ 各学年の巻頭に「探究の進め方」として探究の過程を示している。</p> <p>①「疑問を見つける」 ②「課題を決める」 ③「仮説を立てる」 ④「計画を立てる」 ⑤「観察する」「実験する」 ⑥「考察する」 ⑦「結論を示す」 ⑧「さらに、新たな疑問を見つける。」</p>	<p>1 「疑問を見つける」…乾電池の数と電流の大きさと豆電球の明るさの関係</p> <p>2 「課題を決める」…「抵抗の両端に加わる電圧と電流の間にはどのような関係があるのだろうか。」</p> <p>3 「仮説を立てる」…「抵抗の両端に加わる電圧と電流にはどのような関係があるか、これまでに調べてきたことをもとに仮説を立てよう。」</p> <p>4 「計画を立てる」…実験計画の視点</p> <p>5 「実験する」…「電熱線に加わる電圧と流れる電流の大きさとの関係を調べる」 ①電熱線aについて調べる ②電熱線bについて調べる ③実験結果を表にまとめる ④実験結果をグラフに表す</p> <p>6 「考察する」…考察の視点</p> <p>7 「結論を示す」…「抵抗に流れる電流の大きさは、抵抗に加わる電圧に比例する。」</p>
啓 林 館	<p>○ 各学年の巻頭に「理科の学習を進める「探究の過程」」として探究の過程を示している。</p> <p>①「疑問」 ②「課題」 ③「仮説」 ④「計画」 ⑤「観察・実験」 ⑥「結果」 ⑦「考察」 ⑧「表現」</p>	<p>1 乾電池の数と豆電球の明るさの関係</p> <p>2 「？」…「電圧の大きさと電流の大きさには、どのような関係があるのだろうか。」</p> <p>3 「考えてみよう」…「電圧を2倍、3倍、…とだんだん大きくすると、流れる電流はどのようになるだろうか。予想してみよう。」</p> <p>4 「実験」…「抵抗器に加える電圧を変化させたときに流れる電流を測定し、電圧と電流の間の規則性を調べる。」 ①回路をつくる ②抵抗器アについて調べる ③抵抗器イについて調べる</p> <p>5 「結果」…結果の整理の視点</p> <p>6 「考察」…考察の視点</p> <p>7 「探究のふり返し」…振り返りの視点</p>

【理科】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量	
	視点	⑧単元の配列の工夫
	方法	単元の配列及び総ページ数

	学年	1		2		3	
東書	単元の配列	1 いろいろな生物とその共通点 2 身のまわりの物質 3 身のまわりの現象 4 大地の変化	2分野 1分野 1分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 生物のからだのつくりとはたらき 3 天気とその変化 4 電気の世界	1分野 2分野 2分野 1分野	1 化学変化とイオン 2 生命の連続性 3 運動とエネルギー 4 地球と宇宙 5 地球と私たちの未来のために	1分野 2分野 1分野 2分野 1・2分野
	総ページ数	262		310+付録		326	
大日本	単元の配列	1 生物の世界 2 物質のすがた 3 身近な物理現象 4 大地の変化	2分野 1分野 1分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 生物の体のつくりとはたらき 3 電流とその利用 4 気象のしくみと天気の変化	1分野 2分野 1分野 2分野	1 運動とエネルギー 2 生命のつながり 3 自然界のつながり 4 化学変化とイオン 5 地球と宇宙 6 地球の明るい未来のために	1分野 2分野 2分野 1分野 2分野 1・2分野
	総ページ数	294		318		374	
学図	単元の配列	1 動植物の分類 2 身のまわりの物質 3 身のまわりの現象 4 大地の活動	2分野 1分野 1分野 2分野	1 化学変化と原子・分子 2 動植物の生きるしくみ 3 電流とそのはたらき 4 天気とその変化	1分野 2分野 1分野 2分野	1 運動とエネルギー 2 生物どうしのつながり 3 化学変化とイオン 4 地球と宇宙 5 自然・科学技術と人間	1分野 2分野 1分野 2分野 1・2分野
	総ページ数	262		302		302	
教出	単元の配列	1 いろいろな生物とその共通点 2 身のまわりの物質 3 大地の成り立ちと変化 4 光・音・力	2分野 1分野 2分野 1分野	1 化学変化と原子・分子 2 生物の体のつくりとはたらき 3 気象とその変化 4 電気の世界	1分野 2分野 2分野 1分野	1 化学変化とイオン 2 生命の連続性 3 地球と宇宙 4 運動とエネルギー 5 自然環境や科学技術と私たちの未来	1分野 2分野 2分野 1分野 1・2分野
	総ページ数	291		315		347	
啓林館	単元の配列	1 いろいろな生物とその共通点 2 活きている地球 3 身のまわりの物質 4 光・音・力による現象	2分野 2分野 1分野 1分野	1 生物の体のつくりとはたらき 2 地球の気象と天気の変化 3 化学変化と原子・分子 4 電流とその利用	2分野 2分野 1分野 1分野	1 生命の連続性 2 宇宙を観る 3 化学変化とイオン 4 運動とエネルギー 5 自然と人間	2分野 2分野 1分野 1分野 1・2分野
	総ページ数	284+付録		308+付録		340+付録	

(注) 「第1分野」を「1分野」、「第2分野」を「2分野」として表記している。

(注) 総ページ数については、表表紙の裏を1ページ目とする。裏表紙の裏を最後のページとする。付録は数えない。

【理科】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨ 補充的な観察、実験及び発展的な学習等に関する内容の工夫
方法	ものづくりの数、補充的な観察、実験の数及び発展的な学習の取扱い数

	学年	ものづくりの数	補充的な観察・実験の数					計	発展的な学習の取扱い数																																	
			エネルギー	粒子	生命	地球																																				
東書	1	5	6	8	9	5	28	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>エネルギー</th> <th>粒子</th> <th>生命</th> <th>地球</th> <th>総合</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>1</td> <td></td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>1</td> <td></td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>								エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	1年	3	1	3	1		8	2年	6	7	7	1		21	3年	4	8	10	7	1	30
		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計																																			
	1年	3	1	3	1		8																																			
2年	6	7	7	1		21																																				
3年	4	8	10	7	1	30																																				
2	4	7	8	17	8	40	<p>※ 巻末に掲載の第1学年「水温の変化と魚の活動を調べてみよう」は「生命」として数えた。</p>																																			
3	3	8	9	7	5	29																																				
大日本	1	6	10	10	6	7	33	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>エネルギー</th> <th>粒子</th> <th>生命</th> <th>地球</th> <th>総合</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>5</td> <td></td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>5</td> <td>13</td> <td>8</td> <td>2</td> <td></td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>								エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	1年	7	5	2	5		19	2年	5	13	8	2		28	3年	6	10	6	10	7	39
		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計																																			
	1年	7	5	2	5		19																																			
2年	5	13	8	2		28																																				
3年	6	10	6	10	7	39																																				
2	7	10	10	14	9	43	<p>※ 第3学年の単元2の「自然界のつながり」は、「総合」として数えた。</p>																																			
3	3	10	4	11	9	34																																				
学図	1	2	1	6	1	1	9	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>エネルギー</th> <th>粒子</th> <th>生命</th> <th>地球</th> <th>総合</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>1</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table>								エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	1年	1	1	5	6	1	14	2年	6	5	3	3	1	18	3年	4	8	7	6	2	27
		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計																																			
	1年	1	1	5	6	1	14																																			
2年	6	5	3	3	1	18																																				
3年	4	8	7	6	2	27																																				
2	2	3	3	13	5	24	<p>※ 第3学年の単元3の第3章「生態系」は、「総合」として数えた。</p>																																			
3	0	5	2	3	3	13																																				
教出	1	3	14	7	10	4	35	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>エネルギー</th> <th>粒子</th> <th>生命</th> <th>地球</th> <th>総合</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>4</td> <td></td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>30</td> </tr> </tbody> </table>								エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	1年	2	4	6	4		16	2年	8	9	4	2		23	3年	4	9	8	8	1	30
		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計																																			
	1年	2	4	6	4		16																																			
2年	8	9	4	2		23																																				
3年	4	9	8	8	1	30																																				
2	5	16	6	11	9	42																																				
3	2	10	7	4	10	31																																				
啓林館	1	3	11	14	9	9	43	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>エネルギー</th> <th>粒子</th> <th>生命</th> <th>地球</th> <th>総合</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td></td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> <td></td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>3年</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>								エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計	1年	2	4	4	4		14	2年	4	5	5	6		20	3年	2	8	6	4	3	23
		エネルギー	粒子	生命	地球	総合	合計																																			
	1年	2	4	4	4		14																																			
2年	4	5	5	6		20																																				
3年	2	8	6	4	3	23																																				
2	5	12	12	14	10	48	<p>※ 第3学年「DNAをとり出してみよう」は「生命」として数えた。</p>																																			
3	3	10	10	6	7	33																																				

(注) 「補充的な観察・実験の数」は、視点②以外で、トピックや図で扱われている観察・実験の数を数えている。

(注) 発展的な学習の取扱い数は、各教科書が「発展」マークで示したもののみを数えている。

【理科】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩写真、資料及びデジタルコンテンツ等の取扱い
方法	巻頭・巻末における写真、資料、デジタルコンテンツ等の内容及びページ数

	巻頭の内容 (第1学年)	ページ数	巻末の内容 (第3学年)	ページ数
東書	○ 「あなたの「？」は、どんな「？」ですか。」(写真あり)	2	○ 「学びを広げよう 自由研究」	2
	○ 「「探究」の流れを確認しよう」	2	○ 「理科室の決まり」	1
	○ 「教科書の使い方をおさえよう」	2	○ 「主な薬品の性質ととりあつかいの注意」	1
	○ 「考察はここをおさえよう」	1	○ 「基礎操作」	2
	○ 「科学の本だな」	1	○ 「?に対する自分の考えをまとめよう」の例	2
	○ 「目次」「コンピュータを学習にいかそう」	2	○ 「さくいん」	1
	○ 「理科室の決まり」	2	○ 「発展的な学習内容の一覧」「確かめ問題・活用問題の解答」	3
	○ 二次元コードは、「コンピュータを学習にいかそう」で示している。	2	○ 「理科の学習を深めるために」	2
			1 校外施設を利用しよう	
			2 デジタルコンテンツを活用しよう	
			○ 二次元コードは、「基礎操作」「理科の学習を深めるために」で示している。	
	ページ数合計 (■二次元コード数)	12 (1)	ページ数合計 (■二次元コード数)	14 (3)
大日本	○ 「動物の命を守る。」(写真あり)	2	○ 「自由研究にチャレンジしよう！」	2
	○ 「目次」「継続観察 生物の観察を続けてみよう」	2	○ 「行ってみよう！科学館・博物館」	2
	○ 「理科の学習の進め方」	2	○ 「学習のまとめ」(1年、2年、3年)	14
	○ 「理科室のきまり」	2	○ 「理科室のきまり」	2
	○ 二次元コードは、「目次」で示している。	2	○ 「基本操作」	4
			○ 「つながる理科の学習と算数・数学」	2
			○ 「周期表」	2
			○ 「ノーベル賞」	1
			○ 「章末問題・単元末問題解答」	3
			○ 「学習のまとめ解答」	3
			○ 「さくいん」	2
			○ 「科学のあゆみ」	2
			○ 二次元コードは、「自由研究にチャレンジしよう」「行ってみよう！科学館・博物館」「基本操作」で示している。	
	ページ数合計 (■二次元コード数)	8 (1)	ページ数合計 (■二次元コード数)	39 (9)
学図	○ 「サクラと妙高山(新潟県上越市)の写真」	2	○ 「理路整然—智に働けば役に立つ—どうする、情報の公開」	1
	○ 「もくじ」	1	○ 「SDGsを意識して脱炭素社会へ 各地からのレポート(海)」	2
	○ 「教科書の使い方」	1	○ 「基本操作」	2
	○ 「なぜ理科を学ぶの？」	2	○ 「資料」「発展」	28
	○ 「理路整然—智に働けば役に立つ—どうする、探究の進め方」	2	○ 「計算問題(例題)」	3
	○ 「理路整然—智に働けば役に立つ—どうする、レポート」	1	○ 「読解力強化問題」	2
			○ 「思考をさらに深める」	17
			○ 「単元末問題の解答」	1
			○ 「読解力強化問題 解答・解説」	1
			○ 「さくいん」	2
			○ 「工場で動滑車を操作する。(大阪府大阪市)の写真、リンゴの生産のため、花を人工的に受粉させる。(青森県弘前市)の写真」	2
			○ 「きみはどこから来たの？1年生の最初に現れたよね。」	1
			「私たちは、みんなの科学に対するモヤモヤした気持ちが形になった「モヤ」。でも、みんなと科学について学んできて、みんなの疑問が解決したことがわかったよ。だから、私達もさようなら。みんながもっていた疑問は、まだ科学的な見方・考え方になじんでいない人たちの疑問でもある。今度はそれを解決してあげてね。」(写真あり)	
			○ 二次元コードは、「SDGsを意識して脱炭素社会へ」「基本操作」「資料」「発展」で示している。	
	ページ数合計 (■二次元コード数)	9 (0)	ページ数合計 (■二次元コード数)	62 (32)

【理科】

	巻頭の内容 (第1学年)	ページ数	巻末の内容 (第3学年)	ページ数
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「もくじ」「この教科書で使われているマーク」「探究とは」「北海道美瑛町」の写真 ○ 「自然の探究～なぜ理科を学ぶのか～」 「科学の扉」「SDGs」 ○ 「探究の進め方 さあ、探究を始めよう！」 ○ 「基礎技能 レポートの書き方」 ○ 「基礎技能 理科室のきまりと応急処置」 ○ 二次元コードは、「この教科書で使われているマーク」「科学の扉」「SDGs」「レポートの書き方」で示している。 	<p>2</p> <p>2.5</p> <p>3.5</p> <p>1</p> <p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学年末総合問題」 ○ 「校外の施設を活用しよう」 ○ 「自由研究」 ○ 「基礎技能」 ○ 「ノーベル賞を受賞した日本人科学者」 ○ 「教科書に記載されている主な物質・試薬の一覧」 ○ 「理科で使う算数・数学」 ○ 「元素の周期表」 ○ 「問題の解答例」 ○ 「さくいん」 ○ 「基礎技能の一覧」「ハローサイエンス」 ○ 「探究の歴史」 ○ 二次元コードは、「校外の施設を活用しよう」「基礎技能」「問題の解答例」で示している。 	<p>4</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>8</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>2</p>
	ページ数合計 (■二次元コード数)	11 (4)	ページ数合計 (■二次元コード数)	29 (19)
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「探究のとびらを開いてみよう」「さしこむ光(千葉県君津市)」の写真 ○ 「探究をはじめよう」「塩の湖サリーナス・グランデス(アルゼンチン)」の写真、「探究とは」 ○ 「この教科書の使い方」 ○ 「ICTの活用」 ○ 「もくじ」 ○ 二次元コードは、「ICTの活用」「もくじ」で示している。 	<p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p> <p>2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学年末総合問題」 ○ 「中学校総合問題」 ○ 「サイエンス資料」 ○ 「解答と解説」 ○ 「さくいん」 ○ 「探究の流れと探究のふり返し」 ○ 「探Qシートの使い方」 ○ 「探Qシート」 ○ 「SDGs 目標達成への取り組み」 ○ 二次元コードは、「サイエンス資料」「解答と解説」で示している。 	<p>2</p> <p>2</p> <p>10</p> <p>3</p> <p>2</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>16</p> <p>2</p>
	ページ数合計 (■二次元コード数)	10 (2)	ページ数合計 (■二次元コード数)	39 (8)

音 楽（一 般）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

	発行者の番号及び略称	教科書名
17	教 出	中学音楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	中学生の音楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

	観 点		視 点	方 法
(ア)	知識及び技能の習得	①	表現領域の知識及び技能の習得を図るための工夫	歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例
		②	鑑賞領域の知識の習得を図るための工夫	鑑賞領域における知識に関する記載
		③	題材の学習目標等の示し方	学習目標等の表記の仕方の具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	④	音楽表現を創意工夫させるための工夫	創作分野における音楽表現を創意工夫する学習の具体例
		⑤	音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	鑑賞領域における音楽を形づくっている要素の示し方及び学習内容の記載
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑥	興味・関心を高めるための工夫	資料や巻頭の内容
		⑦	生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫	音楽文化に関する学習についての記載
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑧	我が国の音楽に関する内容の扱い	学年ごとに扱う鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）
		⑨	教材の配列及び分量	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数
(オ)	内容の表現・表記	⑩	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体例
		⑪	特別支援教育へ配慮した構成及びデザインの工夫	ユニバーサルデザインに配慮した示し方

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①表現領域の知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例

	学年	歌唱分野における知識及び技能に関する記載及び具体例
教 出	第1学年	<p>「Sing! Sing!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌うための準備 <ul style="list-style-type: none"> ・歌うための姿勢 ・息のコントロール ・母音の発音 ○ 言葉の発音について <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の言葉表現する際には、子音や母音の発音の仕方を意識しましょう。「ガ行」の音は「鼻濁音」で発音する場合があります。 ○ 変声と混声合唱 <ul style="list-style-type: none"> ・変声（声変わり） ・混声合唱のパートについて ・声部の役割
	第2・3学年上	<p>「Sing! Sing!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 歌うための準備 <ul style="list-style-type: none"> ・歌う前のストレッチ（首の周りをほぐそう、脇腹を伸ばそう、肩をリラックス）
教 芸	第1学年	<p>「My Voice!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の歌声を見つけよう <ul style="list-style-type: none"> ・準備（姿勢と呼吸） （バランスのよい姿勢、呼吸は歌声の命） ・歌声づくり （豊かな響きのある歌声） ・声の出る仕組み ・変声期
	第2・3学年上	<p>「My Voice!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の思いを歌声にのせよう <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな息の流れに歌声をのせるには ○ 鼻濁音 <ul style="list-style-type: none"> ・鼻濁音を使って柔らかな響きで
	第2・3学年下	<p>「My Voice!」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 豊かな歌声で、気持ちをこめて歌おう <ul style="list-style-type: none"> ・確認しよう （姿勢と呼吸、息の流れ、響かせ方）

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②鑑賞領域の知識の習得を図るための工夫
方法	鑑賞領域における知識に関する記載

	曲名及び作曲者	楽譜の扱いについて	楽曲に関する内容について	時代について
教 出	第1学年 「和声と創意の 試み」第1集 「四季」から 「春」第1楽章 アントニオ・ヴ ィヴァルディ	○ ソネットごとに旋律 の一部の楽譜を掲載 し、リトルネッロ部と エピソード部を楽譜の 上に示し、リトルネッ ロ部の前半と後半にそ れぞれ色を付けて示し ている。また、楽譜の 上にソネットを示して いる。	○ リトルネッロ部とエピソ ード部について説明し、リ トルネッロ形式について表 で示している。 ○ 「「四季」ってどんな曲 集？」として、「四季」に 関する内容などについてイ ラストとともに示してい る。 ○ 「「四季」楽器編成につ いて」として、写真を掲載 し、写真の中に楽器名を示 し、説明している。	○ 「ヴィヴァル ディの時代」と して、ヴィヴァ ルディの時代と 同時期の日本の 時代等について 並記し、図で示 している。
	第2・3学年上 交響曲第5番 ハ 短調 作品67 ルートヴィヒ・ ヴァン・ベート ーヴェン	○ 第1楽章第1主題、 第2主題、展開部、再 現部の冒頭、第2楽 章、第3楽章、第4楽 章の冒頭及び各楽章の 中でリズムの動機が現 れる部分の楽譜を掲載 している。 ○ 楽譜の上部や下部に 演奏楽器を示してい る。 ○ 掲載している楽譜の 中のリズムの動機の部 分に色を付けて示して いる。	○ 「第1楽章の構成につ いて」として、ソナタ形式に ついて、楽譜の左側に図を 示し、説明している。 ○ 「それぞれの楽章に現れ るリズムの動機」として、 第2楽章～第4楽章のリズ ムの動機について説明して いる。 ○ 「ここに注目！」とし て、楽譜を枠で囲んでい る。 ○ 交響曲（シンフォニー） について、写真を掲載し、 オーケストラの配置の例に ついて、図を掲載し、それ ぞれ説明している。	○ 「ベートーヴ ェンの時代」と して、ベートー ヴェンの時代と 同時期の日本の 時代等について 並記し、図で示 している。
	第2・3学年下 ブルタバ（モル ダウ）連作交響 詩「我が祖国」 から ベドルジフ・ス メタナ	○ 移り変わる情景を表 現した旋律の冒頭部分 の楽譜の一部を掲載 し、楽譜の上に主に演 奏している楽器を示し ている。	○ 全曲構成として、連作交 響詩「我が祖国」の第1曲 から第6曲の曲名を示し、 「第2曲 ブルタバ（モル ダウ）」に色を付けて示し ている。 ○ 現在のヨーロッパとブル タバ川（モルダウ川）につ いて、地図を掲載してい る。 ○ 交響詩について、説明し ている。 ○ 「この曲に寄せる作曲者 の解説」として、作曲者の 解説を示している。	○ 〈スメタナの 時代〉として、 スメタナの時代 と同時期の日本 の時代等につ いて並記し、図で 示している。

【音楽（一般）】

	曲名及び作曲者	楽譜の扱いについて	楽曲に関する内容について	時代について
教 芸	第1学年 「春」第1楽章 （「和声と創意の 試み」第1集 「四季」から） A. ヴィヴァル ディ	○ ソネットごとに旋律 の一部の楽譜を掲載 し、リトルネッロ部に 色を付けて示してい る。また、楽譜の上 にソネットを示してい る。	○ 「イタリアの気候と「四 季）」として、地図を掲載 し、説明している。 ○ 「Challenge!!」として、 「夏－第3楽章」「秋－第 3楽章」「冬－第2楽章」 のそれぞれのソネットを示 している。 ○ 「四季」の演奏として、 写真を掲載し、写真の中 に楽器名を示している。	○ 「「+α」こ の頃、日本では …！？」とし て、ヴィヴァル ディの時代と同 時期の日本の時 代等について図 で示している。
	第2・3学年上 交響曲第5番 ハ 短調 L. v. ベートー ヴェン	○ 第1楽章第1主題、 第2主題、提示部の終 わりの部分、展開部の 始めの部分、展開部の 途中の部分、再現部の 始めの部分、コーダの 途中の部分の冒頭の一 部の楽譜を掲載してい る。また、楽譜の左横 に演奏楽器を示してい る。 ○ 第2楽章、第3楽章 及び第4楽章において は、主題について一部 の楽譜を掲載するとと もに、楽譜の上に演奏 楽器を示している。 ○ 掲載している楽譜の 中の動機の部分につ いて、色を付けて示し ている。	○ 第1楽章の楽譜の左側に 縦軸でソナタ形式につ いて示し、説明してい る。 ○ 交響曲について、説明し ている。また、他の作曲 者の交響曲の作品を示 している。	○ 「「+α」こ の頃、日本では …！？」とし て、ベートーヴ ェンの時代と同 時期の日本の時 代等について図 で示している。
	第2・3学年下 ブルタバ（モル ダウ）（連作交響 詩「我が祖国」 から） B. スメタナ	○ 標題ごとに冒頭部分 の楽譜の一部を掲載 し、楽譜の上に主に演 奏している楽器を示し ている。 ○ 掲載している楽譜の 中のブルタバを表す旋 律について、色を付け て示している。 ○ 「「我が祖国」の第 1曲「ビシェフラト」 の主な旋律」として、 楽譜の一部を掲載し ている。	○ 「ブルタバ」が作曲され た当時のヨーロッパ、現在 のヨーロッパ、ブルタバ川 （チェコ）の地図を掲載 している。 ○ 注釈で、交響詩につ いて、説明している。 ○ 作曲者自身による解説を 掲載している。 ○ 「受け継がれる祖国への 思い」として、写真を掲載 し、説明している。	○ 「「+α」こ の頃、日本では …！？」とし て、スメタナの 時代と同時期の 日本の時代等 について図で示 している。

【音楽（一般）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	③題材の学習目標等の示し方
方法	学習目標等の表記の仕方の具体例

	学習目標等の表記の仕方	具体例
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書冒頭に、見開き 2 ページで「学習 MAP」を設け、育成を目指す資質・能力を領域・分野ごとに示している。また、育成を目指す資質・能力と教材名、領域・分野の相互のつながりも明記している。 ○ 教材ページの端に縦書きで題材名、教材名の下に活動のポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名 歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう。 ○ 教材名 歌舞伎「勸進帳」(第 2・3 学年下) ○ 活動のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎の音楽の役割や効果を考えながら鑑賞しよう。 ・音楽の特徴を舞台の表現と関わらせ、多様な表現を聴き取ろう。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に続くページに、見開き 2 ページで「学びの地図」を設け、育成を目指す資質・能力と、それに対応する領域・分野ごとの学習内容や教材を示している。 ○ 教材ページの端に縦書きで学習目標、教材名の下に活動文を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標 歌舞伎に親しみ、その音楽を味わおう。 ○ 教材名 歌舞伎「勸進帳」(第 2・3 学年上) ○ 活動文 <ul style="list-style-type: none"> ・「勸進帳」は、日本の伝統芸能である歌舞伎の作品です。 ・声や楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、長唄のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ・音楽、舞踊、演技が一体となった歌舞伎のよさや美しさを味わいましょう。

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④音楽表現を創意工夫させるための工夫
方法	創作分野における音楽表現を創意工夫する学習の具体例

創作表現を創意工夫する学習の具体例（第1学年）	
音のスケッチ 日本語の抑揚を生かした旋律をつくろう	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動のポイントを示している。 ○ 6つの活動を設定し、活動④から活動⑥は、活動①から活動③の内容を書き込む欄を設けている。 ○ 「チャレンジ」として、更に創作する活動を設定している。 ○ キャラクターの吹き出しで、活動の指示を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉のつながり方を工夫して、短い旋律をつくろう。 ○ 言葉のリズムやまとまりを意識して、イメージに合う音を選ぼう。 ○ 活動① <ul style="list-style-type: none"> ・七五調の短い歌詞をつくって、リズムをつけてみよう。 ○ 活動② <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚を線で表してみよう。 ○ 活動③ <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の抑揚にそって、「ミ」「ソ」「ラ」の音をあてはめ、五線にも書き写してみよう。 ・左ページの「活動①」～「活動③」を参考にして、次の「活動④」～「活動⑥」の順番で旋律をつくってみよう。 ○ 音を「レ」「ミ」「ソ」「ラ」「ド」に増やしてつくってみよう。終わりの音も工夫してみよう。 ○ 自分で何度も声に出して読んでみましょう。 ○ 身近にある楽器で音を確認しながらつくってみよう。できあがった作品は、みんなで聴き合ってみよう。
音のスケッチ 全体の構成を考えながら音楽をつくろう	
<p style="text-align: center;">教 出</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動のポイントを示している。 ○ 「はじめに」として、言葉の例を示している。 ○ 6つの活動を設定し、活動④から活動⑥は、活動①から活動③の内容を書き込む欄を設けている。 ○ 「もっと楽しもう」として、更に創作する活動を設定している。活動を設定している。 ○ キャラクターの吹き出しで、工夫の仕方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言葉のつなげ方や重ね方、全体のまとまりを工夫して音楽をつくろう。 ○ 言葉のリズムを意識して、ストーリーを表す言葉を選ぼう。 ○ はじめに <ul style="list-style-type: none"> ・日本語には、自然や動物、物などが発する音や、様子を表す言葉がたくさんあります。 ○ 活動① <ul style="list-style-type: none"> ・5～6人のグループになり、表現したいテーマを決め、さまざまな言葉で表してみよう。 ○ 活動② <ul style="list-style-type: none"> ・「活動①」で表した言葉をカードにして、繰り返したり重ねたりしてテーマを表現してみよう。 ○ 活動③ <ul style="list-style-type: none"> ・テーマにそった簡単なストーリーを想像し、構成や言葉の重ね方を工夫して、イメージに合った音楽をつくろう。始め方と終わり方も工夫しよう。 ・左ページの「活動①」～「活動③」を参考にして、次の「活動④」～「活動⑥」の順番で音楽をつくってみよう。 ○ もう一度、簡単なストーリーや集めた言葉を検討し、交流したことを参考に作品をつくり直してみよう。 ○ 表現した言葉のどれかに、楽器の音を重ねたり動作を加えたりすると、さらにおもしろくなるね。

【音楽（一般）】

教 芸	「My Melody」創作—音のつながり方—	
	○ 活動文を示している。	○ 課題や条件に沿って、創意工夫して旋律をつくりましょう。 ・課題や条件 ①リズムチャレンジでつくったリズムを使って、4分の4拍子、4小節の旋律をつくる。 ②表したいイメージを考え、そのイメージを表現するために、上行、下行、順次進行、跳躍進行などの音のつながり方を工夫する。 ③ハ長調のI-IV-V-Iの和音の動きに合わせてつくる。
	○ 「Warming up」として、音のつながり方の特徴を考える活動を設定している。 ○ 5つの活動を設定するとともに、活動③ではワークシートを示している。	○ 「主人は冷たい土の中に」(p. 18)の冒頭部分を例に、下に示した音のつながり方を確認し、どのような感じがするかを話し合しましょう。 ①リズムチャレンジ (p. 17) でつくったリズムを右のワークシートのアに書きましょう。 ②I-IV-V-Iの和音の動きに合わせてアのリズムを手拍子で打ったり口ずさんだりしながら、どのような旋律をつくりたいかイメージしましょう。 ③②のイメージをもとに音のつながり方を工夫しながら旋律をつかって、ワークシートのイに書きましょう。また、工夫した点をウに書きましょう。 ④中間発表をして、つくった旋律について意見交換をしましょう。 ⑤意見交換したことを参考に旋律を完成させて、もう一度発表しましょう。
	○ キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方を示している。	○ 2小節の2分音符に向かって跳躍進行で大きく上行したからハッとしたよ。 ○ しかも1小節目のリズムが細かかったから、2分音符がよりのびやかに感じられたね。 ○ 自分がつくりたい旋律のイメージに近づくように、リズムを変えてもいいよ。 ○ 自分がつくりたい旋律のイメージを表現するために、声に出したり、楽器で演奏したりして音の動きを確かめながらつくりよう。
	「Let's Create!」創作—音素材の特徴と構成—	
	○ 活動文を示している。	○ 課題や条件に沿って、創意工夫して音楽をつくりましょう。 ・課題や条件 ①はじめ 中 終わり の場面を設定する。 ②音素材の特徴を生かして、場面のイメージを表す。 ③反復、変化、対照などを用いて構成を工夫する。
○ 5つの活動を設定するとともに、活動③ではワークシートを示している。	①グループで話し合っただの2つの風景からどちらかを選び、自分たちが表したい場面を考え、ワークシートのア、イに書きましょう。 ②グループで話し合っただ音素材を選びましょう。その際、①で考えた場面のイメージに合うか音を出して確かめながら、探しましょう。 ③グループで話し合いながら強弱や構成を工夫して音楽をつくりましょう。つくった音楽は、右ページの例のように図形などを使って、ワークシートのウに書きましょう。また、①で考えた場面のイメージを表すために、音素材を選んだ理由や、構成を工夫した点をエに書きましょう。 ④中間発表をして、つくった音楽について意見交換をしましょう。 ⑤意見交換したことを参考に音楽を完成させて、もう一度発表しましょう。	
○ キャラクターの吹き出しで、考える観点や工夫の仕方、活動の指示を示している。	○ 自分たちで風景を考えてもいいよ。 ○ 「春」(p. 42)を参考にしてもいいね。 ○ 楽器の音色だけでなく、音の高低や長短、強弱などが演奏の仕方によって変わることにも注目しよう。 ○ 「はじめ」と「終わり」の場面を、同じにしたらどうかな？「はじめ」の音楽を反復させてみようよ。 ○ それはいい考えだね。最後は少し変化させて、演奏を工夫してみるのはどうかな。 ○ 私たちは林の風景を音楽にしました。晴れている林と雨の降る林の雰囲気の違いを、楽器の材質を変えて表現し、リズムは「はじめ」と「中」で対象的になるよう変化させました。 ○ 雨が上がった後の林の穏やかな感じが伝わってきました。「終わり」は「はじめ」と同じ音楽だったので、戻ってきた安心感があったのだと思います。	

【音楽（一般）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	⑤音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方法	鑑賞領域における音楽を形づくっている要素の示し方及び学習内容の記載

	扱われている音楽を形づくっている要素の示し方	音楽を形づくっている要素を用いた学習内容の記載
	第2・3学年上 「ボレロ」	
教 出	<p>「音色」 「リズム」 「旋律」 「強弱」 「構成」</p> <p>○ 活動のポイントや学習活動の中で、音楽を形づくっている要素を使って示している。</p>	<p>「構成」</p> <p>○ 曲の特徴や曲全体の構成を関わらせながら鑑賞しよう。 「リズム」「旋律」「構成」</p> <p>○ リズムや旋律の反復による曲全体の構成を聴き取ろう。 「リズム」「構成」</p> <p>○ 「ボレロ」は、AとBの二つの主題と小太鼓のリズムの繰り返しで、曲全体を構成しています。これらの反復を聴き取ってみましょう。 「音色」「リズム」「旋律」「強弱」</p> <p>○ さまざまな楽器の音色（おんしょく）や響き、リズムや旋律の繰り返し、曲全体にわたる強弱の変化などを意識して、もう一度鑑賞しよう。</p>
	第2・3学年下 「ボレロ」	
教 芸	<p>「音色」 「リズム」 「旋律」 「強弱」 「構成」</p> <p>○ 学習目標の下に示すとともに、活動文や考えたポイント、キャラクターの吹き出しの中に音楽を形づくっている要素を使っている。</p>	<p>「リズム」「旋律」「音色」「強弱」</p> <p>○ 繰り返し演奏されるリズムと2つの旋律、音色や強弱の変化に注目しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 「リズム」「旋律」</p> <p>○ 繰り返されるリズムと2つの旋律は、どのように発展しているだろう。 「リズム」</p> <p>○ 小太鼓のリズムを打ってみよう。 「旋律」</p> <p>○ 旋律Aと旋律Bの繰り返しと、楽器の組み合わせの変化に注目しよう。 「音色」</p> <p>○ 金管楽器、木管楽器、弦楽器、それぞれの音色が聴こえるかな。</p>

【音楽（一般）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥興味・関心を高めるための工夫
方法	資料や巻頭の内容

	学年	資料の内容	巻頭の内容
教 出	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ コンピュータで表現しよう ・音楽制作アプリの例やコンピュータについて説明している。 ○ リコーダー運指表 ・リコーダーのイラストと楽譜、運指表を掲載している。 ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉 ・14種類のコードと和音を掲載している。 ○ 楽典 ・音符・休符、形式、三連符、拍子、調（長調と短調の音階、平行調）、主要三和音、各部の名称、音高の変化、奏法、速度や速度の変化、強弱や強弱の変化、反復について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 ○ 郷土の民謡に用いられる楽器 ・郷土の民謡に用いられる楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 ○ 弦楽合奏に用いられる楽器 ・弦楽合奏に用いられる楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 ○ 日本とアジアのこと ・日本とアジアのこの写真を掲載し、各楽器について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「私自身が一番の行動力は好奇心です。」 ・ピアニスト 角野隼斗の言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いこふれる 「ちよっと待っていて。もうすぐ書き終える。」 ・フランツ・シューベルトに関する内容と自筆譜を掲載している。
	第2・3学年上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私たちのくらしと音楽～音楽著作権について～ ・著作権について、著作物やMP3の扱いなどについて説明している。 ○ 劇場・音楽堂へ行こう！ ・神奈川県立音楽堂について写真を掲載し、説明している。 ○ リコーダー運指表（第1学年に同じ） ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉（第1学年に同じ） ○ 楽典（第1学年に同じ） ○ オーケストラの楽器 ・オーケストラの楽器の写真を掲載し、各楽器について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「こんな音楽を聴きたい、演奏してみたい」という気持ちを大切に」 ・笙奏者 宮田まゆみの言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いこふれる 「芸術だけが私を踏みとどまらせたのだ。」 ・ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェンに関する内容と自筆譜を掲載している。
	第2・3学年下	<ul style="list-style-type: none"> ○ ポピュラー音楽図鑑 ・ブルース、ゴスペル、ジャズ、リズム・アンド・ブルース、カントリー・アンド・ウエスタン、フォーク、ロックについて説明するとともに、それぞれ代表的なアーティストの写真やイラストを掲載し、紹介している。 ○ 日本と西洋の音楽の歩み ・日本と西洋の年表、それぞれの時代について、写真を掲載し、説明している。 ○ コンピュータと音楽 ・コンピュータと音楽の関わりについて、イラストを掲載し、説明している。 ○ 音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ ・アウトリーチや音楽をととした教育活動について、写真を掲載し、説明している。 ○ 発展 音の三要素 ・音量、音高、音色（おんしょく）について説明している。 ○ リコーダー運指表（第1学年に同じ） ○ コードネーム表〈基礎となる音をCとした主なコードの例〉（第1学年に同じ） ○ 楽典 ・音符・休符、形式、三連符、拍子、同主調転調、主要三和音、各部の名称、音高の変化、奏法、速度や速度の変化、強弱や強弱の変化、反復について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 ○ 肖像で見る音楽年表 ・音楽家の肖像を掲載し、各音楽家の主要な作品名と作曲時期等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ With My Heart 音楽はメッセージ 「音に対する感受性が膨らむと「想像力の羽ばたき」が始まります。」 ・指揮者 大野和士の言葉と写真を掲載している。 ○ 作者の思いこふれる 「此道に資する所あらんとす」 ・滝 廉太郎の言葉と自筆譜を掲載している。

【音楽（一般）】

	学年	資料の内容	巻頭の内容
教 芸	第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ○ ルールを守って音楽を楽しもう！ ・著作権や音楽を利用するときに気を付けること、音楽が生み出される仕組みについてイラストや図を掲載し、説明している。 ○ 生活や社会の中の音や音楽 音や音楽が果たす役割 ・暮らしにおいて音や音楽の果たすさまざまな役割について写真やイラストを掲載し、説明している。 ・「見つけよう！学校の中の「気になる音」として、再生マークが入った写真を掲載し、説明している。 ○ 音楽を形づくっている要素 ・音色やリズムなど音楽を形づくっている要素について、イラストや楽譜を掲載し、説明している。 ○ 音楽の約束 ・五線譜、音符・休符、拍子記号、音階（長調の音階、短調の音階、日本の音階）、音程、和音・コードネーム、曲の形式、いろいろな記号・用語について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽の一員になれる時間 ・俳優・歌手 上白石萌音の言葉と関連する写真を掲載している。 ○ 音楽って何だろう 「一生を通して楽しむもの」 ・宇宙飛行士 野口聡一の言葉と関連する写真を掲載している。
	第2・3学年上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活や社会の中の音や音楽 人と人をつなぐ音楽 ・さまざまな場面で音楽が人と人をつないでいることについて、写真を掲載し、説明している。 ○ 音楽を形づくっている要素（第1学年に同じ） ○ 音楽の約束 ・音階（長調と短調の音階、3種類の短音階、日本の音階）、音程・和音、曲の形式、音符・休符・記号・用語について図や楽譜、表を掲載し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今に生きる伝統 ・歌舞伎役者 十代目 松本幸四郎及び八代目 市川染五郎の言葉と関連する写真を掲載している。 ○ 音楽って何だろう 「自分の世界を広げるもの」 ・人類進化学者 海部陽介の言葉と関連する写真を掲載している。
	第2・3学年下	<ul style="list-style-type: none"> ○ ルールを守って音楽を楽しもう！ ・著作権及び著作権隣接権について、イラストを掲載し、説明している。 ○ 生活や社会の中の音や音楽 仕事と音楽 ・社会の中にある音楽に関わる仕事について、写真を掲載し、説明している。 ・音楽とSDGs、楽器とSDGsについて、写真とSDGsのマークを掲載し、説明している。 ○ 耳でたどる音楽史 ・日本と西洋の年表、それぞれの時代に関する写真や音楽家の肖像などを掲載し、説明している。 ○ 音楽を形づくっている要素（第1学年に同じ） ○ 音楽の約束 ・音符・休符・記号・用語について表を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今ここにしかない瞬間を大切に ・ピアニスト 反田恭平の言葉と関連する写真を掲載している。 ○ 音楽って何だろう 「寄り添ってくれるもの」 ・アートディレクター 森本千絵の言葉と関連する写真ポスターを掲載している。

【音楽（一般）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑦生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫
方法	音楽文化に関する学習についての記載

世界の諸民族の音楽についての記載（我が国の音楽は除く）	
教 出	<p>世界のさまざまな芸能や音楽（第2・3学年下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名 <ul style="list-style-type: none"> ・多様な芸能や音楽の表現を鑑賞しよう。 ○ 活動のポイント <ul style="list-style-type: none"> ・音楽と物語との関わりを理解して鑑賞しよう。 ・物語を表現する音楽の多様性を聴き取ろう。 ○ 中国、アメリカ、朝鮮半島、インドネシアの特徴的な芸能や音楽について写真を掲載し、説明している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ジンジュ〈京劇〉「西遊記」から（中国）、ミュージカル「レ・ミゼラブル」から（アメリカ）、パンソリ（朝鮮半島）、ワヤン・クリ（インドネシア）を取り上げ、写真を掲載し、説明している。 ○ 2つの話し合う活動を設定している。
教 芸	<p>世界の諸民族の音楽（第2・3学年下）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習目標 <ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな楽器の音楽を味わおう。 ○ 活動文 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色、リズム、旋律の特徴などに注目しながら、それぞれの音楽のよさや美しさを味わって聴きましょう。 ○ 考えたいポイント <ul style="list-style-type: none"> ・世界各地のさまざまな音楽のよさや美しさは、音楽のどのようなところから感じられるだろう。 ○ 背景に世界地図を掲載し、その上に各地の楽器の写真を(管)(弦)(打)のマークを付けて掲載している。また、その中から、(管)タンソ（朝鮮半島）、(弦)ウード（アラブ諸国）、(打)タブラー（北インド）を取り上げ、写真を掲載し、説明している。

【音楽（一般）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	学年ごとに扱う鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）

		鑑賞教材及び歌唱教材（歌唱共通教材を含む）	
教 出	第1学年	鑑賞教材	郷土のさまざまな民謡、箏曲「六段の調」、日本とアジアをつなぐ音、尺八曲「鹿の遠音」、日本とアジアの声によるさまざまな表現
		歌唱教材	ソーラン節、かりぼし切り歌 歌唱共通教材：夏の思い出、赤とんぼ
	第2・3学年上	鑑賞教材	雅楽「越天楽」、能「羽衣」キリから「東遊びの数々に～」の部分、能「敦盛」キリから「波の打物抜いて～」の部分、郷土の音楽や芸能
		歌唱教材	歌唱共通教材：浜辺の歌、早春賦、花の街
	第2・3学年下	鑑賞教材	歌舞伎「勧進帳」、文楽「義経千本桜」から二段め 大物浦の段
		歌唱教材	長唄「勧進帳」をうたおう 歌唱共通教材：花、荒城の月
教 芸	第1学年	鑑賞教材	雅楽「平調 越天楽」一管絃一、箏曲「六段の調」、日本の民謡
		歌唱教材	ソーラン節 歌唱共通教材：浜辺の歌、赤とんぼ
	第2・3学年上	鑑賞教材	歌舞伎「勧進帳」、文楽「新版歌祭文」から“野崎村の段”
		歌唱教材	長唄「勧進帳」から、義太夫節「野崎村の段」から 歌唱共通教材：夏の思い出、荒城の月
	第2・3学年下	鑑賞教材	尺八楽「巢鶴鈴慕」、能「敦盛」
		歌唱教材	謡「敦盛」から 歌唱共通教材：花、花の街、早春賦

【音楽（一般）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑨教材の配列及び分量
方法	教材の配列とその具体例及び目次に示された領域ごとの教材数

	教材の配列		具体例（教材数）	目次に示された領域ごとの教材数			
	領域・分野	資料等		領域	学 年		
			第1学年		第2・3学年上	第2・3学年下	
教 出	○ 全学年 ・「歌唱」 ・「鑑賞」 ・「創作」	○ 全学年 ・音楽を形づくっている要素 ・資料 ・歌のアルバム ・全校合唱 ・〔国歌〕君が代 ・資料 ○ 「Sing!Sing!」(第1学年及び第2・3学年上に掲載)及び「Let's Try!」については、関連する教材に付帯して配列している。	・歌唱(11) ・鑑賞(8) ・創作(2) ・音楽を形づくっている要素(1) ・Sing!Sing!(3) ・Let's Try!(4) ・資料(7) ・歌のアルバム(9) ・全校合唱(1) ・〔国歌〕君が代(1)	歌唱	22	20	17
			創作	2	2	2	
			鑑賞	8	8	6	
教 芸	○ 第1学年 ・「歌唱」 ・「鑑賞」 ・「創作」は関連する教材の後ろに配列している。 ・「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後に配列している。 ○ 第2・3学年上及び第2・3学年下 ・「歌唱」 ・「創作」 ・「鑑賞」 ・「鑑賞」に関連する「歌唱」の教材を後に配列している。	○ 第1学年及び第2・3学年下 ・特集 ・歌い継ごう日本の歌 ・心通う合唱 ・資料 ・国歌「君が代」 ○ 第2・3学年上 ・歌い継ごう日本の歌 ・心通う合唱 ・特集 ・資料 ・国歌「君が代」 ○ 「発声」「リズムで楽しもう」(第1学年及び第2・3学年上に掲載)「指揮」については、関連する教材に付帯して配列している。	・歌唱(3) ・創作(1) ・歌唱(4) ・鑑賞(1) ・創作(1) ・鑑賞(5) ・歌唱(1) ・鑑賞(1) ・発声(1) ・リズムで楽しもう(3) ・指揮(1) ・特集(2) ・資料(2) ・歌い継ごう日本の歌(2) ・心通う合唱(9) ・歌「君が代」(1)	歌唱	20	18	17
			創作	2	2	2	
			鑑賞	7	6	7	

【音楽（一般）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用
方法	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体例

	曲名	楽譜	イラスト・写真	デジタルコンテンツ
教 出	歌唱「花」 (第2・3学年下)	○ 全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に掲載している。	○ 隅田川の風景 ○ 隅田川岸の青柳 ○ 隅田川岸の桜の花 ○ 明治時代の隅田川の様子 ○ 風景版画「向鳶桜」 ○ 桜、風景（楽譜上部、右下）	○ 二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページに、アクセスできる。
	鑑賞「魔王」 (第1学年)	○ 全4ページのうち、後半の見開き2ページに、前奏と独唱部分の旋律を掲載している。	○ モーリツ・フォン・シュヴァイント（画）（背景） ○ 作曲者及び作詞者の肖像画 ○ 「父」「子」「魔王」（イラスト）（楽譜左横）	○ 「Active!」において、二次元コードを掲載し、ワークシートがダウンロードできるページに、アクセスできる。
教 芸	歌唱「花」 (第2・3学年下)	○ 全6ページのうち、3ページ目から6ページ目に掲載している。	○ 春の隅田川 ○ 柳 ○ おぼろ月 ○ 櫂 ○ 露にぬれた桜 ○ 作詞者及び作曲者 ○ 明治時代の花見の様子 ○ 桜等（イラスト）（楽譜周囲）	○ 二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページに、アクセスできる。 ○ 二次元コードを掲載し、パート別とカラピアノの音源を掲載しているページに、アクセスできる。また、「組歌「四季」」についての説明と、それぞれの旋律の一部の音源を掲載しているページに、アクセスできる。
	鑑賞「魔王」 (第1学年)	○ 全4ページのうち、前半の見開き2ページに、前奏と独唱部分の旋律を掲載している。	○ 「語り手」「父」「子」「魔王」（イラスト）（楽譜左横） ○ バリトン歌手及びピアニスト ○ 作曲者及び作詞者（肖像画）	○ 二次元コードを掲載し、前奏と独唱部分の楽曲の音源及び楽曲と連動した楽譜を掲載しているページに、アクセスできる。また、ワークシートがダウンロードできるページに、アクセスできる。

【音楽（一般）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑪特別支援教育へ配慮した構成及びデザインの工夫
方法	ユニバーサルデザインに配慮した示し方

ユニバーサルデザインに配慮した示し方	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 紙面全体や、図版やイラスト等について、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ・領域・分野ごとに基本色を設定し、ページ左端もしくは右端にそれぞれの基本色の枠を設け「題材名」を示している。 ○ ページ左端もしくは右端に縦書きで「題材名」、ページ上部に「教材名」、教材名の下部に「活動のポイント」と、紙面構成を統一している。 ○ 複数の教材において、文字を写真中に掲載するときに無地の部分に配置している。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 紙面全体や、図版やイラスト等について、カラーユニバーサルデザインに配慮している。 <ul style="list-style-type: none"> ・領域・分野ごとに基本色を設定し、ページ左端もしくは右端にそれぞれの基本色の枠を設け、「学習目標」と「音楽を形づくっている要素」を示している。 ○ ページ左端もしくは右端に縦書きで「学習目標」、学習目標の下部に「音楽を形づくっている要素」、ページ上部に「教材名」、教材名の下部に「活動文」と、紙面構成を統一している。 ○ 複数の教材において、文字を写真中に掲載するときに無地の部分に配置している。

音 楽（器楽合奏）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
17	教 出	中学器楽 音楽のおくりもの
27	教 芸	中学生の器楽

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫	リコーダーにおける知識及び技能に関する記載
		② 題材の学習目標等の示し方	学習目標等の表記の仕方及び目標達成のための支援の具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫	音楽表現を創意工夫する学習の記載内容
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	④ 興味・関心を高めるための工夫	資料及び巻頭の内容
		⑤ 生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫	音楽文化に関する記載
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑥ 我が国の音楽に関する内容の扱い	和楽器に関する教材の扱い
		⑦ 教材の分量及び構成	楽器別カテゴリー別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリー別教材数及び内容の構成
(オ)	内容の表現・表記	⑧ 楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	リコーダーにおける知識及び技能に関する記載

	分類	内容
教 出	○ リコーダーの特徴、歴史に関する記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史に関する記述 ・リコーダーと同じ発音原理の「ふえ」は古代より世界各地に分布しています。 ・ヨーロッパでは15世紀から18世紀前半（ルネサンスからバロック）に、宮廷や教会において、独奏や合奏で使用されるようになりました。 ・20世紀に入るとリコーダーの特性が見直され、現在では音楽の多様化とあわせてさまざまなジャンルで活躍しています。 ○ 各部の名称 ○ リコーダーの変遷 ・ルネサンスのリコーダー ・バロックのリコーダー
	○ 奏法、身体の使い方に関する記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運指が共通の音の例 ○ 姿勢とかまえ方 ○ 指穴の番号と指番号 ○ チューニング ○ タンギング ○ サミング ○ アーティキュレーション ○ リコーダー運指表
	○ 演奏する順番	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つの音で吹いてみよう ○ 左手で吹こう① ○ 左手で吹こう② ○ 右手を加えてみよう ○ サミング ○ 音域を広げよう ○ アーティキュレーション
教 芸	○ リコーダーの特徴、歴史に関する記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歴史に関する記述 ・リコーダーは、ヨーロッパ各地で古くから演奏されていました。16世紀頃には、独奏や合奏、歌や踊りの伴奏などで盛んに用いられるようになりました。 ・17世紀後半に、現在のようなジョイント（継ぎ目）のある形に改良され、ピッチ（音の高さ）の調整が可能となり、音域も広がりました。 ・18世紀頃には、ヴァイオリンなどと並ぶ重要な独奏楽器となり、ヴィヴァルディやバッハなどの作曲家が、リコーダーの活躍する作品を残しました。 ・ジョイントのないリコーダー、ジョイントのあるリコーダー ○ 各部の名称 ○ 音域 ○ 楽器の手入れ ○ リコーダーの種類 ○ リコーダーの仲間
	○ 奏法、身体の使い方などに関する記載	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢と構え方 ○ トーン ホール番号と指番号 ○ チューニング ○ タンギング ○ サミング ○ アーティキュレーション ○ リコーダー運指表
	○ 演奏する順番	<ul style="list-style-type: none"> ○ LESSON 1 [左手による運指] ○ LESSON 2 [両手による運指] ○ LESSON 3 [サミング] ○ LESSON 4 [高い音、＃や♭の付く音]

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②題材の学習目標等の示し方
方法	学習目標等の表記の仕方及び目標達成のための支援の具体例

ギターにおける学習目標等の表記及び目標達成のための支援の具体例		
	学習目標等の表記の仕方	目標達成のための支援の具体例
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ アニー・ローリー <ul style="list-style-type: none"> ・右手の使い方と左手の運指に注意して演奏しよう。 ○ Happy Birthday to You <ul style="list-style-type: none"> ・ギターの音色を聴き取りながら表現しよう。 ○ カントリー・ロード <ul style="list-style-type: none"> コードと旋律の響きを感じ取って演奏しよう。 ○ エチュード <ul style="list-style-type: none"> ・アル・アイレ奏法を用いてアルペッジョを弾いてみよう。 ○ アニー・ローリー <ul style="list-style-type: none"> ・曲想を生かし、全体の響きを感じ取って演奏しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢とかまえ方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。 ○ 数字やアルファベットを使って、演奏で使用する指の名称について、右手と左手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。また、写真の中に指の記号と番号を示している。 ○ チューニング（調弦）について、ヘッド部分のイラストと第①弦から第⑥弦までの開放弦の音の楽譜を掲載し、説明している。また、チューナーの写真を掲載し、説明している。 ○ アポヤンド奏法とアル・アイレ奏法について、右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。 ○ コードの押さえ方について、4つのコード（G、D7、C、Em）のダイアグラム（運指図）と右手で弦を押さえている写真を掲載し、説明している。 ○ ストローク奏法について、「ダウン・ストローク」と「アップ・ストローク」の右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。また、ピックと持ち方について写真を掲載している。
教芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ カントリー ロード <ul style="list-style-type: none"> ・下の「リズムパターンの例」を参考にして、ストローク奏法で演奏しましょう。 ○ 大きな古時計 <ul style="list-style-type: none"> ・奏法を選んで、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しましょう。 ・上のG 1に伴奏パートを加えて、G 2はアル アイレ奏法で、G 3は奏法を選んで演奏しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 姿勢と構え方について、正面からと側面からの写真を掲載し、説明している。その中で、左手と右手の写真を掲載するとともに押さえ方について説明している。 ○ 指の番号と記号について、両手のイラストを掲載し、説明している。また、イラストの中に指の番号と記号を示している。 ○ チューニング（調弦）について、ヘッド部分のイラストと第①弦から第⑥弦までの開放弦の音の楽譜を掲載し、説明している。また、チューナーの写真を掲載し、説明している。 ○ アポヤンド奏法とアル アイレ奏法について、指のイラストを掲載し、説明している。 ○ コードの押さえ方について、4つのコード（G、D、Em、C）のダイアグラム（運指図）と右手で弦を押さえているイラストを掲載し、説明している。 ○ ストローク奏法について、「ダウン ストローク」と「アップ ストローク」の右手で弦を弾いている写真を掲載し、説明している。また、ピックの持ち方について写真を掲載している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③ 音楽的な見方・考え方を働かせる工夫
方法	音楽表現を創意工夫する学習の記載内容

	曲名	音楽を形づくっている要素	記載内容
教 出	どこかの街で 不思議な旋律 PART 1	<ul style="list-style-type: none"> ・音色 ・速度 ・強弱 ・旋律 ・構成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループに分かれて「基本形」を演奏します。速度や強弱などは、グループで話し合って確認しておきましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・「基本形」の「旋律」と「伴奏」の楽譜を掲載している。 ○ 「基本形」に慣れたら、オプションパート「伴奏A」～「伴奏D」から選んで加えて演奏してみよう。旋律はアーティキュレーションを工夫したり、「ラ」や「ル」など声で表現したりしてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・オプションパートの「伴奏A」～「伴奏D」の楽譜を掲載している。 ○ 「基本形」にオプションパートを加え、構成を工夫した形が仕上がったら、グループごとに発表してみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・演奏の例を示すとともに、構成を書き込む表を設けている。
教 芸	風によって	<ul style="list-style-type: none"> ・リズム ・テクスチャ ・強弱 ・構成 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 曲は「ア」「イ」の2つの部分で構成されています。演奏を聴いたり1と2のパートのリズムを演奏したりして、それぞれの部分で各パートのリズムや強弱、音の重なり方にどのような特徴があるのかを確かめましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ア」「イ」の部分について、それぞれキャラクターの吹き出しで考える観点を例示している。 ○ 演奏順序は「ア」→「イ」→「ア」になっています。①で確かめたことをもとに、それぞれの部分をどのように演奏したいのかを考え、表現の仕方を工夫しましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・注目するポイントとして、音楽を形づくっている要素を示し、キャラクターの吹き出しで考える観点を例示している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④興味・関心を高めるための工夫
方法	資料及び巻頭の内容

	資料の内容	巻頭の内容
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 打楽器 <ul style="list-style-type: none"> ・「小太鼓（スネアドラム）」「大太鼓（バスドラム）」「ボンゴ」「コンガ」「カホン」について、演奏している写真を掲載し、説明している。 ○ リコーダー運指表 <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの運指表を掲載し、リコーダーの変遷について、写真を掲載し、説明している。また、リコーダーの種類についての写真を掲載している。 ○ ギター&キーボード コード表 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのコードについて、ダイヤグラム、コードを押さえた写真、和音の楽譜、押さえる鍵盤を示したキーボードのイラストを掲載している。 ○ いろいろな用語、記号 <ul style="list-style-type: none"> ・速度や速度の変化、強弱や強弱の変化、反復、階名と音名について表や楽譜を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「LET'S PLAY MUSIC！」と題し、世界のいろいろな楽器の演奏写真、演奏者名を掲載している。 ○ 「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」と題して、兵庫県、佐賀県、宮城県に設置されているストリート・ピアノの写真を掲載している。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の伝統音楽の楽器編成 <ul style="list-style-type: none"> ・「雅楽」「能・狂言」「歌舞伎（長唄）」「文楽（義太夫節）」「三曲合奏」「郷土の芸能、民謡など」の演奏している写真と主要な楽器の写真を掲載している。 ○ バンドの世界をのぞいてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・バンドの写真とスコア（楽譜）の一部を掲載している。 ○ 伝統の枠を超えて活躍する和楽器 <ul style="list-style-type: none"> ・「尺八とマリンバ」「箏とオーケストラ」「津軽三味線とバンド」の演奏している写真を掲載している。 ○ リコーダーの運指表 <ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーの運指表を掲載し、「替え指を活用しよう」について説明し、リコーダーの仲間について、写真を掲載し、説明している。 ○ ギター/キーボード コード表 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのコードについて、ダイヤグラム、コードを押さえたイラスト、和音の楽譜、押さえる鍵盤を示したキーボードのイラストを掲載している。 ○ 楽器の図鑑 <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸民族の音楽」として、ズルナ、バグパイプ、サンポーニャ、クンダン、ジェンベ（ジャンベ）、モリンホール（馬頭琴）、コラの写真を掲載している。 ○ 音楽の約束 <ul style="list-style-type: none"> ・音符・休符・記号・用語について、表や楽譜で掲載している。 ○ 楽しもう！和楽器の音楽 <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓と箏について、演奏している写真、写真の説明、「中学生にインタビュー」を掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さっきのドラムソロやったの、誰だ？」と題し、石若駿の写真と言葉、ドラムを演奏している写真を掲載している。 ○ 「音楽って何だろう？じぶんの、そして、ひとのもの」において、さまざまな楽器の演奏写真とともに、小沼純一の写真と言葉を掲載している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わるための工夫
方法	音楽文化に関する記載

世界の諸民族の音楽に関する記載（我が国の音楽は除く）	
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ LET'S PLAY MUSIC! <ul style="list-style-type: none"> ・バーンスリー、アパラチアン・ダルシマーを演奏している写真を掲載している。 ○ 発展 吹く楽器の仲間たち <ul style="list-style-type: none"> ・スリン、ケーナ、バーンスリーを演奏している写真を掲載し、楽器について説明している。 ○ 発展 弾く楽器の仲間たち <ul style="list-style-type: none"> ・背景に世界地図を掲載し、その上に、リュート、バラライカ、ピーパー、マンドリン、カーヌーン、グージョン、ウッド、カヤグム、トンコリ、サンシエン、アパラチアン・ダルシマー、ウクレレ、バンジョー、チャランゴの写真と説明を掲載している。
教 芸	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽って何だろう？ <ul style="list-style-type: none"> ・シーク・ボンボ、チャンゴ、イプヘケ、アイタ、バグパイプ、ンビラ、カヤグム、ガルベ・タンブラン、ディジェリドゥを演奏している写真を掲載している。 ○ 楽器の図鑑 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸民族の楽器として、ズルナ、バグパイプ、サンポーニャ、クندان、ジェンベ（ジャンベ）、モリンホール（馬頭琴）、コラの写真を掲載している。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑥我が国の音楽に関する内容の扱い
方法	和楽器に関する教材の扱い

和楽器に関する教材の扱い		
教 出	配列（各楽器 単独で扱って いるページ 数）	篠笛（5ページ）→尺八（2ページ）→箏（8ページ）→三味線（7ページ） →太鼓（6ページ）
	縦譜	さくらさくら（独奏・二部合奏）、荒城の月、六段の調、こきりこ節、もののけ姫
	楽器ごとの楽 曲（鑑賞曲も 含む）	篠笛 …たこたこあがれ、ひらいたひらいた、さくらさくら、子守歌、長唄「越後 獅子」、一番星みつけた、夜空を見上げて（「一番星みつけた／夜空を見上 げて」（三部合奏） 尺八 …もういいかい、尺八曲「鹿の遠音」 箏 …さくらさくら（独奏・二部合奏）、荒城の月、箏曲「六段の調」 さくら変奏曲、こきりこ節（二部合奏）、もののけ姫（二部合奏） 赤とんぼ 三味線…さくらさくら、長唄「秋色種」から 虫の合方、長唄「鞍馬山」から セリ の合方、長唄「勸進帳」から 寄せの合方 太鼓 …千の海響 望の章（太鼓、締太鼓三部合奏）
	合奏曲（異な る楽器編成）	祭囃子（篠笛、締太鼓二部合奏） 長唄「勸進帳」から 寄せの合方（三味線、打楽器二部合奏）
	上記以外の和 楽器に関する 教材	○ 表現の仕方を調べてみよう PART-1 ○ 表現の仕方を調べてみよう PART-2
教 芸	配列（各楽器 単独で扱って いるページ 数）	箏（10ページ）→三味線（6ページ）→太鼓（6ページ）→篠笛（3ページ） →尺八（3ページ）
	縦譜	虫づくし、姫松、「六段の調」から“四段”、さくらさくら、少年時代、夏祭り
	楽器ごとの楽 曲（鑑賞曲も 含む）	篠笛 …通り神楽、阿波おどり、たこたこあがれ、ほたるこい、もののけ姫 尺八 …鶴の巢籠（都山流本曲）、Amazing Grace、江戸子守唄、夕やけこやけ 箏 …「手事」から第3楽章“輪舌”、千鳥の曲、虫づくし、姫松 「六段の調」から“四段”、さくらさくら、少年時代、夏祭り 三味線…長唄「鏡獅子」から、津軽三味線「津軽じょんから節」、こきりこ、 荒城の月 太鼓 …TAIKO POWER、エイサー、風によって
	合奏曲（異な る楽器編成）	MATSURI（篠笛、締太鼓、長胴太鼓三部合奏） 「寄せの合方」によるリズムアンサンブル（三味線、大鼓、小鼓三部合奏）
	上記以外の和 楽器に関する 教材	○ 日本の伝統音楽の楽器編成 ○ 伝統の枠を超えて活躍する和楽器 ○ 楽しもう！和楽器の音楽

【音楽（器楽合奏）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦教材の分量及び構成
方法	楽器別カテゴリ別教材数、合奏・アンサンブルのカテゴリ別教材数及び内容の構成

		楽器別							合奏・アンサンブル	内容の構成
		リコーダー	ギター	箏	三味線	太鼓	篠笛	尺八		
教 出	クラシック音楽	8	1						6	①リコーダー
	我が国の音楽（民謡、わらべうた、日本歌曲等）	2		4	1		5	1	6	②篠笛 ③尺八
	世界の民謡		2						2	④ギター
	映像に関する音楽（映画、テレビ、ゲーム等）	1							6	⑤箏 ⑥三味線
	その他（ポピュラー音楽、オリジナル等）	9	3	2			1		11	⑦太鼓
	計	20	6	6	1	※	6	1	31	⑧合奏（アンサンブル） ・Let's Play! ・Let's Try! ⑨名曲旋律集 ⑩資料 ※太鼓の教材は「合奏・アンサンブル」に1曲あり。
教 芸	クラシック音楽	5							2	①リコーダー
	我が国の音楽（民謡、わらべうた、日本歌曲等）			4	1		2	1	3	②ギター ③箏
	世界の民謡	2							3	④三味線 ⑤太鼓
	映像に関する音楽（映画、テレビ、ゲーム等）	1					1		5	⑥篠笛 ⑦尺八
	その他（ポピュラー音楽、オリジナル等）	6	2	2					12	⑧打楽器
	計	14	2	6	1	※	3	1	25	⑨アンサンブル曲 ⑩楽器で Melody ⑪資料 ※太鼓の教材は「合奏・アンサンブル」に1曲あり。

【音楽（器楽合奏）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑧楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの活用
方法	楽譜、イラスト・写真及びデジタルコンテンツの具体

	楽譜	イラスト・写真	デジタルコンテンツ
教 出	リコーダー		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材曲 ○ 運指に対応する音 ○ フレーズについて ○ アーティキュレーション ○ トリル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各部の名称 ○ 運指が共通の音の例 ○ 指穴（トーン ホール）の番号と指番号 ○ ピッチの調整の仕方 ○ タンギング（図A、図B） ○ 運指 ○ 息のコントロールについて（キャラクター） ○ 演奏者 ○ 姿勢とかまえ方（アルト・リコーダー、ソプラノ・リコーダー） ○ サミング ○ 息のコントロールについて 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲載曲やサミングについての動画 ○ アーティキュレーションについて、二つの奏法の音源
教 出	箏		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材曲 ○ 調弦法（平調子ホ音、二音） ○ 平調子 ○ 縦譜 	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクター（「爪」〈姿勢とかまえ方〉〈親指による基本的な奏法〉を身につけて表現しよう。「平調子の響きを生かして「荒城の月」の前奏をつくってみよう」） ○ 演奏者 ○ 各部の名称 ○ 弦名 ○ 柱の立て方 ○ 爪 ○ 姿勢とかまえ方 ○ 親指による基本的な奏法 ○ 奏法（押し手） ○ 箏曲「六段の調」に挑戦！（① ② ③ ④ ⑤） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 調弦法について、2つのパターンの平調子の音源 ○ 親指による基本的な奏法の動画 ○ 「六段の調」の三段の冒頭の動画
教 芸	リコーダー		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材曲 ○ 運指に対応する音 ○ タンギング ○ アーティキュレーション 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指穴（トーン ホール）の番号と指番号 ○ ピッチの調整の仕方 ○ タンギング ○ 運指 ○ 姿勢と構え方（口元、指） ○ 音の響かせ方 ○ こんな意識で合わせよう（①②③） ○ 演奏者 ○ 姿勢と構え方（正面、側面） ○ サミング ○ 楽器を知ろう（ジョイントのないリコーダー、ジョイントのあるリコーダー） ○ 各部の名称 ○ LESSON 1（構え方、右手） ○ リコーダーの種類（8種類のリコーダー、リコーダーアンサンブル） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 演奏者の情報 ○ 姿勢と構え方、タンギングについての動画 ○ 教材曲の伴奏の音源 ○ 「学びのコンパスアーティキュレーションを工夫しよう」のワークシート
教 芸	箏		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材曲 ○ 調弦（平調子、乃木調子） ○ 弾いてみよう ○ 縦譜 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 演奏者 ○ 各部の名称 ○ 柱の立て方 ○ 爪 ○ 姿勢と構え方（上側、正面） ○ 基本的な奏法 ○ いろいろな奏法 ○ 箏のさまざまな演奏 ○ 箏と琴 ○ 糸の響き ○ 「姫松」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 演奏者の情報 ○ 基本的な奏法、いろいろな奏法についての動画

美術

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
9	開 隆 堂	美術
38	光 村	美術 美術 資料
116	日 文	美術 1 美術との出会い 2・3上 学びの実感と深まり 2・3下 学びの探究と未来

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① [共通事項] の指導を充実させるための工夫	造形的な視点の示し方及び具体例
		② 形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫	形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載及び具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方及び具体例
		④ 表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫	発想・構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方及び具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 興味・関心を高めるための工夫	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫及び具体例
		⑥ 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 題材の配列	題材数及び構成・配列
(オ)	内容の表現・表記	⑧ 作品等についての示し方の工夫	作品等や造形活動の示し方及び具体例
		⑨ デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの扱い及び具体例

【美術】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①〔共通事項〕の指導を充実させるための工夫
方法	造形的な視点の示し方及び具体例

	造形的な視点についての示し方	具体例
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターの吹き出しに、コメントを示している。 ○ アイデアスケッチの吹き出しに、表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品の「作者のことば」に、表現意図とともに示している。 	<p>第2・3学年 「語る彫刻」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターのコメント <ul style="list-style-type: none"> ・表情、姿勢、体つきなどに注目してみよう。 ○ 吹き出し <ul style="list-style-type: none"> ・11月の早朝、池のまわりで犬の散歩をしていたときでした。鳥が羽ばたく音にびっくりして池を見たら、魚を食べていました。きれいな色の鳥で、調べたらカワセミという鳥でした。 ・鳥が羽を広げている様子や、魚を見つけた瞬間の水面の様子を表したいと思いました。 ・カワセミがくちばしを川に突っ込んだ瞬間に、そのまわりに水しぶきが上がるのを強調したいな。 ・何色もの色を重ねることで、水の動きが表せそうだな。 ○ 生徒作品・作者の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・雨が降った後の様子を再現しました。道路の汚れた感じが出るようにいろいろな色を使って塗りました。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 鑑賞と表現の活動のはじめや「POINT」に示している。 ○ スケッチや写真の吹き出しに、表現意図とともに示している。 ○ 生徒作品の「作者の言葉」に、表現意図とともに示している。 	<p>第2・3学年 「躍動感を捉える」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「鑑賞」 <ul style="list-style-type: none"> ・動きを捉えた作品を鑑賞して、躍動感を表すための工夫について考えてみよう。 ○ 「表現」 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の生き生きとした動きを捉えて、作品に表そう。 ○ 「POINT」 <ul style="list-style-type: none"> ・この一瞬の動きを表すために、どのような工夫がされているだろう。 ○ 動きを捉える <ul style="list-style-type: none"> ・テニス部の後輩がボールを打つ瞬間が、カッコいい。いろいろな角度からスケッチしてみよう。 ○ 形をつくる <ul style="list-style-type: none"> ・体の重心を意識しながら粘土を付けていこう。 ○ 生徒作品・作者の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・競技かるたの公式戦に挑む、将来の自分を想像してつくりました。揺れる髪や衣服で、勢いよく札を取った瞬間のスピード感を表現しました。

【美術】

	造形的な視点についての示し方	具体例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品や写真の吹き出しに、「造形的な視点」を示している。 ○ 生徒作品の「作者の言葉」に、表現意図とともに示している。 ○ 「鑑賞の入り口」に、問いで示している。 ○ 主文の中で、造形的な視点を基に思考することを促す文を示している。 	<p>第2・3学年 上 「しぐさで語る動物たち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「造形的な視点」 <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩の特徴、表情やしぐさに着目して効果を考えよう。 ○ 生徒作品・作者の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・背中を黒色だけでなく、青色や灰色を加えることでより本物らしくしました。 ○ 「鑑賞の入り口」 <ul style="list-style-type: none"> ・その動物らしさはどこから感じるのだろうか。 ○ あなたは動物のどんな姿に興味がありますか。迫力のある動きや可愛らしいしぐさなど、その生き生きとした姿は、私たちにさまざまなイメージをもたらしてくれます。 <ul style="list-style-type: none"> 体の形や色彩、さりげない動き、何かを語りかけてくるような表情など、その動物らしさが伝わるのは、どのような瞬間でしょうか。それぞれの姿から作品のイメージを広げ、材料にも工夫して立体で表しましょう

(注) [共通事項] とは、「A表現」及び「B鑑賞」の学習において共通に必要な資質・能力であり、造形的な視点を豊かにするために必要な知識に関する項目である。表現及び鑑賞の活動を通して、形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果を理解したり、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解したりする中で、造形的な視点を豊かにし、表現及び鑑賞に関する資質・能力を高めることをねらいとしている。

【美術】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫
方法	形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載及び具体例

	学年	形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する記載	具体例
開隆堂	1	○ 巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 文字のデザイン ○ 著作権を知ろう ○ 発想・構想のヒント ○ 鑑賞ってなんだろう ○ 美術館へ行こう ○ 色彩と光 ○ 用具を知って使ってみよう
	2・3	○ 巻末に「学びの資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 展覧会をつくる ○ 奥行き表現 ○ 美術史の扉 ○ 量感表現 ○ 余白の美 ○ 紙の表現 ○ これってどう撮るの ○ 共に学ぶ美術 ○ 持続可能な未来へ ○ 世界遺産と美術 ○ 日本の伝統色 ○ 美術と私と社会
光村	1	○ 巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 美術館を楽しもう ○ 芸術祭へ行こう ○ 美術鑑賞を楽しむ手がかり
	1・2・3 共通	○ 別冊「美術1資料」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ どうやって描く？ ○ 鉛筆で描く ○ 水彩絵の具で描く ○ アクリル絵の具で描く ○ ささまざまな描き方 ○ 版画で表す ○ 文字をデザインする ○ 端末を活用する ○ どんな材料でつくる？ ○ 紙でつくる ○ 粘土でつくる ○ 木でつくる ○ 金属でつくる ○ 石でつくる ○ 写真を撮影する ○ 映像を制作する ○ 発想・構想のために ○ 自然の中の形・色・光 ○ 色の世界に出会う ○ 色の特徴 ○ 色の効果と配色 ○ 日本と世界の伝統色図鑑
	2・3	○ 巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 学習を支える資料一覧 ○ 仏像について知ろう ○ 美術史年表 ○ 日本の伝統工芸 ○ 北と南の民族衣装

【美術】

	学年	形や色彩、材料や用具の 取扱い等に関する記載	具体例
日 文	1	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 火焰型土器 ○ 発想・構想の手立て① ○ 発想・構想の手立て② ○ どんなふうを描きたい？ ○ さまざまな技法で描く ○ 木版画 ○ 水墨画の表現 ○ 文字の基本 ○ 木でつくる ○ 粘土でつくる ○ 色彩の基本・仕組み ○ 美術館へ行こう
	2・3 上	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ 岡本太郎“芸術はみんなのもの” ○ 暮らしに息づくパブリックアート ○ 立体を描く ○ 遠近感を表す ○ 人物をつくる ○ 北斎の大波 ○ 金属でつくる ○ 日本美術と世界の美術の歩み ○ 日本の伝統色 ○ 色彩の特徴を深く知る ○ 写真で表現する
	2・3 下	○ 巻末に「学びを支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載している。	○ さまざまなアートに触れよう ○ 動画で表現する ○ 絵巻物の世界 ○ 仏像の種類 ○ 美術文化の継承 ○ 日本の世界文化遺産 ○ 受け継ぐ伝統と文化 ○ 世界の工芸品と色彩

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③表現と鑑賞の関連を図った学習活動の工夫
方法	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方及び具体例

	表現と鑑賞の関連を図った学習活動の示し方	具体例
開隆堂	○ 第1学年の「この教科書で美術を学習するみなさんへ」において、キャラクターの吹き出しで、表現と鑑賞のつながりを示している。	第1学年「教科書の使い方」 ・描いたりつくったりするだけじゃないだね。
	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 「知識・技能」「発想・構想」「鑑賞」を表記し、相互に関連した学習の流れを示している。	第1学年「生き生きとした姿を表す」 ○ 作者のことば ・広島県の宮島で、おぼつかない足取りであるいている子鹿に出会い、この子の生命感を連れて帰りたいと思い、アトリエに帰って制作しました。 ・座りながら物思いにふけている姿を表しました。 ・いろいろなポーズをした人体をつくって、校庭で友達と組み合わせました。 ・一瞬の動きの中のエネルギーを感じてもらうために色も工夫し、さらに躍動感を出すためにクリアファイルを切って目に見えないパワーを表しました。 ○ ①「鑑賞」 動きや対象の特徴に注目して鑑賞し、見方や感じ方を広げよう ②「発想・構想」 針金で人の動きを工夫しながら構想を広げよう ③「知識・技能」 さまざまな材料の特徴を理解して、表し方を工夫しよう 第2・3学年「イメージを形にして」 ○ 作者のことば ・私は鏡に映ったもう一人の私を見ることができます。では、鏡の向こうの私は誰を見ているのでしょうか。鏡の前の私と鏡の向こうの私は、箱立に入れ替わり、見つめ合います。 この作品は、中央にわずかなすき間を開けて並ぶ一対の直方体の木材から彫り出しています。 中央のすき間を鏡に見立て、左右交互にチェーンソーで彫り進めました。 彫り進めていくうちに現れた無数の凹凸や穴は、鏡に映った私であり、鏡に映った私も私自身を見つめ返してきます。作品を見返すことで私自身を見つめ、作品も私を見返してくるのです。 ・不安やプレッシャーに押しつぶされそうなときに、友達や先生に助けてもらって、心が落ち着いた時の気持ちを表しました。 ・黄色は自分の努力が報われたり、目標を達成したりしたときの気持ちで、まわりにへばりついているものはうまくいなくて諦めそうになったときの気持ちです。今までがんばってきたことは必ずどこかでつながっていることを表しました。 ○ 「鑑賞」 抽象的な形で表した作品を鑑賞しよう 「発想・構想」 自分の表現したいイメージを考えて発想しよう 「知識・技能」 自分の表現したいイメージをもとに材料や表現方法を工夫しよう 「鑑賞」 パブリック・アートやインスタレーションの作品を鑑賞しよう

【美術】

	表現と鑑賞の関連を図った 学習活動の示し方	具体例
光 村	○ 第1学年の「教科書を活用しよう」において、矢印で表現と鑑賞の学習活動のつながりを示している。	第1学年「教科書を活用しよう」 「鑑賞」 ・題材の始めに鑑賞の問いかけを示している。問いを手がかりに作品をよく見てみよう。 ↓ 「表現（発想・構想）」 ・発想を広げ、構想を練るための手立てを示している。
	○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。 ○ 「表現」と「鑑賞」のアイコンを表記し、相互に関連した学習の流れを示している。	第1学年「材料に命を吹き込む」 ○ 作者の言葉 ・どんな動物も顔からつくり始めます。顔ができると表情が生まれ、性別や性格が感じられるような気がして、その顔に合わせて材料を選び、体の動きや形、色を考えていきます。 ・学校の周辺で見つけた材料でつくりました。リスがどんぐりをくわえている感じが出るように工夫しました。 ・先の割れた流木が亀の頭のように見えたので、亀の形をつくりました。歌っているような口がポイントです。 ・幸運をもたらす器の鳥です。材料には金属を使って、統一感を出しました。羽をきれいに神秘的に見せるために、形や色を工夫しました。 ○ ①「鑑賞」 ・材料の特徴をどのように生かしているだろう。それぞれの作品の工夫を見つけてみよう。 ②「表現（発想・構想）」 ・材料の特徴を生かし、組み合わせて作品をつくろう。 第2・3学年「空想の世界へようこそ」 ○ 作者の言葉 ・2001年9月11日にアメリカで起こった同時多発テロ事件の翌年の作品です。ニューヨークの街は美しく、劇場やレストランはにぎわっているけれど、人々は精神的に何か怯えているような印象を受けてこの絵を描きました。 ・世界から感染症が消えてみんなが楽しく生活する風景を、私の好きなフクロウに重ねて描きました。 ・大人になると失われてしまう純粋でファンタジーな心を、人一倍大事にしてきたのに、中学校に入ってからそれが少しずつ失われてきました。下の女の子は、そのかすかな変化に悲しみ絶望しながら、ココロの声を糸電話を通じて聞いています。 ○ 「鑑賞」 ・これらの作品を、作者の思いを想像しながら鑑賞してみよう 「表現（発想・構想）」 ・自分の好きなもの、身近なものから想像を膨らませ、空想の世界を表そう

【美術】

	表現と鑑賞の関連を図った 学習活動の示し方	具体例
日 文	<p>○ 第1学年の「ようこそ美術の学びへ」において、表現と鑑賞を関連させた学習の流れの例を示している。</p>	<p>第1学年「表現と鑑賞を組み合わせる学びを深めよう」</p> <p>○ 「鑑賞」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考える その人らしさや心情はどこから感じられるのだろうか。 「表現」 ・生かす 描きたい人のその人らしさやイメージを表そう 「鑑賞」 ・確かめる 完成作品からお互いの工夫を読み取る
	<p>○ 作家や生徒作品及び作者の言葉を掲載することで、様々な材料の特徴を生かした表現の工夫を知り、それらを活用した表現活動へ展開できるようにしている。</p> <p>○ 題材名の下に＜鑑賞の入り口＞を示している。</p>	<p>第1学年「材料に命を吹き込む」</p> <p>○ 作者の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き缶を見た時に、何かの殻っぽいと思ひひらめきました。 ・私の作品を見てくださった方が、身の回りから材料を探して送ってくれることがあります。自分では選ばない材料は、新たな発想を広げてくれます。作品を通じて人とのつながりも感じます。 ・電話ケーブルを羊毛のように、受話器を足のように使用できることに気づいた時にテレフォンシーブは完成したのです。 <p>○ ＜鑑賞の入り口＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料の特徴が、生き物にどのように生かされているだろうか。 <p>第2・3学年 上「イメージを形にすると」</p> <p>○ 作者の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活がどんどん大変になっていく様子を表現しました。高校はわからないので粘土はつけていません。 ・人それぞれが全く違う感情や個性を持っていることを、たくさん色で表しました。ひも状の羊毛一つ一つが他のものことからみ合っているのは、人と人が複雑につながり合っていることを表現しています。 ・ダンスの発表会で、みんなで思いっきり踊れた楽しい気持ちを明るい色で表現しました。 <p>○ ＜鑑賞の入り口＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の感覚やイメージが、どのように表現されているだろうか。 <p>第2・3学年 下「空想の中の不思議な世界」</p> <p>○ 作者の言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雨のどんよりとした空気の中で筆を一気に動かすと、そこが光輝く花畑となります。嫌なことがあっても工夫することで、楽しい美しい世界に変わるという思いを表現しました。 ・授業中の「甘いパンが食べたい」という気持ちと「寝たい」という気持ちを表しました。アップルパイを本物っぽくするために、粘土を編んでつくりました。 ・「外国のすてきな家に住みたい」という幼少期のころの夢を想像しながら描きました。時々よみがえる無邪気な思い出たちも忘れたくないという願いも込めました。 <p>○ ＜鑑賞の入り口＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品の不思議な印象は、どこからもたらされているのだろうか。

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫
方法	発想・構想、鑑賞の場面における言語活動の示し方及び具体例

言語活動の示し方及び具体例		
開 隆 堂	発 想 ・ 構 想 の 場 面	<p>第1学年 巻末資料「学びの資料」</p> <p>○ 「発想・構想のヒント」のページを設け、デザイナーが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。</p> <p>「制作するときの手掛かりにしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「観察する」「話し合う」「調べる」「試す」「考えを整理する」 <p>第2・3学年「生活を楽しく心地よく」</p> <p>○ 発想・構想に向けて、ワークシートやアイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉を示している。</p> <p>「ワークシート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人の特徴や趣味から思いつくことを書き出そう。 ・スケッチをして部屋の雰囲気を具体的に考えよう。 <p>「作者のことば」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住む人の特徴に合わせて暖かくて柔らかい雰囲気にしました。 ・本がたくさんある部屋にあこがれて階段や机などの形にこだわりました。本の日焼けを防ぐために窓はなくし、どこにどんな本があると手に取りやすいかを考えながらデザインしました。 ・宇宙で暮らす人のための部屋を考えました。いつでも外に出られるように宇宙服を置き、窓から地球や星が良く見えるようにデザインしました。
	鑑 賞 の 場 面	<p>第1学年 巻末資料「鑑賞ってなんだろう」</p> <p>○ 巻末に「鑑賞ってなんだろう」として、鑑賞活動の流れやポイント等について示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品と向き合おう ・自分なりの根拠をもって意味づけよう ・様々な視点から見よう ・見方や考え方はたくさんある だから伝え合おう <p>第2・3学年「目にとまる 心にとまる」</p> <p>○ キャラクターの吹き出しに、話し合いを促す記述を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの作品がどうして目や心にとまるのかを友達と話し合ってみよう。

言語活動の示し方及び具体例	
光 村	発想・構想の場面
	<p>美術1 資料 つくってみよう見よう</p> <p>○ 「発想・構想のために」のページを設け、生徒が学習の中で発想・構想する方法を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広げる（マッピング、9マスの表） ・焦点化する（ピラミッドチャート） ・比べる（ベン図） ・多面的に見る（レーダーチャート） <hr/> <p>第2・3学年「地域の魅力を表すパッケージ」</p> <p>○ 発想・構想に向けて、アイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉を示している。</p> <p>「作者の言葉」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪城は桜で有名ですが、夏、秋、冬もそれぞれ魅力があることを伝えるため、箱の側面を使って四季を表しました。 ・誰でも手に取りやすいようにシンプルにしました。外国から来た観光客向けに、商品名は英語でも表記し、上面には、はんこ風に「秋田県産枝豆」と描いてアクセントにしました。 ・タンチョウが集まる釧路湿原の緑と、夕日の輝きをイメージして色を決めました。タンチョウらしさを表しつつ、持ちやすい形にするために、羽の部分を工夫しました。
	鑑賞の場面
	<p>第1学年 巻末資料「美術鑑賞を楽しむ手がかり」</p> <p>○ 巻末資料に、鑑賞活動の流れやポイント等について示している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①じっくり見る ②自分なりに考える ③調べる ④まとめる <p>○ 国語科とのつながりとして、「美術鑑賞を広げる言葉」を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[印象を表す言葉] [気持ちを表す言葉] [美術でよく使われる言葉] <hr/> <p>第2・3学年 「形や材料で比べる」</p> <p>○ 題材名の下は、話し合いを促す記述を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や材料、大きさ、重さなどに着目して、誰がどんな場面で使うカップなのか話し合ってみよう。

言語活動の示し方及び具体例	
日 文	発想・構想の場面
	<p>第1学年 巻末資料「学びを支える資料」</p> <p>○ 「発想・構想の手立て」のページを設け、アーティストが創作活動をする際の具体的な言語活動や、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「発想・構想の手立て①」アーティストはどうやって作品をつくるんだろう？ 「きっかけを探す」「発想する」「構想する」 ・「発想・構想の手立て②」みんなはどうやって作品をつくる？ 「鑑賞する～発想のきっかけをさがそう～」 「発想する～イメージをとらえて広げよう～」 「構想する～どうつくるか考えよう～」 「制作する～考えを形にしよう～」 「発表・展示する」 <hr/> <p>第2・3学年 下「魅力を伝えるパッケージ」</p> <p>○ 発想・構想に向けて、「表現のヒント」、アイデアスケッチ、生徒作品や作者の言葉、「造形的な視点」を示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「表現のヒント」 ・パッケージを調べる ・企画書を作成する ・イメージや構想を発表し合う 「作者の言葉」 ・和菓子和洋菓子を同時に楽しめるお菓子をつくろうと思い、パッケージは和と洋の違いを対比させる色やデザインを考えて表現しました。 「造形的な視点」 ・受け取る人の気持ちを考えて形や色彩をイメージしよう。
	鑑賞の場面
	<p>第1学年「鑑賞との出会い」</p> <p>○ 巻頭に「オリエンテーション」として、鑑賞活動の対象やポイント等について示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象から感じ取った「美しいな」「いいな」という思いを大切に、感じたことを言葉にして、友だちと意見を交わしながら見方や感じ方を豊かに広げ、深めていきましょう。 ・友だちと作品について話してみよう。 <hr/> <p>第2・3学年 下「住み続けられる町づくり」</p> <p>○ 題材名の下の＜鑑賞の入り口＞に問いを示している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その場所から安らぎや快適さが感じられるのは、なぜだろうか。

【美術】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤興味・関心を高めるための工夫
方法	表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫及び具体例

	学年		興味・関心を高めるための工夫	具体例
開隆堂	1	表現	○ 生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真や吹き出しで示したり、生徒作品と作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。	「スケッチブックから広がる」 ○ 吹き出し ・描いたスケッチブックを見返すと、その時のことを思い出したり、新しい発見をしたりすることができるね。 ○ 「作者のことば」 ・思い出の場所や、愛着のあるものなどのスケッチを集めたマイ・スケッチブックをつくって、みんなで見せ合いました。 ・ランドセルを開閉させたり、見る角度や方向を変えたりすることで、印象が変わることに注目しながら描きました。 ・家で一緒に暮らしている猫の姿を描くことを毎日の習慣にしています。 ・ガードレールの外に見える空の色がとてもきれいだったので、絵の具を混ぜて空の色をつくり、スケッチに残しました。
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を拡大したり、原寸大の図版で示したりしている。	・「ナポリの漁師の少年」 ジャン＝バティスト・カルポー ・「いのちの木」 富田菜摘 ・「風神雷神図屏風」 俵屋宗達 ・「樹花鳥獣図屏風」 伊藤若冲 (原寸大) ・「ラグビー日本代表ユニフォーム」 ・「トンボの精」 ルネ・ラリック (原寸大) ・「十二の鷹」 鈴木長吉 (原寸大) ・「白磁籠目菊花貼付壺」 (原寸大)
	2・3	表現	○ 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。	「ひと目で伝える表示」 ○ 吹き出し ・この曲がり角で、友達とぶつかりそうになることがあるんだ。 ・再現した様子を写真に撮って参考にしよう。 ○ 「作者のことば」 ・一人一人が自然環境を大切に思い、守ろうとしてほしいという願いを込めてデザインしました。シャボン玉のようなものに葉が入っているイメージで、自然のはかなさを表しました。 ・災害が起こった際には中学校が避難所になります。避難所運営のための訓練に参加した私たちは、実際の避難所ではどのような役割が必要となるのか、どのように役割を示したら分かりやすいのかを考えながらピクトグラムをデザインしました。
	2・3	鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を拡大したり原寸大の図版で示したりしている。	・展覧会の様子「荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋」 荒木飛呂彦 ・「燕子花図屏風」 尾形光琳 ・「興亡史」 池田学 (原寸大) ・「松林図屏風」 長谷川等伯 ・「ムーラン・ド・ラ・ギャレットの舞踏会」 オーギュスト・ルノワール ・「アルジャントウイユの橋」 クロード・モネ (原寸大) ・「赤い浮標」 ポール・シニャック (原寸大) ・「鳥獣人物戯画」 (原寸大) ・「最後の晚餐」 レオナルド・ダ・ヴィンチ ・「ピエタ」 ミケランジェロ・ブオナローティ ・「モナ・リザ」 レオナルド・ダ・ヴィンチ (原寸大) ・「双影体Ⅱ」 戸谷茂雄 ・「立体曼荼羅」 ・モザイクタイル ・「螺鈿紫檀五絃琵琶」 (原寸大) ・東京スカイツリー内のエレベーターにある江戸切子を使った装飾 ・加賀友禅 ・美術史の扉 ・「誕生」 池田学 ・「手をたずさえる船」 イリヤ&エミリア・カバコフ

【美術】

	学年		興味・関心を高めるための工夫	具体例
光 村	1	表現	○ 生徒の作品を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真で示したり、吹き出しや作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。	「見つめ、感じ取り、描く」 ○ 吹き出し ・小学校の入学式で履いた靴。うれしかったことを思い出して描こう。 ○ 作者の言葉 ・実際は黒いエナメル靴ですが、入学式に集まってくれた祖父母や両親の笑顔を思い出しながら、温かみのある色で描きました。 ・メダルの立体感や色合いを表現するのが難しかったけれど、何度も実物を観察して、影の部分と光っている部分を表しました。 ・春の暖かさを表すため、淡い色を塗り重ねました。花の一つ一つがはっきり見えるように、細かいところまで描きました。
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部を原寸大の図版で示している。	・「ムーラン・ド・ラ・ギャレット」オーギュスト・ルノワール ・「風神・雷神像」 ・「風神雷神図屏風」 ・「火焰型土器 No. 1」 ・「クオ・ヴァディス」北脇昇
	2・3	表現	○ 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、生徒の活動の様子を写真や吹き出し等で示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。	「わかりやすく情報を伝える」 校内に掲示するピクトグラム ○ 吹き出し ・廊下の曲がり角での衝突が多いな。危険であることを伝えるために、ぶつかる瞬間を表してみよう。 ○ 作者の言葉 ・ひと目で危険であることが伝わるよう、注意を引く黄色と黒を用いて制作した。衝突の起こりやすい曲がり角に掲示した。
2・3	鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、紙質とページの大きさを変えたりして示している。	・「バルナツソスへ」パウル・クレー（原寸大） ・「最後の晚餐」レオナルド・ダ・ヴィンチ ・「明日の神話」岡本太郎 ・「日本の絵画を楽しむ 五つのキーワード」 ・「鳥獣人物戯画」（原寸大） ・「松林図屏風」長谷川等伯「燕子花図屏風」尾形光琳 ・「富嶽三十六景」葛飾北斎（原寸大） ・「星月夜」フィンセント・ファン・ゴッホ ・「ゲルニカ」パブロ・ピカソ ・「阿修羅像」（原寸大）	

【美術】

	学年		興味・関心を高めるための工夫	具体例
日 文	1	表現	○ 作家や生徒の作品を掲載するとともに、表現のヒントや生徒の活動の様子を写真で示したり、作者の言葉で主題や表現の意図を示したりしている。	「見つめて、感じて、描いて」 ○ 「表現のヒント」 ・観察の仕方をくふうしてみよう ○ 「作者の言葉」 ・光のあたり具合で変化する葉の色みを、いろいろな色を使って表しました。 ・いつも使っているホチキスの形が独特だと思ったので、描いてみました。 ・つやつやとおいしそうなきくらんぼを描いてみました。張りのある線で実の丸さを表し、色は光が透けるようなイメージで描いています。 ・金属のきらきら光っているところに魅力を感じたので、それが見た人に伝わるように表現しました。
		鑑賞	○ 作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載したり、折って立てられるようにしたり、作品の一部を原寸大の図版で示したりしている。	・「グランド・ジャット島の日曜日の午後」 ジョルジュ・スーラ (原寸大) ・「風神雷神図屏風」 俵屋宗達 ・「唐獅子図屏風」 狩野永徳 ・「ラスコー洞窟壁画」 ・「火焰型土器」 (原寸大)
	2・3 上・下	表現	○ 生活や社会にある美術に関する写真を掲載するとともに、表現のヒントを示したり、生徒作品と作者の言葉を示したりしている。	「ひと目で伝わるみんなのデザイン」 ○ 「表現のヒント」 ・行為から発想してみよう ○ 「作者の言葉」 ・美術室の場所がみんなに分かるようなものを考えて、3色のパレットと絵筆を描きました。
		鑑賞	○ 作品全体を折り曲げの大型図版で掲載し、作品の全体を原寸大の図版で示している。	・「神奈川沖浪裏」 葛飾北斎 (原寸大) ・「三世大谷鬼次の奴江戸兵衛」 東洲斎写楽 ・「ポッピンを吹く娘」 喜多川歌麿 ・「Shadows travelling on the sea of the day」 オラファー・エリアソン ・「誕生」 池田学 (原寸大) ・「ゲルニカ」 パブロ・ピカソ ・「鳥獣人物戯画」

【美術】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるための工夫
方法	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例

	学年	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
開隆堂	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活の中の美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 「デザインや工芸など」のはじめに、特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 ○ SDGs に関する造形的な取組や作品を紹介するマークを設け、生活の中の美術の働きを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「廃材に命を吹き込む」 ・「静岡市プラモデル化計画ロゴマーク」 ・豊かな森を育成する ・「受け継がれていく文化財」
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活や社会とのつながりや美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ SDGs に関する造形的な取組や作品を紹介するマークを設け、生活や社会の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・受け継がれる伝統の技法 ・気候変動を食い止める手 ・言語の壁を超える絵文字 ・おいしさと安全をすべての人に ・みんなの活動を作品へ ・鉄塔の骨組みを生かして ・木のぬくもりを感じるスタジアム ・竹害を竹財に ・捨てずに資源として再利用する ・持続可能な未来へ
光村	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活の中の美術の働きについて考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 「デザインや工芸など」のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインや工芸の世界」 ○ SDGs の 17 の目標との関連を示すマークを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 12 「材料に命を吹き込む」 ・SDGs 11 「印象に残るロゴマーク」 ・SDGs 15 「木と親しむ暮らし」
	2・3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 「デザインや工芸など」のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしの中のデザイン・工芸」 ○ オリエンテーション「私たちに問かける美術」において、SDGs のアイコンと共に作品等の写真を掲載している。 ○ SDGs の 17 の目標との関連を示すマークを設け、生活や社会の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 11、13 「環境と共に生きる彫刻」 ・SDGs 16 「「ゲルニカ」を鑑賞しよう」 ・SDGs 4、5、6、7、10、13、14、16 「メッセージを伝える」 ・SDGs 10、11 「分かりやすく情報を伝える」 ・SDGs 3、11 「防災のデザイン」 ・SDGs 8 「地域の魅力を表すパッケージ」 ・SDGs 3、8、9、11 「憩いの場をつくる」

【美術】

	学年	生活や社会の中の美術の働きを示す具体例
日 文	1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活の中の美術について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ デザインや工芸等の題材のはじめに特設ページを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「デザインや工芸との出会い」 ○ 内容と関連するSDGsのゴールを示すマークを設け、生活の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・14海の豊かさを守ろう、15陸の豊かさも守ろう「材料に命を吹き込む」
	2・3 上 2・3 下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の題材に、生活や社会とのつながりや美術の役割について考えるきっかけとなる写真等を掲載している。 ○ 内容と関連するSDGsのゴールを示すマークを設け、生活や社会の中の美術との関わりを具体的に示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・16平和と公正をすべての人に「その1枚が心を動かす」 ・3すべての人に健康と福祉を「使う人の立場で考える」 ・8働きがいも経済成長も、11住み続けられるまちづくりを「デザインの力でできること」 ・12つくる責任 つかう責任「魅力を伝えるパッケージ」 ・8働きがいも経済成長も、14海の豊かさを守ろう、15陸の豊かさも守ろう「デザインで地域を豊かに」 ・11住み続けられるまちづくりを、15陸の豊かさも守ろう「住み続けられるまちづくり」

【美術】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦題材の配列
方法	題材数及び構成・配列

	学年	題材数				題材数 合計	構成・配列
		絵や彫刻など		デザインや工芸 など			
		表現及 び鑑賞	鑑賞	表現及 び鑑賞	鑑賞		
開 隆 堂	1	5	1	4	1	11	○ 題材等を分野等に分けて 配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学びの資料」
	2・3	8	5	7	2	22	
光 村	1	8	3	5	3	19	○ 題材等を分野等に分けて 配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」 ※美術1に別冊で「資料 つくってみよう 見てみ よう」
	2・3	7	7	5	5	24	
日 文	1	7	3	6	2	18	○ 題材等を分野等に分けて 配列している。 ・「絵や彫刻など」 ・「デザインや工芸など」 ・「学習を支える資料」
	2・3 上	6	3	7	1	17	
	2・3 下	5	4	5	1	15	

【美術】

観点	(才) 内容の表現・表記
視点	⑧作品等についての示し方の工夫
方法	作品等や造形活動の示し方及び具体例

作品等や造形活動の示し方及び具体例	
開 隆 堂	<p>第1学年「イメージを伝える形」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロゴタイプ ・シンボルマーク ・ロゴマーク ○ 作品とともに作者の言葉や表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・文字意味やイメージを伝える絵文字を考えよう ・身のまわりにあるロゴタイプの表現を楽しもう
光 村	<p>第1学年「印象に残るロゴマーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ロゴマーク ○ 作品と共に作者の言葉や表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたい内容からイメージを広げ、見る人の印象に残るロゴマークをつくろう。 ・これらは、美術館や博物館のロゴマークだ。それぞれ、何をもとにデザインされているのか、考えてみよう。
日 文	<p>第1学年「形や色で伝えるシンボルマーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 社会の中で使われているマークを取り上げ、表現意図とともに示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマーク ・ロゴマーク ○ 作品と共に作者の言葉や表現意図を示している。 ○ デザインと社会のつながりを示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分や身近なもののマークを考えよう。 ・伝えたいイメージは、マークにどのように生かされているだろうか。

【美術】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨デジタルコンテンツの活用
方法	デジタルコンテンツの扱い及び具体例

	デジタルコンテンツの扱い	具体例
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材の下の「CONTENTS」に二次元コードを示している。 ○ 巻末資料の一部に、二次元コードを示している。 	第1学年「木版画の面白さ」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「CONTENTS」 ・はじめに ・木版画の技法 ・生徒作品 ・鑑賞シート ・振り返りシート
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材において、題材名の横に二次元コードで示している。 ○ 美術1の表現の各題材において、見開きページ右上部に、別冊「美術1資料」の二次元コードの関連ページを示している。 ○ 美術2・3の表現の各題材において、見開きページ右上部に、巻末資料「学習を支える資料一覧」の二次元コードの関連ページを示している。 	第1学年「版の表現を味わう」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国の生徒作品を見てみよう。 ○ 「資料」p. 8～9「版画で表す」 ○ 「学習を支える資料一覧」 ・描く ・つくる ・色の世界 ・発想・構想
日文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材において、「学びのはじめに」に二次元コードを示している。 ○ 「表現のヒント」等に二次元コードを示している。 ○ 巻末資料「学習を支える資料」に、二次元コードを示している。 	第1学年「刷って楽しむ版画の世界」 <ul style="list-style-type: none"> ○ 学びのはじめに ○ 版表現の種類について ・資料を見よう ○ 木版画 ・技法を見よう

【保健体育】

保健体育

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい保健体育
4	大 日 本	中学校保健体育
50	大 修 館	最新 中学校保健体育
224	学 研	新・中学保健体育

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 単元の学習内容の示し方	単元の学習内容の示し方及び具体例
		② 知識及び技能の習得を図る工夫	基本的な知識及び技能を習得するための工夫及び具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫	思考を促すための発問や活動の設定及び具体例
		④ 自分の考えをまとめて表したり、理由を添えて伝えたりする学習活動の工夫	自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動や課題の設定及び具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定	学習の流れ及び具体例
		⑥ 興味・関心を高めるための工夫	単元内に掲載している資料の数及び具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元・題材や資料等の配列	各単元における項目の構成
		⑧ 発展的な学習に関する内容の工夫	発展的な学習の扱い、記載数及び記載単元
(オ)	内容の表現・表記	⑨ 学習内容に関するマーク等の活用	マーク等が示す内容
		⑩ デジタルコンテンツの活用	技能の習得につながるデジタルコンテンツ（動画）の設定及び具体例

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①単元の学習内容の示し方
方法	単元の学習内容の示し方及び具体例

	単元の学習内容の示し方	「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」における具体例
東書	○ 章扉で、「この章で学習すること」を示すとともに、「小学校で学習したこと」及び「高校で学習すること」を示している。	○ 2年 体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全なおこない方 「この章で学習すること」 体育編2章では、運動やスポーツを行うことによって、心身の発達や社会性を高める効果が期待できること、運動やスポーツの技術や戦術を学ぶための合理的な学習方法があること、また、運動やスポーツを行う際は、安全に留意する必要があることなどを学習します。 「高校で学習すること」 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害、スポーツの技術と技能及び変化、運動やスポーツの技能の上達過程
大日本	○ 章扉で、「この章で学習すること」を示すとともに、「小学校で学習したこと」「中学校で学習すること」及び「高校で学習すること」を示している。	○ 2年 体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全なおこない方 「この章で学習すること」 運動やスポーツが心身や社会性の発達におよぼす効果や学び方を学習し、自分の取り組みに活かそう 「中学校で学習すること」 ①運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果 ②運動やスポーツの学び方 ③安全な運動やスポーツの行い方 「高校で学習すること」 ・運動やスポーツの技能と体力およびスポーツによる障害 ・スポーツの技術と技能およびその変化 ・運動やスポーツの技能の上達過程 ・運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方 ・豊かなスポーツライフが広がる未来の社会
大修館	○ 章とびらで、「この章で学習すること」を示すとともに、「小学校で学習したこと」及び「高校で学習すること」を示している。	○ 2年 体育理論② 運動やスポーツの効果・学び方・安全 「小学校で学習したこと」 運動やスポーツの安全なおこない方を学び、体の動きを高める運動も実践しています。 「この章で学習すること」 運動やスポーツの体と心への効果を知り、安全で合理的な学習方法について学びます。 ①運動やスポーツの体と心への効果 ②運動やスポーツの学び方 ③運動やスポーツの安全なおこない方 「高校で学習すること」 運動やスポーツと体力の関連、技能の上達過程を理解するとともに、運動時の安全確保の方法について学びます。
学研	○ 章の扉で、その章の学習内容を示すとともに、「小学校で学習したこと」及び「高校で学習すること」を示している。	○ 2年 体育編2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 1 スポーツが心身と社会性に及ぼす効果 2 スポーツの学び方 3 スポーツの安全な行い方 「高校で学習すること」 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害、スポーツの技術と技能及びその変化、運動やスポーツの技能の上達過程、運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②知識及び技能の習得を図る工夫
方法	基本的な知識及び技能を習得するための工夫及び具体例

	基本的な知識及び技能の習得を習得するための工夫	「運動やスポーツへの多様な関わり方」における具体例
東書	○ 「見つける」として、日常経験や小学校で学習したことを基にした課題を提示し、「学習課題」において、本時の課題を設定している。	○ 1年 体育編1章 運動やスポーツの多様性 2 運動やスポーツへの多様な関わり方 「見つける」 右の写真は北海道マラソンの様子です。ここに写っているのはランナーだけではなく、どのような人が、どのように関わっているか、グループで意見を出し合ってみましょう。 「学習課題」 運動やスポーツには、どのような関わり方があるのでしょうか。
大日本	○ 「学習のねらい」として、学習を通して解決する課題を提示し、「つかもう」において、学習の導入を設定している。	○ 1年 体育編1章 運動やスポーツの多様性 2 運動やスポーツへの多様な関わり方 「学習のねらい」 ・運動やスポーツには多様な関わり方があることを理解する。 ・運動やスポーツとこれからどのように関わっていくかを考える。 「つかもう」 東京マラソンの参加者は約36,000人ですが、ボランティアの人数や沿道で応援する人の数はどのくらいいるのでしょうか。
大修館	○ 「課題をつかむ」として、これまでの経験や学習を基にした課題を提示し、「きょうの学習」において、本時の学習内容を設定している。	○ 1年 体育理論① 運動やスポーツの多様性 2 運動やスポーツへのかかわり方 「課題をつかむ」 東京マラソンには約3万8千人のランナーが参加します。では、ランナーを支えるボランティアは何人くらい参加していると思いますか。①～③の中から正しいと思う答えを選ぼう。 ▶ ①約3千人 ②約9千人 ③約3万8千人 「きょうの学習」 ①運動やスポーツには、どのようなかかわり方があるのでしょうか。 ②運動やスポーツにかかわることができるのは、特定の人だけでしょうか。
学研	○ 「ウォームアップ」として、事例や情報などの問いから課題を提示し、「学習の課題」で、1時間の学習を通して身に付けることや、考えたり、判断したりすることを提示している。	○ 1年 体育編1章 スポーツの多様性 2 スポーツへの多様な関わり方 「ウォームアップ」 小学校のときの運動会を思い出してみましょう。自分が競技に参加する以外に、どんな係活動がありましたか。 「学習の課題」 【わかる】スポーツへのかかわり方にはどんなものがあるのでしょうか。 【考える】これから、スポーツにどのように関わっていきたいか考えてみましょう。

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫
方法	思考を促すための発問や活動の設定及び具体例

	発問や活動の設定	「生殖に関わる機能の成熟」における具体例
東 書	○ 「㊦」として、思考するための発問を設定するとともに、「活用する」として、習得した知識及び技能を活用し、思考する活動を設定している。	○ 1年 保健編2章 心身の機能の発達と心の健康 4 性に関する適切な態度や行動の選択 「㊦」 中学生は性に関してどのようなことを知りたいと考えているのでしょうか。 「㊦」 私たちは性情報をどこで入手しているのでしょうか。 「活用する」 ここまでの学習を踏まえ、次の事例の背景や問題点を話し合ってみましょう。 ・Aさんは、コミュニティサイトで知り合った男性に求められ、自身の住所や画像を送ってしまった。
大 日 本	○ 「つかもう」として、学習の初めの発問を設定するとともに、「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」及び「活用して深めよう」として、学習したことを生かして思考する活動を設定している。	○ 1年 保健編2章 心身の発達と心の健康 4 思春期の心の変化への対応 「つかもう」 中学生になると、小学生の頃の自分と比べて、心にどのような変化が見られると思いますか。 「やってみよう」 資料1～4を参考に、異性との関わり方や性情報との向き合い方について、気をつけたいことを書き出してみよう。 「活用して深めよう」 あなたにとって、「中学生にふさわしい責任ある行動」とはどのようなことだと思うか、考えてみましょう。
大 修 館	○ 「課題をつかむ」として、気づきや思考を促す発問を設定している。	○ 1年 保健② 心身の発達と心の健康 5 性への関心と性情報への対処 「課題をつかむ」 右のAさんのつぶやきと、同じような経験をしたり聞いたりしたことがありますか。どうしてAさんはこのように感じたのか、想像してみよう。 Aさんのつぶやき 体育の前、教室で着替える男子は、チャイムが鳴るとすぐに制服を脱ぎ始めるんだよね。まだ私たち女子がいるのに着替えないでほしいなあ。
学 研	○ 「エクササイズ」として、学習した知識及び技能や資料などの情報を基に、思考したり、話し合ったりする活動を設定している。	○ 1年 保健編2章 心身の発達と心の健康 4 性とどう向き合うか 「エクササイズ」 次のようなことがなかったか、思い出してみましょう。 ・ 目に見えていることを、うのみにしてしまう。 ・ 一つの情報だけで、それが正しいとってしまう。

【保健体育】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④自分の考えをまとめて表したり、理由を添えて伝えたりする学習活動の工夫
方法	自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動や課題の設定及び具体例

	自分の考えを言葉や文章及び動作で表したり、理由を添えて伝えたりする活動や課題の設定	「生活習慣病などの予防」における具体例
東 書	○ 「広げる」として、学習したことを自分の生活にあてはめたり、調べたりする活動を設定している。	○ 2年 保健編4章 健康な生活と疾病の予防② 2 生活習慣病の予防 「広げる」 自分の日常生活を振り返り、生活習慣病を予防するために改善できることを考えてみましょう。
大 日 本	○ 章末に「学びを活かそう」として、その章で学習したことを生活に活かすための課題を設定している。	○ 2年 保健編3章 健康な生活と病気の予防 「学びを活かそう」 がんについて考えよう。 ①がんを早期発見するためにはどのようにすればよいでしょうか。 ②Aさんの不安に対処して生活の質を上げるためには、どのようなことが必要か、グループで話し合い、考えたことをまとめてみましょう。 ③がんについて学んだことを振り返り、これから大切にしていきたいことや家族や身近な人に伝えたいことを書いてみましょう。
大 修 館	○ 「章のまとめ」において、これまで学習したことをもとに、筋道を立てて説明する課題を設定している。	○ 2年 保健③ 健康な生活と病気の予防② 「章のまとめ」 思考・判断・表現 ②生活習慣病は、一度なってしまうたら治らないことが少なくないので、ならないことが何より重要です。では中学生はどうすればよいか、次の問いにそって考えをまとめよう。 ・中学生の私たちは、どうすればよいか。 ・なぜそうしなければならないか。
学 研	○ 1時間の最後に、「学びを生かす」として、身に付けた知識及び技能を活用する課題や活動を設定している。	○ 2年 保健編3章 健康な生活と病気の予防② 1 生活習慣病とその予防 「学びを生かす」 あなたの生活を振り返って、生活習慣病を予防するために、続けたほうがよい生活習慣と、改善したほうがよい生活習慣を、それぞれ二つずつ挙げてみましょう。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定
方法	学習の流れ及び具体例

	学習の流れ	「健康な生活と疾病の予防」における具体例
東 書	<ol style="list-style-type: none"> 1 「見つける」 日常生活や小学校で学習したことなどを基に、学習課題をつかみましょう。 2 「学習課題」 今日の学習課題を確認しましょう。 3 「課題の解決」 学習課題を受けて、課題解決に取り組みましょう。 4 「㊦」 資料などを基に、思考、判断、表現を大切にしながら、知識・技能を習得しましょう。 5 「活用する」 習得した知識・技能を活用して、より深く考えましょう。 6 「広げる」 学習したことを、自分の生活に当てはめたり、更に調べたりしてみましょう。 	<p>○ 3年 保健編6章 健康な生活と疾病の予防③ 2 感染症の予防</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「見つける」 <ul style="list-style-type: none"> ・学校でインフルエンザが流行しても、かかる人とかからない人がいますが、両者には、どのような違いがあるでしょうか。 2 「学習課題」 <ul style="list-style-type: none"> ・病原体の感染のリスクを軽減するためには、どのようなことに気をつけたらよいでしょうか。 3 「課題の解決」 <ul style="list-style-type: none"> ①感染症の予防対策の考え方 ②発生源をなくす対策 ③感染経路を断つ対策 ④体の抵抗力を高める対策 ⑤疾病からの回復 4 「㊦」 <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザの感染を防ぐために、自分で気をつけていることを挙げてみましょう。 5 「活用する」 <ul style="list-style-type: none"> ・次の事例で、セントルイスの市長が出した「緊急事態宣言」とは、どのようなものだったのでしょうか。その宣言が有効であった理由についても考えてみましょう。 6 「広げる」 <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことを基に、感染症を予防するために、自分たちの学校全体で取り組むべき対策を考えてみましょう。
大 日 本	<ol style="list-style-type: none"> 1 「学習のねらい」 この時間の学習を通して解決したい課題を押さえましょう。 2 「つかもう」 学習の初めに、身の回りのこと、自分や友達の経験など、身近な疑問から学習をスタートし、興味を持って学習に取り組みましょう。 3 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」 本文や資料を活用しながら、いろいろな学習活動に取り組み、課題を解決しましょう。 4 「活用して深めよう」 学習したことを活用しながら、学びをより深める課題に取り組んでみましょう。 	<p>○ 3年 保健編5章 健康な生活と病気の予防 2 感染症の予防</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「学習のねらい」 <ul style="list-style-type: none"> ・私たちの体を感染症から守っている仕組みについて理解する。 ・感染症に感染したり、感染させたりしないためにどのようにすればよいか考える。 2 「つかもう」 <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザウイルスに感染しないために日頃から実践していることを挙げてみましょう。 3 「話し合ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・資料1を参考に、感染症を予防するためにはどのようにすればよいか話し合ってみましょう。 4 「活用して深めよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ予防のために、私たちにできることをまとめてみましょう。

<p style="text-align: center;">大修館</p>	<p>1 つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「章とびら」 学習を始める前にその章で学ぶことを見通そう。 ・「課題をつかむ」 これまでの経験や学習を思い出しなが ら、問題を解いたり、意見を出しあ ったりしよう。 ・「きょうの学習」 きょうの授業で学ぶことを確認しよ う。 <p>2 身につける・考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本文」「資料①」 よく読んで、保健体育の知識を身に つけよう。関連する資料もよく見て理解 を深めよう。 ・「実習」 実際に体を動かしておこない方を身 につけよう。 ・「コラム」「事例」 本文に関連した読みもの資料を読ん で知識を広げよう。 ・「保健の窓」「体育の窓」 保健と体育を関連させて考えてみよ う。 <p>3 まとめる・振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」 学習したことをもとに考えを伝えたり、日常生活に活かしたりしてみよ う。 ・「章のまとめ」 学習したことを振り返って、日常生活 に生かすことを考えよう。 	<p>○ 3年 保健⑤ 健康な生活と病気の予防③</p> <p>3 感染症の予防</p> <p>1 つかむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「課題をつかむ」 新型コロナウイルス感染症の予防対策としてどの ようなことをしていたか振り返ってみよう。 ・「きょうの学習」 ①病原体を体に入れないためには、どのような対 策が必要でしょうか。 ②かかってしまった場合には、どうすればよいで しょうか。 <p>2 身につける・考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本文」 ①3つの対策で感染症のリスクを減らす ②感染症にかかった場合には適切に対処する ・「資料①」 感染症のリスクを減らす3つの対策 ・「資料②」 人が顔をさわる回数 ・「資料③」 3つの咳エチケット ・「コラム」 マスクはなぜつける？ <p>3 まとめる・振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学習のまとめ」 感染症のリスクを減らす①～⑤の具体的な行動を 「発生源をなくす」「感染経路を断つ」「体の抵抗力 を高める」の3つの対策に分類して番号をいれてみ よう。 ①こまめにうがい、手洗いをする ②適度な運動や じゅうぶんな休養をとる。 ③ふとんや洗濯物など の身のまわりの清潔（日光消毒）を心がける。 ④部 屋の換気を心がける。 ⑤予防接種をする。
<p style="text-align: center;">学 研</p>	<p>1 「ウォームアップ ▶ 課題の発見」 事例や情報などの問いから、この時間 で学習する課題を見つける。</p> <p>2 「学習の課題」 1時間の学習を通して身に付けるこ とや、考えたり、判断したりすることに ついて確認する。</p> <p>3 「本文と資料」 基礎・基本となる知識について、学習 する。</p> <p>4 「エクササイズ ▶ 課題の解決」 学習した知識や情報を基に、考えたり、 調べたり、話し合ったりする。</p> <p>5 「学びを生かす ▶ 学びの活用」 1時間のはじめに見つけた課題の解 決方法や、学習を通して理解したことを 活用し、まとめたり伝えたりする。</p>	<p>○ 3年 保健編5章 健康な生活と病気の予防③</p> <p>1 感染症とその予防</p> <p>1 「ウォームアップ ▶ 課題の発見」 インフルエンザが冬によく流行するのはなぜでしょ うか。考えられる原因を挙げてみましょう。</p> <p>2 「学習の課題」 【わかる】感染症はどのように起こり、どうすれば 予防できるのでしょうか。 【考える】学級閉鎖などを例にして、感染症予防の 対策と回復について考えてみましょう。</p> <p>3 「本文」 ①感染症 ②感染症の予防 ③感染症の治療と回復 「資料1」 感染と発病 「資料2」 感染症の例とその特徴 「資料3」 さまざまな感染症の病原体 「資料4」 新型インフルエンザウイルスのでき方 「資料5」 感染症を報じる新聞記事 「資料6」 偏見や差別をなくすために</p> <p>4 「エクササイズ ▶ 課題の解決」 インフルエンザの流行の対策として、手洗いが勧め られたり、学級閉鎖が行われたり、予防接種が行われ たりします。これらはなぜ、インフルエンザの予防に 有効なのでしょうか。</p> <p>5 「学びを生かす ▶ 学びの活用」 自分のクラスが学級閉鎖になったとします。症状の ないあなたは、どのように過ごすのがよいか考えてみ ましょう。また、なぜそう考えたか、意見を交流して みましょう。</p>

【保健体育】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥興味・関心を高めるための工夫
方法	単元内に掲載している資料の数及び具体例

	単元内に掲載している資料	学習内容	資料の数	「環境と健康」における具体例
東書	○ 「読み物」	体育	2	○ 3年 保健編5章 健康と環境 「読み物」 ・高山病 ・一酸化炭素中毒死 ・レジ袋の有料化 ・風評被害
		生活	6	
		心身	3	
		傷害	2	
		環境	4	
大日本	○ 「トピックス」	体育	8	○ 3年 保健編6章 健康と環境 「トピックス」 ・高地トレーニングの効果 ・冷房による体の不調 ・放射線の健康への影響 ・体内の水分量 ・災害時の情報の活用 ・食品の廃棄物
		生活	17	
		心身	10	
		傷害	8	
		環境	6	
大修館	○ 「コラム」「事例」「保健の窓」「体育の窓」	体育	9	○ 3年 保健⑥ 環境の健康への影響 「コラム」 ・気象情報が提供されるまで ・熱中症のリスクを調べよう ・ブルーライトに注意 ・空気汚染のいまとむかし ・日本で最初に敷かれた水道 ・復活した多摩川のアユ ・SNS情報の正確性を判断できるかな？
		生活	14	
		心身	9	
		傷害	7	
		環境	7	
学研	○ 「コラム」	体育	8	○ 3年 保健編6章 健康と環境 「コラム」 ・二酸化炭素が判断力を鈍らせる?! ・地球の水資源 ・現存する日本最古の下水道 ・災害時のトイレと健康 ・化学物質と健康
		生活	8	
		心身	2	
		傷害	6	
		環境	5	

【保健体育】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元・題材や資料等の配列
方法	各単元における項目の構成

	第1学年	第2学年	第3学年
東 書	<p>保健編1章 健康な生活と疾病の予防①</p> <ol style="list-style-type: none"> 健康の成り立ちと疾病の発生要因 運動と健康 食生活と健康 休養・睡眠と健康 調和のとれた生活 <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p> <p>保健編2章 心身の機能の発達と心の健康</p> <ol style="list-style-type: none"> 体の発育・発達 呼吸器・循環器の発育・発達 生殖機能の成熟 性に関する適切な態度や行動の選択 心の発達 自己形成と心の健康 心と体の関わり 欲求と心の健康 ストレスによる健康への影響 ストレスへの対処の方法 <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p> <p>体育編1章 運動やスポーツの多様性</p> <ol style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの必要性和楽しさ 運動やスポーツへの多様な関わり方 運動やスポーツの多様な楽しみ方 <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p>	<p>保健編3章 傷害の防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 傷害の発生要因 交通事故の発生要因 交通事故の危険予測と回避 犯罪被害の防止 自然災害による危険 自然災害による傷害の防止 共に生きる(発展) 応急手当の意義と方法 心肺蘇生法 <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p> <p>保健編4章 健康な生活と疾病の予防②</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活習慣病の起こり方 生活習慣病の予防 がんの予防 喫煙の害と健康 飲酒の害と健康 薬物乱用の害と健康 薬物乱用の社会的な影響 喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処 <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p> <p>体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</p> <ol style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの効果 運動やスポーツの学び方 運動やスポーツの安全な行い方 <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p>	<p>保健編5章 健康と環境</p> <ol style="list-style-type: none"> 環境への適応能力 活動に適する環境 熱中症の予防と手当(発展) 飲料水の衛生的管理 室内の空気の衛生的管理 生活に伴う廃棄物の衛生的管理 放射線と健康(発展) <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p> <p>保健編6章 健康な生活と疾病の予防③</p> <ol style="list-style-type: none"> 感染症の広がり方 感染症の予防 性感染症の予防 エイズの予防 医薬品の利用 保健・医療機関の利用 健康を守る社会の取り組み 保健の学習を振り返ろう <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p> <p>体育編3章 文化としてのスポーツの意義</p> <ol style="list-style-type: none"> 現代社会におけるスポーツの文化的意義 国際的なスポーツ大会の役割 人々を結び付けるスポーツ <p>■ 章末資料 ■ 学習のまとめ</p>

<p style="text-align: center;">大 日 本</p>	<p>体育編1章 運動やスポーツの多様性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ 2 運動やスポーツへの多様な関わり方 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方 <p>章末資料 学びを活かそう 学習のまとめ</p> <p>保健編1章 健康な生活と病気の予防</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食生活と健康 4 休養・睡眠と健康 5 調和のとれた生活 <p>章末資料 学びを活かそう 学習のまとめ</p> <p>保健編2章 心身の発達と心の健康</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体の発育・発達 2 呼吸器官・循環器官の発育・発達 3 生命を生み出す体への成熟 4 思春期の心の変化への対応 5 考える心・感動する心の発達 6 人との関わりと自分らしさ 7 欲求への対処 8 ストレスへの対処 9 心と体の関わり <p>章末資料 学びを活かそう 学習のまとめ</p>	<p>体育編2章 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツが心身や社会性におよぼす効果 2 運動やスポーツの学び方 3 安全な運動やスポーツの行い方 <p>章末資料 学びを活かそう 学習のまとめ</p> <p>保健編3章 健康な生活と病気の予防</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病の予防 2 がんの予防 3 喫煙と健康 4 飲酒と健康 5 薬物乱用と健康 6 喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ <p>章末資料 学びを活かそう 学習のまとめ</p> <p>保健編4章 傷害の防止</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 傷害の発生要因と防止 2 交通事故の要因と傷害の防止 3 犯罪被害の防止 4 自然災害による傷害の防止 <p>資料 自然災害の脅威</p> <ol style="list-style-type: none"> 5 応急手当の基本 6 心肺蘇生法 7 出血があるときの応急手当 8 外傷の応急手当 <p>章末資料 学びを活かそう 学習のまとめ</p>	<p>体育編3章 文化としてのスポーツの意義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツの文化的意義 2 国際的なスポーツ大会の文化的な役割 <p>資料 オリンピック・パラリンピックについて知ろう！</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 人々を結びつけるスポーツ <p>学びを活かそう 学習のまとめ</p> <p>保健編5章 健康な生活と病気の予防</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染症の原因 2 感染症の予防 3 性感染症の予防 4 エイズの予防 5 個人の健康を守る社会の取り組み 6 医薬品の有効利用 <p>章末資料 学びを活かそう 学習のまとめ</p> <p>保健編6章 健康と環境</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環境への適応能力 2 快適な環境の条件 3 空気の汚れと換気 4 水の役割と飲料水の条件 5 生活にともなう廃棄物の処理 6 環境問題への取り組み <p>章末資料 学びを活かそう 学習のまとめ</p>
<p style="text-align: center;">大 修 館</p>	<p>体育理論① 運動やスポーツの多様性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツの必要性和楽しさ 2 運動やスポーツへのかかわり方 3 運動やスポーツの多様な楽しみ方 <p>◎ 章のまとめ</p> <p>保健① 健康な生活と病気の予防①</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食事と健康 4 休養・睡眠と健康 <p>◎ 章のまとめ</p> <p>保健② 心身の発達と心の健康</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発育・発達 3 生殖機能の成熟(1) 4 生殖機能の成熟(2) 5 性への関心と性情報への対処 6 知的機能・情意機能の発達 7 社会性の発達と自立 8 自己形成 9 欲求とその充足 10 心と体のかかわりとストレス 11 ストレスへの対処のしかた 12 実習 リラクゼーションの方法 <p>◎ 章のまとめ</p>	<p>体育理論② 運動やスポーツの効果・学び方・安全</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツの体と心への効果 2 運動やスポーツの学び方 3 運動やスポーツの安全なおこない方 <p>◎ 章のまとめ</p> <p>保健③ 健康な生活と病気の予防②</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病 2 生活習慣病の予防 3 がんとその予防 4 生活習慣病・がんの早期発見とその回復 5 喫煙と健康 6 飲酒と健康 7 薬物乱用と健康 8 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけと対処 <p>◎ 章のまとめ</p> <p>保健④ けがの防止と応急手当</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 けがの原因と防止 2 交通事故の実態と原因 3 交通事故によるけがの防止 4 自然災害によるけがの防止 5 応急手当の意義と基本 6 心肺蘇生法の流れ 7 実習 心肺蘇生法 8 実習 止血法、包帯法、固定法 <p>◎ 章のまとめ</p>	<p>体育理論③ 文化としてのスポーツ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現代生活におけるスポーツの意義 2 国際的なスポーツ大会の意義と役割 3 人びとを結ぶスポーツ <p>◎ 章のまとめ</p> <p>保健⑤ 健康な生活と病気の予防③</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染症と病原体 2 感染症と体の抵抗力 3 感染症の予防 4 性感染症とその予防 5 エイズとその予防 6 保健機関とその利用 7 医療機関とその利用 8 医薬品の正しい使い方 <p>◎ 章のまとめ</p> <p>保健⑥ 環境の健康への影響</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環境の変化への体の適応 2 気象情報の適切な利用 3 快適で能率のよい環境 4 室内の空気の汚染と換気 5 衛生的な飲料水の供給 6 し尿とごみの処理 7 災害と環境 8 私たちの生活と環境問題 <p>◎ 章のまとめ</p>

【保健体育】

<p>学 研</p>	<p>体育編1章 スポーツの多様性 1 スポーツの始まりと発展 2 スポーツへの多様な関わり方 3 スポーツの多様な楽しみ方 ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ</p> <p>保健編1章 健康な生活と病気の予防① 1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食生活と健康 4 休養・睡眠と健康 5 調和のとれた生活 ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ</p> <p>保健編2章 心身の発達と心の健康 1 体の発育・発達 2 呼吸器・循環器の発達 3 生殖機能の成熟 4 性とどう向き合うか 5 心の発達(1) 知的機能と情意機能の発達 6 心の発達(2) 社会性の発達 7 自己形成 8 欲求不満やストレスへの対処 実習 リラクゼーションの方法 [もっと広げる深める]心と体のSOS ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ ○ 1年の学習の終わりに</p>	<p>体育編2章 スポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 1 スポーツが心身と社会性に及ぼす効果 2 スポーツの学び方 3 スポーツの安全な行い方 ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ</p> <p>保健編3章 健康な生活と病気の予防② 1 生活習慣病とその予防 2 がんとその予防 3 喫煙と健康 4 飲酒と健康 5 薬物乱用と健康 6 喫煙・飲酒・薬物乱用のきっかけ [もっと広げる深める]たばこ・酒・薬物に手を出さないために ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ</p> <p>保健編4章 傷害の防止 1 傷害の原因と防止 2 交通事故の現状と原因 3 交通事故の防止 4 犯罪被害の防止 5 自然災害に備えて [もっと広げる深める]自然災害から身を守るために① [もっと広げる深める]自然災害から身を守るために② 6 応急手当の意義と基本 実習 心肺蘇生法 実習 きずの手当 ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ ○ 2年の学習の終わりに</p>	<p>体育編3章 文化としてのスポーツ 1 スポーツの文化的意義 2 国際的なスポーツ大会とその役割 3 人々を結び付けるスポーツ ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ</p> <p>保健編5章 健康な生活と病気の予防③ 1 感染症とその予防 2 性感染症とその予防/エイズ 3 健康を守る社会の取り組み 4 医療機関の利用と医薬品の使用 ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ</p> <p>保健編6章 健康と環境 1 環境の変化と適応能力 2 活動に適した環境 3 室内の空気の条件 4 水の役割と飲料水の確保 5 生活排水の処理 6 ごみの処理 7 環境の汚染と保全 ○ 探究しようよ！ ○ 章のまとめ 保健体育の学習の終わりに</p>
----------------	--	--	--

【保健体育】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧発展的な学習に関する内容の工夫
方法	発展的な学習の扱い、記載数及び記載単元

	発展的な学習の扱い	記載数	学習内容と記載数 ※ () 内の数字は記載数
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「発展」として、「学習指導要領」に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」と巻頭に示している。 ○ 主に章末に発展的な資料を掲載している。 	19	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 (1) ○ 文化としてのスポーツの意義 (1) ○ 健康な生活と疾病の予防 (7) ○ 心身の機能の発達と心の健康 (2) ○ 傷害の防止 (3) ○ 健康と環境 (4) ○ 巻末資料 (1)
大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「発展」として、「学習指導要領」には示されていない発展的な学習内容です。興味・関心に応じて学習しましょう。」と巻頭に示し、単元内で本編と関連させ、発展的な内容の資料を掲載している。 ○ 主に章末と「トピックス」に発展的な資料を掲載している。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 (1) ○ 健康な生活と疾病の予防 (3) ○ 心身の機能の発達と心の健康 (3) ○ 傷害の防止 (2) ○ 健康と環境 (5) ○ 巻末資料 (1)
大修館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「発展」として、「学習指導要領」の範囲外の内容です。先生の指示にしたがって学習しましょう。」と巻頭に示し、本編と関連させ、章末の「特集資料」として発展的な内容の資料を掲載している。 	13	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 (2) ○ 健康な生活と疾病の予防 (5) ○ 心身の機能の発達と心の健康 (1) ○ 傷害の防止 (3) ○ 健康と環境 (2)
学研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「発展」として、「学習指導要領」の範囲外で、興味・関心などに応じて取り組む「発展的な学習内容」と巻頭に示している。 ○ 主に章末の「探究しよう！」で発展的な活動を設定している。 	17	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康な生活と疾病の予防 (9) ○ 心身の機能の発達と心の健康 (1) ○ 傷害の防止 (5) ○ 健康と環境 (2)

【保健体育】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨学習内容に関するマーク等の活用
方法	マーク等が示す内容

マーク等が示す内容	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」：今日の学習のキーワードを示している。 ・「ポイント」：資料を読み取るためのポイントを示している。 ・「リンク①」：関連する学習内容がこの教科書にあることを示している。 ・「リンク②」：関連する学習内容がほかの教科書にあることを示している。 ・「スキル」：関連する学習内容が巻末スキルブックにあることを示している。 ・「発展」：学習指導要領には示されていない内容だが、必要に応じて学習できることを示している。 ・「読み物」：学習内容に関する読み物を示している。 ・「虫眼鏡」：検索ワードを基に調べる活動を示している。 ・「D」：学習を広げるデジタルコンテンツを示している。 ○ キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「資料」：本文の内容をより理解したり、活動に取り組んだりする際に参考となる資料を示している。 ・「トピックス」：学習内容と関連が深い話題や読み物を示している。 ・「ミニ知識」：学習内容に関連した情報を、ミニ知識として示している。 ・「注意」：学習内容や生活のなかで、特に注意すべきことについて示している。 ・「リンク」「他教科」：関連した内容を学習するページや、他の教科とのつながりを示している。 ・「キーワード」：学習のポイントとなる大切な言葉を示している。 ・「家」：家で取り組みたい活動を示している。 ・「地域」：地域で取り組みたい活動を示している。 ・「発展」：学習指導要領には示されていない内容だが、興味・関心に応じて学習できるよう示している。 ・「WEB」：ウェブサイトにある動画や資料を使って学習できるところを示している。
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「実習」：実際に体を動かしておこない方を身に付けるものを示している。 ・「コラム」「事例」：本文に関連した読みもの資料を示している。 ・「体育の窓」「保健の窓」：保健と体育を関連させて考える資料を示している。 ・「キーワード」：本文の重要語句を示している。 ・「よみ取る」：資料をよみ取るためのポイントを示している。 ・「関連」「他教科」：関連したページや他教科とのつながりを示している。 ・「発展」：学習指導要領には示されていない内容だが、教師の指示にしたがって学習できることを示している。 ・「ほり下げる」：本文に出てくることばなどをくわしく解説している。 ・「二次元コード」：「動画コンテンツ」や「Web 保健情報館」「Web ワークシート」「保体クイズにトライ」にアクセスできる。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ マークが示す内容 <ul style="list-style-type: none"> ・「キーワード」：本文中の太字を中心とした代表的な重要語句を示している。 ・「技能」：方法を知ったり、身に付けたりする内容を示している。 ・「実習」：実際に行って、方法や技術を理解・習得する学習内容を示している。 ・「関連」：関連する学習内容へのガイドを示している。 ・「情報サブリ」：学習内容に関連したミニ知識を示している。 ・「リンク」：参考になるウェブサイトへのガイドを示している。 ・「探究」：「探究しようよ！」へのガイドを示している。 ・「発展」：学習指導要領には示されていない内容だが、興味・関心などに応じて取り組む「発展的な学習内容」を示している。 ・「協働」：教え合い学び合う課題を示している。 ・「コラム」：学習内容に関連した読み物資料を示している。 ・「二次元コード」：教科書サイトにアクセスできる。 ○ キャラクターが学習のヒントやポイントを伝えている。

【保健体育】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩デジタルコンテンツの活用
方法	技能の習得につながるデジタルコンテンツ（動画）の設定及び具体例

	技能の習得につながるデジタルコンテンツ（動画）を設定している単元及びコンテンツ数 ※（ ）内の数字はコンテンツ数	デジタルコンテンツ（動画）の具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画）を掲載したページにアクセスすることができる。 ○ デジタルコンテンツ（動画）を掲載している単元 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年 保健編 2章 心身の機能の発達と心の健康（2） ・ 2年 保健編 3章 傷害の防止（11） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年 保健編 3章 傷害の防止 <ul style="list-style-type: none"> 7 応急手当の意義と方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 直接圧迫止血法 ・ 包帯法（包帯法①、巻き包帯による実践、固定具を使用した実践、段ボールで固定する場合、三角巾による実践） 8 心肺蘇生法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 心肺蘇生の方法（心肺蘇生の方法、胸骨圧迫の方法、呼吸の確認） ・ 心肺蘇生の方法（気道の確保、人工呼吸） ・ AED（自動体外式除細動器）
大 日 本	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画）を掲載したページにアクセスすることができる。 ○ デジタルコンテンツ（動画）を掲載している単元 <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年 保健編 4章 傷害の防止（12） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年 保健編 4章 傷害の防止 <ul style="list-style-type: none"> 6 心肺蘇生法 <ul style="list-style-type: none"> 資料 2 心肺蘇生法の手順（流れ） 心肺蘇生法の手順（方法） 胸骨圧迫の正しい方法 気道確保の正しい方法 人工呼吸の正しい方法 AEDの使い方 7 出血があるときの応急手当 <ul style="list-style-type: none"> 資料 1 傷の手当の基本 資料 2 鼻出血 資料 3 包帯の巻き方 資料 4 ネット包帯 8 外傷の応急手当 <ul style="list-style-type: none"> 資料 2 三角巾を使った固定のしかた 資料 3 当て物を使った固定のしかた（雑誌） 当て物を使った固定のしかた（タオルを巻いた板）
大 修 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画）を掲載したページにアクセスすることができる。 ○ デジタルコンテンツ（動画）を掲載している単元 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年 保健② 心身の発達と心の健康（4） ・ 2年 保健④ けがの防止と応急手当（7） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年 保健④ けがの防止と応急手当 <ul style="list-style-type: none"> 7 実習 心肺蘇生法 <ul style="list-style-type: none"> 実習 1 胸骨圧迫 実習 2 AEDの操作 実習 3 気道確保と人工呼吸 8 実習 止血法、包帯法、固定法 <ul style="list-style-type: none"> 実習 1 止血をする（直接圧迫止血法） 実習 2 包帯で保護と固定をする 実習 3 三角巾で保護と固定をする 実習 4 固定具で固定をする
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 二次元コードから、デジタルコンテンツ（動画）を掲載したページにアクセスすることができる。 ○ デジタルコンテンツ（動画）を掲載している単元 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年 保健編 2章 心身の発達と心の健康（3） ・ 2年 保健編 4章 傷害の防止（8） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年 保健編 4章 傷害の防止 <ul style="list-style-type: none"> 実習 心肺蘇生法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 心肺蘇生法の流れ ・ 胸骨圧迫 ・ AEDパッドの貼り方 ・ 人工呼吸 ・ 直接圧迫止血法 ・ 包帯法 巻き包帯（腕） ・ 包帯法 巻き包帯（指） ・ 固定法 足首の捻挫

技術・家庭（技術分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
6	教 図	新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
9	開 隆 堂	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図る記述
		② 技術の概念の理解を促すための工夫	技術の概念の理解を促す記述
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 技術の見方・考え方を働かせるための工夫	技術の見方・考え方に気付かせ、働かせるための示し方
		④ 技術による問題の解決を行うための工夫	技術に関わる問題を見だし、課題解決及び実践の評価改善を行う学習過程の示し方
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 目標の示し方	各内容における学習項目の目標の示し方及び具体例
		⑥ 社会の発展と技術について考えさせるための工夫	主体的に技術に関わり、技術を工夫し創造しようとさせる記述
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 題材や資料等の配列	題材及び学習内容の配列及び分量
		⑧ 実践的・体験的な学習を実施するための工夫	実践的・体験的な学習の具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑨ 各教科等と関連させて学習を進める工夫	各教科等と関連する内容の示し方及び具体例
		⑩ デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの種類及び具体例

【技術・家庭（技術分野）】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②技術の概念の理解を促すための工夫
方法	技術の概念の理解を促す記述

技術の概念の理解を促す記述	
東書	○ 内容A～内容Cの第3章及び内容Dの第4章の冒頭において、技術の概念の理解を促すために、「技術の最適化」という項目があり、これまでの学習を振り返り、自分の問題解決と社会における問題解決の共通点と違いについて考えることを促す記述や、生徒のつぶやき等を掲載している。
教図	○ 内容A～内容Cの第3章及び内容Dの第4章の冒頭において、技術の概念の理解を促すために、「技術のプラス面とマイナス面」という項目があり、これまでの学習を振り返り、技術の役割や影響について考えたり、技術のプラス面とマイナス面を見極めたりすることを促す記述や、生徒のつぶやき等を掲載している。
開隆堂	○ 内容A～内容Dの3の冒頭において、技術の概念の理解を促すために、各内容において技術の学習を振り返らせたり、技術の学習と社会とのつながりを考えさせたりする項目があり、これまでの学習を振り返ったり、技術の見方・考え方について確認したりすることを促す記述や図等を掲載している。

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③技術の見方・考え方を働かせるための工夫
方法	技術の見方・考え方に気付かせ、働かせるための示し方

技術の見方・考え方に気付かせ、意識させるための示し方	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンス「技術の見方・考え方」において、身近な製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていることに気付かせるための漫画等を掲載している。 ○ 各内容の冒頭「技術の見方・考え方」において、身近な技術の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫や、技術を最適化する際に着目する視点について掲載している。 ○ 技術の最適化について意識できるよう、「技術の天秤」マークを4か所表示し、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。 ○ 身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示している。 (具体例) A 材料と加工の技術（飲料容器の問題解決の例） [着目の視点] ・機能性 ・丈夫さ ・環境への配慮 ・経済性
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンス「技術の問題解決ってなに？」において、身近な製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていることに気付かせるためのイラスト及び会話やつぶやき等を掲載している。 ○ 各内容の冒頭において、生活や社会を支える技術の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫について掲載している。 ○ 技術の最適化について意識できるよう、各内容とも1章において、問題を解決する工夫や技術の工夫について調べ、考えさせる項目があり、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。 ○ 身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示している。 (具体例) A 材料と加工の技術（ペットボトルの製品開発の工夫） [着目の視点] ・生活や社会からの要求 ・安全性 ・環境負荷の軽減 ・経済性
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ ガイダンス「技術の見方・考え方」において、身近な製品が、社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性から折り合いをつけ最適化されていることに気付かせるための学習課題等を掲載している。 ○ 各内容の冒頭において、製品の進歩の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫や、技術を最適化する際に着目する視点について掲載している。 ○ 技術の最適化について意識できるよう、「トレードオフ」マークを12か所表示し、技術の最適化について具体的な事例を掲載している。 ○ 身の回りにある製品を取り上げ、製品に込められた技術の工夫について示している。 (具体例) A 材料と加工の技術（パソコンラックに込められた技術のしくみ） [着目の視点] ・Wants ・安全 ・経済 ・環境

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④技術による問題の解決を行うための工夫
方法	技術に関わる問題を見だし、課題解決及び実践の評価改善を行う学習過程の示し方

技術に関わる問題を見だし、課題解決及び実践の評価改善を行う学習過程の示し方	
東 書	<p>○ 内容A～内容Cの第2章及び内容Dの第2章、第3章において、生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図などに表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善させるためのイラストやつぶやき等を掲載している。</p> <p>問題を見いだすことに係るつぶやき 「机の上がいつも散らかるな。」</p> <p>評価・改善に係るつぶやき 「仕切りのアルミニウム板が本の重さで少し曲がってしまったよ。使用中にかかる力を考えて、よりよい材料を選びたいな。」</p> <p>○ 内容A～内容Cの第2章及び内容Dの第2章、第3章において、実習例を「問題解決例」として53事例取り上げ、「問題の発見」「課題の設定」の具体例を示すとともに、そのうち、15事例において、技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。</p>
教 図	<p>○ 内容A～内容Cの第2章及び内容Dの第2章、第3章において、生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図などに表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善させるためのイラストやつぶやき等を掲載している。</p> <p>問題を見いだすことに係るつぶやき 「単行本をコンパクトに整理したいなあ」</p> <p>評価・改善に係るつぶやき 「家族にも使ってもらいたいな。次は設計を改良しようかな」</p> <p>○ 内容A～内容Cの第2章及び内容Dの第2章、第3章において、実習例を「題材例」として21事例取り上げ、製作・制作・育成に必要な手順等を示すとともに、そのうち、8事例において、技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。</p>
開 隆 堂	<p>○ 内容A～内容Dの2において、生活や社会の中から技術に関わる問題を見だし、課題を設定して解決策を構想し、製作図などに表現して試行錯誤しながら具体化し、実践を評価・改善させるためのイラストやつぶやき等を掲載している。</p> <p>問題を見いだすことに係るつぶやき 「机の上を整理するには？」</p> <p>評価・改善に係るつぶやき 「家族が便利に生活するには？」</p> <p>○ 内容A～内容Dの2において、実習例を「実習例」として32事例取り上げ、技術による問題の解決の学習過程の具体例を掲載している。</p>

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤目標の示し方
方法	各内容における学習項目の目標の示し方及び具体例

	目標の示し方	A 材料と加工の技術に関する具体例
東 書	○ 各内容とも、項目ごとに、「目標」「学習課題」マークを付け、目標及び学習課題を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。	「材料と加工の技術の問題解決の工夫」 ○ 目標 ・材料と加工の技術の問題解決の工夫を読み取り、技術の見方・考え方に気づくことができる。 ○ 学習課題 ・材料と加工の技術の問題解決の工夫にはどのようなものがあるだろうか。 ○ キーワード ・技術の工夫
教 図	○ 各内容とも、項目ごとに、「めあて」マークを付け、目標を示すとともに、「キーワード」マークを付け、関連する語句を示している。	「材料と加工の技術の工夫を調べ考えよう」 ○ めあて ・材料と加工の技術に込められた工夫を調べ、考える。 ○ キーワード ・問題 ・課題 ・最適化
開 隆 堂	○ 各内容とも、項目ごとに、「学習の目標」の囲みと「学習課題」マークを設け、目標及び学習課題を示している。	「身の回りにある材料と加工の技術」 ○ 学習の目標 ・材料と加工の技術に関する製品に込められた技術のしくみに気づく。 ○ 学習課題 ・ものを収納して整理するための棚の材料はどのように使い分けられているのだろうか。 ・パソコンラックにはどのような技術のしくみがあるのだろうか。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥社会の発展と技術について考えさせるための工夫
方法	主体的に技術に関わり、技術を工夫し創造しようとさせる記述

主体的に技術に関わり、技術を工夫し創造しようとさせる記述	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容A～内容Cの第3章及び内容Dの第4章において、社会で開発されている新しい技術について具体例を挙げるとともに、「未来のTechnology」において、これまでの学習を踏まえ、これからの社会や生活で技術を改良、応用するとき、どのようなことを考えていきたいか考えさせるためのワークシートを掲載している。 ○ 「技術分野の学習を終えて」において、これまでの学習を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいか考えをまとめさせる記述を掲載するとともに、社会の中で技術に携わる人へのインタビュー等を掲載している。
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容A～内容Cの第3章及び内容Dの第4章において、社会で開発されている新しい技術について具体例を挙げるとともに、「やってみよう」において、技術の上手な活用方法や、新しく開発したい技術、これからどのように技術と向き合っていきたいか考えさせるためのワークシートを掲載している。 ○ 「夢をかなえる技術」において、これまで学んだ技術を振り返り、それらの技術を組み合わせで開発された新たな技術を具体例で掲載するとともに、技術関係の専門高等学校に進んだ先輩や、様々な分野の日本の技術と、その技術を支える人々の想いを写真等で掲載している。
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容A～内容Dの3において、社会で開発されている新しい技術について具体例を挙げるとともに、「やってみよう」において、新しい技術について調べ、それがどのようなものなのか、どのような使い方が考えられるか、どうやったら広く活用されるようになるか考えさせるための記述を掲載している。 ○ 「技術分野の学習を終えて」において、3年間の学習を振り返り、その成果や反省、将来に向けて生かそうとすることなどを考えさせる記述を掲載するとともに、社会が抱える問題と、それを解決している新しい技術の具体例を掲載している。

【技術・家庭（技術分野）】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量	
	視点	⑦題材や資料等の配列
	方法	題材及び学習内容の配列及び分量

	主な要素	A 材料と加工の技術		B 生物育成の技術		C エネルギー変換の技術		D 情報の技術	
		学習内容	ページ数	学習内容	ページ数	学習内容	ページ数	学習内容	ページ数
東書	生活や社会を支える技術	・身の回りの材料と加工の技術 ・材料の特性と加工方法 等	30	・身の回りの生物育成の技術 ・作物の育成環境を調節する技術 等	16	・身の回りのエネルギー変換の技術 ・発電の仕組みと特徴 等	30	・身の回りの情報の技術 ・コンピュータの仕組み 等	20
	技術による問題の解決	・問題の発見と課題の設定 ・解決策の構想(1)製作品の設計 等	20	・問題の発見と課題の設定 ・解決策の構想育成計画 等	20	・問題の発見と課題の設定 ・解決策の構想(1)電気回路の設計・制作 等	20	・双方向性のあるコンテンツとは ・計測・制御システムとは 等	36
	社会の発展と技術	・材料と加工の技術の最適化 ・これからの材料と加工の技術	6	・生物育成の技術の最適化 ・これからの生物育成の技術	6	・エネルギー変換の技術の最適化 ・これからのエネルギー変換の技術	6	・情報の技術の最適化 ・これからの情報の技術	6
教図	生活や社会を支える技術	・材料と加工の技術を見つけよう ・材料の特性と加工法を知ろう 等	18	・生物を育てる技術を見つけよう ・生物を育てる技術を知ろう 等	12	・エネルギー変換の技術を見つけよう ・電気に関する技術を知ろう 等	22	・情報の技術を見つけよう ・コンピュータが情報を処理するしくみを知ろう 等	18
	技術による問題の解決	・問題を解決する流れを考えよう ・身近な問題を解決してみよう 等	32	・問題を解決する流れを考えよう ・身近な問題を解決してみよう 等	24	・問題を解決する流れを考えよう ・身近な問題を解決してみよう 等	32	・双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう ・計測・制御システムの技術を知ろう 等(スキルアシスト)	50
		(スキルアシスト)	12	(スキルアシスト)	11	(スキルアシスト)	5		10
	社会の発展と技術	・社会の発展と材料と加工の技術	3	・社会の発展と生物育成の技術	3	・社会の発展とエネルギー変換の技術	3	・社会の発展と情報の技術	3

【技術・家庭（技術分野）】

	主な要素	A 材料と加工の技術		B 生物育成の技術		C エネルギー変換の技術		D 情報の技術	
		学習内容	ページ数	学習内容	ページ数	学習内容	ページ数	学習内容	ページ数
開隆堂	生活や社会を支える技術	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会と材料と加工の技術 材料を利用するための技術 	22	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会と生物育成の技術 さまざまな生物育成の技術 	20	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会とエネルギー変換の技術 電気の供給と利用 等 	28	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会と情報の技術 情報の伝達等 	34
	技術による問題の解決	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の手順 製作のための技能（木材） 製作のための技能（金属・プラスチック） 	48	<ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術による問題解決 	22	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー変換の技術による問題解決 	16	<ul style="list-style-type: none"> 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 計測・制御のプログラミングによる問題解決 	30
	社会の発展と技術	<ul style="list-style-type: none"> これからの材料と加工の技術 	4	<ul style="list-style-type: none"> これからの生物育成の技術 	4	<ul style="list-style-type: none"> これからのエネルギー変換の技術 	4	<ul style="list-style-type: none"> これからの情報の技術 	4

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧実践的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	実践的・体験的な学習の具体例

B 生物育成の技術に関する具体例	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術室でリーフレタスの水耕栽培をする。 ・ 品質（色や形）の良いハツカダイコンを育てる。 ・ 袋栽培でジャガイモを育てる。 ・ 袋栽培でダイコンを育てる。 ・ 地域の気候を生かして、特産物であるナスを栽培する。 ・ ペットボトルを使い、より多くの収量を得られるように工夫して、イネを栽培する。 ・ 育成環境を調節して、甘いイチゴを栽培する。 ・ コンテナを用いて、ラッカセイを栽培する。 ・ 卒業式に開花するようにパンジーを育てる。 ・ 文化祭に開花するようにキクを育てる。 ・ キンギョにとって最適な育成環境を整え、育成する。
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部屋の中の小さなスペースを活用して、ベリーリーフを育ててみよう。 ・ 袋栽培で収穫する ミニダイコン ・ 畑で育てる ミニトマト ・ 冬に野菜を育てよう コマツナの鉢栽培 ・ 入学式に花を飾りたい 低温処理によるチューリップとパンジーの寄せ植え ・ 家畜の飼育を体験したい ・ 水産生物の飼育を体験したい
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミニトマトの栽培 ・ リーフレタスの養液栽培 ・ ラディッシュの容器栽培 ・ キュウリの容器栽培 ・ チューリップの栽培 ・ イネの容器栽培 ・ 乳牛の飼育 ・ 水産生物の栽培

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨各教科等と関連させて学習を進める工夫
方法	各教科等と関連する内容の示し方及び具体例

	各教科等と関連する内容の示し方（記載数）	B 生物育成の技術に関する具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容との関連については、「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している。(28) ○ 小学校の各教科等の学習内容との関連については、「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している。(5) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「リンクマーク（他教科）」 <ul style="list-style-type: none"> ・理科2年 光合成の仕組み ・理科2年 植物の体のつくりと働き ○ 「リンクマーク（小学校）」 <ul style="list-style-type: none"> ・社会5年 我が国の農業や水産業における食料生産
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容との関連については、「関連」マークを用いて、教科を示している。(11) ○ 小学校の各教科等の学習内容との関連については、「関連」マークを用いて、教科を示している。(8) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「関連」 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校 理科・社会 ・小学校 理科・社会・生活
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の各教科等の学習内容との関連については、「他教科」マークを用いて、教科、内容等を示している。(4) ○ 小学校の各教科等の学習内容との関連については、「小学校」マークを用いて、教科、内容等を示している。(4) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「他教科」 <ul style="list-style-type: none"> ・中学2年社会 栽培漁業と養殖漁業の違い ・外国語 疑問文 ○ 「小学校」 <ul style="list-style-type: none"> ・5年理科 植物の発芽、成長、結実 ・5年社会 水産業のさかんな地域 ・5年社会 森林資源が果たす役割 ・5年理科 気温の変化

【技術・家庭（技術分野）】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩デジタルコンテンツの活用
方法	デジタルコンテンツの種類及び具体例

	デジタルコンテンツの種類	具体例
東 書	・動画	○動画 「身の回りの木製品」
	・シミュレーション	○シミュレーション 「技術の見方・考え方」
	・思考ツール	○思考ツール 「解決したい問題を構造化して考えよう」
	・ワークシート	○ワークシート 「【やってみよう】立体を描こう」
	・クイズ	○クイズ 「【レッツスタート】情報モラルチェック」
	・資料、図鑑	○資料、図鑑 「材料の図鑑」
	・WEBサイト	○WEBサイト 「SDGs 私たちがつくる未来」
	・他教科リンク	○他教科リンク 「理科 物の調べ方」
教 図	・プログラム	○プログラム 「サイコロの目の数を当てる」
	・ワークシート	○ワークシート 「工夫調べレポート」
	・題材例製作動画・画像	○題材例製作動画・画像 「不思議な本立てをつくる」
	・基礎技能動画・画像	○基礎技能動画・画像 「基礎技能動画（けがき）」
	・インタビュー動画	○インタビュー動画 「技ビト インタビュー」
	・資料動画・画像	○資料動画・画像 「木質材料の利用例」
開 隆 堂	・学習課題コンテンツ	○学習課題コンテンツ 「木材の性質と種類」
	・動画コンテンツ	○動画コンテンツ 「木材の構造」
	・資料コンテンツ	○資料コンテンツ 「CCライセンス」
	・操作コンテンツ	○操作コンテンツ 「乳牛の育成シミュレーション」
	・ワークシート	○ワークシート 「木材の性質を考慮した使用方法」

技術・家庭（家庭分野）

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

No.	発行者の番号及び略称	教科書名
2	東 書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
6	教 函	新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
9	開 隆 堂	技術・家庭 家庭分野 自立とともに支え合う生活へ

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

No.	観点	視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための記述及び具体例
		② 実践的・体験的な学習を実施するための工夫	実践的・体験的な学習の具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 生活の中から課題を見いだすための工夫	学習過程の示し方及び具体例
		④ 課題を実践し、評価を改善し表現するための工夫	「生活の課題と実践」の示し方及び実践例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 学習した内容を家庭や地域で実践するための工夫	学習のまとめの示し方及び具体例
		⑥ 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせるための工夫	「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方及び具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 発展的な学習の扱い方	発展的な学習の扱い及び具体例
		⑧ 他教科等と関連させて学習を進めるための工夫	他教科等と関連する内容の示し方及び具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑨ 特別支援教育へ配慮した構成、デザインの工夫	ユニバーサルデザインに配慮した示し方
		⑩ デジタルコンテンツの活用	デジタルコンテンツの活用及び具体例

観点		(ア) 知識及び技能の習得
	視点	①基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
	方法	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための記述及び具体例
	基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための記述	具体例：B衣食住の生活（食生活）
東 書	○ 基礎的な用語のうち、家庭科で扱う重要語句を本文と異なる書体を用いた太字で表記している。	○ 重要語句 食習慣 生活習慣病 栄養素 たんぱく質 無機質 ビタミン 炭水化物 脂質 五大栄養素等
	○ 「実習を楽しく安全に進めよう」を巻頭に掲載し、食物アレルギーや感染症予防にも気を付けて、安全に実習に取り組むためのポイントをまとめている。	○ 「実習を楽しく安全に進めよう」 資料 食物アレルギーの症状 等
	○ 編末の「学習のまとめ」では、知識及び技能を習得するための問いを掲載している。	○ 1 学習したことを確かめよう 知識・技能 大切な用語の確認 次の語句を自分の言葉で説明しましょう。 □食事の役割>p. 31 □朝食>p. 31 □食習慣>p. 33 □生活習慣病>p. 33 等
教 図	○ 基礎的な用語のうち、家庭科で扱う重要語句を本文と異なる書体を用いた太字で表記している。	○ 重要語句 食事 生命を維持し 健康を保持する 食文化を伝承 人間関係をつくる 共食 等
	○ 「実習は安全に取り組もう！」を巻頭に掲載し、けがや衛生面に気を付けて、安全に実習に取り組むためのポイントがまとめられている。また、実習の注意点についてのワークを設定している。	○ 「実習は安全に取り組もう！」 危険な取り組み方をしている人を見つけよう 次の実習の場面から、危険な取り組み方をしている人を見つけよう。また、どのように取り組めばよいか考えよう。 等
	○ 章末のまとめの「学習のふり返り」では、知識及び技能を習得するための問いを掲載している。	○ 1 確認しよう 知識・技能 ①食べることがつなぐ3つの営みをまとめよう。 1 生命の維持・(㉞)の保持 2 (㉟)の伝承 3 (㊱)をつくる 等
開 隆 堂	○ 基礎的な用語のうち、家庭科で扱う重要語句を本文と異なる書体を用いた太字で表記している。	○ 重要語句 共食 食文化 食習慣 欠食 偏食 生活習慣病 生活リズム 食事(栄養) 等
	○ 「楽しく安全に実習しよう」を巻頭に掲載し、実習前、実習中、実習後のそれぞれのポイントがまとめられている。	○ 「楽しく安全に実習しよう」 次に使う人の安全を守るためには何が大切でしょうか。下のイラストを見て考えてみましょう。 等
	○ 内容末の「学習のまとめ」では、知識及び技能を習得するための問いを掲載している。	○ 1 次の文章について、正しい場合は()に○、まちがっている場合はその文中の該当箇所 に下線を引き、()に正しい答えを書きましょう。(知識・技能) ①ある中学生は五大栄養素を次のようにあげました。「糖分、たんぱく質、脂肪、カロテン、鉄」 等

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②実践的・体験的な学習を実施するための工夫
方法	実践的・体験的な学習の具体例

	B衣食住の生活の日常食の調理における調理実習例	B衣食住の生活における布を用いた物の製作例
東書	<p>○肉じゃが ○青菜のごまあえ ○野菜と春雨のスープ ○とん汁 ○ポテトサラダ ○蒸し野菜サラダ ○野菜の焼き浸し ○ハッシュドポテト ○れんこんのきんぴら ○青菜と卵のいためもの ○切干しだいこんの煮物 ○キャベツのレンジ蒸し ○ぶた肉のしょうが焼き ○こまつなの変わり浸し ○キャベツと油揚げのみそ汁 ○ハンバーグ ○ブロッコリーのツナマヨソース ○ミネストローネスープ ○ホワイトシチュー ○ぶた肉と野菜の重ね蒸し ○チキンソテー ○スパゲッティミートソース ○焼きぎょうざ ○チンジャオロースー ○さけのムニエル ○ラタトゥイユ ○コーンクリームスープ ○さばのみそ煮 ○きゅうりとわかめの酢の物 ○かきたま汁 ○いわしのかば焼き丼 ○魚の鍋照り焼き ○さけのホイルちゃんちゃん焼き ○いわしのつみれ汁 ○簡単アクアパッツァ ○たらこの塩蒸しごまだれかけ ○ちぎりキャベツとツナのしょうゆいため ○オープンオムレツ ○だし巻き卵 ○いりどり（がめ煮、筑前煮） ○ドライカレー ○昆布とかつお節のソフトふりかけ ○いっしょ煮込みのトマトペンネ 合計 43 事例</p>	<p>○ミニトートバッグ ○防災リュック ○ブックカバー ○ハーフパンツ ○ティッシュボックスカバー ○ポケットティッシュケース ○あづま袋 ○ファスナーポーチ ○マスクケース ○リフォーム・リメイク ハーフパンツ ○リフォーム・リメイク ティッシュカバー ○リフォーム・リメイク エプロン ○カラフル魚 ○組み合わせ布絵本 合計 14 事例</p>
教図	<p>○ホットケーキ ○ぶた肉のしょうが焼き ○ハンバーグステーキ ○肉じゃが ○シュウマイ ○いわしのかば焼き ○煮魚 ○ムニエル ○魚のホイル蒸し ○とん汁 ○筑前煮 ○野菜ときのこのオープン焼き ○蒸し野菜サラダ ○野菜サラダ ○ポテトサラダ ○にんじんグラッセ ○切り干しだいこんのあえ物 ○粉ふきいも ○わかめときゅうりの酢の物 ○ほうれんそうのごまあえ ○ひじきのいため煮 ○ミートソーススパゲッティ ○カレーライス ○塩焼きそば ○チャーハン ○ピザトースト ○かきたま汁 ○野菜スープ ○ポトフ ○ミネストローネ ○コーンスープ ○わかめととうふのスープ ○ピーマンの塩こんぶあえ ○きんぴらごぼう ○えのきのバターしょうゆ ○おにぎり ○いなりずし ○卵焼き ○じゃがいものお焼き ○れんこんもち ○みたらし団子 ○蒸しパン ○牛乳かん ○ひつつみ（すいとん） ○夏野菜のみそ汁 合計 45 事例</p>	<p>○あづま袋 ○ぞうきん ○ボックスティッシュ携帯用 ケース ○ポケットティッシュケース ○おじゃみクッション ○私の防災袋 ○布のボックス ○つくりやすい大きさの小物 入れ ○私だけのオリジナルエプロ ン 合計 9 事例</p>
開隆堂	<p>○団子 ○とうふのすまし汁 ○しょうが焼き ○青菜のおひたし ○だいこんのみそ汁 ○煮こみハンバーグ ○ハンバーガー ○せん切り野菜スープ ○蒸しどり ○牛丼 ○シチュー ○ぶた肉の甘酢あん ○煮魚 ○きゅうりとわかめの酢のもの ○えのきと油揚げのすまし汁 ○つみれ汁 ○かば焼き ○ムニエル ○白身魚のホイル蒸し ○蒸し野菜のサラダ ○青菜の卵とじ ○筑前煮 ○ミネストローネ ○豆腐団子みたらし風味 ○バナナマフィン ○ロイヤルミルクティー ○いももち ○オレンジ寒天ゼリー ○米粉蒸しパン ○プリン ○さんまのかば焼き缶スパゲティ ○焼き鳥缶の炊き込みご飯 ○大豆とひじきの煮物 ○切干しだいこんのサラダ ○カレーうどん ○けんちん汁 ○雑煮 ○手打ちうどん ○だいこんとにんじんの皮のきんぴら ○昆布チップス ○リメイクカレードリア ○きんぴらごぼう ○ピーマンのナムル ○野菜のグラタン風 ○かぼちゃの煮もの ○さつまいもとりんごの重ね煮 ○ジャーマンポテト ○青菜のごまあえ ○とん汁 ○コーンスープ ○わかめスープ 合計 51 事例</p>	<p>○ファイルカバー ○タブレット端末ケース ○非常持ち出し袋 ○ハーフパンツ ○マスク ○三角巾 ○エプロン ○リストバンド ○変身ベルト ○リバーシブルバッグ ○道具入れ 合計 11 事例</p>

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③生活の中から課題を見いだすための工夫
方法	学習過程の示し方及び具体例

	学習過程の示し方	具体例：A家族・家庭生活
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 編の導入には課題設定の記入欄を設け、自分の知りたいことやできるようにしたいことを記入することで、生活の課題と実践へとつなげている。 ○ 編の導入には「この編で学ぶこと」、各節には「目標」を示している。 ○ 編末の「学習のまとめ」では、思考・判断・表現に関わる問いを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6編 私たちの成長と家族・地域 「私の知りたいこと、できるようにしたいこと（課題設定）」 ○ 「この編で学ぶこと」 1章 家族・家庭生活での自立 2章 幼児の生活と家族 3章 持続可能な家庭・地域生活 ○ 「学習のまとめ」 2 学習を深めよう 思考・判断・表現 ①身近な地域で行われている活動を調べ、参加する計画を立てましょう。 例) 清掃活動、リサイクル活動、防災訓練など 等
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 節の導入には自分の生活を見つめるきっかけとなるコーナーを設定している。 ○ 編の導入には「自立度チェック」、各節には「めあて」を示している。 ○ 章末の「学習のふり返し」では、思考・判断・表現に関わる問いを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ A編 1章 家族・家庭や地域とのかかわり 「見つめる」 ・お弁当作って ・ゴミを出して ・朝ごはんまだ? ・洗濯して ○ 「自立度チェック」 自分の普段の家庭生活について、YES, NOで答えてみよう 1. 朝は自分で決めた時間に自分で起きている。 等 「めあて」 ・家族・家庭の基本的な働きを理解する。 ・自分にできる家庭の仕事を見つけ、実践することができる。 ○ 章末のまとめ「学習のふり返し」 2 考えてみよう 思考・判断・表現 ①家庭生活をよりよくするために、あなたがこれから取り組んでいこうと思うことをあげてみよう。 等
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 編の導入には生徒の身近な話題を用いている。 ○ 編の導入には「～で学習する内容」、各節には「学習の目標」を示している。 ○ 編末の「学習のまとめ」では、思考・判断・表現に関わる問いを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ A 家族・家庭・地域 「家族ってありがたいときもあるけど、うっとうしいときもある。どうしてだろう。」 ○ 「家族・家庭で学習する内容」 1章 今の自分とこれから 2章 家庭のはたらきと家庭の仕事 3章 様々な家族・家庭 6章 かかわり合う地域と家庭 7章 持続可能な家庭生活 「学習の目標」 ・自分の成長と家族や地域の人々とのかかわりと、自分自身について理解する。 ○ 「学習のまとめ」A 家族・家庭生活 2 次の問いに答えましょう。(思考・判断・表現) (1) 幼児、小学生、中学生、高校生、外国籍の人、高齢者、働いている人などの立場になって、その人たちが暮らしやすい地域にするために、アイデアや工夫を考え、下の表に書き入れましょう。

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④課題を実践し、評価を改善し表現するための工夫
方法	「生活の課題と実践」の示し方及び実践例

	「生活の課題と実践」の示し方	実践例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活の課題と実践」に関わる内容を「選択 生活の課題と実践」として掲載している。 ○ 「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、学習の流れを示している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 課題を決めよう 2 計画を立てよう 3 家庭や地域で実践しよう 4 評価しよう 5 改善しよう 6 次の課題に挑戦しよう ○ 実践例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私たちの食生活」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・サステナブルクッキングにチャレンジ！ ○ 「私たちの衣生活」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・衣服のリメイク ○ 「私たちの住生活」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・家族の安全・安心な住まい ○ 「私たちの消費生活と環境」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・家電製品の購入計画の検討 ○ 「私たちの成長と家族・地域」を主とした課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児のためのおやつを作ろう！ ・地域の人と炊き出し訓練を開催しよう！
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活の課題と実践」に関わる内容を「選択 生活の課題と実践～生活をよりよくしよう～」として掲載している。 ○ 「生活の課題と実践」の学習の流れ」を掲載し、学習の流れを示している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 問題を発見する 2 課題を設定する 3 計画・実践する 4 評価する 5 改善する 6 次の課題へ ○ 実践例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家族・家庭や地域とのかかわり」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・住みやすいまち・安全なまちってどんなまち？ ○ 「幼児の生活と家族」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児のおやつを工夫しよう！季節を感じるおやつ ○ 「食生活」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちでつくっただいこんをおいしく食べよう！ ○ 「私たちの衣生活」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・民族衣装について、家族や友達に聞いてみよう ○ 「生活を豊かにする製作」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを込めたものづくり～幼稚園へのお礼～ ○ 「私たちの住生活」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内事故の防止をみんなに呼びかけよう！ ○ 「私たちの消費生活」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物のむだを減らす大作戦！ ○ 「消費者の権利と責任」の課題と実践 <ul style="list-style-type: none"> ・兄の新生活のキーワードは、「エシカル」!!
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活の課題と実践」に関わる内容として、「生活の課題と実践」として掲載している。 ○ 「生活の課題と実践の進め方」を掲載し、学習の流れを示している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 生活を見つめ、課題発見・課題設定 2 計画 3 実行・実践 4 まとめ・発表 5 ふり返り・評価 6 生活にいかす・次の課題へ ○ 実践例として、進め方に沿った具体的な方法を例示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ A家族・家庭生活とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> 1 我が家の整理・整とん・清掃プロジェクト 2 祖父母といっしょにピクニック 3 地域を調査してマップづくりに挑戦 ○ B食生活とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> 1 1日分の野菜を使った調理に挑戦 2 カップ焼きそばと手づくり焼きそばを比較！ 3 お雑煮づくりに挑戦 ○ B衣生活とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> 1 家庭でしみ抜きに挑戦 2 不用になった衣服をリメイク ○ B住生活とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> 1 我が家の防災チェック ○ C消費生活・環境とつながる実践例 <ol style="list-style-type: none"> 1 家電買い替えプロジェクト

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤学習した内容を家庭や地域で実践するための工夫
方法	学習のまとめの示し方及び具体例

	学習のまとめの示し方	具体例：B衣食住の生活（住生活）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活に生かそう」「まとめよう」で学習を振り返ったり、次の学習に生かしたりする活動を設定している。 ○ 編末の「学習のまとめ」では、1. 知識・技能、2. 思考・判断・表現、3. 主体的に学習に取り組む態度に関連した問いを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「まとめよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割と、生活行為と住空間の関係について説明しましょう。等 ○ 「学習のまとめ」 <ul style="list-style-type: none"> 3 生活に生かそう 主体的に学習に取り組む態度 1住生活の学習を振り返り、次のことについてまとめましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ①できるようになるまで取り組んだこと ②できるようになったこと、できなかったこと（改善しようとしたこと） ③よりよい住生活に向けて、生活に生かしたいこと、大切にしたいこと 2住生活の学習から、興味・関心を持ったことや、自分や家族の生活で改善できること、持続可能な社会のためにできることなどを書きましょう。
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふり返る」でそのページの知識・技能が身に付いたか生徒が自己評価する欄を設定している。 ○ 「章末のまとめの「学習のふり返り」」では、1. 知識・技能、2. 思考・判断・表現、3. 主体的に学習に取り組む態度に関連した問いを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ふり返る」 <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な働きを理解できましたか。 ・生活行為と住まいの空間の関係について考えることができましたか。等 ○ 「章末のまとめ「学習のふり返り」」 <ul style="list-style-type: none"> 3 自分の言葉でまとめよう 主体的に学習に取り組む態度 ①あなたがB編「6章 私たちの住生活」で学んでよかったと思ったことをまとめてみよう。理由もあげてみよう。 ②あなたがB編「私たちの住生活」の学習をして、興味をもったことやもっと調べてみたいと思ったこと、やってみたいと思ったことなどをあげてみよう。 ③あなたは「6章 私たちの住生活」で学んだことを、これからの生活で、どのように生かしていきたいだろうか。自分の考えをまとめてみよう。
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「話し合ってみよう」で生活の中の具体的なできごとから課題を考える活動を設定している。 ○ 編末の「学習のまとめ」では、①知識・技能、②思考・判断・表現、③主体的に学習に取り組む態度に関連した問いを掲載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えてみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・4人家族のAさんの住まいのダイニングキッチンを図のように様々なものが置いてあり、いくつかの点で困っています。どこが困っているでしょうか。また、その改善点を話し合ってみましょう。等 ○ 「学習のまとめ」 住生活（主体的に学習に取り組む態度） <ul style="list-style-type: none"> ③下の文章と絵は、絵本「ちいさいおうち」の一部です。作者は何を伝えたかったのでしょうか。また、それについてあなたの考えを書きましょう。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせるための工夫
方法	「生活の営みに係る見方・考え方」に気付かせ、意識させるための示し方及び具体例

	「生活の営みに係る見方・考え方」 に気付かせ、意識させるための示し方	具体例：B衣食住の生活（衣生活）
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活の営みに係る見方・考え方」を「家庭分野のガイダンス」において、マークやイラストを用いて説明している。 ○ 各編の導入において、関連する見方・考え方をマークやキーワードで示している。 ○ キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付かせている。 ○ 「生活の営みに係る見方・考え方」の1つの視点である「持続可能な社会の構築」においては、各編にその内容を掲載している。 	<p>3編 私たちの衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活の営みに係る見方・考え方」のマーク <ul style="list-style-type: none"> ・安全な製作 ・快適な着方 ・健康的な着方 ・地域の衣服の文化 ・和服 ・日本の文様 <p>3章 1 持続可能な衣生活を目指して</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターの吹き出しで、「一人一人が、限りある資源を大切に使うように意識したいね。」と記載している。
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生活の営みに係る見方・考え方」を「ガイダンス「つなぐ、つながる」×家庭分野」において、キーワードを用いて説明している。 ○ 人物の吹き出しを用い、見方・考え方に気付かせている。 ○ 各項目において、生徒と教師の対話の場面等を「見つめる」「見つめてみよう」で示し、吹き出し等を用いて、生活の営みに係る見方・考え方に気付かせている。 ○ 「生活の営みに係る見方・考え方」の1つの視点である「持続可能な社会の構築」においては、消費生活と環境問題とのつながりを取り上げ、関連する写真や資料にSDGsアイコンを用いて示している。 	<p>B編 4章 私たちの衣生活</p> <p>1 衣服の働きを知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つめる」に生徒の吹き出しがあり、「1日に何度も着替えているね。」と記述。「見つめてみよう」に、「昨日1日で何回着替えたか思い出してみよう。また、制服の必要性について話し合ってみよう。」と記載している。 <p>5 衣服を計画的に活用できるようになろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 参考 SDGsとファッション <ul style="list-style-type: none"> ・10 人や国の不平等をなくそう ・12 つくる責任つかう責任
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭分野の「ガイダンス」において、生活の見方・考え方の視点を示している。 ○ キャラクターの吹き出しを用い、見方・考え方に気付かせている。 ○ 生活の営みに係る見方・考え方の1つの視点である「持続可能な社会の構築」においては、「ガイダンス」で詳しく説明され、各編にその内容が掲載されている。 	<p>B 衣生活</p> <p>4 持続可能な衣生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターの吹き出しで、「衣服の選択や着方、手入れのしかた、不用になった衣服の扱い方によって、環境にどのような影響があるか話し合ってみよう。」と記載している。 ○ 環境に配慮した衣生活

観点	(エ) 内容の構成・配分・分量
視点	⑦発展的な学習の扱い方
方法	発展的な学習の扱い及び具体例

	発展的な学習の扱い	具体例
東 書	<p>○ 発展のマークを付している。</p> <p>【説明】 学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3編 私たちの衣生活 <ul style="list-style-type: none"> ・世界の民族衣装 ○ 4編 私たちの住生活 <ul style="list-style-type: none"> ・世界のさまざまな住まい ○ 5編 私たちの消費生活と環境 <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレード ○ 6編 私たちの成長と家族・地域 <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんが学校に ・幼児の成長を支える地域の役割 ・子どもを守る条約や法律 ・ユニセフの活動 ・赤ちゃんー人間の育ちの始まりー ○ ユニバーサルデザイン <ul style="list-style-type: none"> ・みんなが暮らしやすい社会を目指して
教 図	<p>○ 発展のマークを付している。</p> <p>【説明】 学習指導要領には示されていない内容ですが、必要に応じて取り組んでみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 口絵9 世界の衣食住 ○ A編 家族・家庭生活 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の大好きな、ごっこ遊びを見てみよう ・子どものすこやかな成長のために ○ B編 衣食住の生活 <ul style="list-style-type: none"> ・味といっしょに楽しもう～地域の伝統的な器～ ・マンガやアニメの主人公は、どのような住まいで暮らしているの？ ○ C編 消費生活・環境 <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレードのチョコレートで児童労働をなくす ・ラナプラザの悲劇
開 隆 堂	<p>○ 発展のマークを付している。</p> <p>【説明】 発展的な学習の内容（学習指導要領に示されているものではなく、一律に学習しなければならない内容ではない）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ A 家族・家庭生活 <ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭を支える経済 ・家庭生活を支える社会 ・乳児期の場合 ・アタッチメント（愛着）と探索行動 ・子どもの健やかな成長のために ○ B 衣食住の生活 <ul style="list-style-type: none"> ・目に見えない栄養素を見てみよう ・進化する素材 ・子どもの権利条約 ・ふだん→災害時→生活再建のサイクルで学ぶ ・災害後の生活の立て直し ○ C 消費生活・環境 <ul style="list-style-type: none"> ・児童労働の実態 ○ 世界に視野を広げて <ul style="list-style-type: none"> ・世界の生活文化を見てみよう

観点	(エ) 内容の構成・配分・分量
視点	⑧他教科等と関連させて学習を進めるための工夫
方法	他教科等と関連する内容の示し方及び具体例

	他教科等と関連する内容の示し方	具体例：C消費生活・環境
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の他教科等の学習内容との関連については「リンク」マークを示し、教科名、単元・題材概要を示している。技術分野の学習内容との関連については「リンク」マークを示し、題材概要を示している。 ○ 家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては「リンク」マークを示し、掲載ページと内容を示している。 ○ 各編の導入ページで、「小学校家庭科で学んだこと」をキーワードで示している。小学校の他教科等の学習内容との関連については「リンク」マークを示し、小学校で学んだことを示している。 	<p>5編 私たちの消費生活と環境 小学校家庭科で学んだこと □買い物の仕組みや消費者の役割 等</p> <p>1章 私たちの消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校家庭 物や金銭の大切さ、計画的な使い方 ・社会（公民）契約と消費生活 ・小学校家庭 買い物の仕組み ・小学校家庭 物や金銭の計画的な使い方 ・消費生活と契約 ・技術分野 情報モラル ・消費者の権利と責任 ・社会（公民）市場の働きと経済 ・契約自由の原則 <p>2章 責任ある消費者になるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品の選択に役立つ表示やマーク ・社会（公民）市場の働きと経済 ・食品の選択と購入 ・既製服の選択と購入 ・食品のマークの例 ・取り扱い表示の例 ・認証ラベル付きの商品の例 ・おもちゃに付いているマーク ・契約自由の原則 ・消費者トラブルを未然に防ぐために ・買い物は投票 ・フェアトレード ・ユニバーサルデザイン ・社会（公民）市場の働きと経済
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の他教科等の学習内容や技術分野との関連については「関連」マークを示し、教科名、分野、単元・題材概要を示している。 ○ 家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては「関連」マークを示し、掲載ページと内容を示している。 ○ 各編の導入ページ等で、小学校家庭科の学習内容とのつながりを「関連」マークで示している。 	<p>C編 消費生活・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校家庭科「物や金銭の使い方と買い物」、「環境に配慮した生活」 <p>1章 私たちの消費生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「家庭生活と家庭の仕事」 ・社会 公民的分野 「市場の働きと経済」 ・「食品の選択と購入」 ・「衣服の選択と購入」 ・技術分野「個人情報の保護の必要性」「情報セキュリティと情報モラル」 ・「意思決定のプロセス」 ・「いろいろな販売方法」 ・技術分野 「個人情報の保護の必要性」 ・社会 公民的分野「国民の生活と政府の役割」
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校の他教科等の学習内容や技術分野との関連については「他教科・他分野との関連マーク」を右ページ上部に示し、教科、分野、単元、題材概要を示している。 ○ 家庭分野の他の章などに関連する内容があるものについては→マークを示し、掲載ページ又は掲載ページと内容を示している。 ○ 各内容の冒頭に、「小学校での学び」を設け、小学校家庭科での学習内容を示している。 	<p>C 消費生活・環境</p> <p>小学校での学び 買い物のしくみや消費者の役割 等</p> <p>1 家庭生活と消費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会／公民的分野 「身近な消費生活と経済活動」 ・→「生活に必要な費用」「生活を支える制度の実際」 ・小学校 買い物のしくみ ものや金銭の大切さ、計画的な使い方 <p>2 購入・支払いと生活情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会／公民的分野 「市場経済の考え方」 ・小学校 消費者の役割、身近なものの選び方、買い方、情報の収集・整理 ・技術分野 「情報の技術」 ・小学校 買い物のしくみ ・「いろいろなマーク」「生鮮食品の表示」 ・社会／公民的分野 「身近な消費生活と経済活動」 ・小学校 買い物のしくみ ・社会／公民的分野 「消費者の保護」

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨特別支援教育へ配慮した構成、デザインの工夫
方法	ユニバーサルデザインに配慮した示し方

ユニバーサルデザインに配慮した示し方	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、UDフォントを使用している。 ○ 内容ごとに基本色を設定し、見開き左端上部及び右端にそれぞれインデックスを付している。 ○ 教育漢字以外の漢字には全て丸ゴシック体でふり仮名を付している。 ○ 実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。 ○ 食品群別摂取量の目安を実物大の写真で示している。また、1日に必要な食品の種類と概量の例、1日分の食事の例を写真で示している。(朝食・昼食・夕食)
教 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、UDフォントを使用している。 ○ 内容ごとに基本色を設定し、見開き左端上部及び右端にそれぞれインデックスを付している。 ○ 中学校以降で学習する漢字には、見開きの初出でふり仮名を付している。 ○ 実習・製作の作業手順を縦向きの配置に統一している。 ○ 食品群別摂取量の目安をほぼ原寸大の写真で示している。また、1日の食事献立の例を写真で、食品群ごとの概量の重量を表で示している。(朝食・昼食・間食・夕食)
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の書体は、UDフォントを使用している。 ○ 内容ごとに基本色を設定し、見開き左側上部にインデックスを付している。 ○ 中学校以降で学習する漢字には、見開きページごとの初出箇所にふり仮名を付している。 ○ 実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。 ○ 食品群別摂取量の目安を実物大の写真で示している。また、1日に取りたい食事量の例を写真で示している。(朝食・昼食・夕食)

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩デジタルコンテンツの活用
方法	デジタルコンテンツの活用及び具体例

	デジタルコンテンツの活用	具体例：B衣食住の生活（住生活）
東 書	○ 動画、シミュレーションなどにつながる二次元コードを表示している。	<ul style="list-style-type: none"> ・誰がどの部屋を使うかを考えよう【ワークシート】【思考ツール】 ・理科 日本の天気の特徴と気団【他教科リンク】 ・日本各地の住まいの例【資料】 ・寒い土地の暮らし【動画】 ・世界の住まい【資料】 ・小学校家庭 よごれに合ったそうじをしよう【他教科リンク】 ・小学校家庭 冬の住まい方を見直そう、効果的に日光を利用しよう【他教科リンク】 ・小学校理科 結露【他教科リンク】 ・窓の開け方【動画】 ・室内の空気循環シミュレーション【動画】 ・室内汚染の原因と対策【資料】 ・ほこりの動き【動画】 ・保健体育 室内の空気の衛生的管理【他教科リンク】 ・住まいの中の危険を探そう【シミュレーション】 ・防災・減災手帳【資料】 ・ハザードマップポータルサイト【Webサイト】 ・保健体育 自然災害による傷害の防止【他教科リンク】 ・理科 自然の恵みと災害【他教科リンク】 ・災害に備えた住まいの整え方を考えよう【シミュレーション】 ・防災・減災クイズ【クイズ】 ・安全計画を立てよう【思考ツール】 ・避難訓練を見直す【動画】 ・保健体育 防災の自助、共助、公助【他教科リンク】 ・緊急時の防寒対策【動画】 ・SDGs 私たちがつくる未来【Webサイト】 ・小学校家庭 すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう【他教科リンク】 ・地域を観察しよう【思考ツール】 ・自己評価チェックシート【ワークシート】
教 図	○ ワーク、予習・復習に活用できる動画などにつながる二次元コードを表示している。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の住まいの例【ワーク】 ・コレクティブハウス、シェアハウス【ワーク】 ・日本の伝統的な住まい 360° パノラマビュー【Webサイト】 ・シックハウス症候群の対策【Webサイト】 ・結露が起こる仕組み【動画】 ・住まいの防犯対策【Webサイト】 ・住まいの中で起こる事故【ワーク】 ・国土交通省ハザードマップポータルサイト【Webサイト】 ・日本の自然災害【Webサイト】 ・自然災害への備え【Webサイト】 ・災害時の代用品の作り方【動画】 ・記録レポート用紙【PDF】 ・ふり返しシート【PDF】
開 隆 堂	○ 資料や動画などにつながる二次元コードを表示している。	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍「ホームレス中学生」【資料】 ・「考えてみよう」（正解例）【資料】 ・「工夫してみよう」（新課題）【資料】 ・日本各地の住まい【資料】 ・家の中のヒヤリハットを探そう！【資料】 ・様々な換気方法【資料】 ・過去に発生した主な災害【動画】 ・地震の被害にあった中学生（全文）【資料】 ・省エネな住まい方【資料】 ・ユニバーサルデザインの例【資料】 ・B住生活 学習のまとめ

英 語

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	NEW HORIZON English Course
9	開 隆 堂	Sunshine English Course
15	三 省 堂	NEW CROWN English Series
17	教 出	ONE WORLD English Course
38	光 村	Here We Go! ENGLISH COURSE
61	啓 林 館	BLUE SKY English Course

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 単元の目標の示し方	目標の示し方及び具体例
		② 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫	文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定及び具体例
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 単元における言語活動の工夫	単元や題材など内容や時間のまとまりにおける言語活動の設定及び単元終末の言語活動の具体例
		④ 知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫	複数の領域を関連付けた統合的な言語活動及び展開の具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 単元に対する興味・関心を高めるための工夫	単元の導入の工夫
		⑥ 単元等における振り返りの工夫	単元や題材など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 単元の構成・配列の工夫	総ページ数、総単元数及び領域別言語活動数
		⑧ 小学校外国語科との接続を図った構成・配列	小学校外国語科との接続を図った単元等の構成・配列及び具体例
(オ)	内容の表現・表記	⑨ 巻末資料、付録等の工夫	巻末資料、付録及びデジタルコンテンツの内容
		⑩ 学習到達目標の設定	学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定及び具体例

観点	(ア) 知識及び技能の習得
	視点 ①単元の目標の示し方
	方法 目標の示し方及び具体例

	目標の示し方	具体例 (第2学年)
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に各 Unit の「活動目標 (GOAL)」を示している。 ○ 単元である Unit ごとに目標「GOAL」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 6 How can we make a good presentation? <ul style="list-style-type: none"> ・活動目標 (GOAL) アンケート調査の結果を発表することができる。 ・GOAL 身近なトピックについて調査を行い、データを比べて発表することができる。
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である PROGRAM 内のコーナーごとに目標「GOALS」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM 6 High-Tech Nature <ul style="list-style-type: none"> ・GOALS Scenes 大きさや程度などを比べて伝え合う。 Part 1, 2, 3/Review & Retell 生物をヒントにして作られたものについて理解し、伝える。 Action 自分が取り組んでいる省エネ対策について伝える。
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に各 Lesson の「Goal Activity (活動の内容)」を示している。 ○ 単元である Lesson ごとに目標「Goal Activity」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 6 Friends from Singapore <ul style="list-style-type: none"> ・Goal Activity (活動の内容) Read+Write [意見文] シンガポールの友だちから受け取ったメールを読もう。 ・Goal Activity 事実と、筆者の考えや気持ちに着目して、シンガポールの姉妹校の友だちから受け取ったメールを読もう。
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Lesson ごとに「Goal (内容理解) (活動)」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 6 Castles and Canyons <ul style="list-style-type: none"> ・Goal (内容理解) 日本や海外の観光名所について紹介されている内容を理解する。 ・Goal (活動) 「どちらがより～だ」を表す文を使ってやり取りすることができる。
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次に各 Unit の「単元の目標」を示している。 ○ 単元である Unit ごとに関連する領域別の目標「Goal」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 5 How Do We Stay Safe? <ul style="list-style-type: none"> ・単元の目標 防災バッグの中身を決めよう ・Goal Listen 災害時に役立つものの説明から、必要な情報を聞き取ることができる。 Speak 必要だと思うものについて、意見を整理して伝え合うことができる。
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元である Unit ごとに関連する目標「Unit Goal (Input) (Output)」を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 7 World Heritage Sites <ul style="list-style-type: none"> ・Unit Goal (Input) 紹介されている世界遺産の特徴や課題、そこでのルールなどを読み取ることができる。 ・Unit Goal (Output) 自分の住む地域の“Treasure”としての大切な場所や建物、人、ものなどを、理由を示しながら紹介するスピーチをすることができる。

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫
方法	文、文構造及び文法事項に繰り返し触れる機会の設定及び具体例

to 不定詞 (want to～) に繰り返し触れる機会を設定した単元及び具体例 (第2学年)		
	単元名	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 What can we experience on a trip? ○ Unit 2 What is local food? ○ Unit 3 What kind of job are you interested in? ○ Unit 4 What is important in a homestay? ○ Unit 5 What design is good for everyone? 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4 What is important in a homestay? • So, I <u>want to</u> enjoy doing something with them. • I don't <u>want to</u> hurt his feelings. • What does Lucas <u>want to</u> do? • I <u>want to</u> visit them again in the near future. • I <u>want to</u> go to hot springs. • I <u>want to</u> say to Patrick, "You don't have to use chopsticks." • I <u>want to</u> say to him, "You must take off your shoes when you enter a house."
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM 2 Koshien Project in Africa ○ PROGRAM 3 Taste of Culture ○ PROGRAM 5 Work Experience ○ PROGRAM 6 High-Tech Nature ○ PROGRAM 7 Unique Animals ○ PROGRAM 8 A Hope for Lasting Peace 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM 3 Taste of Culture • I <u>want to</u> go! • What do you <u>want to</u> do this weekend? • I <u>want to</u> go fishing. • I <u>want to</u> eat an "American dog." • What do you <u>want to</u> have? • I <u>want to</u> have something sweet. • Does Mao <u>want to</u> drink lemonade? • I <u>want to</u> eat a corn dog. • Mao <u>wants to</u> eat a corn dog. • I <u>want to</u> sell something to eat. • I <u>want to</u> sell a lot to buy a present for Miki. • Yumi <u>wants to</u> have a dog. • I <u>want to</u> see the movie.
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1 Meet New Friends ○ Lesson 3 My Dream ○ Lesson 5 Visiting Australia ○ Lesson 6 Friends from Singapore ○ Lesson 7 Gifts from China ○ Lesson 8 <i>Rakugo</i> Goes Overseas 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 3 My Dream • I <u>want to</u> help animals. • I <u>want to</u> travel to space. • I <u>want to</u> be an interpreter. • I <u>want to</u> work with people around the world. • Where do you <u>want to</u> go for your day-at-work program? • I don't <u>want to</u> waste anything. • What do you <u>want to</u> do in the future? • I <u>want to</u> travel all around the world. • You <u>want to</u> travel around the world. • Where do you <u>want to</u> go first?
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 3 Design Makes Change ○ Lesson 4 Workplace Experience ○ Lesson 5 How to Celebrate Halloween ○ Lesson 6 Castles and Canyons ○ Lesson 8 <i>Rakugo</i> in English 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 3 Design Makes Change • I <u>want to</u> become a teacher in the future. • I <u>want to</u> drink grape juice. • I <u>want to</u> be a baseball player. • I <u>want to</u> be a doctor. • I <u>want to</u> be a tennis player.

to 不定詞 (want to～) に繰り返し触れる機会を設定した単元及び具体例 (第2学年)		
	単元名	具体例
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 Hajin's Diary ○ Unit 2 Basketball Tournament ○ Unit 3 Plans for the Summer ○ Unit 4 Tour in Singapore ○ Unit 6 Guide Dogs ○ Unit 7 Working Together ○ Unit 8 Performing a Play 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 4 Tour in Singapore <ul style="list-style-type: none"> • OK, what do you <u>want to</u> do first? • I <u>want to</u> see the Merlion. • I <u>want to</u> go there, too. • Where do you <u>want to</u> go on your next vacation? • I <u>want to</u> buy Shota a mug. • I <u>want to</u> buy my mother a magnet. • Do you <u>want to</u> look inside? • I <u>want to</u> have lunch right now.
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 Talent Show ○ Unit 2 Festivals in the World ○ Unit 3 Visiting Singapore ○ Unit 4 Preparing for Natural Disasters ○ Unit 5 What is Your Dream? ○ Unit 6 Kiri on the Stage ○ Unit 7 World Heritage Sites ○ Unit 8 Food Diversity 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 5 What is Your Dream? <ul style="list-style-type: none"> • Where does Hina <u>want to</u> go for the internship? • Where do you <u>want to</u> go for an internship? • Where do you guys <u>want to</u> go for the internship? • My dream is to be a game creator, so I <u>want to</u> go to a game company. • Why does Jin <u>want to</u> go to a game company? • What animals do you <u>want to</u> see in the zoo? • She became a zookeeper because she <u>wanted to</u> protect endangered species. • Where do you <u>want to</u> go for an internship? • I <u>want to</u> go to a grocery store because I like fruit and vegetables. • I <u>want to</u> go to a nursery school because I <u>want to</u> be a nursery school teacher. • I <u>want to</u> think about my future career more. • I <u>want to</u> be a scenario writer. • I <u>want to</u> have better communication skills because teamwork is important, too. • I <u>want to</u> be a game developer like you. • I <u>want to</u> show you my game if I can see you again. • What did Jin <u>want to</u> be before he visited the game company? • Why does Jin <u>want to</u> have better communication skills? • I <u>want to</u> be a professional dancer in the future. • If I have a chance, I <u>want to</u> study dance abroad and learn from the best dancers in the world.

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③単元における言語活動の工夫
方法	単元や題材など内容や時間のまとまりにおける言語活動の設定及び単元終末の言語活動の具体例

		単元や題材など内容や時間のまとまりにおける言語活動 (第2学年)				
		社会的な話題を取り上げている単元における言語活動の設定			単元終末の言語活動の具体例	
東 書	○ Unit 5 What design is good for everyone? ・単元終末の言語活動である「Unit Activity」に向け、言語活動を設定している。			話すこと		書くこと
		聞くこと	読むこと	[やり取り]	[発表]	
	扉	-	-	-	-	-
	Part 1	-	-	-	1	-
	Part 2	-	-	2	-	-
	Read and Think 1	1	3	-	1	1
	Read and Think 2	1	3	-	1	1
	Unit Activity	-	-	1	-	1
開 隆 堂	○ PROGRAM 6 High-Tech Nature ・単元終末の言語活動である「Action」に向け、言語活動を設定している。			話すこと		書くこと
		聞くこと	読むこと	[やり取り]	[発表]	
	とびら	-	-	-	-	-
	Scenes	3	-	3	-	3
	Tuning in	1	-	-	-	-
	Part 1	1	1	-	-	-
	Part 2	1	1	-	-	-
	Part 3	1	1	-	-	-
	Review & Retell	-	-	-	-	-
	Action	-	1	-	1	-

○ Unit Activity 取り入れたいユニバーサルデザインを伝え合おう

自分たちの学校を、生徒、先生、来校者など全ての人々にとって過ごしやすい場所にするために、取り入れたいユニバーサルデザインについて伝え合しましょう。

- ・STEP 1 取り入れたいユニバーサルデザインを考えよう

身のまわり(町や施設など)から、学校に取り入れたいユニバーサルデザインを選んで、その理由や特徴をまとめましょう。

- ・STEP 2 ユニバーサルデザインを取り入れた学校について伝え合おう

STEP 1でまとめた内容をもとに、ユニバーサルデザインを取り入れた学校の絵をかき、ペアで伝え合しましょう。

- ・STEP 3 伝え合ったことを書いてまとめよう

① STEP 2で伝え合った内容をもとに、自分たちの学校に取り入れたいユニバーサルデザインについて、書いてまとめましょう。

② ここまでの学習をふまえて、Unit Questionについて、自分の考えを書きましょう。

What design is good for everyone?

○ Action

あなたは外国の中学生と、身近なSDGsについて、リモートで話し合いをしています。

- ・Step 1
アメリカの中学生オリバーが省エネの取り組みについて話しています。
- ・Step 2
あなたがふだん取り組んでいる、または取り組みそうな省エネ対策をメモしましょう。
- ・Step 3
Step 2のメモをもとに、自分が取り組んでいる、または取り組みそうな省エネ対策について、グループで発表しましょう。

三省堂	○ Lesson 4 Safe Clean Water ・単元終末の言語活動である「Goal Activity」に向け、言語活動を設定している。						○ Goal Activity 身の回りにはどんな環境問題がある？ ・SETTING 身近な環境問題について、シンガポールの姉妹校の生徒と情報交換をすることになりました。陸たちと一緒に、問題点と解決策をレポートにまとめよう。 ・Read 陸たちが書いたレポートを読もう。レポートの内容を表にまとめよう。 ・Write 身近な環境問題について、問題点と解決策をレポートにまとめよう。 Step 1 問題点を書き出し、レポートにまとめることを1つ選ぼう。 Step 2 Readを参考にして、レポートにまとめることを整理しよう。 Step 3 レポートを書いて、最後にひとことつけ加えよう。 Step 4 ペアでレポートを交換し、感想を言ったり、アドバイスをしたりしよう。
		聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと	
				[やり取り]	[発表]		
	とびら	-	-	-	-	-	
	Part 1	3	1	-	1	1	
	Part 2	3	1	-	1	1	
	Part 3	1	1	1	-	1	
Small Talk Plus+	-	-	1	-	-		
Goal Activity	-	1	-	-	1		
教出	○ Lesson 2 Energy Sources for Our Future ・単元終末の言語活動である「Task」に向け、言語活動を設定している。						○ Task 1. ケンタが、地球温暖化について学んだことを、ノートにまとめています。本文を読み返して、あてはまる語句を□から選んで書こう。文頭にくる文字は、大文字にしよう。 2. 地球温暖化や環境問題についての対策を考えるため、今後起こる可能性のあることを想像して、クラスで話し合うことにしました。次のようなことが起こったらどうなるかを考えて、クラスに共有しよう。
		聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと	
				[やり取り]	[発表]		
	扉ページ	1	-	-	-	-	
	Part 1	1	-	2	-	-	
	Part 2	1	-	2	-	-	
	Part 3	1	1	2	-	-	
Task	-	1	1	1	1		
光村	○ Unit 6 Guide Dogs ・単元終末の言語活動である「Goal」に向け、言語活動を設定している。						○ Goal ボランティア活動についての紹介記事を書こう ・目的・場面・状況 あなたは学校新聞に、ボランティア活動について紹介する英語の記事を書くことになりました。Kotaの書いた記事を参考にして、あなたも文章を書いてみましょう。 ・Read Kotaは、学校新聞でどんな活動を紹介しているのでしょうか。 (1) Kotaは、記事に挿絵を掲載したいと考えています。記事の内容にいちばん合う絵を1つ選び、✓を付けましょう。 (2) 次の表は、文章の構成を表したものです。①～④の段落番号を表に書きましょう。 ・Write あなたが紹介したいボランティア活動について調べて、文章にまとめましょう。 ① 伝える内容を整理しよう 紹介したいボランティア活動について調べた後、図表を使って情報を整理し、文章の構成を考えましょう。 ② 文章を書いて、友達と読み合おう
		聞くこと	読むこと	話すこと		書くこと	
				[やり取り]	[発表]		
	扉	1	-	1	-	-	
	Part 1	2	1	1	-	1	
	Part 2	2	1	1	-	1	
	Part 3	2	1	1	-	1	
Goal	-	1	-	-	1		

【英語】

啓林館	○ Unit 4 Preparing for Natural Disasters ・単元終末の言語活動である「Think & Speak」に向け、言語活動を設定している。					○ Think & Speak 災害発生時のとるべき行動について説明しよう ・ Step 1 Ms. Hall は火災が発生したときの行動について説明しています。説明を聞いて、内容と合っている絵を①～④から選び、話されている順番になるように記号を（ ）に書きましょう。 ・ Step 2 下の表から災害を1つ選び、災害発生時の行動や注意事項をメモしましょう。 ・ Step 3 Step 2をもとに、災害発生時の行動について発表しましょう。	
		聞くこと	読むこと	話すこと			書くこと
				[やり取り]	[発表]		
	とびら	1	-	-	-		-
	Part 1	2	1	1	1		1
	Part 2	2	1	2	-		1
	Part 3	2	1	1	-		2
Listen & Think	2	-	-	1	-		
Think & Speak	1	-	-	1	1		

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④知識及び技能を活用し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫
方法	複数の領域を関連付けた統合的な言語活動及び展開の具体例

		第2学年	
		複数単元の学習を踏まえ、 複数の領域を関連付けた統合的 な言語活動の具体例	複数単元の学習を踏まえ、複数の領域を関連付けた 統合的な言語活動に向けた展開
東 書	<p>○ Stage Activity 1 My Favorite Japanese Food</p> <p>・GOAL 自分のいちばん好きな日本食について、その特徴や好きな理由を発表することができる。</p> <p>・目的・場面・状況 国際交流の授業で、カナダのバンクーバーの生徒から、ビデオレターが届きました。相手が知りたい情報を確認しましょう。</p> <p>*関連する単元 Unit 0 My Spring Vacation Unit 1 What can we experience on a trip? Unit 2 What is local food? Unit 3 What kind of job are you interested in?</p>	<p>Thinking 紹介する日本食についての情報をまとめよう 紹介する日本食を1つ選んで、例を参考にして項目ごとに伝える情報をまとめましょう。</p> <p>Speaking いちばん好きな日本食を紹介しよう ①Thinking でまとめた情報を、話すためのメモにまとめましょう。 ②グループになり、好きな日本食を発表し合ひましょう。</p> <p>PLUS [Optional Reading] バンクーバーの日本食レストランのレビューサイト(ロコミサイト)です。あなたなら、どちらのレストランに行ってみたいですか。ペアで話しましょう。 お好み焼きの作り方が英語で紹介されているウェブページです。レシピではどんな表現が使われているかに注目して、読みましょう。</p>	
開 隆 堂	<p>○ Our Project 4 海外でヒットするラーメンのCMを作ろう</p> <p>・GOALS ☑わかりやすい説明になるように、やさしい語句を使って説明する。 ☑売り出したいラーメンの魅力を伝えるために、聞き手を引きつける工夫をする。 ☑CMの発表を聞いて、リアクション、コメント、質問などをする。</p> <p>*関連する単元 PROGRAM 1 New Start PROGRAM 2 Koshien Project in Africa PROGRAM 3 Taste of Culture</p>	<p>① ある企業が海外で売り出すラーメンのアイデアを募集しています。採用を目指し、魅力的なCMを作って応募しましょう。(Listen, Read)</p> <ol style="list-style-type: none"> その企業が現在売り出し中のラーメンのCMを聞きましよう。CMの中で話している3つの特長をメモしましょう。 CMの台本を読みましよう。 <p>② CMの構想を練りましよう。(やり取り、Write)</p> <ol style="list-style-type: none"> 売り出し中のラーメンのCMの情報を確認ましよう。 1.を参考に、売り出したいラーメンについて、グループで整理ましよう。 <p>③ 売り出したいラーメンのCM台本を作らましよう。(Write)</p> <p>Go! さあ、本番だ!(Speak)</p> <ol style="list-style-type: none"> 自分たちが考えたラーメンのCMを発表ましよう。聞き手はコメントや質問をましよう。 発表が終わったら、p.41のGOALSの達成度を振り返りましよう。 <ul style="list-style-type: none"> わかりやすい説明になるように、やさしい語句を使って説明できた。 売り出したいラーメンの魅力を伝えるために、聞き手を引きつける工夫ができた。 CMの発表を聞いて、リアクションやコメント、質問などができた。 自分たちの発表を振り返ってうまくできたことやできなかったこと、ほかのグループの発表を聞いて、次回の発表に取り入れたいと思ったことを自由に書きましよう。 	

三省堂	<p>○ Project 1 スピーチ「My Dream」</p> <p>・SETTING 世界中の中学生が参加する「夢」をテーマにしたスピーチコンテストが開催されています。将来したいことや、夢についてスピーチをしよう。</p> <p>*関連する単元 Lesson 1 Meet New Friends Lesson 2 Fun with Books Lesson 3 My Dream</p>	<p>Step 1 花、陸、マークのスピーチを聞こう。(聞く活動)</p> <p>Step 2 Step 1 のスピーチをもう一度聞こう。 (1) 3人のスピーチの構成を確認しよう。 (2) 3人が発表するときどんな工夫をしているか、ペアやグループで話し合おう。</p> <p>Step 3 スピーチの内容を考えて、メモや原稿を作ろう。(書く活動) (1) 将来したいことや、夢について考えよう。 (2) (1)で考えたことを整理しよう。 (3) スピーチのメモや原稿を書こう。 (4) ペアでスピーチの練習をし、気づいたことをアドバイスしよう。</p> <p>Goal スピーチ動画を撮影し、グループやクラスでシェアしよう。(話す活動 (発表))</p>
教出	<p>○ Project 1 Ideas for Change</p> <p>・Goal 解決すべき課題に対し、自分たちができる取り組みを考え、表現することができる。</p> <p>・Scene 環境問題やデザインなどについてのこれまでの学びを通じて、世の中のさまざまな課題を解決するためにできることを考え、グループで発表することになりました。</p> <p>*関連する単元 Lesson 1 Assistance Dogs Lesson 2 Energy Sources for Our Future Lesson 3 Design Makes Change</p>	<p>(Listen, Read, Talk, Speak, Write)</p> <p>① ダンが自分たちができる取り組みについて発表しています。聞き取ったことをメモしよう。</p> <p>② 自分たちが関心のある問題、気になっていることを挙げてみよう。そのなかから、特に解決したい課題を選ぼう。</p> <p>③ 選んだ課題について、問題が起こる原因を考えてみよう。マッピング図 (p.43) を描いて、知っていることやイメージをつなげ、原因についての考えを深めよう。</p> <p>④ 課題を解決するために、どんなことができるだろう。③で考えた原因をふまえながら、自分たちができることを、by myself (自分自身で)、with cooperation (協力して)、with ease (やさしい)、with effort (努力がいる) の座標にあてはめて考えてみよう。</p> <p>⑤ ②で選んだ課題について、③④で考えた問題の原因や解決するためにできることを英語でまとめて、発表の原稿をつくらう。</p> <p>⑥ 発表しよう。発表が終わったら、ほかのグループが選んだ課題についても、みんなでアイデアを出し合ってみよう。</p>
光村	<p>○ You Can Do It! ①</p> <p>「わが町観光プラン」をおすすめしよう</p> <p>・目的・場面・状況 あなたの学校に来週から、外国からの交換留学生がやって来ます。フィンランドからの Mika Laine と、ブラジルからの Laura Matsumoto の2人です。あなたの町の魅力を知ってもらうために、2人にぴったりの観光プランを考えましょう。</p> <p>*関連する単元 Unit 1 Hajin's Diary Unit 2 Basketball Tournament Unit 3 Plans for the Summer</p>	<p>Read</p> <p>① Mika と Launa から自己紹介文が届きました。2人の興味・関心が見える部分に下線を引きましょう。</p> <p>② もう一度読んで、2人の共通点を見つけましょう。</p> <p>Write 自己紹介文の内容をふまえて、2人がいっしょに楽しむことのできる観光プランを作りましょう。</p> <p>① おすすめの内容を考えよう 2人の興味・関心をもとに、プランを考えましょう。条件は以下の3つです。 見どころは3つ 日帰り旅行 予算は1人3,000円まで</p> <p>② 観光プランを作ろう 考えたプランを書きましょう。</p> <p>Extra 作成したプランをグループで読み合い、いちばんよいと思うものを選びましょう。選んだプランを理由といっしょに、クラスみんなに発表しましょう。</p>

<p>啓 林 館</p>	<p>○ Project 1 Sharing Japanese Culture with the World</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標 日本文化について紹介する一貫性のある文章を書くことができる。 ・ Scene 日本文化について紹介するパンフレットを作成し、オーストラリアの姉妹校へ送ることになりました。あなたならどんなことを紹介しますか。 <p>* 関連する単元 Unit 1 Talent Show Unit 2 Festivals in the World Unit 3 Visiting Singapore</p>	<p>Step 1 (Read) Sho と Hina が書いた紹介文を読み、それぞれがどんなことをどのように紹介しているか確認しましょう。</p> <p>Step 2</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 紹介したい日本文化のジャンルを1つ選びましょう。 ② 自分がしたい物事について、例にならって、マッピングしましょう。 ③ (Write) 下の表に書きたいことを英語でメモしましょう。 ④ ペアになり、表を見せ合ひましょう。表の内容について質問し合ったり、追加できそうな情報を伝え合ったりしましょう。 <p>Step 3</p> <ol style="list-style-type: none"> ① (Write) Step 2 をもとに、日本文化を紹介する文章を書きましょう。 ② (Speak) グループになり、発表しましょう。
----------------------	---	---

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤単元に対する興味・関心を高めるための工夫
方法	単元の導入の工夫

単元の扉（とびら）における興味・関心を高めるための工夫の具体例（第2学年）			
	単元	観点	工夫の具体
東書	○ Unit 1 What can we experience on a trip?	単元の目標及び言語活動等	<ul style="list-style-type: none"> 単元を貫く問い「Unit Question」を単元名として設定し示している。 「GOAL」として、単元の目標を示している。 単元終末の言語活動である「Unit Activity」のタイトルを示している。 目的・場面・状況を示した上で、登場人物が対話しているアニメを視聴し、問いに答える「Preview」を設定し、その一場面のイラストとともに掲載している。
		絵・写真	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に関連する写真を複数掲載している。
		二次元コード	<ul style="list-style-type: none"> 「Preview」の「Previewアニメ（字幕ON/字幕OFF）」、「Unitタイトル」、「写真・図版資料」を掲載したページにアクセスすることができる。
開隆堂	○ PROGRAM 4 Leave Only Footprints	単元の目標及び言語活動等	<ul style="list-style-type: none"> 「GOALS」として、単元の各コーナーの目標を示している。 「こんな表現ができる!」として、単元を通してできるようになることをイラストとともに3つ示している。 単元のタイトルの下に、単元におけるコミュニケーションの目的・場面・状況の設定を示している。 「New Words」として、とびらで扱われる新出語を掲載している。
		絵・写真	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に関連する写真を複数掲載している。 単元の話題に関連するSDGsのアイコンを掲載している。
		二次元コード	<ul style="list-style-type: none"> 「単語アプリ」、「とびら」の「語句」、「Scenes 1~3」の「対話」「Listen」「語句」「動画」、「Tuning in」の「Listen」「動画」、「Part（本文）1~3」の「本文」「語句」、「1~3 通し音声」の「本文」、「Action」の「語句」及び「英語早わかり」の「語句」「動画」を掲載したページにアクセスすることができる。
三省堂	○ Lesson 5 Visiting Australia	単元の目標及び言語活動等	<ul style="list-style-type: none"> 「Lesson Preview」として、単元のテーマ及び各PartにおけるSceneの一場面のイラストを示すとともに、イラストの一枚に関連する日本語の問いを、独自のキャラクターとともに吹き出しで示している。また、単元終末の言語活動である「Goal Activity」の内容を掲載ページの画像の一部とともに示している。 単元の話題に関連するとびらの写真について、英語で簡単なやり取りをする活動を設定している。また、二次元コードからアクセスすることができる「イントロダクションの動画を見る」の最後に設定された問いを示すとともに、問いに関連する日本語の問いを、独自のキャラクターとともに吹き出しで示している。
		絵・写真	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に関連する写真を複数掲載している。
		二次元コード	<ul style="list-style-type: none"> 「とびら」の「写真/イラストを見る」「イントロダクションの動画を見る」「Sceneのアニメーションを見る」及び「資料動画」の「資料動画を見る」を掲載したページにアクセスすることができる。

単元の扉（とびら）における興味・関心を高めるための工夫の具体例（第2学年）			
	単元	観点	工夫の具体
教出	○ Lesson 6 Castles and Canyons	単元の目標 及び 言語活動等	<ul style="list-style-type: none"> 「Goal」として、単元の目標を「内容理解」と「活動」に分けて示している。 「聞く活動」として、単元で扱う話題に関連する問いを設定し、登場人物のイラストに吹き出しを付けて示している。 単元で取り組む5領域の活動のアイコンを記載している。 扉ページで扱われる新出語を掲載している。
		絵・写真	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に関連する写真を複数掲載している。
		二次元コード	<ul style="list-style-type: none"> 「まなびリンク」の「Lesson 6 Words & Phrases 学習シート」を掲載したページにアクセスすることができる。
光村	○ Unit 4 Tour in Singapore	単元の目標 及び 言語活動等	<ul style="list-style-type: none"> 「Goal」として、単元の目標を「Read」と「Speak」に分けて示している。 単元におけるコミュニケーションの目的・場面・状況について、登場人物のイラストと台詞で示している。 ストーリーのおおまかな内容をつかむ活動として、「1. 予想する」「2. 音声を聞く」「3. 映像を見る」を設定している。 「やり取りする活動」として、題材と自分をつなげて話す Small Talk の話題を「About You」のマークとともに示している。
		絵・写真	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に関連する写真を複数掲載している。
		二次元コード	<ul style="list-style-type: none"> 「扉」の「Listen」「ピクチャーカード並びかえ」及び「Watch（アニメ／ドラマ）」を掲載したページにアクセスすることができる。
啓林館	○ Unit 3 Visiting Singapore	単元の目標 及び 言語活動等	<ul style="list-style-type: none"> 「Unit Goal」として、単元の目標を「Input」と「Output」に分けて示している。 目的・場面・状況を示した上で、扉ページの写真やイラストに関する登場人物の会話を聞いて問いに答える「聞く活動」を設定している。 「Words」として、扉ページで扱われる新出語を掲載している。
		絵・写真	<ul style="list-style-type: none"> 単元の話題に関連する写真を複数掲載している。
		二次元コード	<ul style="list-style-type: none"> 「扉」の「Listen 音声」「Listen スライドショー」「Words 音声」「本文アニメーション（Part 1～3）」及び「本文音声（Part 1～3）」を掲載したページにアクセスすることができる。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥単元等における振り返りの工夫
方法	単元や題材など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定及び具体例

		第3学年	
		単元や題材など内容や時間のまとまりを踏まえた振り返りの設定	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元末の「Unit Activity」の「STEP 3」に「Unit Question」を設定し、自分の考えを書くとともに、「CHECK」において、4段階の振り返りを設定している。 (復習単元 Unit 0 を除く) ○ 「Stage Activity」に「CHECK」を設定し、4段階で振り返りを行うとともに、巻末口絵「CAN-DO リスト」で各 Stage の学習について、領域ごとに4段階で振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 1 What is special about Japanese pop culture? Unit Question ・ What is special about Japanese pop culture? CHECK ・ 日本のポップカルチャーの魅力を伝えることができましたか。 ○ Stage Activity 1 Discover Japan CHECK ・ 日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができましたか。 「CAN DO CHECK Stage 1 (pp.6-49)」 ・ これまでの学習をふり返ろう▶巻末口絵 CAN-DO リスト Stage 1 は p.49 までです。p.49 までの学習を終えたら、巻末にある CAN-DO リストで学習をふり返りましょう。 	
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元内の「Scenes for Basic Dialogs」「Review & Retell」及び「Action」の「できたかな? GOAL」において、3段階の振り返りを設定している。 ○ 「Our Project」の「Go! さあ、本番だ!」の「GOALS の達成度を振り返りましょう。」において、3項目について3段階の振り返りを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ PROGRAM 1 Japanese Bentos Are Interesting! Scenes for Basic Dialogs できたかな? GOAL ・ 自分がしてほしいことや好きなことについて伝え合えた。 Review & Retell できたかな? GOAL ・ 日本の弁当文化について理解し、伝えられた。 Action できたかな? GOAL ・ 生徒の希望に沿ったオリジナルの弁当を提案できた。 ○ Our Project 7 パラスポーツについて知ろう Go! さあ、本番だ! 2. ポスターセッションを終えたら、p.43 の GOALS の達成度を振り返りましょう。 ・ 目線や声の大きさ、表情を意識しながらやり取りできた。 ・ [訪問者]積極的に説明者へ質問をし、多くの情報を引き出した。 ・ [説明者]訪問者が理解できるように、具体的に説明できた。 	
三 省 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元末の「Goal Activity」の「ふり返り」において、2項目について振り返りを設定している。 ○ 「Project」の「ふり返り」において、2項目について振り返りを設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson 1 Join Us ふり返り ・ 詳しい説明をつけ加えて、夢中になっていることの魅力を伝えることができた。 ・ 聞き手を意識しながら、夢中になっていることについて話そうとした。 ○ Project 1 旅行プランの提案 ふり返り ・ 読んだことに基づき、引用するなどして、旅行プランを提案することができた。 ・ 聞き手を意識しながら、旅行プランを提案しようとした。 	

		第3学年	
		単元や題材など内容や時間の まとまりを踏まえた振り返り の設定	具体例
教 出	○ 各単元末の「Lesson○をふり返ろう」において、「内容理解」と「活動」について4段階の振り返りを設定している。 (復習単元 Review Lesson を除く)	○ Lesson 1 Aya's Homestay in Vancouver Lesson 1 をふり返ろう どのくらい達成できたか、右側のマークを選んでなぞろう。 内容理解 ・アヤがバンクーバーでしたことや知ったことを理解する。 活動 ・相手が経験したことをまじえて、クラスに紹介することができる。	○ Project 1 The Best Product Ever Project 1 をふり返ろう ・ Goal をどれくらい達成できたか、右のマークを選んでなぞろう。
	○ 「Project」の「Project○をふり返ろう」において、「Goal」の達成度について4段階の振り返りを設定している。	○ Unit 1 Virtual Safari Tour Goal ふり返り ・記事から、質問の答えに必要な情報を読み取ることができる。 → CAN DO List (R-1) ・記事から読み取った事実をもとに、自分の考えを発表することができる。 → CAN DO List (SP-3)	○ You Can Do It! 1 学校生活について意見をまとめよう Goal 学期のふり返り ・話し合いの中で意見をまとめることができるかな。 → CAN-DO List (R-2) (SI-3)
光 村	○ 各単元末の「Goal ふり返り」において、2項目について振り返りを設定している。	○ 「You Can Do It!」の「Goal 学期のふり返り」において、4段階の振り返りを設定している。	
啓 林 館	○ 各単元末の「Check」において、「Input」と「Output」について4段階の振り返りを設定している。	○ Unit 1 Trick Your Eyes with Art Check Input ・絵についてのやり取りや説明を読んで、話の大まかな内容や説明の要点を捉えることができる。 Output ・自分の好きな美術作品について、気に入っている点やその理由などを聞き手に分かりやすい表現で発表することができる。	

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦単元の構成・配列の工夫
方法	総ページ数、総単元数及び領域別言語活動数

	第3学年						
	総ページ数	総単元数	領域別言語活動数 (4技能5領域の活動を示すマークの数)				
			聞くこと	読むこと	話すこと [やり取り]	話すこと [発表]	書くこと
東書	158	7	13	37	26	19	26
開隆堂	166	7	54	38	43	7	38
三省堂	172	8	57	34	21	13	27
教出	182	7	29	19	21	21	13
光村	194	8	58	35	33	15	28
啓林館	154	6	60	37	32	14	46

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧小学校外国語科との接続を図った構成・配列
方法	小学校外国語科との接続を図った単元等の構成・配列及び具体例

		第1学年	
		小学校外国語科との接続を図った単元等の構成・配列	小中接続期における、音と文字の学習に関連した内容の具体例
東 書		<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 0～4 ○ Stage Activity 1 ○ Sounds and Letters 0～4 ○ 夏休みの特集 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Sounds and Letters 0 英語の音と文字 <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットの名前と音を確認しよう ・読み方のちがいを確認しよう ・単語の中の音を聞き取ろう ・単語を読もう ○ Sounds and Letters 1 2字1音・母音時の名前読み <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットが表す音を確認しよう・1 ・単語を読もう ・アルファベットが表す音を確認しよう・2 ・単語を書こう ○ Sounds and Letters 2 さまざまな母音① <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットが表す音を確認しよう・1 ・単語を読んだり書いたりしよう ・アルファベットが表す音を確認しよう・2 ・単語を読もう ・文を読もう ○ Sounds and Letters 3 さまざまな母音② <ul style="list-style-type: none"> ・アルファベットが表す音を確認しよう ・単語を読んだり書いたりしよう ・文を読もう ○ Sounds and Letters 4 音と文字のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・単語を読んだり書いたりしよう ・文を読もう <p>※資料編に「英語の音と文字」を掲載している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○ Get Ready 1～6 及び番外編 ○ 各単元の「Scenes」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Get Ready 5 アルファベットを確認しよう <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を聞いて、アルファベットの名前読み、音読み、単語の発音を確認しましょう。 2. 英語を聞いて、読まれたものを絵の中から探して指さしましょう。 3. 対話を聞いて、ベンの友だちやペット、好きな歌手の名前を書き取りましょう。 4. 音声を聞いて、下線部を表す文字を書きましょう。 <p>※巻末資料に「6 英語の音声」及び「7 英語のつづり字と発音」を掲載している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ○ Starter 1～6 ○ My Dictionary ○ Lesson 1～4 ○ Words & Sounds 1, 2 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Starter 5 英語の音と文字を確認しよう！ やってみよう <ol style="list-style-type: none"> 1 聞こえてきた文字や単語を指でさそう。 2 絵の中に、それぞれの文字から始まる単語がかくれているよ。全部見つけられるかな。 <p>Sounds</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 音声を聞いて、○に入る文字を上から探して指でさそう。 2 上の単語の下線部と音が同じものにチェックしよう。 <p>※資料に「Sounds つづりと発音」を掲載している。</p>

		第1学年	
		小学校外国語との接続を図った単元等の構成・配列	小中接続期における、音と文字の学習に関連した内容の具体例
教 出	教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ Springboard 1～6 ○ Lesson 1～Lesson 3 Part 1 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Springboard 4 アルファベットに親しもう <ul style="list-style-type: none"> ・英語を聞いて、聞こえた単語の絵を指さそう。 ○ Springboard 5 音と文字をつなげよう <ul style="list-style-type: none"> ① どちらの文字で始まる単語か、英語を聞いてあてはまる文字の書かれた実(ま)に○をつけよう。 ② 音声を聞いて、□にあてはまる文字を線で結ぼう。 ③ 音声を聞いて、読まれた文字に○をつけよう。 ④ ビンゴ・ゲームをしよう。まず、AまたはBのカードを選んで、記号を○で囲もう。次に、音声を聞いて、選んだカードの中の単語に○をつけていこう。 <p>※巻末資料に「つづりと発音～基本的なつづりと発音の関係を覚えよう～」を掲載している。</p>
	光 村	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Be Friends! 1～8 ○ Sounds and Letters 1～4 ○ Unit 1～3

第 1 学年		
	小学校外国語との接続を図った単元等の構成・配列	小中接続期における、音と文字の学習に関連した内容の具体例
啓 林 館	<ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Start 1～3 ○ Unit 1～5 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Let's Start 3 英語の文字と音を確認しよう 目標 英語の文字の名前と音や発音とつづりについて聞き取ったり、発音したりすることができる。 1 A～Z の文字の名前を聞きながら、文字を指差ししましょう。次に、あとについて言ってみましょう。 2 A～Z の文字の歌を聞いてみましょう。次に、一緒に歌ってみましょう。 3 A～Z の文字の表す音を聞いてみましょう。次に、あとについて言ってみましょう。 4 英語の音声を聞いて、あとについて言ってみましょう。 5 文字の形に気を付けて音声を聞いて、文字を指で指しましょう。 6 ①～⑤の文字の音と名前を聞いてみましょう。次にあとについて言ってみましょう。 7 単語を聞いて、□の中に共通して入る文字を書きましょう。 8 単語を聞いて、読まれたほうに☑をつけましょう。 9 同じ文字の音の違いに注意して聞き、発音してみましょう。 10 次の①～⑦は 2 つの文字で 1 つの音を表します。音声を聞いて発音してみましょう。

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨巻末資料、付録等の工夫
方法	巻末資料、付録及びデジタルコンテンツの内容

		第 1 学年	
		巻末資料及び付録の内容	最終単元におけるデジタルコンテンツの内容
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「資料編」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 Word List 2 Word Room (ジャンル別の補充単語・表現集) 3 英語の音と文字 4 ローマ字 (ヘボン式) の書き方 5 フォント (書体) の種類 6 手紙やカードの書き方 7 Key Sentences・Key Expressions 一覧 ○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ My Diary (絵日記を書こう) ・ 帯活動用 Small Talk 即興で伝え合おう ・ 語順カード ・ CAN-DO リスト 	<p>Unit 10 The Year's Memories</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Preview <ul style="list-style-type: none"> ・ Preview アニメ (字幕 ON) ・ Preview アニメ (字幕 OFF) ・ Unit タイトル ・ 写真・図版資料 ○ Part 1、2 及び Read and Think <ul style="list-style-type: none"> ・ Before You Read ※Read and Think のみ ・ 語句 (音声) ・ 語句 (クイズ) ・ 本文 ・ Key Sentences (解説動画) ・ Key Sentences (クイズ) ・ Tool Box ※Part 1 のみ ○ Unit Activity <ul style="list-style-type: none"> ・ 思考ツール ・ Tool Box ○ 本文全文読み <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文全文読み ○ 単語・用例などの活動用資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ Word Room ・ NEW HORIZON 用例辞典 ・ Digital Map 	
開 隆 堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「Word Web」を掲載している。 ○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。 <ol style="list-style-type: none"> 1 辞書の使い方 2 英語の書体 3 クイック Q&A 4 ローマ字 (ヘボン式) 5 不規則動詞活用表 6 英語の音声 7 英語のつづり字と発音 8 単語と熟語 9 CAN-DO リスト 10 Small Talk 表現集 11 アクションカード①～④ 12 Small Talk の流れ 	<p>PROGRAM 10 Grandma Baba's Warming Ideas!</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ とびら <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句 ○ Scenes 1～3 <ul style="list-style-type: none"> ・ 対話 ・ Listen <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句 ・ 動画 ○ Part (本文) 1～3 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文 ・ 語句 ・ Part 1～3 通し音声 ○ Action <ul style="list-style-type: none"> ・ Listen ○ 英語早わかり <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句 ・ 動画 ○ 単語アプリ ※全 PROGRAM 共通 	

<p>三省堂</p>	<p>○ 「For Self-study」として、次の資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 中学校で学ぶこと 2 単語の意味の調べ方 3 使える単語を増やそう 4 音読のコツ 5 日本語から英語へ <p>Plus 二次元コードの使い方</p> <p>○ 「資料」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English ・ Further Reading 1 ・ Further Reading 2 ・ ローマ字表【ヘボン式】 ・ 英語の文字 ・ Sounds ・ 基本文のまとめ ・ Audio Scripts ・ 不規則動詞活用表 ・ いろいろな単語 ・ 単語の意味 ・ Tips for Small Talk ・ Role-play Sheet ・ What Can I Do? 	<p>Lesson 9 Emergency Food</p> <p>○ Lesson 9 とびら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ とびら : 写真／イラストを見る イントロダクションの動画を見る Scene のアニメーションを見る ・ 資料動画 : 資料動画を見る <p>○ Lesson 9 Part 1 及び 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Scene 1 : アニメーションを見る 音声を聞く ・ Scene 2 : アニメーションを見る 音声を聞く ・ New Words : 単語を確認する 単語を練習する ・ Check : 文法解説動画を見る 基本文を練習する① (肯定文) 基本文を練習する② (疑問文) 基本文を練習する③ (否定文) <p>○ Lesson 9 Goal Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Reading : 音声を聞く ・ New Words : 単語を確認する 単語を練習する <p>○ 英和辞典 ※全 Lesson 共通</p> <p>○ 発音チェック ※全 Lesson 共通</p>
<p>教出</p>	<p>○ 「巻末資料」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語形変化のまとめ ・ 不規則動詞変化表 ・ 重要構文復習リスト ・ Think & Try! 活動例 ・ 分野別用語集 ・ Word List ・ つづりと発音 ・ Can-Do 自己チェックリスト <p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English ・ ローマ字表＋英語の書き方のルール ・ 辞書の使い方 ・ How to Study ・ Sing Along! ① ・ Sing Along! ② ・ 前置詞のまとめ ・ 効果的な英語学習法 	<p>Lesson 9 A Better World for Everyone</p> <p>○ Lesson 9 扉ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Words & Phrases 学習シート <p>○ Lesson 9 Part 1～3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文音声 <p>○ Lesson 9 Grammar : Let's Use 活動用動画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Lesson 9 Grammar : Let's Use
<p>光村</p>	<p>○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語の学び方ガイド ・ 英語の文字・文の書き方 ・ ローマ字表 ・ 英語のしくみ ・ Word List ・ Unit1-3 本文の全文 ・ 基本文のまとめ ・ CAN-DO List ・ 思考の地図 <p>○ 「付録」として、次の資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ World Tour 1 世界の中学生① 2 世界の中学生② ・ Let's Read More My Japanese Lessons 	<p>Unit 8 Getting Ready for the Party</p> <p>○ 扉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Listen ・ ピクチャーカード並べかえ ・ Watch (アニメ／ドラマ) <p>○ Part 1～3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Listen and Read ・ Listen ・ Eri and Kota と学ぶ基本文 ・ Extra Story ※Part 3 のみ <p>○ Goal</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Listen

【英語】

<p>啓 林 館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「巻末付録」として、次の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ Listening Script ・ 発音とつづり ・ 基本文のまとめ ・ ローマ字表 ・ 筆記体 ・ Word Box ・ Word List ・ CAN-DO List ○ 「付録」として、次の資料を掲載している。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文の書き方 ・ Classroom English ・ 英語の学び方 ①英和辞典の引き方 ②英語を音読するコツ ・ Sing a Song ①Hello, Goodbye ②Sailing ③Yesterday Once More 	<p>Unit 10 Plastic Waste</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 10、扉 <ul style="list-style-type: none"> ・ Listen 音声 ・ Listen スライドショー ・ Words 音声 ・ 本文アニメーション (Part1～3) ・ 本文音声 (Part 1～3) ○ Unit 10、Part 1～3 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文音声 ・ 本文アニメーション ・ Words 音声 ・ Target の解説動画 ・ Listen 音声 ○ Unit 10、Think & Speak <ul style="list-style-type: none"> ・ Step 1 音声 ・ Words 音声
----------------------	---	---

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩学習到達目標の設定
方法	学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定及び具体例

		第2学年	
		学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定	「書くこと」の領域における学習到達目標の具体例
東書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末口絵「学習をふり返ろうーCAN-DO リストー」 ・学年ごとに領域別学習到達目標を1文で設定している。 ・当該学年の領域別学習到達目標を「Stage」ごとに1文で設定している。 ・領域別及び「Stage」ごとの振り返りを4段階で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ Stage 1 自分のことを知ってもらうために、経験や予定、将来の夢などについて、電子メールや手紙などの形で意見や理由などを加えて書くことができる。 ○ Stage 2 興味のある話題や人気があるものなどについて紹介するために、その情報を整理してまとまりのある文章を書くことができる。 ○ Stage 3 身近な町や有名な場所などについて紹介するために、その場所の特徴について説明するまとまりのある文章を書くことができる。 ○ 2年学年末 興味がある話題や場所について紹介するために、その情報や気持ちなどを整理して説明するまとまりのある文章を書くことができる。 	
開隆堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末資料8「CAN-DO リスト」 ・当該学年の領域別学習到達目標を2～3項目設定している。 ・単元ごとに領域別学習到達目標を3項目設定している。 ・各単元に設定した「できること」について、領域別の振り返りを3段階で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生の目標 ・伝えたいことを整理できる。 ・簡単な表現を使って正確に書くことができる。 ・簡単な表現を使って、まとまりのある文章を書くことができる。 ○ PROGRAM 1 ・週末の予定について書ける ・次の日曜日にしようと思うことについて書ける ・この前の日曜日に楽しんだことについて書ける ○ PROGRAM 2 ・自分や相手の考えについて書ける ・暇なときにする事などについて書ける ・晴れ〔雨〕だったらすることなどについて書ける ○ PROGRAM 3 ・したいことについて書ける ・目的について書ける ・何をするためのものなのかについて書ける ○ PROGRAM 4 ・うれしいと思うことについて書ける ・しなければならないこと／してはいけないことについて書ける ・しなければならないこと／する必要がないことについて書ける ○ PROGRAM 5 ・何かの仕方について書ける ・相手の様子について書ける ・だれかに何かを（して）あげることについて書ける ○ PROGRAM 6 ・2つのものを比べた内容について書ける ・いちばん程度の高いものについて書ける ・同じ程度のものを比べた内容について書ける ○ PROGRAM 7 ・2つのうち、より好きなほうについて書ける ・もっとも好きなものについて書ける ・何かの仕方を教える内容について書ける ○ PROGRAM 8 ・売られているものなどについて書ける ・だれかによってされたものについて書ける ・ものの原料などについて書ける 	

		第2学年	
		学習到達目標及び自らの学びを振り返る場の設定	「書くこと」の領域における学習到達目標の具体例
三省堂	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料「What Can I Do? 英語の学習に Can-Do リストを活用しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに領域別学習到達目標を1文で設定している。 ・当該学年の領域別学習到達目標を2～3項目設定している。 ・当該学年でできるようになったことについて、領域別の振り返りを4段階で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 中学2年 <ul style="list-style-type: none"> 日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 ○ 2年の学びをふり返ろう <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な話題について、事実や自分の考えを整理して、(おすすめの本やおみやげなどの) 紹介文を書くことができる。 ・社会的な話題について、事実や自分の考えなどを整理して、解決策を提案する文を書くことができる。 	
教出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末資料「Can-Do 自己チェックリスト」 <ul style="list-style-type: none"> ・学年ごとに領域別学習到達目標を2～3項目設定している。 ・「2年学習到達目標」について、領域別の振り返りを4段階で設定している。 ・巻頭において生徒自身が設定した1年間の目標である「あなた自身の目標」について、振り返りを4段階で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年学習到達目標 <ol style="list-style-type: none"> ①調べたことや自分の考えを整理して、まとまりのあるスピーチ原稿を書くことができる。 ②自分の経験や感想を、読み手にわかりやすく書くことができる。 ③教科書の文章に、自分で考えた英文を加えて書き、話を発展させることができる。 ○ あなた自身の目標 <ul style="list-style-type: none"> 表見返しに書いたことにチャレンジすることができた。 	
光村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録「CAN-DO List」 <ul style="list-style-type: none"> ・当該学年及び第3学年の学習到達目標を1文で設定している。 ・当該学年の領域別学習到達目標を2～3項目設定している。 ・「You Can Do It!」ごとに学習到達目標を1文で設定している。 ・「You Can Do It!」ごとに、領域別の振り返りを4段階で設定している。また、「2年の自己評価」として、領域別の振り返りを4段階で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年の目標 <ul style="list-style-type: none"> 自分の町や地域、日本の文化などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。 ○ 領域別の到達目標 (CAN-DO) <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことや興味のあることについて、教科書や辞書などを参考にし、正確に書くことができる。 ・日常的な話題について、事実や気持ちを整理して、まとまりのある文章を書くことができる。 ○ You Can Do It!の学習到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・相手に合ったプランを提案することができる ・自分の意見や考えを伝えることができる ・説明や描写をすることができる 	
啓林館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末付録「CAN-DO List」 <ul style="list-style-type: none"> ・当該学年の領域別学習到達目標を3項目設定している。 ・「2年生の学習到達目標」について、領域別の振り返りを4段階で設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2年生の学習到達目標 <ol style="list-style-type: none"> 1 関心のある事柄について、自分の考えや伝えたい内容を正確に書くことができる。 2 日常的な話題について、事実や自分の考えを整理して、構成を考えながらまとまりのあるメールや紹介文を書くことができる。 3 社会的な話題について聞いたり読んだりして把握した内容を、短い文章にまとめて書くことができる。 	

道 徳

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新編 新しい道徳
17	教 出	中学道徳 とびだそう未来へ
38	光 村	中学道徳 きみが いちばん ひかるとき
116	日 文	中学道徳 あすを生きる 中学道徳 あすを生きる 道徳ノート
224	学 研	新版 中学生の道徳 明日への扉
232	あ か 図	中学生の道徳
233	日 科	道徳 中学校 1 生き方から学ぶ 2 生き方を見つめる 3 生き方を創造する

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	知識及び技能の習得	① 道徳科の学び方等の示し方	オリエンテーションのタイトル、示し方及び記載例
		② 発問の示し方	学年、数、記載箇所及び発問
(イ)	思考力、判断力、表現力等の育成	③ 考えを伝え合う活動の工夫	話合いを促す示し方及び具体例
		④ 考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、記入欄の数等及び具体例
(ウ)	主体的に学習に取り組む工夫	⑤ 問題解決的な学習を取り入れた工夫	問題解決的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程
		⑥ 体験的な学習を取り入れた工夫	体験的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程
(エ)	内容の構成・配列・分量	⑦ 分量や教材の数	判型、ページ数及び4つの視点ごとの教材数
		⑧ 現代的な課題等を踏まえた内容の示し方	いじめの問題の扱い及び教材等の例
(オ)	内容の表現・表記	⑨ 巻頭等、巻末等の取扱いの工夫	巻頭等、巻末等の示し方
		⑩ 教材の内容を理解させる工夫	マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方及び活用の具体例

【道徳】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	①道徳科の学び方等の示し方
方法	オリエンテーションのタイトル、示し方及び記載例

		第1学年		
		オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
東 書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1年間で学ぶこと」 ○ 「道徳科とは」 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科の授業はこんな時間に」 ・「教科書の使い方」 ・「デジタルコンテンツで学びを広げよう」 ・「学習の流れ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目を示す言葉と教材名等を示し、中学生になってやってみたいことを書く欄を1箇所設けている。 ○ 1ページに、道徳科について示している。 ○ 見開き2ページに、学習の流れ等を「①気づく」「②考える」「③深める・広げる」の3つでイラストや吹き出しとともに示している。 ○ 1ページに、教科書の使い方について、マーク等とともに示している。 ○ 1ページに、デジタルコンテンツについて、イラストや吹き出し等とともに示している。 ○ 第1教材の後の1ページに、学習の流れ等をイラストや吹き出しとともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分自身に関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・自ら考え、責任をもつ ○ もっとすてきな「自分」に出会うために、中学生になってやってみたいことは、どのようなことですか？ ○ 道徳科の時間は自分自身の心を見つめ、人間としての生き方を考える時間です。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 「こんな学び方もあるよ」 <ul style="list-style-type: none"> ・演じて考えよう ・問題を見つけて考えよう ○ 「4つの視点マーク」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科で学習する4つの視点（2～3ページ参照）を表しています。 ○ この教科書では、学習を広げるデジタルコンテンツを用意しています。 ○ ①学習のテーマ「新しいものを生み出すときに」について考えよう。 ②教材文を読みながら、考えたことを、「つぶやき」やノートにメモしよう。 ③考えよう ④見つめよう ⑤学習をふり返ろう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さあ、道徳を始めよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ・「どうやって学ぶの？」 ・「道徳科の学びをもっと広げよう」 ○ 「この教科書で学べるテーマ」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページに、学習の流れ等を「問題に気づく」「考え、話し合う」「深める」「つなぐ」の4つでイラストや吹き出しとともに示している。 ○ 1ページに、「学習者用端末を活用しよう」「持続可能な社会について考えよう」をイラストや吹き出し等とともに示している。 ○ 1ページに、テーマを7つ、教材名等とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ①考えたいことは何かを見つけよう。 ②自分の考えをもとう。 ③友達と意見を出し合い、多様な考えを知ろう。 ④話し合ったことをもとに、考えを深めよう。 ⑤学んだことをこれからの生活にいかそう。 ○ 「学習者用端末を活用しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・まなびリンクの活用 ・自分の考えを整理する ○ 「持続可能な社会について考えよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳科の学習で考えるときに17の目標を意識したり、話し合いの際に17の目標から視点を選んだりして道徳科の学びを広げよう。 ○ 「生命の尊さ」 <ul style="list-style-type: none"> ・いのちを考える ・難民とともに ～緒方貞子～

【道徳】

		第1学年		
		オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「本書で学ぶ皆さんへ」 ○ 「道徳の学習を始めよう」 ・「道徳で学ぶ 22 のキーワード」 ・「道徳 道案内」 ○ 「道徳で大切にしたいこと」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、手引きを「①考えよう」「②見方を変えて」「③つなげよう」の3つで示している。また、二次元コード、タブレット端末の活用等について示している。 ○ 第1教材として、見開き2ページに、「道徳を学ぶときには」として、「ポイント1 答えは一つではない」「ポイント2 自分と向き合い、他者と向き合う」「ポイント3 学びをつなげる」の3つでイラスト等とともに示している。 ○ 第1教材として、見開き2ページで、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目をイラスト等とともに示している。 ○ 第1教材として、見開き2ページに、ユニットのテーマを9つ、内容項目や教材名等とともに示している。 ○ 第2教材の後の1ページに、イラストや吹き出しとともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材を通して考えを深めることができるよう、次のようなてびきを用意しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・教材冒頭の二次元コードを読み取ると、学習の参考となる資料などを視聴することができます。 ・タブレット端末は、あなたの学びをサポートする道具です。 ○ 「ポイント1 答えは一つではない」 <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、一人一人、感じ方も考え方も異なる。だからこそ、一つの正解を旨とするのではなく、自分なりの答えを見つけよう。 ○ 道徳は、よりよい生き方について、22のキーワードで考えていきます。 ○ 「中学生として、どんな自分でありたい？」 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の学習を始めよう ・父の言葉 ○ 「自分に問う」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分は、どうしてそう考えるのか。 ・自分なら、どうするか。 	
	日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科での学びを始めよう！」 <ul style="list-style-type: none"> ・「どんなことをするの？」 ・「どうやって学ぶの？」 ・「ミニ教材で考えてみよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1ページに、道徳科についてイラストや吹き出しを使って示している。 ○ 1ページに、学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つで示している。 ○ 見開き2ページに、主題や教材、発問と学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つでイラストや吹き出し等とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ・道徳科では、「よりよく生きる」ために大切なことについて、みんなで考え合います。 ○ ・道徳科では、次の①～③のような流れで学びます。 <ul style="list-style-type: none"> ・別冊『道徳ノート』を使って自分の考えをまとめましょう。 ○ 「みんなで話し合うときに大切なこと」 <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの考えを伝え合おう。 ・友達の考えをよく聞こう ○ ・美しいものに感動する心 <ul style="list-style-type: none"> ・難しい宿題 ・あなたが最も美しいと感じたものはなんだろう。 ○ 「①気づく」 <ul style="list-style-type: none"> ・【学びのキーワード】今日は「美しいものに感動する心」について、みんなで考えてみましょう。

		第1学年		
		オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さまざまなテーマで学ぼう」 ○ 「よりよく生きるための22の鍵」 ○ 「道徳科で学ぶこと考えること」 <p>・「考えを深める4つのステップ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、13個のテーマをイラストや写真等とともに示し、今、気になっていること、夢中になっていることを書く欄を1箇所設けている。 ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目を示す言葉や教材名等を示している。 ○ 1ページに、「考える方法はいろいろ」「パソコンやタブレットを活用しよう」をイラスト等とともに示している。 ○ 1ページに、学習の流れ等を「1 見つけよう(教材と出会って)」「2 考えよう(教材を基に)」「3 話し合おう(話し合い、磨き合う)」「4 生き方につなげよう(振り返ろう、踏み出そう)」の4つでイラストや吹き出しとともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いのち」 ○ 今、気になっていること、夢中になっていることは何だろう。 ○ 「自ら考え、実行し、責任を持つ」 <ul style="list-style-type: none"> ・裏庭での出来事 ・ネット将棋 ○ 「考える方法はいろいろ」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを…… ・ペアやグループ、クラスで…… ○ 「パソコンやタブレットを活用しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・使うときは注意しよう ・こんなことができます ○ 「見つけよう(教材と出会って)」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの生活での問題をつなげてみよう。 ・社会の課題や気になることと重ねてみよう。 ・教材から考えたいテーマを見つけ出そう。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科の時間」は22のキーワードで学ぶ ・一年生のあなたへ <p>○ 「いろいろなテーマから学ぶ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、4つの視点ごとに、1年間で学ぶ内容項目をマークとともに示している。 ○ 見開き2ページに、道徳科について、「自分を見つめて考える」「いろいろな見方で考える」「自分の生き方を考える」の3つでイラストとともに示している。 ○ 見開き2ページに、10個のテーマを教材名等とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分自身に関すること」 <ul style="list-style-type: none"> ・自主、自律、自由と責任 ・節度、節制 ○ ・中学校に入学した今、いろいろなことに戸惑うこともあるかもしれませんが。道徳科の時間は、そんなあなた自身を見つめる時間。いろいろな人の生き方に触れ、他の人の思いや考え方に耳を傾け、自分と対話することができる時間です。 ○ 「自分を見つめて考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・教材の主人公や登場人物と自分を重ねたり、比べたりしてみよう。 ○ 「「いじめ」を考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨシト ・ある日のバッテリーボックス 	
あ か 図				

第1学年			
	オリエンテーションのタイトル	示し方	記載例
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さまざまなテーマから考えを深めよう」 ○ 「クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「道徳の授業ってどんなもの？」 ・「授業はどうやって進めるの？」 ・「試してみよう」 ・「「ウェルビーイングカード」を使ってみよう」 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き2ページに、テーマを8個、教材名等とともに示している。 ○ 1ページに、道徳科の時間についてイラストとともに示している。 ○ 見開き2ページに、道徳科について、「自分の考え、意見を言おう」「友達の考え、意見をしっかり聞こう」「自分と違う考え、意見も認め、きちんと聞こう」の3つをイラストとともに示している。 ○ 1ページに、「試してみよう」を写真等とともに記載している。 ○ 1ページに、「「ウェルビーイングカード」を使ってみよう」をイラストや写真とともに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめ・人権」 <ul style="list-style-type: none"> ・自由ってなあに ・いつも一緒に ○ 「道徳」の授業は、「みんなそれぞれ違っているのが当たり前」というところから始まります。 ○ 「自分の考え、意見を言おう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「よりよい在り方」に「正解」はありません。 ○ 「宿題」 <ul style="list-style-type: none"> ・僕は生物部で飼っている魚のエサやりなどをしているので、朝は七時半頃には登校している。 ○ ①まず教材を読んで、その内容から自分が「感じたこと」や「気づいたこと」を、カードの言葉一枚一枚を見ながら、三枚選びましょう。 ②選んだカードについて、どうしてそれを選んだのか、自分の経験や考えてみたいと思った理由を考えましょう。 ③それが終わったらカードを三枚とも手元に並べ、隣の友達または班の友達と、それぞれが考えたことを出し合いましょう。

【道徳】

観点	(ア) 知識及び技能の習得
視点	②発問の示し方
方法	学年、数、記載箇所及び発問

教材名「二通の手紙」 内容項目C「遵法精神、公德心」			
	学年	数	記載箇所及び発問
東書	3	3	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんは二通の手紙を机の上に並べて、どのようなことを考えていただろう。 ・社会の中で規則や決まりを守ることが大切なのは、どうしてだろう。 ・決まりは、何のためにあるのだろう。
教出	3	4	【冒頭の教材名の下】 <ul style="list-style-type: none"> ・どんな場合でも、きまりは優先されるべきなのだろうか。 【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんが晴れ晴れとした顔で身のまわりを片づけ、職場を去っていったのはなぜだろう。 ・姉弟を入園させた元さんの判断を、あなたはどう思うだろうか。 ・きまりや法は、なんのためにあるのだろう。
光村	3	3	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・規則は、何のためにあるのだろう。 ・元さんが、規則を知っていながら姉弟を動物園の中に入れたのは、どんな思いからだろう。 ・元さんが、「この年になって初めて考えさせられ」たのは、どんなことだったのだろう。
日文	3	6	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・二通の手紙を見比べた元さんが、この年になって初めて考えさせられたこととは、どんなことだろう。 ・法やきまりの意義とは何か、考えたことをまとめてみよう。 【教材文に続く見開きページ】 <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して、法やきまりの意義について考えてみよう。 ・姉弟を入園させた元さんの、何が問題だったのだろう。 ・ノートやタブレット端末を使い、付箋で意見を整理しながら友達と話し合ってみよう。 ・二通の手紙を見ながら、元さんの思いを考えてみよう。
学研	3	2	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・二通の手紙に、元さんが考えさせられたこととは何だろう。 ・この話から、どのようなことを自分に生かせるだろうか。
あか図	3	4	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・元さんや佐々木さんの変化について考えよう。 ・元さんが「この年になって初めて考えさせられること」とは、どのようなことだろう。 ・動物園の規則はなんのために定められているのだろう。できるだけたくさんの考えをあげてみよう。 ・世の中にある法やきまりがどのような視点で定められているのかを考えてみよう。
日科	2	2	【教材文の終わり】 <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ元さんは潔く職場を去ったのだろうか。 ・きまりを守ることについて、お互いに考えを出し合ってみましょう。

【道徳】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	③考えを伝え合う活動の工夫
方法	話し合いを促す示し方及び具体例

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
東 書		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳の授業はこんな時間に」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりの「考えよう」「見つめよう」「ぐっと深める」等に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 教材文の下等に、思ったこと、考えたこと等を自由に記述する「つぶやき」の欄を設けている。 ○ 「Plus」に、直前の教材に関する話し合いの具体的な流れを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・メモを基に友達と話し合いましょう。 ・自分とはちがう考えも、しっかり聞きましょう。 ○ 教材名「風評被害」 <ul style="list-style-type: none"> ・②について、グループで話し合ってみましょう。 ○ 「つぶやき」 ○ 「探究の対話「p4c（ピーフォーシー）」「対話の流れ」 <ul style="list-style-type: none"> ・p4cのルールに沿って対話をしましょう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「さあ、道徳を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりの「学びの道しるべ」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 「ひろば」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考え、話し合う」 <ul style="list-style-type: none"> ②自分の考えをもとう。 ③友達と意見を出し合い、多様な考えを知ろう。 ○ 「話し合いのポイント」 <ul style="list-style-type: none"> ・考えの持ち方 ・友達の意見の聞き方 ○ 教材名「おはよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・「形だけの挨拶をする」のと、「黙っていても相手を思っている」のと、どちらがよいと思うだろうか。理由も含めて話し合おう。 ○ 「ソーシャルメディアのルールとマナー」 <ul style="list-style-type: none"> ・②そのあと、グループで話し合ってみましょう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1教材「道徳の学習を始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 「道徳で大切にしたいこと」に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりに、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 「問いを立てよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 「今日の「てつがく」」に、話し合いの具体的な流れを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ポイント2 自分と向き合い、他者と向き合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・友達の考えのよさを見つけながら友達の意見に耳を傾けよう。 ○ 「友達と問い合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・友達は、どうしてそう考えるのか。 ○ 教材名「白いスニーカー」 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの人物の考えに対して、あなたは、どんなことを考えただろう。考えたことを、みんなで話し合おう。 ○ 教材名「親友」 <ul style="list-style-type: none"> ・③グループで作った問いについて話し合い、自分たちなりの答えを考えよう。 ○ 「今日の「てつがく」」 <ul style="list-style-type: none"> ①3、4人程度のグループをつくる。 ②今日、みんなで考えたい「問い」を決める。 ③それについて、考えていることを、一人ずつ発表する。 ④それぞれの考えについて、お互いに質問し合う。 ⑤今日話し合った問いについて、「なるほど！」と思える発見があったかを振り返る。
光 村			

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
日 文	○ 巻頭「道徳科での学びを始めよう！」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや工夫例を示している。	○ 教材文の「学びを深めよう」に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや工夫例を示している。	○ 「どんなことするの」 ・いろいろなことをみんなで考え、話し合っ ていきましょう。 ○ 「みんなで話し合うときに大切なこと」 ・お互いの考えを伝え合おう ・友達の考えをよく聞こう ○ 「話し合いの工夫例」 ・発言した人に、その理由を聞いてみよう。 ○ 教材名「どうして？」 「話し合いの例」 ・自分の考えを発表する。 ・友達の意見を聞く。 ・再度よく考える。 「付箋を使って話し合いを深めてみよう」 ・ノートやタブレット端末を使い、付箋で 意見を整理しながら友達と話し合ってみ よう。
	○ 「ユニット」の中に、話し合う学習活動を促している。	○ 別冊「道徳ノート」の中に、話し合いの内容等を記述できる欄を設けている。	○ 「いじめと向き合う」 ・いじめが起きる背景や、自分や相手の心の 動きについても学びながら、みんなで考え、 話し合ってみましょう。 ○ 「道徳ノート」 1 自由記述欄 2 「自分にプラスワン」 3 「自分への振り返り」 4 「自由欄」
学 研	○ 巻頭「道徳科で学ぶこと 考えること」の中 に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを 示している。	○ 教材文の終わりの「深めよう」に、教材にお ける話し合いを促す発問を示している。	○ 「考える方法はいろいろ」 ・ペアやグループ、クラスで…… ○ 「考えを深める4つのステップ」 ・③話し合おう（話し合い、磨き合う）」 ○ 教材名「公平とは何だろう」 「話し合おう」 ・公平について、レーム選手の参加を巡っ て考えたことを基に話し合おう。 ○ 「メモ」
	○ 教材文の下に、気付いたことや思ったことを 書き留める「メモ」の欄を設けている。		

		第1学年	
		話し合いを促す示し方	具体例
あか図		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントを示している。 ○ 教材文の終わりの「いろいろな見方で考える」等に、教材における話し合いを促す発問を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いろいろな見方で考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの仲間の考えを聞いて自分の考えと比べてみよう。 ○ 教材名「国際協力ってどういうこと？」 <ul style="list-style-type: none"> ・二つの作文から考えたことを話し合おう。 「いろいろな見方で考える」 <ul style="list-style-type: none"> ・ネパールの話とエチオピアの話、あなたはそれぞれどう思うだろうか。他の人の意見も聞いて、考えてみよう。 ○ 教材名「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> 「いじめについて話し合ってみよう」 ・いじめが起きるのはどうしてだろう。また、いじめをなくすために大切にしたい心は何だろう。「魚の涙」を読んで考えたことを話し合ってみよう。 ・いじめが起きるのはどうしてだろう。狭い閉じた世界だと起きやすいのは、なぜだろう。次の三つの視点で、話し合ってみよう。
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「マイ・プラス」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 	
日科		<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭「クラスのみならず「道徳授業」を創り出そう」の中に、話し合う学習活動、話し合いのポイントや具体例を示している。 ○ 教材の終わりの「考えよう」「深めよう」に、教材における話し合いを促す発問を示している。 ○ 教材文の終わりに、「memo」の欄を設けている。 ○ 巻末「ウェルビーイングカードとは」の中に、話し合いのポイントを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業はどうやって進めるの？」 <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの考え、意見をしっかり聞こう ○ 「「ウェルビーイングカード」を使ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・③それが終わったらカードを三枚とも手元に並べ、隣の友達または班の友達と、それぞれが考えたことを出し合しましょう。そして、友達の話聞いた後で、「考えが変わったこと」「新たに気づいたこと」があったら、そのことについて、さらに話し合ってみましょう。 ○ 教材名「ガラスの地球を救え」 <ul style="list-style-type: none"> ・「ガラスの地球」を救うために私たちにできることは何か、話し合しましょう。 ○ 「memo」 ○ 26枚のカードから選び、その理由と合わせて隣の友達または班の友達と共有します。いきなり何もなくて発言するのではなく、カードをきっかけにすることで話しやすくなったり、カードを組み合わせて考えることでいくつかの視点から自分を見つめ直すことができたりします。

【道徳】

観点	(イ) 思考力、判断力、表現力等の育成
視点	④考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫
方法	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方、記入欄の数等及び具体例

第3学年			
	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	記入欄の数等	具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、今の気持ちについて、書く欄を設けている。 ○ 学びの途中で思ったこと、考えたこと等について、書く欄を設けている。 ○ 教材やコラム等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末に、授業の取組や心に残った教材等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1年間で学ぶこと」 【1回分】 ○ 「つぶやき」 【38回分】 ○ 「Plus」等 【10回分】 ○ 「自分の学びをふり返ろう」 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっとすてきな「自分」に出会うために、3年生になってやってみたいことは、どのようなことですか？今の気持ちを書き留めておきましょう。 ○ 思ったこと、考えたことなどを、自由に記述しましょう。 ○ 教材名「いじめから目をそむけない」 コラム「忘れられる権利」 コラム「働くってどんなこと」 教材名「人間の命とは」 教材名「避難所での出来事」 コラム「おたがいの「ちがひ」を認め合おう」 教材名「その子の世界、私の世界」 コラム「人にもものを、どうたのむ？」 コラム「缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう」 教材名「住み続けられるまちづくりを」 ○ 「自分の学びをふり返ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の取り組みについてふり返ってみよう。 ・今学期（今期）に読んだ教材の中で、心に残ったものは何ですか。どのようなことが心に残っていますか。

【道徳】

		第3学年	
考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方		記入欄の数等	具体例
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材やコラム等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末に、一年間で学んできたことをもとにして考えるページを設けている。 ○ 巻末に、心に残った教材や一番考えさせられた教材等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」等【3回分】 ○ 「「よりよく生きる」って、どういうことだろう？」【1回分】 ○ 「道徳科の学びを振り返ろう」【3回分】 ○ 「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」【1回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ コラム「信頼関係を築こう」 教材名「変わりゆく地球」 教材名「校長先生の模擬面接」 ○ 一年間道徳科で学んできたことをもとにして、「よりよく生きる」とはどうか、考えてみましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとっての「幸せ」とは、どういうものだろう。 ・周りの人や社会にとっての「幸せ」とは、どういうものだろう。 ○ 「道徳科の学びを振り返ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・今学期（今期）の道徳授業で「ためになった」「勉強になった」「心に残った」などと思う教材を三つ選び、記入しましょう。 ・①で選んだ教材の中でいちばん考えさせられた教材を選び、その理由と、授業後に授業で学んだことに関係する経験などがあったら書きましょう。 ○ 「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・3年生になった時に思った「学びたかったこと」「がんばりたかったこと」は実行できましたか。1年間を振り返って書きましょう。 ・1年間の道徳授業を通じて、自分が成長したと思うことを書きましょう。
	光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材の終わり等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末折り返しに、心に残ったことや1年間の学習の振り返り等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考えよう」等【6教材分】 ○ 「まなびの記録」【2回分】 【毎時間分】

【道徳】

第3学年			
	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	記入欄の数等	具体例
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 別冊「道徳ノート」に、自分の考えや友達の意見等を書く欄を設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業や考えたこと等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「1」 「2 自分にプラスワン」 「3 自分への振り返り」 「4 自由欄」 【教材ごと】 ○ 「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」 【3回分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「3 自分への振り返り」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分に関わりのあることとして、考えることができた ・教材の内容や友達の意見から、新しく気づいたことがあった ○ 「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・今学期、ノートに書いたことや道徳科で学んだことを振り返り、心に残っている授業やその理由を書いてみよう。 ・これまで道徳科で学んだことを振り返って、考えたことを書いてみよう。
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭に、テーマについて書く欄を設けている。 ○ 教材の終わりの「深めよう」等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 学びの途中で気付いたことや思ったこと等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末に、心に残った言葉や友達や身近な人に伝えたい言葉等を記入するページを設けている。 ○ 巻末に、授業での取組や心に残った授業等を記入するページを設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「さまざまなテーマで学ぼう」 【1回分】 ○ 「深めよう」等 【9教材分】 ○ 「メモ」 【30回分】 ○ 「未来への扉」 【1回分】 ○ 「学びの記録」 【3回分】 ○ 「学びのメモ」 【毎時間分】 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今、気になっていること、夢中になっていることは何だろう。 ○ 教材名「○○流デジタルライフ」 教材名「余命ゼロ 命のメッセージ」 教材名「笛」 教材名「一冊のノート」 教材名「電車の中で」 教材名「境界線を越える」 教材名「領民を愛した名君 上杉鷹山」 教材名「礼儀って」 教材名「スポーツの力」 ○ 気付いたことや思ったこと書き留める。 ○ 「1年を振り返って書き留めておこう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・心に残った、友達や先生の言葉 ・友達や身近な人に伝えたい言葉 ○ 「今学期（今期）の道徳の授業について、振り返ろう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・授業での取り組みで、当てはまる場所に○を付けよう。 ・心に残った授業について書こう。 ○ 「日々の授業について、気づいたことを書き留めておこう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの振り返りや、1年の振り返りに生かそう。

【道徳】

第3学年			
	考えをまとめたり、振り返ったりする活動の示し方	記入欄の数等	具体例
あか図	○ 巻末に、授業での取組や心に残った授業等を記入するページを設けている。	○ 「学習の記録」 【3回分】 ○ 「1年間の学習の記録」 【1回分】	○ 「今学期（今期）の道徳科の授業について振り返ってみよう。」 ・授業での自分の取り組みについて振り返って、当てはまるものに○をつけよう。 ・今学期（今期）、心に残った授業とその理由について、書いてみよう。 ○ 「1年間の道徳科の授業を振り返ってみよう。」 ・今年度、最も深く考えた授業と、その理由について書いてみよう。 ・1年間の道徳科の授業を通して、学んだことや、自分が成長したと思うことを書いてみよう。
日科	○ 学びの途中で考えたことや教材の終わり等に記載されている発問等について、書く欄を設けている。 ○ 巻末に、自分自身が思いついた「ウェルビーイング」のキーワードを書く欄を設けている。	○ 「欄」 【4教材分】 ○ 「memo」 【33回分】 ○ 「ウェルビーイングカード」 【1回分】	○ 教材名「そっと生きる？」 教材名「愛ってなあに」 教材名「SNSでの誹謗中傷」 教材名「人はなぜ仕事をするのか」 ○ 「memo」 ○ 「「ウェルビーイングカード」とは」 ・最後に白紙のカードを用意しました。それには、自分自身が思いついた「ウェルビーイング」のキーワードを書いてみるのもいいでしょう。

【道徳】

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤問題解決的な学習を取り入れた工夫
方法	問題解決的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程

	問題解決的な学習の示し方	第2学年	
		教材名・内容項目	学習過程
東 書	○ 「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ みんなでとんだ！ ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」	○ 「Plus」 探究の対話「p4c（ピーフォーシー）」 ・【対話の流れ】みんなで輪になり、こしかけましょう。 ①「みんなとんだ！」を読み、各自が問いを立てましょう。 ②みんなで考えたい「問い」を決定し、問いに対する自分の考えを書きましょう。 ③p4cのルールに沿って対話をしましょう。 ④さらに問いを出し合いながら、対話を楽しみましょう。 ⑤話し合いをふり返りましょう。
教 出	○ 教材文の終わりの「学びの道するべ」に、学習過程の例を示している。	○ 違反摘発 ○ 「C 遵法精神、公德心」	○ 「学びの道するべ」 ・両者の立場になって、違反摘発に対する思いを代弁してみよう。 ・どんな場合でも、法やきまりは優先されるべきなのだろうか。 ・法やきまりは、誰のために、なんのためにあるのだろうか。

	問題解決的な学習の示し方	第2学年	
		教材名・内容項目	学習過程
光 村	○ 教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ テニス部の危機 ○ 「C よりよい学校生活、集団生活の充実」	○ テニス部の危機を乗り越えるために、白石さんと木戸さんは、どうすればよいのだろうか。次のステップに沿って考えてみよう。 「問題を明らかにする」 ①白石さんと木戸さん、それぞれの思いを洗い出す。 ・二人が目ざすテニス部の姿は、それぞれ、どのようなものか。 ・二人に共通する思いはあるか。 ・それぞれの譲れない条件、譲れる条件は、何か。 「解決策を提案する」 ②①で洗い出したことをもとに、解決策を考える。 ・互いに歩み寄れるところはあるか。 ・どうすれば、互いに「まあ、これなら。」と、納得できる解決策になるか。 「解決策を検討する」 ③②で考えた解決策を検討する。 ・その解決策を講じると、どんな結果になるか。 ・その結果は、二人や他の部員に対して、どんな影響があるか。 ・解決策を実行することで、テニス部は、よりよい集団になることができるか。 ○ よりよい集団の一員として、どのような考えをもつことが大切なのだろう。
日 文	○ 「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ ヨシト ○ 「C 公正、公平、社会正義」	○ 「学びを深めよう」 ①「ヨシト」では何が問題になっているのか、考えてみよう。 ②ヨシトにティッシュを渡した「僕」は、どんなことに気づいたのだろうか。 ③周りに流されたり自分と異なる人を排除したりして、公正な態度がとれないことがあるのは、なぜだろう。 ④公正な態度を貫くために大切なことをまとめてみよう。

【道徳】

	問題解決的な学習の示し方	第2学年	
		教材名・内容項目	学習過程
学 研	○ 「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 鳥のように空を飛びたい 高梨沙羅 ○ 「A 節度、節制」	○ 「深めよう」 自分の生活を見直してみよう 「見つけよう」 高梨沙羅選手が日々の生活で気を付けていることを見つけてみよう。 「考えよう」 高梨選手はなぜ「天才」と呼ばれるまでに成長することができたのだろうか。 「話し合おう」 自分の目標を達成するためには、日々の生活の中でどのような心掛けが必要だろうか。 「生き方につなげよう」 高梨選手がスキージャンプのために行う日課から、自分に生かせることを考えてみよう。 ・大切にしている生活習慣やこれから心掛けたい生活習慣について考えよう。
あ か 図	○ 「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 北の大地から 野生の猛禽を守る ○ 「B 相互理解、寛容」	○ 「マイ・プラス」 意見の対立について話し合ってみよう ・集団の中で生活をしていると、意見の対立が起きることがある。意見の対立を乗り越えて問題を解決していくためには、どのようなことが必要なのだろう。皆で話し合いながら、齊藤さんの体験を深く掘り下げてみよう。 「ステップ1」 齊藤さんとハンターの立場を想像しながら、それぞれの主張と理由を考えてみよう。 「ステップ2」 考え方の違う者同士が歩み寄るためには、どのような考えをもつことが必要だろう。いろいろな意見をあげてみよう。 「ステップ3」 自分とは異なる意見をもつ人に直面したとき、あなたはどのような態度で接することが大切だと思うだろうか。齊藤さんの対応を振り返りながら、自分自身で考えたことをまとめてみよう。
日 科	○ 教材文の終わりの「考えよう」「深めよう」に、学習過程の例を示している。	○ 「普通」の生活の向こう側 ○ 「C 国際理解、国際貢献」	○ 「考えよう」 ・なぜ児童労働はなくなるのでしょうか。 ○ 「深めよう」 ・世界中の子どもを誰一人取り残さないために、私たちができることは何でしょうか。

観点	(ウ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑥体験的な学習を取り入れた工夫
方法	体験的な学習の示し方、教材名・内容項目及び学習過程

	体験的な学習の示し方	第3学年	
		教材名・内容項目	学習過程
東 書	○ 「Plus」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 缶コーヒー ○ 「C 遵法精神、公德心」	○ 「Plus」 缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう ①「缶コーヒー」で、コーヒー缶が転がって、「私」のスカートとノートがよごれてしまったとき、それぞれの人は、どのような気持ちになったか、下のふき出しに書きましょう。 ②3人一組になって、「女性」役、「私」役、「竹内さん」役と、役割を決めましょう。 ③役を交替しながら、全員が全ての役を演じましょう。 ④それぞれの役を演じて、気づいたこと、感じたことを書きましょう。 ⑤コーヒー缶が落ちそうになっているときに、「女性」と「私」は、本当はどうすればよかったのでしょうか。それを見て、「竹内さん」は、何と言ったのでしょうか。考えて書きましょう。 ⑥⑤で考えたことを基にして、3人でそれぞれの役を演じてみましょう。 ⑦本当はどうすればよいのかを、クラス全員で話し合ひましょう。 ⑧今日の学習をふり返り、気づいたこと、感じたことを書きましょう。
教 出	○ 「やってみよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 校長先生の模擬面接 ○ 「B 礼儀」	○ 「やってみよう」 ①社会にはさまざまなマナーやエチケットがあります。どのようなものがあるか、あげてみましょう。 ②皆さんがあげた中から、グループで一つの場面を演じてみましょう。そして、演じてみた感想を書きましょう。 ③マナーやエチケットは、社会状況によっても変化します。例えば、新型コロナウイルス感染症が広まってからは、エレベーターの中では会話を控え、壁の方を向いて立つことが広まりました。最近になって変化してきたと皆さんが感じるマナーやエチケットはありますか。なぜ変化してきたのか、みんなで話し合ひてみましょう。

【道徳】

	体験的な学習の示し方	第3学年	
		教材名・内容項目	学習過程
光 村	○ 「チャレンジ」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 三年目の「ごめんね」 ○ 「A 自主、自立、自由と責任」	○ 「チャレンジ」 演じて考えよう ・「あのときはうれしかった。ありがとう。」と言う伊藤さんを見て、「私」は、どんなことを思っただろう。 ①「私」と伊藤さんになって、42 ページ（19 行目）から 43 ページ（9 行目）の場面を演じてみよう。 ②演じているのを見ていた人は、どんなことを感じたかを発表しよう。 ③演じた人は、演じていたときに、どんな気持ちになったかを発表しよう。
日 文	○ 「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 電車の中で ○ 「B 思いやり、感謝」	○ 「学びを深めよう」 電車の中で ・席を譲る体験を通して、思いやりの心と形について考えてみよう。 ①タケシは、席を譲られた男性と女子二人の様子を見ながら、何を思ったのだろう。 ②ケンたちに言われてしぶしぶ席を立ったとき、タケシはどんな気持ちだったのだろう。 ③座っていて席を譲りお礼を言われる場面と、座らずに席を空けておいてお礼を言われる場面を演じてみよう。 ④タケシは、席に座らずにいた自分たちの行為と、席を譲った女子二人の行為を比べて、何を考えたのだろう。 ⑤思いやりの心と形について、考えたことをまとめてみよう。

	体験的な学習の示し方	第3学年	
		教材名・内容項目	学習過程
学 研	○ 「深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 笛 ○ 「B 相互理解、寛容」	○ 「深めよう」 異なる意見と出合ったときのことを考えよう 「考えよう」 笛は誰のものにすべきだったろう。3人の少年アンドレ、マイケル、ピート、それともそれ以外の人だろうか。○を付けて、理由を書こう。 「やってみよう」 少年たちが笛を誰のものにするか話し合っている場面を、4人組で役割演技を行って演じてみよう。 ① 3人の少年役(アンドレ、マイケル、ピート)と仲介役を決める。3人の少年は自分の立場から考えを話す。仲介役は3人の話を聞き、解決できるように自分の考えを伝える。 ② 役割を交代する。4人の役を全員が経験するまで繰り返す。 ③ 4人それぞれの仲介役の演技から考えたことを話し合う。 「話し合おう」 考えや意見の異なる人とのつきあいでは、どんなことを大切にすればよいだろう。クラス全体で話し合おう。 「生き方につなげよう」 異なる意見を尊重しつつ、自分も成長していくにはどうすればよいか、考えよう。

	体験的な学習の示し方	第3学年	
		教材名・内容項目	学習過程
あか図	○ 「マイ・プラス」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示している。	○ 夢へのステップー大谷翔平 ○ 「A 希望と勇気、克己と強い意志」	○ 「マイ・プラス」 夢へのステップについて考えよう ・高校生のときに「目標設定シート」を書いて、自分の部屋に貼っていた大谷翔平選手。このシートを書くことが、大谷選手にどのような影響を与えたのでしょうか。もし自分が書くとしたら……と、想像しながら考えてみましょう。 「ステップ1」 大谷選手は「目標設定シート」を書くことで、どのようなことを考えたのだろうか。 ・「目標設定シート」を書き上げるには、どういうところに難しさや大変さがあるのだろうか。 ・大谷選手は、どのようなことを考えながら「目標設定シート」を書き上げたのだろうか。 ・書き上げるだけでなく、自分の部屋に貼っていたのはどのような考えからだろう。また、どのような思いでシートを見て、過ごしていたのだろうか。 「ステップ2」 あなたが大谷選手から学べることについて考えてみよう。 ・尊敬するところ、頑張ればまねできそうなこと、自分の感じたことや考えたことをあげてみよう。
日科	○ 教材文の終わりの「考えよう」「深めよう」に、学習過程の例を示している。	○ Flower Bus Stop ○ 「A 自主、自立、自由と責任」	○ 「考えよう」 ・「ちゃんとしよう」の「ちゃんと」というのはどうすることなのでしょうか。 ○ 「深めよう」 ・あなたがこの4人と一緒にいたら、どの場面でどのような行動をしますか。

【道徳】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑦分量や教材の数
方法	判型、ページ数及び4つの視点ごとの教材数

	学年	判型 (別冊判)	ページ数 (別冊ページ数)	4つの視点ごとの教材数 (※複数内容項目教材)			
				A	B	C	D
東書	第1学年	A B	202	7	7	14	7
	第2学年		210	7	7	14	7
	第3学年		210	7	7	14	7
教出	第1学年	B 5	210	8	8	12	7
	第2学年		202	8	7	14	6
	第3学年		202	7	6	13	9
光村	第1学年	B 5 変型	192	9※	8※	14※	10※
	第2学年		200	9※	9※	14※	9※
	第3学年		200	11※	8※	13※	9※
日文	第1学年	B 5 (B 5)	178(42)	7	7	14	7
	第2学年		186(42)	6	7	14	8
	第3学年		194(42)	7	6	15	7
学研	第1学年	A B	190	8	7	13	7
	第2学年		194	8	7	12	8
	第3学年		198	8	7	13	7
あか図	第1学年	B 5	194	8	7	12	8
	第2学年		194	8	7	12	8
	第3学年		194	8	7	12	8
日科	第1学年	A B	164	8	7	13	6
	第2学年		168	7	6	15	6
	第3学年		172	9	7	14	4

【道徳】

観点	(エ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑧現代的な課題等を踏まえた内容の示し方
方法	いじめの問題の扱い及び教材等の例

	いじめの問題の扱い	教材等の例 (第1学年)
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめのない世界へ」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまともには、「いじめのない世界へ」マークを使い、目次に色付けして示し、扉ページを設けている。 ○ 巻末の「テーマでふり返ろう」に、「人権・いじめ」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめのない世界へ」(扉ページ) ○ 「いじめに当たるのはどれだろう」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・だれに対しても公正な社会を実現するために、大切なこと等を考えさせる教材 ○ 「傍観者でいいのか」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 自主、自律、自由と責任」 ・いじめの状況を作らないために、どうすればよいか等を考えさせる教材 ○ コラム「いじめの構造」 ○ 「風評被害」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解、寛容」 ・相手のことを認められるようになること等について考えさせる教材
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材とコラムの構成でユニット化した「いじめをなくそう」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまともには、「いじめをなくそう」マークを使い、目次に色付けして示している。 ○ 巻頭の「この教科書で学べるテーマ」に、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「二人の言い分」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解、寛容」 ・いじめを生まないためにどうすればよいか、トラブルが起こってしまったらどうすればよいか等を考えさせる教材 ○ コラム「自分も相手も大切にしたい伝え方をしよう」 ○ 「あなたならどうしますか」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・いじめをなくすために今すぐにでもできること等を考えさせる教材 ○ コラム「誰がいじめを止めるのか」
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした3つの教材でユニット化した「いじめを許さない心について考える」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまともには、「いじめを許さない心について考える」と記載し、目次に緑色の下線で示している。 ○ 巻末の「教材別テーマ一覧」に、「いじめを許さないために」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「親友」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・心から信頼できる友達とは、どんな存在なのか等を考えさせる教材 ○ 「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・誰かが不公平な状況にあるとき、どんな考えがもてるかを考えさせる教材 ○ 「いつもの教室の中で」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・いじめが起こらないようにするためには、どうすればよいか等を考えさせる教材
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした2つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめと向き合う」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまともには、「いじめと向き合う」マークを使い、目次に色付けして複数示している。 ○ 巻末の「内容項目別教材一覧」に、「いじめ」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめと向き合う」(扉ページ) ○ 「さかなのなみだ」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・いじめのない集団であるためには、どんなことが大切か等について考えさせる教材 ○ コラム「いじめって何？」 ○ 「言葉の向こうに」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 相互理解、寛容」 ・お互いの立場を理解し尊重するとは、どういうことか等について考えさせる教材 ○ コラム「怒りの感情と上手に付き合おう」

【道徳】

	いじめの問題の扱い	教材等の例 (第1学年)
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした複数の教材を特設ページとともに年間を通して配置している。 ○ 巻頭の「さまざまなテーマで学ぼう」に、「いじめ防止」をテーマとして示すとともに、いじめの問題を扱う教材には、「いじめ防止」マークを使い、該当ページに示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「うわさで決めるの？」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・友達に対して偏見をもたないようにするために、どうしたらよいか等について考えさせる教材 ○ 「あるピエロの物語」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 友情、信頼」 ・どのような友情を築きたいと思うか等について考えさせる教材 ○ 「裏庭での出来事」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 自主、自律、自由と責任」 ・自分自身がよく考え、誠実に行動するために必要なこと等について考えさせる教材 ○ 特設ページ「どうしてそんなことをするの」 ○ 「吾一と京造」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・真の友情を培っていくために必要なことは何か等について考えさせる教材
あ か 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした3つの教材と扉ページ等の構成でユニット化した「いじめ」を考える」を設けている。 ○ いじめの問題を扱う教材のまとめには、「いじめ」を考える」マークを使い、目次に色付けして示している。 ○ 巻頭の「いろいろなテーマから学ぼう」に、「いじめ」を考える」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いじめ」を考える」(扉ページ) ○ 「ヨシト」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・集団に流されてしまう弱さを乗り越えるためには、どのようなことが大切なのか等について考えさせる教材 ○ 「ある日のバッテリーボックス」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・子どもたちがこのルールを作ったのは、どのような気持ちからか等について考えさせる教材 ○ 「魚の涙」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「D よりよく生きる喜び」 ・いじめのない世界にするために、特に大切にしたいこと等について考えさせる教材 ○ コラム「いじめ」と向き合う」
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ いじめの問題をテーマとした複数の教材を配置している。 ○ 巻頭の「さまざまなテーマから考えを深めよう」に、「いじめ・人権」をテーマとした教材を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「自由ってなあに」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「A 真理の探究、創造」 ・自由とは何か等について考えさせる教材 ○ 「いつも一緒に」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「B 友情、信頼」 ・よりよい友人関係を築くために大切なこと等について考えさせる教材 ○ 「いじめ問題と向き合う」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・なぜいじめがなくなるのか等について考えさせる教材 ○ 「未来を創るために～マララ・ユスフザイ「国連スピーチ」～」 <ul style="list-style-type: none"> ・内容項目「C 公正、公平、社会正義」 ・公平で公正な社会を作っていくために、私たちが今からできること等について考えさせる教材

【道徳】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑨巻頭等、巻末等の取扱いの工夫
方法	巻頭等、巻末等の示し方

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりに色付けするとともに、「付録について」等を示している。 ○ 各学年、「1年間で学ぶこと」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳科とは」を4ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「教材一覧表」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「テーマでふり返ろう」を1ページで示している。 ○ 各学年、「自分の学びをふり返ろう」を設けている。 ○ 各学年、心情円を付録として設けている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けした教材番号とともに、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりを色付けするとともに、「教科書に出てくるマーク」等を示している。 ○ 各学年、「さあ、道徳を始めよう！」を3ページにわたって示している。 ○ 各学年、「この教科書で学べるテーマ」を1ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「「よりよく生きる」って、どういうことだろう？」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「一年間の道徳科で学んだこと」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「内容項目別教材一覧表」を1ページで示している。 ○ 各学年、「道徳科の学びを振り返ろう」、「1年間の道徳科の学びを振り返ろう」を設けている。
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、詩を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりに下線を引くとともに、「教材の冒頭に付いている印」等を示している。 ○ 各学年、「本書で学ぶ皆さんへ」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第1学年は「日本の郷土玩具」を見開き2ページ、第2学年は「郷土と共に生きる」を3ページ、第3学年は「日本の先駆者たち」を4ページで示している。 ○ 各学年、「まなびの道具箱」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「教材別テーマ一覧」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「先生方・保護者の方々へ この教科書が目ざした〇年生の姿」を1ページで示している。 ○ 各学年、「まなびの記録」を設けている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、学年ごとのテーマ等を見開き2ページで掲載している。 ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりを色付けするとともに、「この本で学ぶあなたへ」等を示している。 ○ 各学年、「道徳科での学びを始めよう！」を4ページにわたって示している。 ○ 別冊「道徳ノート」の目次には、各学年、掲載している全ての教材名等及び「ノートの使い方」を示している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、「「よりよく生きる」ために大切な内容」等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「内容項目別教材一覧」を見開き2ページで示している。 ○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、「フリーノート」を1ページ設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、「道徳科で学んだことを振り返ってみよう」を設けている。 ○ 別冊「道徳ノート」には、各学年、「内容項目別教材一覧」等を1ページで示している。

【道徳】

	巻頭等の示し方	巻末等の示し方
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次の前に、先人の言葉を見開き2ページで掲載している。また、「さまざまなテーマで学ぼう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりを色付けするとともに、「教科書に使われているマーク」等を示している。 ○ 各学年、「よりよく生きるための22の鍵」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「道徳科で学ぶこと 考えること」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「未来への扉」を1ページ設けている。 ○ 各学年、「学びの記録」「学びのメモ」を設けている。 ○ 各学年、「教材と主題名、デジタルコンテンツ」を1ページで示している。
あ か 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、掲載している全ての教材名等を示している。また、学習するまとまりを色付けするとともに、「教材の冒頭についているマーク」等を示している。 ○ 各学年、「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「いろいろなテーマから学ぶ」を見開き2ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「SDGsの視点から 持続可能な社会に向けて」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「ふるさとに学びを広げよう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年「内容一覧」を1ページで示している。 ○ 各学年、「学習の記録」「1年間の学習の記録」を設けている。
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の目次には、4つの視点で色分けしたマークとともに、掲載している全ての教材名、「この教科書にあるマーク」等を示している。 ○ 各学年、「さまざまなテーマから考えを深めよう」を見開き2ページで示している。 ○ 各学年、「クラスのみんなど「道徳授業」を創り出そう」を3ページで示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、「わたしたちの郷土」を3ページで示している。 ○ 各学年、「ウェルビーイングカードとは」を1ページで示している。 ○ 各学年、ウェルビーイングカードを設けている。

【道徳】

観点	(オ) 内容の表現・表記
視点	⑩教材の内容を理解させる工夫
方法	マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方及び活用の具体例

	マーク・キャラクター、 デジタルコンテンツ等の示し方	活用の具体例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「P l u s」のマークを設定している。 ○ 「つぶやき」のマークを設定している。 ○ キャラクター「考えタイガー」を設定している。 ○ 「SDG s」のマークを設定している。 ○ 「いじめのない世界へ」「いのちを考える」のマークを設定している。 ○ 「朗読音声」「ワークシート」「Webサイト」「資料」「VR映像」「心情円」「映像」「他教科リンク」のマークを設定し、二次元コード等とともに示している。 ○ 「デジタルコンテンツで学びを広げよう」を設定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、「1年間で学ぶこと」、教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、コラムのページとして示している。 ○ 教材の下に、思ったことや考えたこと等を書き込む欄として示している。 ○ 教材の終わり等で、問い等を示している。 ○ 目次に、SDG sと関連して考えられる教材を示している。また、該当ページの右下に、17のゴールのうち、関連するいくつかのゴールを示している。 ○ 目次に、ユニットを示している。 ○ 「デジタルコンテンツで学びを広げよう」や教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等とともに関連するマークを示している。 ○ 「映像」「心情円」等のデジタルコンテンツについて、写真やイラスト等とともに示している。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 導入の問いをマークで示している。 ○ 「学びの道しるべ」のマークを設定している。 ○ 「ひろば」のマークを設定している。 ○ 「やってみよう」のマークを設定している。 ○ 「SDG s」のマークを示している。 ○ ユニット学習「いじめをなくそう」「つながり合って生きる」「いのちがかがやかせる」のマークを設定している。 ○ 「まなびリンク」のマークを設定し、二次元コード等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材名の右下に、学習の見とおしをもったり、学習テーマを共有したりするための問いを示している。 ○ 教材文の終わりに、問いを示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、コラムのページとして示している。 ○ 目次、該当ページに、体験的な学習として示している。 ○ 「道徳科の学びをもっと広げよう」等に、教材とSDG sとの関係を示している。 ○ 目次に、ユニットを示している。 ○ 目次、教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。

【道徳】

	マーク・キャラクター、 デジタルコンテンツ等の示し方	活用の具体例
光 村	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「やってみよう」「チャレンジ」「まなびをプラス」「コラム」「まなびの準備」のマークを設定している。 ○ キャラクター「とくまる」を設定している。 ○ 「SDGs」のマークを設定している。 ○ 「教科」のマークを設定している。 ○ 二次元コードを示している。 ○ 「本書で学ぶ皆さんへ」のページ内で、デジタルコンテンツの使い方を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次、該当ページに、てびきとして示している。 ○ 「道徳 道案内」、教材文の終わり等で、問い等を示している。 ○ 目次、教材の終わり等に、教材とSDGsとの関わりについて示している。 ○ 目次、教材の終わり等に、他教科との関わりについて示している。 ○ 目次、「本書で学ぶ皆さんへ」及び該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。 ○ 「朗読」「資料」等のデジタルコンテンツについて、イラストや写真等とともに示している。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「考えてみよう」「自分に+1」のマークを設定している。 ○ 「あすへのメッセージ」「視野を広げて」のマークを設定している。 ○ 「学びを深めよう」のマークを設定している。 ○ 「いじめ」「情報社会」「自立と共生」「環境と未来」「安全な生活」のマークを設定している。 ○ ユニット学習「いじめと向き合う」「よりよい社会を考える」のマークを設定している。 ○ 二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材の終わりに、問いを示している。 ○ 目次、該当ページに、コラムのページとして示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、学習の流れと、学びのヒントとして示している。 ○ 目次、「視野を広げて」のページに、関連するテーマを示している。 ○ 目次、各ユニットの扉のページに、ユニットとして示している。 ○ 目次、教材名の下、別冊「道徳ノート」の教材名の右上等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。

【道徳】

	マーク・キャラクター、デジタルコンテンツ等の示し方	活用の具体例
学 研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「考えよう」のマークを設定している。 ○ 「クローズアップ」のマークを設定している。 ○ 「深めよう」のマークを設定している。 ○ 「キャリア」「情報モラル」「いのち」「多様性」「環境」「家庭連携」「いじめ防止」「消費者教育」「スポーツ」「安全」「伝統文化」「グローバル」「健康」「法教育」のマークを設定している。 ○ ユニット学習「SDGs」「キャリア」「多様性」のマークを設定している。 ○ 「メモ」のマークを設定している。 ○ 「!」「?」のマークを設定している。 ○ 二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、教材名の上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 教材文の終わりに、問いを示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、関連情報として示している。 ○ 目次、該当ページの左上に、学びの提案として示している。 ○ 「さまざまなテーマで学ぼう」、教材名の下等に、関連するマークを示している。 ○ 目次、各ユニットの扉のページに、ユニットとして示している。 ○ 教材の下に、気付いたことや思ったこと等を書き留める欄として示している。 ○ 教材の下に、考えるきっかけを示している。 ○ 目次、該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。
あ か 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「Thinking」のマークを設定している。 ○ 「マイプラス」のマークを設定している。 ○ 「SDGs」のマークを示している。 ○ ユニット学習「「いじめ」を考える」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会（2・3年生）」のマークを設定している。 ○ 二次元コード等を示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、「道徳科の時間は、「自分を見つめ、考え、生きる」時間」及び教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次、該当ページの右上等に、コラムのページとして示している。 ○ 目次、該当ページの右上に、いろいろな視点から、考えを深めるページとして示している。 ○ 巻末付録の中に、教材とSDGsとの関係を示している。 ○ 目次、各ユニットの扉のページに、ユニットとして示している。 ○ 目次、該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コード等を示している。
日 科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4つの視点をマークで示している。 ○ 「ウェルビーイングカードマーク」を設定している。 ○ 二次元コードを示している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次、教材名の右上等に、該当する4つの視点を示している。 ○ 目次、該当する教材名の下等に、巻末のカードが活用できることを示している。 ○ 目次、該当する教材名の下等に、デジタルコンテンツにつながる二次元コードを示している。